

令和5年度

事業年報

第48号

公益財団法人

栃木県保健衛生事業団

令和5年度

# 事業年報

公益財団法人 栃木県保健衛生事業団

## は じ め に

平素より、当事業団の各種健診・検査事業の実施にあたりまして、格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和5年度から開始された国の第4期がん対策推進基本計画（令和5年度～10年度）においては、全体目標として「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を掲げ、「がんの予防及び早期発見の推進」などを柱に検診受診率60%を目指していることから、当事業団においても受診勧奨に積極的に努めてまいりました。

普及啓発事業では、テレビやラジオ、新聞などのほか、新たにSNSも活用しながら検診の受診率向上などの普及啓発を継続して行ったほか、県内プロスポーツ試合において、乳がんに関する資料配付やパネル展示等を実施するなど、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を展開いたしました。

集団健診事業の住民健診では、市町とともに受診勧奨を積極的に行ったほか、「Web予約システム」や「コールセンター事業」などの事業を継続的に実施したことなどから、新型コロナウイルス感染拡大前と同程度の受診者数に回復いたしました。

検査事業では、先天性代謝異常等検査において、令和4年度に自治医科大学等と共同研究として実施した脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の2疾患を、従来の先天性代謝異常等検査20疾患と併せて、栃木県からの委託事業として実施いたしました。

人間ドック事業では、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少してきたことなどから受診者が増加いたしました。また、新たに3Dマンモグラフィ検査を開始いたしました。

特定保健指導事業では、令和6年4月から開始した第4期特定保健指導に向け運用方法の見直しや新たな保健指導システムの導入などに取り組みました。

食品環境検査事業では、検査事業の実施体制の効率化と施設の有効活用を総合的に判断し、腸内細菌検査事業を食品環境検査所（栃木県保健環境センター内）に移転するための準備に取り組み、令和6年4月から稼働いたしました。

令和5年10月から開始された消費税の「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」については、電算システムの改修などを行うなど対応いたしました。

今後も、人口減少やデジタル化などの社会変化に柔軟に対応できるよう、引き続き計画的な職員採用、人材育成、設備投資や健診・検査の精度管理の維持向上に努め、県民の健康の保持増進に貢献してまいりますので、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このたび「令和5（2023）年度事業年報」として当事業内容や実績等をまとめましたので、皆様の保健活動等の一助として御活用いただければ幸いに存じます。

令和7年2月

公益財団法人栃木県保健衛生事業団  
理事長 渡 邊 慶

# 経営理念

## 1 社会貢献

私たちは、県民の皆様の健康保持増進を通じて、社会に貢献します。

## 2 事業推進

私たちは、県民のニーズに対応し、快適で信頼される健診・検査や支援を行います。

## 3 精度の高い健診・検査

私たちは、能力の向上に努め、精度の高い健診・検査を行います。

## 4 職員意識

私たちは、健康づくりのプロとしての誇りを持ち、働きがいのある職場をめざします。

平成 25 年 4 月 1 日制定



公益財団法人 栃木県保健衛生事業団

# 目 次

は じ め に	
経 営 理 念	
ト ピ ッ ク ス	1
地 域 保 健	7
1 健康診査	8
2 肝炎ウイルス検診	16
3 骨粗しょう症検診	17
4 結核検診	18
5 その他の事業・検査	19
職 域 保 健	21
1 一般健康診断	22
2 メンタルヘルス支援	26
3 ハラスメント防止支援	30
4 特殊健康診断	32
5 骨粗しょう症検診	33
6 結核検診	34
7 腸内細菌検査	35
8 その他の事業・検査	36
が ん 検 診	37
1 がん検診の概要	38
2 胃がん検診	39
3 胃がんリスク層別化検査	41
4 肺がん検診	43
5 大腸がん検診	49
6 子宮がん検診	52
7 乳がん検診	59
8 前立腺がん検診	63
学域・母子保健	65
1 心臓検診	66
2 腎臓検診（尿検査）	70
3 寄生虫卵検査	74
4 小児生活習慣病予防健診	75
5 貧血検査	77
6 脂質検査	78
7 血清検査	79
8 骨粗しょう症検診	80
9 結核検診	81
10 先天性代謝異常等検査	82
感染症検査事業	83
人 間 ド ッ ク	85
健 康 支 援	99



とちぎ健康づくりセンター支援事業	103
環 境 保 健	107
1 食品検査	108
2 簡易専用水道検査	110
3 食品自主衛生管理認証事業	114
4 放射能検査	115
5 その他の検査	116
発見がん追跡調査結果	117
1 集団検診	118
2 人間ドック	152
調 査 ・ 研 究	155
1 調査・研究	156
2 集統計・解析	156
3 論文・研究発表	157
精 度 管 理	171
1 精度管理体制	172
2 精度管理調査	176
3 優良施設認定等	177
4 安全管理体制の充実	177
5 研修会等参加状況	179
6 学術委員	182
7 判定医	183
連 携 ・ 協 力	185
広 報 活 動	189
1 予防医学推進のための普及活動	190
2 健診・検査受診率向上のための普及活動	194
総 括	195
1 沿革	196
2 組織・機構	198
3 機器整備状況	201
4 会議の開催	202

ト ピ ッ ク ス

## 【機器更新】

### 1 超音波診断装置の更新

精度管理の維持と向上を目的とし、超音波診断装置を更新しました。

装置はコニカミノルタ『SONIMAGE HS2』です。高感度・広帯域プローブと新規開発の画像エンジンを組み合わせ、高品質モニターに映し出すことによりコントラスト分解能・空間分解能の高い鮮明な画像を得ることができます。病変に伴う硬さの変化を可視化するストレインエラストグラフィの機能も搭載されています。タッチパネルにより操作が簡便化され、検査精度とともに作業効率も向上しました。



### 2 子宮頸がん検診における細胞診液状検体処理装置の更新

令和5年4月に日本ベクトン・ディッキンソン社製の細胞診液状検体処理装置（BD トータリス™ マルチプロセッサ・BD トータリス™ スライドプレップ）を更新しました。この装置の特長は、多くの検体を自動で処理し、適正標本の作製ができることです。これにより、効率的に精度の高い細胞診検査を実施することが可能となりました。また、この装置に使用した容器の検体残液で、細胞診検査後に、トリアージ検査としてHPV検査を追加実施することが可能です。今回の更新により、細胞診検査とHPV検査を併用したより精度の高い子宮頸がん検診を実施することも可能となりました。



### 3 視野検査装置の更新

令和6年3月にクリュートメディカルシステムズ社製の視機能評価機『アイモscan』に更新しました。

『アイモscan』は緑内障などによる視野異常の検出を目的とした視野スクリーニングプログラムを搭載した視機能評価機です。光が見えたらボタンを押すだけの簡単な検査で、最短約1分40秒で検査が完了します。

視野検査は人間ドックのオプション検査としてお受けいただけます。



## 【保健指導】

### 1 特定保健指導 Web システムの導入

令和6年4月から開始された第4期特定保健指導は、支援の回数や時間といった保健指導の量を重視したものから、減量状況の他、食事や身体活動、タバコ、睡眠など本人の生活習慣の変化を重視した、一人ひとりに寄り添った保健指導内容となりました。利便性やモチベーション維持のツールとしてスマホアプリ等によるICT活用が推奨され、事業団では、クラウド型の保健指導システムを導入し、Webサービスを活用した保健指導がスタートしました。



## 【集団健診】

### 1 胃部検診車（あすなろ5号車）の整備

胃部検診車を新しく整備しました。胃X線撮影装置には当施設の検診車で2台目となるFPD（フラットパネルディテクタ）を搭載しました。従来のI.I.D.Rに比べ画質が向上し、放射線量を低く抑えて撮影できます。



### 2 胸部X線画像AI読影支援システム稼働後の状況

肺がんなどの早期発見や発見率の向上を目指し、令和4年10月から県内の健診機関に先駆けて、胸部X線の画像診断にAI画像解析ソフト（エルピクセル株式会社 医用画像解析ソフトフェア EIRL Chest Screening）を使用した運用を開始しています。AI画像解析ソフトは、肋骨や心臓などに重なる、人の目ではわかりにくい病変や小さな病変を検出し、四角い枠で表示することで医師の画像診断をサポートします。

このたび令和4年度の発見肺がん追跡調査結果が報告されました。がん発見率は前年度の0.06%から0.09%に上昇し、また陽性反応適中度についても前年度の3.4%から3.6%に上昇しました。（がん検診事業評価指標値許容値：がん発見率0.03%以上、陽性反応適中度1.3%以上）

AI画像解析ソフトは、現状の検出精度に留まらず、定期的なバージョンアップにより、更に高い検出精度の向上が図られます。



## 【学域・母子保健】

### 1 先天性代謝異常等検査の対象に2疾患追加

当事業団は栃木県の委託事業として、先天性代謝異常等検査事業（20疾患）を受託しております。令和5年からは、拡大スクリーニング検査2疾患（「脊髄性筋萎縮症（SMA）」・「重症複合免疫不全症（SCID）」）が、従来の先天性代謝異常等検査20疾患に新たに追加され、当事業団で合わせて検査を実施しました。

なお、栃木県では、追加2項目の検査費用が全国に先駆けて、全額公費負担となりました。（令和5年4月時点）

今後も、栃木県で安心して妊娠・出産できる環境づくりに当事業団も協力してまいります。検査件数については82頁をご参照ください。

#### ○脊髄性筋萎縮症（SMA）

運動神経や筋肉が育たずに筋力の低下や筋肉の萎縮が進んでいく遺伝子の病気です。

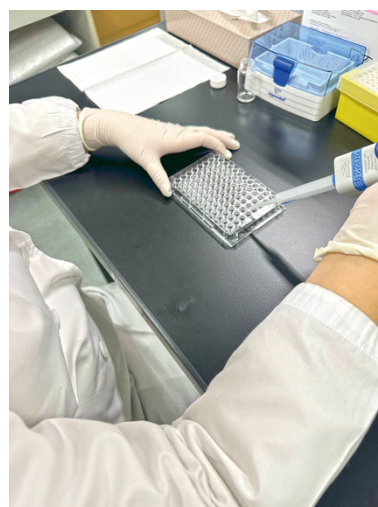
“お座りができない” “首がすわらない”など、気が付いた時には、かなり症状が進行していて、治療を始めても十分な効果が見込めない場合があります。

#### ○重症複合免疫不全症（SCID）

生まれつき免疫機能がうまく働かないことから病原体に弱く、感染症にかかりやすい病気です。

生後、高熱や重篤な肺炎、敗血症、髄膜炎などを繰り返し、命にかかわることもあります。

また、BCGやロタウイルスワクチンなど生ワクチンによる予防接種の後に、ワクチンの病原体による重い感染症をおこすことがあります。ワクチン接種を受ける前に診断されることが重要です。



## 【普及啓発】

### 1 事業団公式SNSの利用開始

令和5年4月から、事業団の公式SNS（X）を利用した情報発信を開始しました。

健康に関する情報や健診・検査に関する内容、事業団の紹介など幅広く発信しています。新聞・テレビ・ラジオといったこれまでのメディアに加えることで、新しい年代層の人たちをはじめ、より多くの人たちに向けた発信ができると思っています。今後もXを通じて、少しでも親しみやすい健康情報の投稿に努めていきます。



## 2 県誕生150年記念県民の日イベントへの出展

令和5年6月10日(土)に、栃木県庁で開催された「栃木県誕生150年記念 県民の日イベント」にブース出展しました。

当日は、がんに関するリーフレットや事業団のオリジナルグッズを配布しました。また、乳がん・子宮頸がんに関するパネルを展示し、がんに関する知識の啓発を行いました。

このイベントには約6万人の方が来場し、栃木県誕生150年記念をにぎやかに祝いました。



## 3 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023とちぎ」への参加

令和5年9月2日(土)～3日(日)に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023とちぎ」が壬生町総合公園陸上競技場(わんぱく公園内)にて開催されました。

「リレー・フォー・ライフ」は、がんサバイバーやその家族を支援し、地域全体でがん征圧を目指すチャリティー活動です。新型コロナウイルス感染症の影響で、去年は規模を縮小して開催されましたが、4年ぶりに2日間に渡り開催されました。

当事業団も実行委員として運営に携わるほか、当日は47名の職員が参加し、リレーウォークを通じてがん患者とその家族の支援に向けて想いをつなげました。



## 4 事業団ホームページをリニューアル

見やすさ、使いやすさを向上させるため、事業団ホームページのリニューアルを行いました。画面サイズに応じて自動で文字サイズやレイアウトが切り替わる「レスポンスデザイン」を採用し、スマホでもパソコンでも見やすく使いやすいサイトになるよう工夫しています。

また、必要な情報にアクセスしやすくするため、シンプルな内容になるように情報を整理しました。ぜひ、新しい事業団のホームページをご活用ください。



# 地 域 保 健

- 1 健 康 診 査
- 2 肝 炎 ウ イ ル ス 検 診
- 3 骨 粗 し ょ う 症 検 診
- 4 結 核 検 診
- 5 そ の 他 の 事 業 ・ 検 査

1	健 康 診 査
---	---------

## 1 概 要

### 1] 目 的

#### (1) 特定健康診査

内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導を必要とする者を抽出する。

※根拠法令：高齢者の医療の確保に関する法律

#### (2) 健康診査

特定健康診査対象以外の者を対象に生活習慣病を早期に発見し、必要に応じて医療につなげる。

※根拠法令：高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法

### 2] 対 象

#### (1) 特定健康診査（国保、被用者保険）

##### 1) 基本的な健診

医療保険加入者のうち特定健康診査の実施年度中に40～74歳となる者（実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む）で、かつ当該実施年度の一年間を通じて加入している者

項目：問診、診察、身体計測（身長・体重・BMI・腹囲）、血圧測定、血中脂質検査（中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール）、肝機能検査（AST・ALT・γGTP）、血糖検査（空腹時血糖またはHbA1c）、尿検査（尿糖・尿蛋白）

##### 2) 詳細な健診

貧血検査、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン検査（eGFRによる腎機能の評価を含む）などを医師の判断に基づき実施。

#### (2) 健康診査

##### 1) 後期高齢者

後期高齢者医療制度の被保険者に該当する者

##### 2) その他

特定健康診査及び、後期高齢者を対象とした健康診査に該当しない者

### 3] 健診内容及び判定基準

#### (1) 特定健康診査及び健康診査判定

厚生労働省作成の「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に準拠し、判定した。

#### (2) メタボリックシンドローム判定

「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に準拠し、判定した。

#### (3) 保健指導レベル

「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に準拠し、対象を階層化した。



## 2 実施状況

表1 特定健康診査及び健康診査判定内訳

				受診者数	異常認めず (%)		要 指 導 (%)		要 精 検 (%)		要継続治療 (%)	
特定健康診査	国 保	男		19,559	224	(1.1)	8,622	(44.1)	10,448	(53.4)	265	(1.4)
		女		24,829	530	(2.1)	12,742	(51.3)	10,955	(44.1)	602	(2.4)
	社 保	男		432	8	(1.9)	179	(41.4)	235	(54.4)	10	(2.3)
		女		8,539	871	(10.2)	3,804	(44.5)	3,476	(40.7)	388	(4.5)
	施設型*	男		14	0	(0.0)	8	(57.1)	6	(42.9)	0	(0.0)
		女		56	8	(14.3)	25	(44.6)	20	(35.7)	3	(5.4)
健康診査	後 期	男		10,423	19	(0.2)	4,505	(43.2)	5,756	(55.2)	143	(1.4)
		女		10,558	38	(0.4)	5,296	(50.2)	4,993	(47.3)	231	(2.2)
	40歳未満	男		1,080	160	(14.8)	468	(43.3)	448	(41.5)	4	(0.4)
		女		3,446	1,114	(32.3)	1,536	(44.6)	727	(21.1)	69	(2.0)
	衛 生 等	男		129	6	(4.7)	55	(42.6)	67	(51.9)	1	(0.8)
		女		142	3	(2.1)	58	(40.8)	76	(53.5)	5	(3.5)
総 数		男		31,637	417	(1.3)	13,837	(43.7)	16,960	(53.6)	423	(1.3)
		女		47,570	2,564	(5.4)	23,461	(49.3)	20,247	(42.6)	1,298	(2.7)
		計		79,207	2,981	(3.8)	37,298	(47.1)	37,207	(47.0)	1,721	(2.2)

\*施設型とは、施設健診事業として当施設内で実施した特定健康診査

### 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健康診査	受診者数	56,644	42,645	52,997	53,531	53,429
健康診査	受診者数	22,087	16,340	21,312	23,164	25,778
総 数	受診者数	78,731	58,985	74,309	76,695	79,207

表2 メタボリックシンドローム判定内訳

			受診者数	該	当 (%)	予 備	群 (%)	非 該	当 (%)	判定不能 (%)	
国 保	男		19,559	6,217	(31.8)	3,630	(18.6)	9,712	(49.7)	0	(0.0)
	女		24,829	2,787	(11.2)	1,421	(5.7)	20,621	(83.1)	0	(0.0)
社 保	男		432	137	(31.7)	86	(19.9)	209	(48.4)	0	(0.0)
	女		8,539	619	(7.2)	477	(5.6)	7,442	(87.2)	1	(0.0)
総 数	男		19,991	6,354	(31.8)	3,716	(18.6)	9,921	(49.6)	0	(0.0)
	女		33,368	3,406	(10.2)	1,898	(5.7)	28,063	(84.1)	1	(0.0)
	計		53,359	9,760	(18.3)	5,614	(10.5)	37,984	(71.2)	1	(0.0)

表3 保健指導レベル判定内訳

			受診者数	積極的支援 (%)		動機付け支援 (%)		情報提供 (%)		情報提供のうち 服薬による (%)	
国 保	男	19,559	982	(5.0)	2,496	(12.8)	16,081	(82.2)	10,395	(64.6)	
	女	24,829	274	(1.1)	1,385	(5.6)	23,170	(93.3)	12,313	(53.1)	
社 保	男	432	23	(5.3)	48	(11.1)	361	(83.6)	231	(64.0)	
	女	8,539 *	163	(1.9)	462	(5.4)	7,913	(92.7)	2,638	(33.3)	
総 数	男	19,991	1,005	(5.0)	2,544	(12.7)	16,442	(82.2)	10,626	(64.6)	
	女	33,368 *	437	(1.3)	1,847	(5.5)	31,083	(93.2)	14,951	(48.1)	
	計	53,359 *	1,442	(2.7)	4,391	(8.2)	47,525	(89.1)	25,577	(53.8)	

\*受診者数は判定不能を含む

表4 検査項目別判定内訳

		受診者数	異常認めず (%)		要指導 (%)		要精検 (%)		要継続治療 (%)	
身体計測 (BMI・腹囲)	男	27,532	12,248	(44.5)	15,284	(55.5)	—	—	—	—
	女	42,595	31,940	(75.0)	10,655	(25.0)	—	—	—	—
診 察	男	31,005	28,515	(92.0)	827	(2.7)	558	(1.8)	1,105	(3.6)
	女	45,446	42,901	(94.4)	987	(2.2)	866	(1.9)	692	(1.5)
血 圧	男	31,623	8,480	(26.8)	3,893	(12.3)	4,082	(12.9)	15,168	(48.0)
	女	47,514	21,049	(44.3)	5,573	(11.7)	5,043	(10.6)	15,849	(33.4)
脂 質	男	31,621 *	9,690	(30.6)	7,575	(24.0)	5,785	(18.3)	8,570	(27.1)
	女	47,512	12,659	(26.6)	9,270	(19.5)	9,462	(19.9)	16,121	(33.9)
糖 尿 病	男	31,623	7,654	(24.2)	16,707	(52.8)	2,142	(6.8)	5,120	(16.2)
	女	47,514	16,281	(34.3)	25,700	(54.1)	1,733	(3.6)	3,800	(8.0)
肝 機 能	男	31,477 *	21,265	(67.6)	6,823	(21.7)	2,756	(8.8)	632	(2.0)
	女	46,905	39,692	(84.6)	5,134	(10.9)	1,424	(3.0)	655	(1.4)
腎 機 能	男	31,623	20,695	(65.4)	8,208	(26.0)	2,135	(6.8)	585	(1.8)
	女	47,511	36,027	(75.8)	9,713	(20.4)	1,414	(3.0)	357	(0.8)
貧 血	男	31,378 *	23,329	(74.3)	5,778	(18.4)	1,786	(5.7)	483	(1.5)
	女	45,493 *	32,878	(72.3)	9,098	(20.0)	2,488	(5.5)	1,026	(2.3)
心 電 図	男	29,792	17,335	(58.2)	9,745	(32.7)	2,712	(9.1)	—	—
	女	41,933	29,146	(69.5)	11,121	(26.5)	1,666	(4.0)	—	—
眼 底	男	22,158	16,172	(73.0)	3,538	(16.0)	2,448	(11.0)	—	—
	女	29,238	22,901	(78.3)	4,078	(13.9)	2,259	(7.7)	—	—
総 合 判 定	男	31,623	417	(1.3)	13,829	(43.7)	16,954	(53.6)	423	(1.3)
	女	47,514	2,556	(5.4)	23,436	(49.3)	20,227	(42.6)	1,295	(2.7)
計		79,137	2,973	(3.8)	37,265	(47.1)	37,181	(47.0)	1,718	(2.2)

\*受診者数に判定不能を含む

表5 市町・保険区分別実施状況

	実施 日数	受診者数	国保 (%)		社保 (%)		後期 (%)		40 歳 未 満 (%)		その他の 保険区分 (%)	
宇 都 宮 市	40	3,421	2,049	(59.9)	605	(17.7)	759	(22.2)	0	(0.0)	8	(0.2)
栃 木 市	102	13,174	6,979	(53.0)	1,721	(13.1)	3,329	(25.3)	1,101	(8.4)	44	(0.3)
鹿 沼 市	22	1,549	764	(49.3)	237	(15.3)	180	(11.6)	368	(23.8)	0	(0.0)
小 山 市	103	11,077	5,934	(53.6)	1,305	(11.8)	3,624	(32.7)	161	(1.5)	53	(0.5)
真 岡 市	82	8,808	5,303	(60.2)	795	(9.0)	2,366	(26.9)	325	(3.7)	19	(0.2)
大 田 原 市	73	9,290	5,259	(56.6)	923	(9.9)	2,519	(27.1)	548	(5.9)	41	(0.4)
矢 板 市	36	3,583	1,970	(55.0)	280	(7.8)	1,296	(36.2)	34	(0.9)	3	(0.1)
那須塩原市	73	6,870	4,134	(60.2)	704	(10.2)	1,956	(28.5)	50	(0.7)	26	(0.4)
那須烏山市	25	2,730	1,595	(58.4)	277	(10.1)	655	(24.0)	197	(7.2)	6	(0.2)
下 野 市	41	4,506	2,200	(48.8)	788	(17.5)	747	(16.6)	751	(16.7)	20	(0.4)
益 子 町	29	3,281	2,035	(62.0)	333	(10.1)	755	(23.0)	145	(4.4)	13	(0.4)
茂 木 町	17	2,116	1,265	(59.8)	164	(7.8)	571	(27.0)	112	(5.3)	4	(0.2)
芳 賀 町	20	2,797	1,436	(51.3)	256	(9.2)	796	(28.5)	303	(10.8)	6	(0.2)
野 木 町	25	2,714	1,522	(56.1)	282	(10.4)	724	(26.7)	178	(6.6)	8	(0.3)
塩 谷 町	15	1,412	928	(65.7)	136	(9.6)	254	(18.0)	93	(6.6)	1	(0.1)
那珂川町	19	1,809	1,015	(56.1)	165	(9.1)	450	(24.9)	160	(8.8)	19	(1.1)
総 数	722	79,137	44,388	(56.1)	8,971	(11.3)	20,981	(26.5)	4,526	(5.7)	271	(0.3)

表6 市町別判定内訳（特定健康診査・国保対象者）

	受診者数	特定健康診査判定				メタボリックシンドローム判定				保健指導レベル			
		異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	該当	予備群	非該当	判定不能	積極的支援	動機付け支援	情報提供	情報提供のうち 服薬による
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
宇都宮市	2,049	41 (2.0)	908 (44.3)	1,056 (51.5)	44 (2.1)	376 (18.4)	248 (12.1)	1,425 (69.5)	0 (0.0)	59 (2.9)	196 (9.6)	1,794 (87.6)	942 (52.5)
栃木市	6,979	119 (1.7)	3,301 (47.3)	3,428 (49.1)	131 (1.9)	1,316 (18.9)	875 (12.5)	4,788 (68.6)	0 (0.0)	168 (2.4)	654 (9.4)	6,157 (88.2)	3,492 (56.7)
鹿沼市	764	13 (1.7)	354 (46.3)	382 (50.0)	15 (2.0)	132 (17.3)	92 (12.0)	540 (70.7)	0 (0.0)	24 (3.1)	73 (9.6)	667 (87.3)	325 (48.7)
小山市	5,934	126 (2.1)	2,853 (48.1)	2,847 (48.0)	108 (1.8)	1,217 (20.5)	642 (10.8)	4,075 (68.7)	0 (0.0)	207 (3.5)	588 (9.9)	5,139 (86.6)	2,848 (55.4)
真岡市	5,303	88 (1.7)	2,856 (53.9)	2,246 (42.4)	113 (2.1)	1,189 (22.4)	609 (11.5)	3,505 (66.1)	0 (0.0)	148 (2.8)	397 (7.5)	4,758 (89.7)	3,024 (63.6)
大田原市	5,259	69 (1.3)	2,550 (48.5)	2,549 (48.5)	91 (1.7)	1,111 (21.1)	586 (11.1)	3,562 (67.7)	0 (0.0)	114 (2.2)	387 (7.4)	4,758 (90.5)	2,987 (62.8)
矢板市	1,970	32 (1.6)	946 (48.0)	956 (48.5)	36 (1.8)	397 (20.2)	223 (11.3)	1,350 (68.5)	0 (0.0)	51 (2.6)	177 (9.0)	1,742 (88.4)	1,035 (59.4)
那須塩原市	4,134	68 (1.6)	1,934 (46.8)	2,052 (49.6)	80 (1.9)	774 (18.7)	462 (11.2)	2,898 (70.1)	0 (0.0)	133 (3.2)	381 (9.2)	3,620 (87.6)	1,935 (53.5)
那須烏山市	1,595	21 (1.3)	743 (46.6)	802 (50.3)	29 (1.8)	314 (19.7)	201 (12.6)	1,080 (67.7)	0 (0.0)	47 (2.9)	146 (9.2)	1,402 (87.9)	801 (57.1)
下野市	2,200	50 (2.3)	1,045 (47.5)	1,059 (48.1)	46 (2.1)	381 (17.3)	222 (10.1)	1,597 (72.6)	0 (0.0)	58 (2.6)	179 (8.1)	1,963 (89.2)	967 (49.3)
益子町	2,035	50 (2.5)	964 (47.4)	980 (48.2)	41 (2.0)	425 (20.9)	225 (11.1)	1,385 (68.1)	0 (0.0)	74 (3.6)	160 (7.9)	1,801 (88.5)	1,056 (58.6)
茂木町	1,265	13 (1.0)	598 (47.3)	628 (49.6)	26 (2.1)	285 (22.5)	132 (10.4)	848 (67.0)	0 (0.0)	29 (2.3)	111 (8.8)	1,125 (88.9)	686 (61.0)
芳賀町	1,436	19 (1.3)	722 (50.3)	657 (45.8)	38 (2.6)	325 (22.6)	155 (10.8)	956 (66.6)	0 (0.0)	32 (2.2)	98 (6.8)	1,306 (90.9)	839 (64.2)
野木町	1,522	17 (1.1)	683 (44.9)	797 (52.4)	25 (1.6)	303 (19.9)	181 (11.9)	1,038 (68.2)	0 (0.0)	39 (2.6)	186 (12.2)	1,297 (85.2)	705 (54.4)
塩谷町	928	10 (1.1)	419 (45.2)	479 (51.6)	20 (2.2)	228 (24.6)	118 (12.7)	582 (62.7)	0 (0.0)	33 (3.6)	73 (7.9)	822 (88.6)	503 (61.2)
那珂川町	1,015	18 (1.8)	488 (48.1)	485 (47.8)	24 (2.4)	231 (22.8)	80 (7.9)	704 (69.4)	0 (0.0)	40 (3.9)	75 (7.4)	900 (88.7)	563 (62.6)
総数	44,388	754 (1.7)	21,364 (48.1)	21,403 (48.2)	867 (2.0)	9,004 (20.3)	5,051 (11.4)	30,333 (68.3)	0 (0.0)	1,256 (2.8)	3,881 (8.7)	39,251 (88.4)	22,708 (57.9)

表7 性・年齢階級別判定内訳（特定健康診査・国保対象者）

	受診者数	特定健康診査判定				メタボリックシンドローム判定				保健指導レベル				
		異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	該当	予備群	非該当	判定不能	積極的支援	動機付け支援	情報提供	情報提供のうち 服薬による	
男	40～44歳	883	49	368	460	6	136	157	590	0	175	91	617	76
	45～49歳	1,003	48	392	553	10	203	203	597	0	192	94	717	199
	50～54歳	1,099	27	433	635	4	277	230	592	0	229	102	768	288
	55～59歳	1,034	16	434	571	13	266	216	552	0	170	93	771	358
	60～64歳	1,703	15	737	925	26	536	290	877	0	216	108	1,379	831
	65～69歳	4,829	30	2,174	2,555	70	1,700	909	2,220	0	0	783	4,046	2,839
	70～74歳	7,981	35	3,578	4,243	125	2,739	1,447	3,795	0	0	1,097	6,884	5,113
	75歳	1,027	4	506	506	11	360	178	489	0	0	128	899	691
計	19,559	224	8,622	10,448	265	6,217	3,630	9,712	0	982	2,496	16,081	10,395	
(%)		(1.1)	(44.1)	(53.4)	(1.4)	(31.8)	(18.6)	(49.7)	(0.0)	(5.0)	(12.8)	(82.2)	(64.6)	
女	40～44歳	928	166	454	290	18	21	41	866	0	26	57	845	52
	45～49歳	1,096	108	534	423	31	43	80	973	0	52	93	951	100
	50～54歳	1,184	82	570	518	14	72	64	1,048	0	44	86	1,054	225
	55～59歳	1,385	45	655	656	29	119	101	1,165	0	52	64	1,269	416
	60～64歳	2,789	33	1,386	1,302	68	307	169	2,313	0	100	127	2,562	1,233
	65～69歳	6,560	42	3,422	2,934	162	761	374	5,425	0	0	417	6,143	3,471
	70～74歳	9,718	48	5,086	4,344	240	1,311	543	7,864	0	0	484	9,234	6,022
	75歳	1,169	6	635	488	40	153	49	967	0	0	57	1,112	794
計	24,829	530	12,742	10,955	602	2,787	1,421	20,621	0	274	1,385	23,170	12,313	
(%)		(2.1)	(51.3)	(44.1)	(2.4)	(11.2)	(5.7)	(83.1)	(0.0)	(1.1)	(5.6)	(93.3)	(53.1)	
総計	44,388	754	21,364	21,403	867	9,004	5,051	30,333	0	1,256	3,881	39,251	22,708	
(%)		(1.7)	(48.1)	(48.2)	(2.0)	(20.3)	(11.4)	(68.3)	(0.0)	(2.8)	(8.7)	(88.4)	(57.9)	

※年度末年齢

表8 性・年齢階級別検査項目別判定内訳（特定健康診査・国保対象者）

		総合判定					身体計測			診 察				
		受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療
男	40～44歳	883	49	368	460	6	883	452	431	883	873	7	2	1
	45～49歳	1,003	48	392	553	10	1,003	456	547	1,003	989	6	4	4
	50～54歳	1,099	27	433	635	4	1,099	471	628	1,099	1,076	9	5	9
	55～59歳	1,034	16	434	571	13	1,034	456	578	1,034	1,017	4	8	5
	60～64歳	1,703	15	737	925	26	1,703	753	950	1,703	1,642	26	13	22
	65～69歳	4,829	30	2,174	2,555	70	4,829	2,005	2,824	4,829	4,583	94	43	109
	70～74歳	7,981	35	3,578	4,243	125	7,981	3,472	4,509	7,981	7,380	182	124	295
	75歳	1,027	4	506	506	11	1,027	444	583	1,027	924	32	25	46
	計	19,559	224	8,622	10,448	265	19,559	8,509	11,050	19,559	18,484	360	224	491
(%)		(1.1)	(44.1)	(53.4)	(1.4)		(43.5)	(56.5)		(94.5)	(1.8)	(1.1)	(2.5)	
女	40～44歳	928	166	454	290	18	928	744	184	928	910	6	4	8
	45～49歳	1,096	108	534	423	31	1,096	804	292	1,096	1,080	8	5	3
	50～54歳	1,184	82	570	518	14	1,184	884	300	1,184	1,159	12	7	6
	55～59歳	1,385	45	655	656	29	1,385	1,041	344	1,385	1,340	19	17	9
	60～64歳	2,789	33	1,386	1,302	68	2,789	2,073	716	2,789	2,687	45	29	28
	65～69歳	6,560	42	3,422	2,934	162	6,560	4,861	1,699	6,560	6,311	104	87	58
	70～74歳	9,718	48	5,086	4,344	240	9,718	7,160	2,558	9,718	9,140	246	201	131
	75歳	1,169	6	635	488	40	1,169	870	299	1,169	1,095	29	26	19
	計	24,829	530	12,742	10,955	602	24,829	18,437	6,392	24,829	23,722	469	376	262
(%)		(2.1)	(51.3)	(44.1)	(2.4)		(74.3)	(25.7)		(95.5)	(1.9)	(1.5)	(1.1)	
総	数	44,388	754	21,364	21,403	867	44,388	26,946	17,442	44,388	42,206	829	600	753
(%)		(1.7)	(48.1)	(48.2)	(2.0)		(60.7)	(39.3)		(95.1)	(1.9)	(1.4)	(1.7)	

		肝機能					腎機能					貧 血	
		受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず
男	40～44歳	883	490	215	173	5	883	813	56	12	2	874	716
	45～49歳	1,003	511	282	196	14	1,003	897	88	12	6	994	776
	50～54歳	1,099	597	280	205	17	1,099	942	133	19	5	1,096	857
	55～59歳	1,034	593	275	153	13	1,034	830	175	18	11	1,026	804
	60～64歳	1,703	1,024	426	218	35	1,703	1,332	300	51	20	1,689 *	1,317
	65～69歳	4,829	3,089	1,161	472	107	4,829	3,412	1,139	209	69	4,791	3,710
	70～74歳	7,981	5,566	1,677	584	154	7,981	5,091	2,247	520	123	7,930	6,157
	75歳	1,027	753	210	39	25	1,027	592	327	81	27	1,022	795
	計	19,559	12,623	4,526	2,040	370	19,559	13,909	4,465	922	263	19,422 *	15,132
(%)		(64.5)	(23.1)	(10.4)	(1.9)		(71.1)	(22.8)	(4.7)	(1.3)		(77.9)	
女	40～44歳	928	842	54	27	5	928	853	60	12	3	924	633
	45～49歳	1,096	957	95	41	3	1,096	1,002	81	9	4	1,093	695
	50～54歳	1,184	967	138	67	12	1,184	1,044	125	13	2	1,182	842
	55～59歳	1,385	1,118	181	76	10	1,385	1,199	167	12	7	1,376	1,022
	60～64歳	2,789	2,273	360	112	44	2,789	2,272	470	30	17	2,773	2,108
	65～69歳	6,560	5,435	806	212	107	6,560	5,059	1,339	119	43	6,529	4,980
	70～74歳	9,718	8,212	1,087	262	157	9,718	6,882	2,485	269	82	9,696 *	7,269
	75歳	1,169	1,015	111	18	25	1,169	783	334	43	9	1,168	840
	計	24,829	20,819	2,832	815	363	24,829	19,094	5,061	507	167	24,741 *	18,389
(%)		(83.8)	(11.4)	(3.3)	(1.5)		(76.9)	(20.4)	(2.0)	(0.7)		(74.3)	
総	計	44,388	33,442	7,358	2,855	733	44,388	33,003	9,526	1,429	430	44,163 *	33,521
(%)		(75.3)	(16.6)	(6.4)	(1.7)		(74.4)	(21.5)	(3.2)	(1.0)		(75.9)	

※年度末年齢

\*判定不能含む

血 圧					脂 質					糖尿病				
受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療
883	587	171	84	41	883	277	249	301	56	883	454	385	23	21
1,003	578	181	119	125	1,003	284	248	350	121	1,003	467	445	44	47
1,099	523	205	156	215	1,099	282	305	362	150	1,099	383	577	54	85
1,034	431	161	161	281	1,034	282	276	296	180	1,034	340	537	54	103
1,703	499	289	257	658	1,703	451	420	408	424	1,703	490	881	92	240
4,829	1,194	622	706	2,307	4,829	1,275	1,193	983	1,378	4,829	1,044	2,701	345	739
7,981	1,712	888	1,094	4,287	7,981	2,352	1,915	1,302	2,412	7,981	1,476	4,423	584	1,498
1,027	221	108	128	570	1,027	310	256	141	320	1,027	161	586	67	213
19,559	5,745	2,625	2,705	8,484	19,559	5,513	4,862	4,143	5,041	19,559	4,815	10,535	1,263	2,946
(29.4)	(13.4)	(13.8)	(43.4)		(28.2)	(24.9)	(21.2)	(25.8)		(24.6)	(53.9)	(6.5)	(15.1)	
928	785	79	31	33	928	556	205	140	27	928	620	286	9	13
1,096	825	127	83	61	1,096	550	255	217	74	1,096	638	427	12	19
1,184	815	145	92	132	1,184	404	311	321	148	1,184	538	592	21	33
1,385	812	188	133	252	1,385	308	334	440	303	1,385	464	822	30	69
2,789	1,347	414	307	721	2,789	513	591	781	904	2,789	700	1,780	100	209
6,560	2,558	995	819	2,188	6,560	1,152	1,277	1,522	2,609	6,560	1,354	4,400	239	567
9,718	2,966	1,370	1,268	4,114	9,718	1,722	1,709	1,872	4,415	9,718	1,632	6,617	449	1,020
1,169	318	145	133	573	1,169	208	194	192	575	1,169	181	793	55	140
24,829	10,426	3,463	2,866	8,074	24,829	5,413	4,876	5,485	9,055	24,829	6,127	15,717	915	2,070
(42.0)	(13.9)	(11.5)	(32.5)		(21.8)	(19.6)	(22.1)	(36.5)		(24.7)	(63.3)	(3.7)	(8.3)	
44,388	16,171	6,088	5,571	16,558	44,388	10,926	9,738	9,628	14,096	44,388	10,942	26,252	2,178	5,016
(36.4)	(13.7)	(12.6)	(37.3)		(24.6)	(21.9)	(21.7)	(31.8)		(24.7)	(59.1)	(4.9)	(11.3)	

貧 血			心電図				眼 底			
要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	受診者数	異常認めず	要指導	要精検
136	20	2	875	711	155	9	738	691	20	27
177	38	3	996	813	169	14	860	764	51	45
191	42	6	1,097	842	229	26	902	790	62	50
179	38	5	1,026	759	236	31	863	694	92	77
284	75	12	1,692	1,176	432	84	1,373	1,046	155	172
867	173	41	4,795	3,088	1,419	288	3,778	2,740	611	427
1,312	336	125	7,933	4,570	2,645	718	5,897	4,081	1,097	719
169	47	11	1,022	553	355	114	725	498	140	87
3,315	769	205	19,436	12,512	5,640	1,284	15,136	11,304	2,228	1,604
(17.1)	(4.0)	(1.1)	(64.4)	(29.0)	(6.6)		(74.7)	(14.7)	(10.6)	
159	84	48	923	758	152	13	735	702	21	12
202	116	80	1,093	881	203	9	877	803	49	25
202	82	56	1,182	931	236	15	934	843	48	43
254	73	27	1,378	1,061	302	15	1,103	943	90	70
504	124	37	2,775	2,061	648	66	2,014	1,625	238	151
1,229	239	81	6,527	4,676	1,655	196	4,477	3,410	678	389
1,933	356	136	9,686	6,519	2,757	410	6,257	4,592	1,071	594
260	44	24	1,167	761	356	50	711	511	132	68
4,743	1,118	489	24,731	17,648	6,309	774	17,108	13,429	2,327	1,352
(19.2)	(4.5)	(2.0)	(71.4)	(25.5)	(3.1)		(78.5)	(13.6)	(7.9)	
8,058	1,887	694	44,167	30,160	11,949	2,058	32,244	24,733	4,555	2,956
(18.2)	(4.3)	(1.6)	(68.3)	(27.1)	(4.7)		(76.7)	(14.1)	(9.2)	

## 2

## 肝炎ウイルス検診

## 1 概 要

## 1] 目 的

- (1) 肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及
- (2) 肝炎ウイルス感染の状況認識及び肝炎進行の遅延

## 2] 対 象

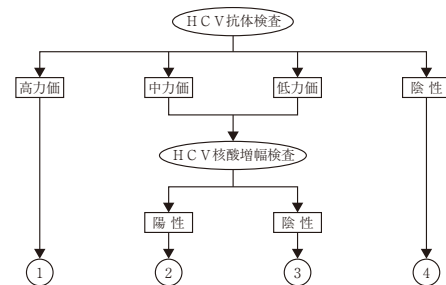
- (1) 40歳となる者
- (2) 41歳以上の者であって、過去に受検歴のない希望者

## 3] 検査方法

## (1) 検査項目

- 1) 問診
- 2) B型肝炎ウイルス検査：HBs抗原検査
- 3) C型肝炎ウイルス検査：HCV抗体検査、  
HCV核酸増幅検査

## (2) C型肝炎ウイルス検査の流れ



## 4] 判定基準

	検査結果	判 定
B型肝炎ウイルス検査	陽性 陰性	
C型肝炎ウイルス検査	① ② ③ ④	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定 「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定

## 2 実施状況

表1 B型肝炎ウイルス検査判定内訳

	受診者数	陽 性 (%)	陰 性 (%)
男	3,179	18 (0.57)	3,161 (99.43)
女	4,066	18 (0.44)	4,048 (99.56)
計	7,245	36 (0.50)	7,209 (99.50)

表2 C型肝炎ウイルス検査判定内訳

	受診者数	① (%)	② (%)	③ (%)	④ (%)
男	3,161	5 (0.16)	0 (0.00)	15 (0.47)	3,141 (99.37)
女	4,030	1 (0.02)	1 (0.02)	12 (0.30)	4,016 (99.65)
計	7,191	6 (0.08)	1 (0.01)	27 (0.38)	7,157 (99.53)

## 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
B型肝炎ウイルス検査	受診者数	8,206	5,597	6,872	6,159	7,245
C型肝炎ウイルス検査	受診者数	8,158	5,561	6,840	6,091	7,191



## 3

## 骨粗しょう症検診

## 1 概 要

## 1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で音響的骨評価値を測定した。

## 2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ( $\times 10^6$ )	男	2.630以上	2.351 ～ 2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158 ～ 2.427	2.158未満

## 2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

		受診者数	異常認めず (%)		要指導 (%)		要精検 (%)	
男	39 歳 以下	4	3	(75.0)	1	(25.0)	0	(0.0)
	40 ～ 44 歳	5	5	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	45 ～ 49 歳	4	3	(75.0)	1	(25.0)	0	(0.0)
	50 ～ 54 歳	2	1	(50.0)	1	(50.0)	0	(0.0)
	55 ～ 59 歳	14	9	(64.3)	5	(35.7)	0	(0.0)
	60 ～ 64 歳	61	37	(60.7)	20	(32.8)	4	(6.6)
	65 ～ 69 歳	120	57	(47.5)	46	(38.3)	17	(14.2)
	70 ～ 74 歳	242	127	(52.5)	90	(37.2)	25	(10.3)
	75 ～ 79 歳	64	47	(73.4)	15	(23.4)	2	(3.1)
	80 歳 以上	81	47	(58.0)	25	(30.9)	9	(11.1)
計		597	336	(56.3)	204	(34.2)	57	(9.5)
女	39 歳 以下	724	600	(82.9)	121	(16.7)	3	(0.4)
	40 ～ 44 歳	964	795	(82.5)	168	(17.4)	1	(0.1)
	45 ～ 49 歳	1,088	907	(83.4)	176	(16.2)	5	(0.5)
	50 ～ 54 歳	1,381	1,027	(74.4)	336	(24.3)	18	(1.3)
	55 ～ 59 歳	1,281	742	(57.9)	468	(36.5)	71	(5.5)
	60 ～ 64 歳	1,591	621	(39.0)	796	(50.0)	174	(10.9)
	65 ～ 69 歳	2,227	738	(33.1)	1,181	(53.0)	308	(13.8)
	70 ～ 74 歳	2,614	747	(28.6)	1,420	(54.3)	447	(17.1)
	75 ～ 79 歳	868	214	(24.7)	459	(52.9)	195	(22.5)
	80 歳 以上	442	74	(16.7)	215	(48.6)	153	(34.6)
計		13,180	6,465	(49.1)	5,340	(40.5)	1,375	(10.4)
総 数		13,777	6,801	(49.4)	5,544	(40.2)	1,432	(10.4)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	13,276	9,826	13,055	13,968	13,777
要精検率 (%)	16.5	14.6	12.7	10.9	10.4

4	結 核 検 診
---	---------

## 1 概 要

### 1] 検査方法

胸部エックス線デジタル撮影による背腹1方向撮影

### 2] 判定方法

呼吸器の専門医が二重読影を行い判定する。

なお、二重読影は第一、第二読影を独立して行う。

## 2 実施状況

令和2年度以降、受託なし。

### 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	398	231	0	0	0
要精検率(%)	8.8	5.6	－	－	－

※単独実施での検診のみ計上

## 5

## その他の事業・検査

受診団体の依頼等により、下記の事業及び検査を実施した。

### 1-1 インターネットを利用した集団健診申込受付の実施

インターネットを利用した集団健診申込受付は、健診対象の全市民が24時間スマートフォンやパソコンから「いつでも・どこでも」健診申込を可能とするものである。

インターネットを利用した申込の割合は下表のとおりであった。また、年代別でみると、30歳から50歳代の割合が高く、時間帯としては、閉庁時間帯における申込割合が高かった。

表1 インターネットを利用した健診申込状況

	受診日 優先予約	健診 申込数	事前に予約された 予約日のまま受診 した人数 (%)	インターネット利用 での申込数 (%)	インターネット申込の内 閉庁時間帯の申込数 (%)
栃木市		17,077	—	6,298 (36.9)	3,673 (58.3)
下野市		7,759	—	4,442 (57.2)	2,714 (61.1)
鹿沼市		9,635	—	3,585 (37.2)	2,183 (60.9)
真岡市 ○		13,580	10,731 (78.1)	590 (20.7) *	364 (61.8)
大田原市		13,010	—	4,612 (35.4)	2,640 (57.2)
那須烏山市		3,796	—	1,304 (34.3)	681 (52.2)
芳賀町 ○		4,004	1,947 (84.2)	448 (11.2) *	303 (67.6)
野木町		3,825	—	1,443 (37.7)	760 (52.7)
矢板市 ○		6,681	3,466 (80.5)	833 (12.5) *	518 (62.1)
塩谷町 ○		4,146	1,946 (62.3)	231 (5.6) *	145 (62.8)
小山市 ○		18,578	9,075 (79.8)	2,572 (13.8) *	1,496 (58.2)

\*真岡市、芳賀町、矢板市、塩谷町及び小山市は、前年度受診者に受診予約日の決定通知を送付（受診日優先予約）しており、受診予約日の変更または、新規申込者のみインターネットを利用している。

### 1-2 コールセンターを利用した集団健診申込受付の実施

インターネットを利用した申込方式に併せ、集団健診の電話予約受付業務を当事業団が代行するコールセンター事業を平成30年度健診申込分から開始した。

専用電話回線を期間限定で開設し、県内の専門業者と連携しながら専門のオペレーターが電話による予約受付を行った。

表2 コールセンターを利用した健診申込状況

	コールセンター開設中の 健診申込総数	健診申込数内の コールセンター利用での 申込数 (%)	健診申込数内の インターネット利用での 申込数 (%)
大田原市（3日間）	1,715	1,036 (60.4)	679 (39.6)
矢板市（3日間）	176	128 (72.7)	48 (27.3)
小山市（平日20日間）	2,167	774 (35.7)	1,393 (64.3)

## 2 特定健診・若年健康診査の二次検診実施【大田原市】

健康課題である循環器病及び糖尿病等の予防可能な生活習慣病を早期発見、早期介入することを目的に、平成25年度から下表のとおり特定健診・若年健康診査の二次検診を実施している。

「自分のからだをもっと知る自分探しの二次検診」として、市の全額負担により令和5年9月から令和6年3月の期間に36名の検診を実施した。

	内 容	目 的
75 g 糖負荷検査 (インスリン測定を含む)	血液検査 (4回採血*)	隠れ糖尿病(リスクの度合い)の発見
頸動脈超音波検査	超音波検査	早期の動脈硬化による血管変化 (血管壁の厚さやプラークの有無)の把握
微量アルブミン尿検査	尿検査	早期の腎機能の変化(傷み具合)の把握

\*空腹時・飲用30分後・飲用60分後・飲用120分後

## 3 風しんの追加的対策における風しん抗体検査の実施

平成31(2019)年4月1日から国の「風しんに関する追加的対策」が実施され、これに伴い当事業団においても集合契約に係る風しん抗体検査の実施体制を整備している。

実施団体数：15市町、受診者数：208名

## 4 「推定1日食塩摂取量」検査の実施【塩谷町】

高血圧者に対する保健指導等をより効果的に行うことを目的として、令和3年度から特定健康診査・健康診査の受診者全員を対象に、「推定1日食塩摂取量」の検査を実施した。

特定健康診査等の受診に併せて、追加の採尿を行い、推定1日食塩摂取量の算出方法については、「高血圧治療ガイドライン2019」を参考とした。

実施日数：15日、受診者：1,412名

## 5 高齢者健診の実施【塩谷町】

塩谷町において「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の観点から、町で実施している健康教室等への参加を促し介護予防事業につなげていくことを目的とし、75歳以上の後期高齢者に対してアルブミン・ふくらはぎ周囲径・握力(左右)の3項目を後期健康診査に併せて測定する「高齢者健診」を実施した。

実施日数：1日、受診者：83名

## 職 域 保 健

- 1 一 般 健 康 診 断
- 2 メ ン タ ル ヘ ル ス 支 援
- 3 ハ ラ ス メ ン ト 防 止 支 援
- 4 特 殊 健 康 診 断
- 5 骨 粗 し ょ う 症 検 診
- 6 結 核 検 診
- 7 腸 内 細 菌 検 査
- 8 そ の 他 の 検 査

1	一般健康診断
---	--------

## 1 概 要

### 1] 目 的

労働者の健康状況の把握と必要な者に対する措置、作業関連疾患の予防と保健指導

### 2] 健診内容

労働安全衛生法及び労働安全衛生規則（第43条、44条及び45条）に基づき、1年以内ごとに1回、定期的に実施が義務づけされている検査項目を基本としている。

## 2 実施状況

表1 検査項目別判定内訳（判定実施件数で集計）

				受診者数		やせ (%)		普通 (%)		肥満 (%)	
B M I	男		42,795	2,064	(4.8)	25,750	(60.2)	14,981	(35.0)		
		女	27,345	3,651	(13.4)	17,611	(64.4)	6,083	(22.2)		
				受診者数		非該当 (%)		基準該当 (%)			
腹 囲	男		37,597	20,708	(55.1)	16,889	(44.9)				
		女	24,736	21,326	(86.2)	3,410	(13.8)				
				受診者数		異常認めず (%)		要経過観察 (%)		要精密検査 (%)	
診 察	男		41,729	40,956	(98.1)	249	(0.6)	235	(0.6)	289	(0.7)
		女	26,832	26,317	(98.1)	172	(0.6)	204	(0.8)	139	(0.5)
聴 力	男		41,611	37,862	(91.0)	1,860	(4.5)	1,889	(4.5)	-	-
		女	26,776	25,629	(95.7)	695	(2.6)	452	(1.7)	-	-
血 圧	男		43,020	30,941	(71.9)	4,516	(10.5)	1,458	(3.4)	6,105	(14.2)
		女	28,119	22,800	(81.1)	2,060	(7.3)	665	(2.4)	2,594	(9.2)
貧 血	男		37,470 *	34,354	(91.7)	1,948	(5.2)	922	(2.5)	243	(0.6)
		女	26,115 *	22,019	(84.3)	2,168	(8.3)	924	(3.5)	1,003	(3.8)
肝 機 能	男		36,826	24,886	(67.6)	6,050	(16.4)	5,397	(14.7)	493	(1.3)
		女	25,858	23,081	(89.3)	1,603	(6.2)	960	(3.7)	214	(0.8)
脂 質	男		37,354	20,606	(55.2)	8,782	(23.5)	4,605	(12.3)	3,361	(9.0)
		女	26,367	16,394	(62.2)	5,062	(19.2)	2,511	(9.5)	2,400	(9.1)
糖 尿 病	男		43,548	35,666	(81.9)	4,371	(10.0)	1,239	(2.8)	2,272	(5.2)
		女	28,431	24,328	(85.6)	3,010	(10.6)	383	(1.3)	710	(2.5)
尿 蛋 白	男		42,929	39,633	(92.3)	2,445	(5.7)	851	(2.0)	-	-
		女	27,809	26,338	(94.7)	1,115	(4.0)	356	(1.3)	-	-
心 電 図	男		34,136	28,049	(82.2)	5,218	(15.3)	869	(2.5)	-	-
		女	24,315	20,300	(83.5)	3,608	(14.8)	407	(1.7)	-	-
腎 機 能	男		33,576	30,440	(90.7)	2,633	(7.8)	266	(0.8)	237	(0.7)
		女	23,105	20,869	(90.3)	2,029	(8.8)	104	(0.5)	103	(0.4)
総合判定	男		43,899	11,460	(26.1)	16,423	(37.4)	14,495	(33.0)	1,521	(3.5)
		女	28,804	9,032	(31.4)	11,912	(41.4)	6,679	(23.2)	1,181	(4.1)
		計	72,703	20,492	(28.2)	28,335	(39.0)	21,174	(29.1)	2,702	(3.7)

※胸部X線検査の集計は「結核検診」、喀痰検査の集計は「肺がん検診」に掲載

\*受診者数に判定不能を含む

### 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	68,559	73,563	72,698	72,751	72,703



表2 性・年齢階級別判定内訳（判定実施件数で集計）

	総合判定					BMI				腹囲			診 察		
	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療	受診者数	やせ	普通	肥満	受診者数	非該当	基準該当	受診者数	異常認めず	
男	19 歳 以下	1,023	624	241	149	9	956	136	629	191	143	120	23	943	933
	20 ～ 24 歳	4,461	2,395	1,287	754	25	4,298	491	2,785	1,022	2,069	1,661	408	4,005	3,968
	25 ～ 29 歳	4,824	2,057	1,683	1,040	44	4,726	380	3,018	1,328	4,152	2,965	1,187	4,628	4,592
	30 ～ 34 歳	4,709	1,744	1,746	1,154	65	4,625	206	2,828	1,591	4,113	2,458	1,655	4,549	4,506
	35 ～ 39 歳	4,692	1,364	1,790	1,453	85	4,622	172	2,742	1,708	4,396	2,497	1,899	4,522	4,480
	40 ～ 44 歳	4,513	1,107	1,705	1,556	145	4,448	121	2,641	1,686	4,300	2,287	2,013	4,357	4,312
	45 ～ 49 歳	4,792	831	1,922	1,806	233	4,672	132	2,632	1,908	4,531	2,248	2,283	4,605	4,522
	50 ～ 54 歳	4,945	699	1,974	1,968	304	4,829	110	2,667	2,052	4,606	2,128	2,478	4,737	4,633
	55 ～ 59 歳	4,063	378	1,684	1,719	282	3,976	125	2,254	1,597	3,845	1,788	2,057	3,896	3,796
	60 歳 以上	5,877	261	2,391	2,896	329	5,643	191	3,554	1,898	5,442	2,556	2,886	5,487	5,212
計	43,899	11,460	16,423	14,495	1,521	42,795	2,064	25,750	14,981	37,597	20,708	16,889	41,729	40,956	
(%)		(26.1)	(37.4)	(33.0)	(3.5)		(4.8)	(60.2)	(35.0)		(55.1)	(44.9)		(98.1)	
女	19 歳 以下	667	428	141	92	6	636	101	446	89	138	135	3	538	530
	20 ～ 24 歳	2,907	1,551	935	384	37	2,778	495	1,878	405	1,879	1,794	85	2,486	2,452
	25 ～ 29 歳	3,371	1,790	1,187	345	49	3,208	581	2,173	454	2,866	2,706	160	3,281	3,243
	30 ～ 34 歳	2,683	1,322	957	353	51	2,523	377	1,674	472	2,272	2,057	215	2,614	2,586
	35 ～ 39 歳	2,865	1,160	1,134	487	84	2,727	344	1,752	631	2,515	2,199	316	2,754	2,723
	40 ～ 44 歳	2,854	917	1,207	613	117	2,738	315	1,762	661	2,681	2,314	367	2,683	2,643
	45 ～ 49 歳	3,234	734	1,486	831	183	3,113	323	1,933	857	3,062	2,578	484	3,057	2,995
	50 ～ 54 歳	3,253	537	1,512	1,029	175	3,151	324	1,969	858	3,069	2,535	534	3,096	3,044
	55 ～ 59 歳	2,756	324	1,333	919	180	2,658	334	1,668	656	2,584	2,119	465	2,602	2,540
	60 歳 以上	4,214	269	2,020	1,626	299	3,813	457	2,356	1,000	3,670	2,889	781	3,721	3,561
計	28,804	9,032	11,912	6,679	1,181	27,345	3,651	17,611	6,083	24,736	21,326	3,410	26,832	26,317	
(%)		(31.4)	(41.4)	(23.2)	(4.1)		(13.4)	(64.4)	(22.2)		(86.2)	(13.8)		(98.1)	
総 数	72,703	20,492	28,335	21,174	2,702	70,140	5,715	43,361	21,064	62,333	42,034	20,299	68,561	67,273	
(%)		(28.2)	(39.0)	(29.1)	(3.7)		(8.1)	(61.8)	(30.0)		(67.4)	(32.6)		(98.1)	

	肝 機 能					脂 質					糖 尿 病					
	受診者数	異常認めず	要 観 察	要 精 検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要 観 察	要 精 検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要 観 察	要 精 検	要継続治療	
男	19 歳 以下	393	292	45	55	1	553	513	27	11	2	1,021	1,010	7	3	1
	20 ～ 24 歳	2,854	2,243	245	363	3	3,339	2,720	442	156	21	4,441	4,334	69	23	15
	25 ～ 29 歳	4,177	3,068	477	611	21	4,165	2,954	805	345	61	4,800	4,591	153	36	20
	30 ～ 34 歳	4,033	2,762	595	654	22	4,015	2,517	995	418	85	4,680	4,348	231	49	52
	35 ～ 39 歳	4,107	2,727	635	712	33	4,101	2,318	1,034	588	161	4,661	4,137	327	97	100
	40 ～ 44 歳	3,932	2,461	761	669	41	3,918	2,013	1,028	646	231	4,482	3,880	374	98	130
	45 ～ 49 歳	4,168	2,586	818	705	59	4,156	1,904	1,138	698	416	4,743	3,874	521	128	220
	50 ～ 54 歳	4,241	2,658	901	596	86	4,200	1,799	1,158	675	568	4,898	3,496	770	242	390
	55 ～ 59 歳	3,497	2,300	655	463	79	3,485	1,451	879	516	639	4,020	2,625	777	191	427
	60 歳 以上	5,424	3,789	918	569	148	5,422	2,417	1,276	552	1,177	5,802	3,371	1,142	372	917
計	36,826	24,886	6,050	5,397	493	37,354	20,606	8,782	4,605	3,361	43,548	35,666	4,371	1,239	2,272	
(%)		(67.6)	(16.4)	(14.7)	(1.3)		(55.2)	(23.5)	(12.3)	(9.0)		(81.9)	(10.0)	(2.8)	(5.2)	
女	19 歳 以下	180	171	3	5	1	332	289	32	10	1	663	653	7	2	1
	20 ～ 24 歳	2,096	2,003	52	38	3	2,396	2,024	262	98	12	2,895	2,804	73	13	5
	25 ～ 29 歳	3,014	2,856	86	61	11	3,028	2,491	415	104	18	3,365	3,244	94	13	14
	30 ～ 34 歳	2,442	2,282	74	77	9	2,448	1,922	371	126	29	2,671	2,541	105	16	9
	35 ～ 39 歳	2,648	2,444	122	74	8	2,654	2,003	437	160	54	2,844	2,649	139	26	30
	40 ～ 44 歳	2,695	2,488	106	84	17	2,703	1,882	536	198	87	2,810	2,554	211	18	27
	45 ～ 49 歳	3,074	2,711	223	114	26	3,078	1,861	708	297	212	3,192	2,756	315	39	82
	50 ～ 54 歳	3,061	2,587	270	175	29	3,065	1,518	773	452	322	3,204	2,526	520	65	93
	55 ～ 59 歳	2,622	2,168	281	137	36	2,629	1,008	637	463	521	2,708	1,999	530	53	126
	60 歳 以上	4,026	3,371	386	195	74	4,034	1,396	891	603	1,144	4,079	2,602	1,016	138	323
計	25,858	23,081	1,603	960	214	26,367	16,394	5,062	2,511	2,400	28,431	24,328	3,010	383	710	
(%)		(89.3)	(6.2)	(3.7)	(0.8)		(62.2)	(19.2)	(9.5)	(9.1)		(85.6)	(10.6)	(1.3)	(2.5)	
総 数	62,684	47,967	7,653	6,357	707	63,721	37,000	13,844	7,116	5,761	71,979	59,994	7,381	1,622	2,982	
(%)		(76.5)	(12.2)	(10.1)	(1.1)		(58.1)	(21.7)	(11.2)	(9.0)		(83.3)	(10.3)	(2.3)	(4.1)	

\*受診者数に判定不能を含む



診 察			聴 力				血 圧					貧 血				
要観察	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療
3	5	2	950	939	4	7	959	918	38	3	0	553	534	6	9	4
16	17	4	4,246	4,197	26	23	4,311	4,077	203	24	7	3,340	3,225	43	66	6
9	14	13	4,579	4,525	28	26	4,759	4,427	274	35	23	4,182	4,033	70	71	8
16	11	16	4,436	4,359	46	31	4,653	4,180	331	70	72	4,038	3,878	100	48	12
14	13	15	4,511	4,395	72	44	4,643	3,856	476	130	181	4,107	3,887	143	70	7
15	15	15	4,366	4,158	101	107	4,466	3,432	519	163	352	3,931	3,693	157	70	11
30	21	32	4,594	4,281	154	159	4,699	3,115	642	244	698	4,163	3,842	213	86	22
37	26	39	4,658	4,153	241	264	4,851	2,777	715	304	1,055	4,240	3,823	279	103	35
29	33	38	3,871	3,299	269	303	3,992	1,916	620	212	1,244	3,494*	3,068	297	95	32
80	80	115	5,400	3,556	919	925	5,687	2,243	698	273	2,473	5,422*	4,371	640	304	106
249	235	289	41,611	37,862	1,860	1,889	43,020	30,941	4,516	1,458	6,105	37,470*	34,354	1,948	922	243
(0.6)	(0.6)	(0.7)		(91.0)	(4.5)	(4.5)		(71.9)	(10.5)	(3.4)	(14.2)		(91.7)	(5.2)	(2.5)	(0.6)
3	5	0	634	627	4	3	639	615	11	13	0	332	310	13	2	7
11	15	8	2,803	2,762	29	12	2,848	2,714	84	47	3	2,399	2,195	146	27	31
14	16	8	3,307	3,263	33	11	3,356	3,244	96	10	6	3,031*	2,680	245	57	48
7	11	10	2,619	2,576	32	11	2,667	2,507	120	27	13	2,455	2,102	219	62	72
9	11	11	2,765	2,724	30	11	2,826	2,606	146	33	41	2,664	2,193	251	123	97
11	18	11	2,657	2,600	34	23	2,780	2,424	192	53	111	2,639	2,063	275	152	149
19	26	17	3,046	2,979	42	25	3,162	2,546	298	87	231	3,056	2,217	357	221	261
18	19	15	3,037	2,914	78	45	3,183	2,306	348	126	403	3,039	2,469	223	145	202
19	28	15	2,540	2,385	84	71	2,676	1,791	308	89	488	2,609	2,345	142	62	60
61	55	44	3,368	2,799	329	240	3,982	2,047	457	180	1,298	3,891	3,445	297	73	76
172	204	139	26,776	25,629	695	452	28,119	22,800	2,060	665	2,594	26,115*	22,019	2,168	924	1,003
(0.6)	(0.8)	(0.5)		(95.7)	(2.6)	(1.7)		(81.1)	(7.3)	(2.4)	(9.2)		(84.3)	(8.3)	(3.5)	(3.8)
421	439	428	68,387	63,491	2,555	2,341	71,139	53,741	6,576	2,123	8,699	63,585*	56,373	4,116	1,846	1,246
(0.6)	(0.6)	(0.6)		(92.8)	(3.7)	(3.4)		(75.5)	(9.2)	(3.0)	(12.2)		(88.7)	(6.5)	(2.9)	(2.0)

尿 蛋 白				心 電 図				腎機能				
受診者数	異常認めず	要 観 察	要 精 検	受診者数	異常認めず	要 観 察	要 精 検	受診者数	異常認めず	要 観 察	要 精 検	要継続治療
1,001	869	85	47	571	509	58	4	121	120	1	0	0
4,416	3,914	365	137	2,008	1,768	224	16	1,707	1,670	36	0	1
4,768	4,460	262	46	3,696	3,229	432	35	3,564	3,440	104	10	10
4,642	4,373	231	38	3,568	3,144	392	32	3,501	3,372	113	8	8
4,623	4,330	238	55	3,881	3,402	430	49	3,897	3,715	158	10	14
4,455	4,184	217	54	3,701	3,189	460	52	3,827	3,637	163	13	14
4,677	4,340	245	92	3,966	3,324	557	85	4,070	3,748	256	30	36
4,815	4,464	255	96	4,096	3,340	648	108	4,133	3,737	336	30	30
3,965	3,658	197	110	3,394	2,624	659	111	3,424	2,898	454	38	34
5,567	5,041	350	176	5,255	3,520	1,358	377	5,332	4,103	1,012	127	90
42,929	39,633	2,445	851	34,136	28,049	5,218	869	33,576	30,440	2,633	266	237
	(92.3)	(5.7)	(2.0)		(82.2)	(15.3)	(2.5)		(90.7)	(7.8)	(0.8)	(0.7)
652	559	59	34	491	457	30	4	71	70	1	0	0
2,884	2,617	193	74	1,673	1,515	147	11	1,436	1,372	60	0	4
3,348	3,144	172	32	2,767	2,502	244	21	2,517	2,377	131	0	9
2,659	2,524	116	19	2,255	2,010	236	9	2,049	1,950	91	3	5
2,814	2,674	114	26	2,530	2,189	323	18	2,525	2,392	123	2	8
2,765	2,619	116	30	2,528	2,160	337	31	2,485	2,320	157	1	7
3,147	2,978	131	38	2,908	2,422	447	39	2,873	2,665	186	7	15
3,170	3,062	79	29	2,913	2,369	494	50	2,878	2,612	240	9	17
2,654	2,579	53	22	2,489	1,980	461	48	2,487	2,118	337	19	13
3,716	3,582	82	52	3,761	2,696	889	176	3,784	2,993	703	63	25
27,809	26,338	1,115	356	24,315	20,300	3,608	407	23,105	20,869	2,029	104	103
	(94.7)	(4.0)	(1.3)		(83.5)	(14.8)	(1.7)		(90.3)	(8.8)	(0.5)	(0.4)
70,738	65,971	3,560	1,207	58,451	48,349	8,826	1,276	56,681	51,309	4,662	370	340
	(93.3)	(5.0)	(1.7)		(82.7)	(15.1)	(2.2)		(90.5)	(8.2)	(0.7)	(0.6)

2

メンタルヘルス支援

## 1 概要

### 1] 目的

#### (1) ストレスチェック

労働者自身のストレスへの気づきや職場改善につなげることで、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止すること（一次予防）を目的とする。

#### (2) ストレスチェックフォローアップ面談・カウンセリング・教育研修

従業員のメンタル不全の早期発見・改善・予防、ストレスの軽減及び適切な職場適応を図り、自己成長に寄与することを目的とする。

### 2] 対象

#### (1) ストレスチェック

労働者50人以上の事業場

#### (2) ストレスチェックフォローアップ面談・カウンセリング・教育研修

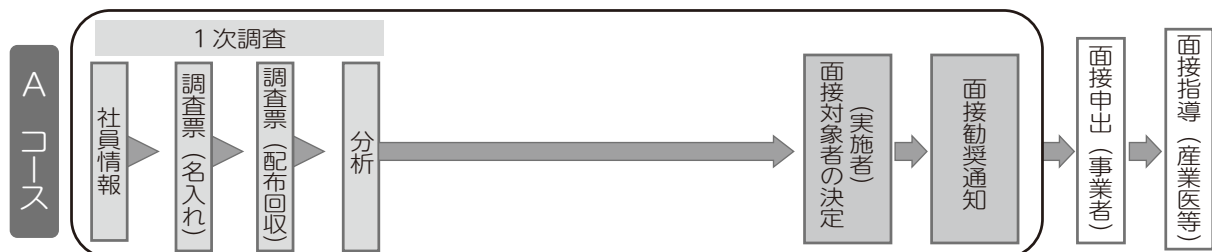
新規採用職員、新任管理職、メンタル不調で長期休暇を取得し職場復帰した職員、ストレスチェックで医師面接を申し出なかった職員など

### 3] 内容

#### (1) ストレスチェック

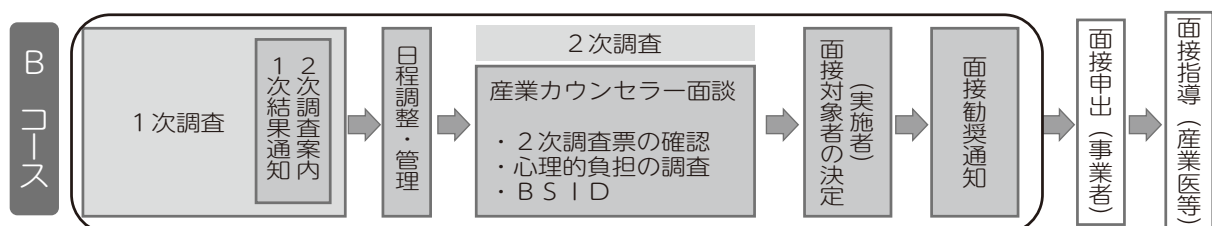
##### ・ A コース

職業性ストレス簡易調査票（57項目）を使用し、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアルの評価基準に準拠した方法で高ストレス者を抽出する。



##### ・ B コース

職業性ストレス簡易調査票（57項目）の1次調査に加え、2次調査として1次調査における高ストレス者を対象に産業カウンセラーによる面談（補足的面談）を実施し、高ストレス者の絞り込み等を行う。



## 1) 高ストレス者を選定するための方法

## ① 1次調査（労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアルの評価基準に準拠）

- ・「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者
- ・「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する評価点の合計が高い者

## ② 2次調査

- ・2調査票（勤務状況、心身ストレス反応の状況、生活習慣の状況等）
- ・B S I D（うつ病の簡便な構造化面接法）及び心理的負担の状況等の調査を実施し、高ストレス者を抽出する。

## 2) 集団分析

## ① 集団分析の目的

ストレスチェックのデータを基にした集団分析結果を提供し、各職場における業務改善や管理監督者向け研修等、職場環境の改善につなげる。

## ② 実施内容

ストレスチェック制度実施マニュアルに基づく「仕事のストレス判定図」、「ストレスプロフィール評価」等を用いて集計分析し、職場ごとのストレス状態が把握できる集計表及びコメント・解説等を提供する。

## 3) 結果説明

各団体の安全衛生委員会や管理者向け説明会等に参加し、結果の説明や解説を行う。

## 2 実施状況

## 1] ストレスチェック

表1 業種別実施状況

業 種 別	団体数	対象者数	有効回答者数		高ストレス者数		高ストレス率（％）			総合健康リスク*			
			（％）		（％）		2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度	5年度
公 務 員	20	8,337	8,038	(96.4)	776	(9.7)	(9.2)	(8.9)	(10.5)	83	83	85	86
教 育	26	8,786	8,472	(96.4)	867	(10.2)	(7.4)	(9.2)	(9.7)	87	90	90	91
医 療	12	6,869	5,858	(85.3)	892	(15.2)	(14.1)	(15.8)	(15.6)	97	101	99	100
農業団体	8	2,874	2,611	(90.8)	390	(14.9)	(14.9)	(14.2)	(14.7)	94	93	94	92
製 造 等	40	4,985	4,548	(91.2)	814	(17.9)	(18.4)	(18.8)	(18.5)	108	111	108	109
福 祉	23	2,619	2,463	(94.0)	356	(14.5)	(14.1)	(15.0)	(14.6)	98	98	98	103
そ の 他	41	3,478	3,111	(89.4)	440	(14.1)	(14.1)	(14.7)	(14.6)	96	99	96	99
総 数	170	37,948	35,101	(92.5)	4,535	(12.9)	(12.3)	(11.9)	(12.7)	92	94	94	95

\*仕事のストレス要因から予想される健康問題のリスクを標準集団の平均を100として現した数値

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有 効 回 答 者 数	32,684	35,571	35,088	36,085	35,101
高ストレス者率（％）	13.0	11.9	12.7	13.2	12.9
総 合 健 康 リ ス ク	97	92	94	94	95

表2 性・年齢別実施状況

	対象者数	有効回答者数 (%)		高ストレス者数 (%)	
男	29 歳 以下	2,726	2,504 (91.9)	315	(12.6)
	30 ～ 39 歳	4,110	3,749 (91.2)	616	(16.4)
	40 ～ 49 歳	4,241	3,948 (93.1)	635	(16.1)
	50 歳 以上	7,748	7,206 (92.6)	712	(9.9)
	計	18,861	17,407 (92.3)	2,278	(13.1)
女	29 歳 以下	3,543	3,287 (92.8)	473	(14.4)
	30 ～ 39 歳	3,756	3,448 (91.8)	516	(15.0)
	40 ～ 49 歳	4,548	4,267 (93.8)	543	(12.7)
	50 歳 以上	7,240	6,692 (92.4)	725	(10.8)
	計	19,087	17,694 (92.7)	2,257	(12.8)
総 数	37,948	35,101	(92.5)	4,535	(12.9)

表3 Aコース実施状況

		1 次 調 査			
	対 象 者 数	有効回答者数 (%)		高ストレス者数 (%)	
男	29 歳 以下	1,920	1,711 (89.1)	246	(14.4)
	30 ～ 39 歳	2,676	2,346 (87.7)	451	(19.2)
	40 ～ 49 歳	2,998	2,732 (91.1)	495	(18.1)
	50 歳 以上	5,114	4,647 (90.9)	512	(11.0)
	計	12,708	11,436 (90.0)	1,704	(14.9)
女	29 歳 以下	2,620	2,391 (91.3)	391	(16.4)
	30 ～ 39 歳	2,524	2,255 (89.3)	381	(16.9)
	40 ～ 49 歳	2,942	2,719 (92.4)	392	(14.4)
	50 歳 以上	4,713	4,292 (91.1)	517	(12.0)
	計	12,799	11,657 (91.1)	1,681	(14.4)
総 数	25,507	23,093	(90.5)	3,385	(14.7)

表4 Bコース実施状況

		1 次 調 査				2 次 調 査	
	対象者数	有効回答者数 (%)		高ストレス者数 (%)		実施者数 (%)	高ストレス者数 (%)
男	29 歳 以下	806	793 (98.4)	69	(8.7)	40 (54.8)	22 (55.0)
	30 ～ 39 歳	1,434	1,403 (97.8)	165	(11.8)	73 (43.7)	51 (69.9)
	40 ～ 49 歳	1,243	1,216 (97.8)	140	(11.5)	59 (42.1)	44 (74.6)
	50 歳 以上	2,670	2,559 (95.8)	200	(7.8)	83 (40.5)	60 (72.3)
	計	6,153	5,971 (97.0)	574	(9.6)	255 (43.6)	177 (69.4)
女	29 歳 以下	923	896 (97.1)	82	(9.2)	37 (45.1)	24 (64.9)
	30 ～ 39 歳	1,232	1,193 (96.8)	135	(11.3)	69 (51.9)	43 (62.3)
	40 ～ 49 歳	1,606	1,548 (96.4)	151	(9.8)	77 (52.7)	54 (70.1)
	50 歳 以上	2,527	2,400 (95.0)	208	(8.7)	93 (44.9)	72 (77.4)
	計	6,288	6,037 (96.0)	576	(9.5)	276 (48.6)	193 (66.9)
総 数	12,441	12,008	(96.5)	1,150	(9.6)	531 (46.1)	370 (69.7)

表5 集団分析実施状況

		団 体 数	実 施 数 (%)
総	数	170	109 (64.1)

表6 結果説明会等の実施状況

業	種	団 体 数	回	数
公	務	12		19
医	療	3		4
製	造	3		5
そ	の	1		1
他				
総	数	19		29

## 2] ストレスチェックフォローアップ面談・カウンセリング・教育研修

表1 ストレスチェックフォローアップ面談の実施状況

業	種	団 体 数	人	数	日	数
農	業	3	6			3
製	造	1	3			1
そ	の	2	18			7
他						
総	数	6	27			11

表2 定期カウンセリングの実施状況

業	種	団 体 数	人	数	日	数
公	務	9	351			98
医	療	2	47			27
製	造	4	146			61
そ	の	2	28			11
他						
総	数	17	572			197

表3 教育研修の実施状況

内	容	団 体 数	回	数	人	数
ラ	イ	1	1			3
ン	ケ	2	2			22
ケ	ア	5	11			273
研	修					
総	数	8	14			298

3

ハラスメント防止支援

# 1 概要

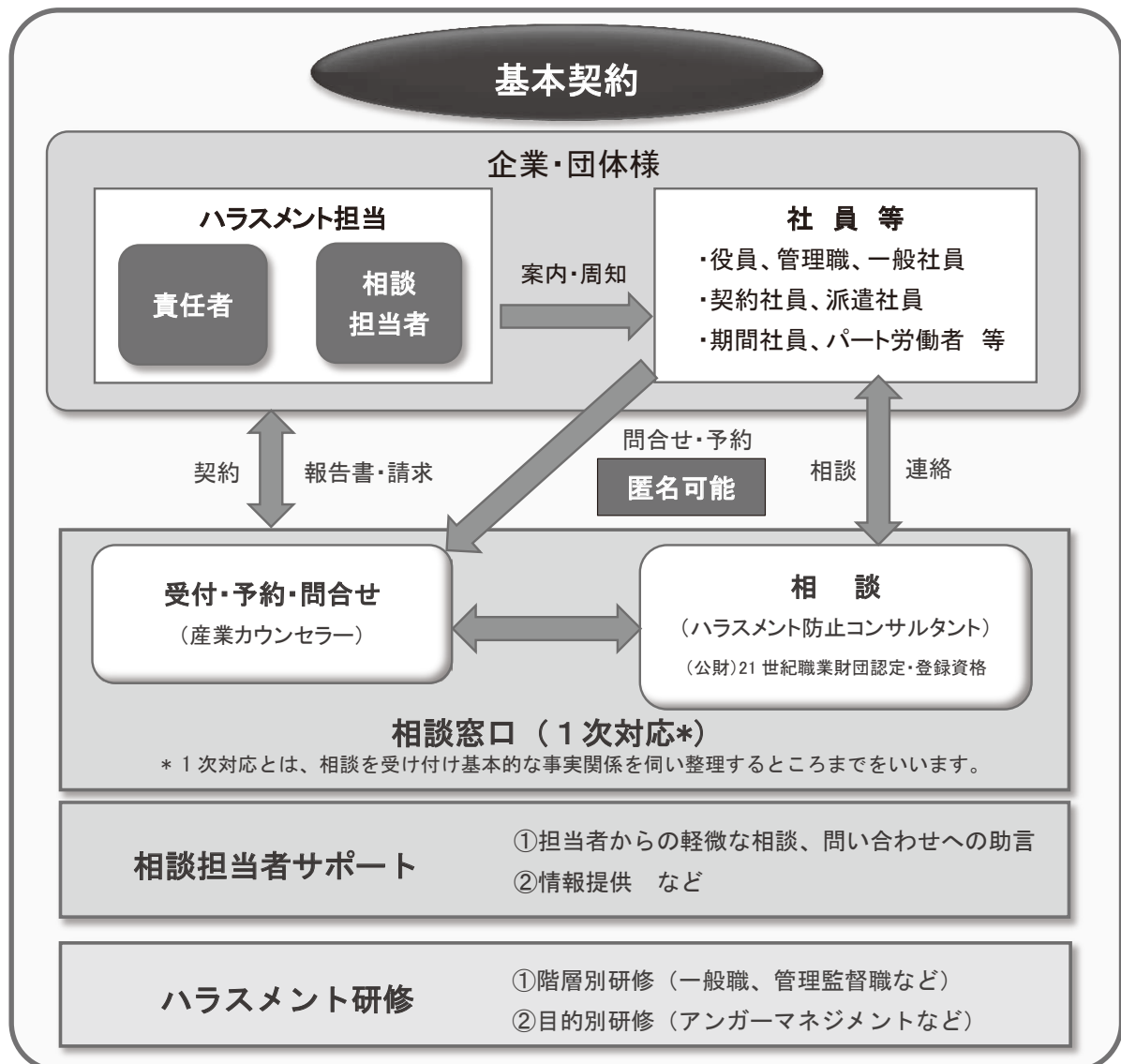
## 1] 目的

企業等におけるパワハラ防止措置の義務化に伴い、ハラスメント相談体制や研修、再発防止策等の充実が事業主に求められた。一方、対応にあたる企業担当者のスキル及び経験不足等により、必要な相談機能が伴わないケースも想定される。そこでハラスメント防止の専門家による社外相談窓口「ハラスメント相談ほっとライン」を開設し、相談対応、ハラスメント防止対策構築、ハラスメント事案解決、研修、当事者のケア等に対応し、企業等におけるハラスメント対策及びメンタルヘルス対策の充実に資することを目的とする。

## 2] 対象

契約企業等の従業員（経営層・管理者からの相談も可）

## 3] 内容



- ・相談申込の受付、予約、問合せ

「ハラスメント相談申込シート」を使用し、電話またはメールで相談申込を受け付ける。匿名での申込みも可能とする。

- ・ハラスメント相談（1次対応）

〔相談申込者〕メール、電話、Zoom、LINE、対面によりハラスメント防止コンサルタント（公益財団法人21世紀職業財団認定・登録）が相談業務を行う。

〔相談担当者〕企業等の担当者や責任者からの相談対応及び問い合わせへの助言を行う。

- ・ハラスメント研修

## 2 実施状況

### 1] ハラスメント相談ほっとライン

業 種	団 体 数
公 務 員	5
医 療	2
そ の 他	1
総 数	8

### 2] 教育研修・セミナー

表1 教育研修の実施状況

業 種	団 体 数	回 数	人 数
公 務 員	5	13	423
公務員（VTR）*	1	－	1,182
医 療	4	4	1,543
福 祉	1	3	81
そ の 他	1	2	25
総 数	12	22	3,254

\*7分3本 3ヵ月間視聴

表2 相談担当者セミナーの実施状況

#### 基礎編

業 種	団 体 数	回 数	人 数
公 務 員 他	7	1	10

#### 実践編

業 種	団 体 数	回 数	人 数
公 務 員 他	6	1	9

4	特殊健康診断
---	--------

## 1 概要

### 1] 目的

有害作業因子による健康障害（職業病）の早期発見と対処

### 2] 健診内容

特殊健康診断は、特定の有害業務に従事する労働者を対象に、労働安全衛生法及びじん肺法に基づき実施が義務づけられている検査項目を基本としている。

### 3] 判定方法

判定区分は「所見あり」「所見なし」の2区分とした。

「所見あり」には既往歴あり、自覚症状あり、検査所見が含まれる。

最終判定は、事業場の産業医等が作業環境等を含めて総合的に判断する。

## 2 実施状況

		受診団体数	受診者数	判定区分	
				所見なし	所見あり
法定項目	じん肺	55	706	555	151
	有機溶剤	91	4,177	4,067	110
	鉛	18	592	587	5
	石綿	18	184	141	43
	電離放射線	27	3,446	2,075	1,371
	特定化学物質	90	4,819	3,990	829
行政指導項目	情報機器作業	18	653	218	435
	騒音	40	1,578	1,071	507
	有害光線	18	887	747	140
	引き金取扱従事者	11	153	24	129
	レーザー光線	12	175	149	26
	振動	10	186	26	160
総	数		17,556	13,650	3,906

### 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	14,915	15,549	18,688	19,539	17,556



## 5

## 骨粗しょう症検診

## 1 概 要

## 1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で音響的骨評価値を測定した。

## 2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値	男	2.630以上	2.351 ～ 2.629	2.351未満
( $\times 10^6$ )	女	2.428以上	2.158 ～ 2.427	2.158未満

## 2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
19 歳 以下	0	-	-	-
20 ～ 24 歳	4	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)
25 ～ 29 歳	5	4 (80.0)	1 (20.0)	0 (0.0)
30 ～ 34 歳	10	4 (40.0)	5 (50.0)	1 (10.0)
35 ～ 39 歳	3	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)
男 40 ～ 44 歳	5	3 (60.0)	1 (20.0)	1 (20.0)
45 ～ 49 歳	10	7 (70.0)	1 (10.0)	2 (20.0)
50 ～ 54 歳	10	5 (50.0)	2 (20.0)	3 (30.0)
55 ～ 59 歳	12	2 (16.7)	5 (41.7)	5 (41.7)
60 歳 以上	38	11 (28.9)	17 (44.7)	10 (26.3)
計	97	41 (42.3)	33 (34.0)	23 (23.7)
19 歳 以下	2	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
20 ～ 24 歳	6	5 (83.3)	1 (16.7)	0 (0.0)
25 ～ 29 歳	13	12 (92.3)	1 (7.7)	0 (0.0)
30 ～ 34 歳	11	8 (72.7)	3 (27.3)	0 (0.0)
35 ～ 39 歳	12	9 (75.0)	3 (25.0)	0 (0.0)
女 40 ～ 44 歳	16	15 (93.8)	1 (6.3)	0 (0.0)
45 ～ 49 歳	38	31 (81.6)	7 (18.4)	0 (0.0)
50 ～ 54 歳	65	50 (76.9)	14 (21.5)	1 (1.5)
55 ～ 59 歳	73	36 (49.3)	24 (32.9)	13 (17.8)
60 歳 以上	168	42 (25.0)	85 (50.6)	41 (24.4)
計	404	210 (52.0)	139 (34.4)	55 (13.6)
総 数	501	251 (50.1)	172 (34.3)	78 (15.6)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	336	385	511	511	501
要精検率 (%)	19.6	16.4	13.1	13.9	15.6

## 6

## 結核検診

## 1 概要

## 1] 検査方法

胸部エックス線デジタル撮影による背腹1方向撮影

## 2] 判定方法

呼吸器の専門医が二重読影を行い判定した。

なお、二重読影は第一、第二読影を独立して行った。

## 2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)		精検不要 (%)		要精検 (%)	
男	19歳以下	983	959 (97.6)	16	(1.6)	8	(0.8)
	20～24歳	3,381	3,276 (96.9)	87	(2.6)	18	(0.5)
	25～29歳	4,385	4,200 (95.8)	161	(3.7)	24	(0.5)
	30～34歳	4,086	3,880 (95.0)	186	(4.6)	20	(0.5)
	35～39歳	4,065	3,783 (93.1)	251	(6.2)	31	(0.8)
	40～44歳	3,891	3,483 (89.5)	359	(9.2)	49	(1.3)
	45～49歳	4,180	3,597 (86.1)	534	(12.8)	49	(1.2)
	50～54歳	4,474	3,735 (83.5)	668	(14.9)	71	(1.6)
	55～59歳	3,964	3,150 (79.5)	722	(18.2)	92	(2.3)
	60歳以上	6,150	4,231 (68.8)	1,674	(27.2)	245	(4.0)
	計	39,559	34,294 (86.7)	4,658	(11.8)	607	(1.5)
女	19歳以下	760	748 (98.4)	10	(1.3)	2	(0.3)
	20～24歳	3,348	3,224 (96.3)	109	(3.3)	15	(0.4)
	25～29歳	3,592	3,469 (96.6)	119	(3.3)	4	(0.1)
	30～34歳	2,730	2,627 (96.2)	90	(3.3)	13	(0.5)
	35～39歳	2,804	2,662 (94.9)	126	(4.5)	16	(0.6)
	40～44歳	2,871	2,673 (93.1)	171	(6.0)	27	(0.9)
	45～49歳	3,603	3,284 (91.1)	279	(7.7)	40	(1.1)
	50～54歳	3,732	3,284 (88.0)	402	(10.8)	46	(1.2)
	55～59歳	3,269	2,701 (82.6)	509	(15.6)	59	(1.8)
	60歳以上	4,689	3,147 (67.1)	1,324	(28.2)	218	(4.6)
	計	31,398	27,819 (88.6)	3,139	(10.0)	440	(1.4)
総数	70,957	62,113	(87.5)	7,797	(11.0)	1,047	(1.5)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	63,245	68,514	68,401	68,082	70,957
要精検率 (%)	1.9	1.6	1.3	1.6	1.5

## 7

## 腸内細菌検査

## 1 概要

## 1] 目的

食中毒発生の未然防止を目的として、赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌の保菌者検索を行った。

## 2] 対象

対象者は、食品取扱者、集団生活者（幼児・施設入所者）、学校給食従事者等

## 3] 検査方法

## (1) PCRスクリーニング検査

検体はキャリーブレイク輸送培地に採取し、赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌由来の遺伝子を3菌種同時にスクリーニングする検査法（マルチプレックスPCR法）で検査を行い、疑陽性となった検体に対して培養法を行った。

## (2) 赤痢菌検査

- ・分離培養はSS培地を使用した。
- ・確認培養は、TSI培地・LIM培地・シモンズの酢酸塩クエン酸塩培地・VP培地を使用し、生化学的性状を確認した。

## (3) サルモネラ属菌検査

- ・分離培養はSS培地を使用した。
- ・確認培養は、TSI培地・LIM培地・クロモアガーサルモネラ培地・シモンズのクエン酸塩培地・VP培地を使用し、生化学的性状を確認した。
- ・生化学的性状が一致したものはサルモネラ免疫血清を用い、O抗原の同定検査を実施した。

## (4) 腸管出血性大腸菌検査

- ・分離培養はクロモアガー STEC培地を使用した。
- ・確認培養は、TSI培地・LIM培地・CLIG培地・クロモアガー O157培地・シモンズのクエン酸塩培地・VP培地を使用した。
- ・生化学的性状が一致したものは、病原大腸菌免疫血清を用いて同定検査を実施した。また、同時にベロ毒素産生能検査を実施した。

## 2 実施状況

表1 赤痢菌、サルモネラ属菌（チフス菌・パラチフスA菌を含む）検査実施状況

	団体数	受検者数	陽性者数 (%)	赤痢菌	サルモネラ属菌群						腸管出血性大腸菌	
					O 01,3,19	O3,10	O4	O7	O8	O9	陽性者数 (%)	
食品取扱者	1,297	80,667	21 (0.03)	0	1	2	6	6	5	1	1	(0.001)
学校給食従事者	398	43,992	15 (0.03)	0	0	0	7	6	2	0	0	(0.000)
総数	1,695	124,659	36 (0.03)	0	1	2	13	12	7	1	1	(0.001)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
赤痢菌・サルモネラ属菌受検者数	138,849	129,980	131,465	126,572	124,659
腸管出血性大腸菌受検者数	105,931	129,980	131,465	126,572	124,659

## 8

## その他の事業・検査

受診団体の依頼により、次の事業・検査を実施した。

## 1 腹部超音波検査

団体数	受診者数	異常認めず（％）		精検不要（％）		要精検（％）	
105	950	189	(19.9)	743	(78.2)	18	(1.9)

## 2 胃がんリスク層別化検診

性別	受診者数	異常認めず				要二次検査					
		A群	(％)	B群	(％)	C群	(％)	D群	(％)	B+C+D群	(％)
男	1,557	1,371	(88.1)	133	(8.5)	41	(2.6)	12	(0.8)	186	(11.9)
女	2,476	2,067	(83.5)	262	(10.6)	87	(3.5)	60	(2.4)	409	(16.5)
総数	4,033	3,438	(85.2)	395	(9.8)	128	(3.2)	72	(1.8)	595	(14.8)

## 3 ペプシノゲン検査（単独）

団体数	受診者数	異常認めず（％）		要精検（％）	
31	879	828	(94.2)	51	(5.8)

## 4 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査（単独）

団体数	受診者数	異常認めず（％）		要精検（％）	
23	121	104	(86.0)	17	(14.0)

## 5 風しん抗体検査

受診者数 208人

※地域保健「5 その他の検査」参照

## 6 アレルギー検査

受診者数 71人

※食物系24種、通年性11種、季節性13種  
(令和2年度事業年報44頁掲載)

## 7 インスリン検査

受診者数 123人

## 8 インフルエンザ予防接種

受診者数 2,831人

## 9 LOX-index<sup>®</sup>（ロックス・インデックス）検査

受診者数 150人

# がん検診

- 1 がん検診の概要
- 2 胃がん検診
- 3 胃がんリスク層別化検査
- 4 肺がん検診
- 5 大腸がん検診
- 6 子宮がん検診
- 7 乳がん検診
- 8 前立腺がん検診

1	がん検診の概要
---	---------

## 1 概 要

### 1] 出張型がん検診の検診項目及び検査方法

胃 が ん 検 診	胃X線検査
胃がんリスク層別化検診	ペプシノゲン検査 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査
肺 が ん 検 診	胸部X線検査または胸部CT検査 高危険群に対する喀痰細胞診検査
大 腸 が ん 検 診	免疫学的便潜血検査
子 宮 頸 が ん 検 診	子宮頸部の細胞診検査 子宮頸部の細胞診検査・HPV-DNA検査
子 宮 体 が ん 検 診	子宮体部の細胞診検査（個別医療機関方式のみ実施）
乳 が ん 検 診	マンモグラフィ・超音波検査
前 立 腺 が ん 検 診	前立腺特異抗原（PSA）検査

### 2] 判定区分

異 常 認 め ず	明らかな異常所見は認められませんでした。
精 検 不 要	わずかな所見が認められますが、精密検査の必要はありません。
要継続通院 <sup>*1</sup>	今後も医療機関での治療、通院を継続してください。
要 精 検	精密検査が必要な所見が認められます。医療機関を受診してください。
要 再 検 査 <sup>*2</sup>	医療機関で再検査を受けられるようおすすめいたします。
判 定 不 能	撮影不良や標本不良などの原因で判定できませんでした。医療機関で再検査を受けられるようおすすめいたします。

<sup>\*1</sup>前立腺がん検診のみ

<sup>\*2</sup>喀痰細胞診検査のみ

## 2 実施状況

	地 域 検 診		職 域 検 診		総 数	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
胃 が ん 検 診	37,569	39,045	11,664	12,202	49,233	51,247
胃がんリスク層別化検査	3,508	3,781	－	－	3,508	3,781
肺 が ん 検 診	79,789	78,489	14,309	5,568	94,098	84,057
大 腸 が ん 検 診	76,845	75,514	24,450	25,328	101,295	100,842
子 宮 頸 が ん 検 診	37,029	37,232	3,631	3,445	40,660	40,677
子 宮 体 が ん 検 診	3,410	3,199	－	－	3,410	3,199
乳 が ん 検 診	48,952	48,476	5,004	4,868	53,956	53,344
前 立 腺 が ん 検 診	27,421	26,634	4,106	3,862	31,527	30,496

## 2

## 胃がん検診

## 1 概 要

## 1] 精度管理

撮 影 方 式	LI DR方式またはFPD方式
撮 影 枚 数	8枚（日本消化器がん検診学会が示す標準化法に準拠）
使 用 造 影 剤	硫酸バリウム 200W/V%、130cc
撮 影 技 師	一般社団法人日本消化器がん検診学会認定胃がん検診専門技師
読 影 方 法	二重読影及び比較読影
判 定 基 準	「胃X線検診のための読影判定区分アトラス」に準拠
読 影 医	一般社団法人日本消化器がん検診学会認定医及び消化器専門医

## 2 実施状況

		受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
地 域	男	17,041	10,066 (59.1)	5,513 (32.3)	1,462 (8.6)
	女	20,528	13,310 (64.8)	6,280 (30.6)	938 (4.6)
職 域	男	7,952	6,080 (76.5)	1,394 (17.5)	478 (6.0)
	女	3,712	2,870 (77.3)	705 (19.0)	137 (3.7)

## 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域	受 診 者 数	45,062	33,486	39,973	39,045	37,569
	要精検率 (%)	8.3	8.5	7.8	6.5	6.4
職 域	受 診 者 数	14,283	13,367	12,941	12,202	11,664
	要精検率 (%)	6.6	6.8	6.4	5.3	5.3

表1 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳				精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳					未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)			胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 の疾患	異 常		
39歳以下	194	170 (87.6)	16 (8.2)	8 (4.1)	8 (100.0)					7	1	0 (0.0)	0 (0.0)
40～44歳	901	763 (84.7)	96 (10.7)	42 (4.7)	31 (73.8)					27	4	1 (2.4)	10 (23.8)
45～49歳	1,117	898 (80.4)	174 (15.6)	45 (4.0)	34 (75.6)					31	3	2 (4.4)	9 (20.0)
50～54歳	1,273	981 (77.1)	223 (17.5)	69 (5.4)	51 (73.9)					42	9	2 (2.9)	16 (23.2)
55～59歳	1,101	804 (73.0)	234 (21.3)	63 (5.7)	46 (73.0)					41	5	2 (3.2)	15 (23.8)
男 60～64歳	1,718	1,088 (63.3)	511 (29.7)	119 (6.9)	99 (83.2)			1		82	16	3 (2.5)	17 (14.3)
65～69歳	3,362	1,912 (56.9)	1,123 (33.4)	327 (9.7)	263 (80.4)		8	6	1	224	24	14 (4.3)	50 (15.3)
70～74歳	4,476	2,171 (48.5)	1,837 (41.0)	468 (10.5)	376 (80.3)		8	6	7	316	39	19 (4.1)	73 (15.6)
75～79歳	2,664	1,184 (44.4)	1,195 (44.9)	285 (10.7)	244 (85.6)		4		2	219	19	10 (3.5)	31 (10.9)
80歳以上	235	95 (40.4)	104 (44.3)	36 (15.3)	32 (88.9)					29	3	2 (5.6)	2 (5.6)
計	17,041	10,066 (59.1)	5,513 (32.4)	1,462 (8.6)	1,184 (81.0)		20	13	10	1,018	123	55 (3.8)	223 (15.3)
39歳以下	320	292 (91.3)	15 (4.7)	13 (4.1)	12 (92.3)					11	1	0 (0.0)	1 (7.7)
40～44歳	1,701	1,450 (85.2)	204 (12.0)	47 (2.8)	37 (78.7)					30	7	3 (6.4)	7 (14.9)
45～49歳	2,076	1,689 (81.4)	351 (16.9)	36 (1.7)	31 (86.1)					23	8	3 (8.3)	2 (5.6)
50～54歳	2,140	1,627 (76.0)	460 (21.5)	53 (2.5)	40 (75.5)					39	1	4 (7.5)	9 (17.0)
55～59歳	1,980	1,392 (70.3)	513 (25.9)	75 (3.8)	59 (78.7)			1		52	6	3 (4.0)	13 (17.3)
女 60～64歳	2,666	1,782 (66.8)	764 (28.7)	120 (4.5)	101 (84.2)					92	9	2 (1.7)	17 (14.2)
65～69歳	3,540	2,042 (57.7)	1,323 (37.4)	175 (4.9)	151 (86.3)		1			134	16	3 (1.7)	21 (12.0)
70～74歳	4,023	2,093 (52.0)	1,664 (41.4)	266 (6.6)	233 (87.6)		3	1	2	202	25	5 (1.9)	28 (10.5)
75～79歳	1,996	908 (45.5)	940 (47.1)	148 (7.4)	138 (93.2)		1			117	20	2 (1.4)	8 (5.4)
80歳以上	86	35 (40.7)	46 (53.5)	5 (5.8)	4 (80.0)					3	1	0 (0.0)	1 (20.0)
計	20,528	13,310 (64.8)	6,280 (30.6)	938 (4.6)	806 (85.9)		5	2	2	703	94	25 (2.7)	107 (11.4)
総 数	37,569	23,376 (62.2)	11,793 (31.4)	2,400 (6.4)	1,990 (82.9)		25	15	12	1,721	217	80 (3.3)	330 (13.8)

表2 市町別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診(%)	未把握(%)
		異常認めず (%)	精検不要(%)	要精検(%)		胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 の疾患	異常 認めず		
宇都宮市	1,578	949 (60.1)	514 (32.6)	115 (7.3)	95 (82.6)	1			84	10	0 (0.0)	20 (17.4)
足利市	2,297	1,375 (59.9)	796 (34.7)	126 (5.5)	104 (82.5)	1	1	1	90	11	0 (0.0)	22 (17.5)
栃木市	5,058	3,125 (61.8)	1,581 (31.3)	352 (7.0)	285 (81.0)	8	1		242	34	9 (2.6)	58 (16.5)
鹿沼市	1,909	1,219 (63.9)	556 (29.1)	134 (7.0)	118 (88.1)				111	7	1 (0.7)	15 (11.2)
小山市	5,381	3,469 (64.5)	1,625 (30.2)	287 (5.3)	240 (83.6)	4	3	4	204	25	14 (4.9)	33 (11.5)
真岡市	3,575	2,085 (58.3)	1,266 (35.4)	224 (6.3)	185 (82.6)	2	2	1	160	20	8 (3.6)	31 (13.8)
大田原市	3,555	2,222 (62.5)	1,122 (31.6)	211 (5.9)	185 (87.7)		2	1	162	20	6 (2.8)	20 (9.5)
矢板市	1,403	884 (63.0)	416 (29.7)	103 (7.3)	83 (80.6)	1	2		72	8	15 (14.6)	5 (4.9)
那須塩原市	3,636	2,359 (64.9)	1,071 (29.5)	206 (5.7)	163 (77.9)	2		1	142	18	0 (0.0)	43 (20.9)
那須烏山市	957	556 (58.1)	336 (35.1)	65 (6.8)	55 (84.6)	1	1		44	9	3 (4.6)	7 (10.8)
下野市	2,863	1,961 (68.5)	745 (26.0)	157 (5.5)	120 (76.4)	3		1	106	10	11 (7.0)	26 (16.6)
益子町	1,119	651 (58.2)	392 (35.0)	76 (6.8)	68 (89.5)	1	1	2	58	6	2 (2.6)	6 (7.9)
茂木町	855	491 (57.4)	307 (35.9)	57 (6.7)	44 (77.2)		1		38	5	0 (0.0)	13 (22.8)
芳賀町	931	540 (58.0)	314 (33.7)	77 (8.3)	71 (92.2)				59	12	2 (2.6)	4 (5.2)
野木町	1,287	833 (64.7)	359 (27.9)	95 (7.4)	83 (87.4)	1			70	12	5 (5.3)	7 (7.4)
塩谷町	539	288 (53.4)	192 (35.6)	59 (10.9)	46 (78.0)		1		40	5	4 (6.8)	9 (15.3)
那珂川町	626	369 (58.9)	201 (32.1)	56 (8.9)	45 (80.4)			1	39	5	0 (0.0)	11 (19.6)
総数	37,569	23,376 (62.2)	11,793 (31.4)	2,400 (6.4)	1,990 (82.9)	25	15	12	1,721	217	80 (3.3)	330 (13.8)

表3 性・年齢階級別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず(%)	精検不要(%)	要精検(%)
29歳以下	141	131 (92.9)	9 (6.4)	1 (0.7)
30～34歳	353	325 (92.1)	22 (6.2)	6 (1.7)
35～39歳	888	808 (91.0)	62 (7.0)	18 (2.0)
40～44歳	1,170	978 (83.6)	146 (12.5)	46 (3.9)
45～49歳	1,327	1,042 (78.5)	211 (15.9)	74 (5.6)
男 50～54歳	1,532	1,169 (76.3)	271 (17.7)	92 (6.0)
55～59歳	1,118	799 (71.5)	241 (21.6)	78 (7.0)
60～64歳	854	538 (63.0)	234 (27.4)	82 (9.6)
65～69歳	392	207 (52.8)	128 (32.7)	57 (14.5)
70歳以上	177	83 (46.9)	70 (39.5)	24 (13.6)
計	7,952	6,080 (76.5)	1,394 (17.5)	478 (6.0)
29歳以下	74	66 (89.2)	7 (9.5)	1 (1.4)
30～34歳	149	136 (91.3)	11 (7.4)	2 (1.3)
35～39歳	451	399 (88.5)	46 (10.2)	6 (1.3)
40～44歳	500	415 (83.0)	73 (14.6)	12 (2.4)
45～49歳	662	532 (80.4)	112 (16.9)	18 (2.7)
女 50～54歳	722	532 (73.7)	157 (21.7)	33 (4.6)
55～59歳	582	425 (73.0)	135 (23.2)	22 (3.8)
60～64歳	386	268 (69.4)	98 (25.4)	20 (5.2)
65～69歳	145	76 (52.4)	52 (35.9)	17 (11.7)
70歳以上	41	21 (51.2)	14 (34.1)	6 (14.6)
計	3,712	2,870 (77.3)	705 (19.0)	137 (3.7)
総数	11,664	8,950 (76.7)	2,099 (18.0)	615 (5.3)



## 3

## 胃がんリスク層別化検査

## 1 概 要

## 1] 精度管理

## 【ペプシノゲン】

検 査 装 置	JCA-BM9130
検 査 方 法	ラテックス凝集免疫比濁法
判 定 基 準	認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構による『胃がんリスク層別化（ABC）検診』に準拠

## 【ヘリコバクター・ピロリ抗体】

検 査 装 置	JCA-BM9130
検 査 方 法	ラテックス凝集免疫比濁法
判 定 基 準	認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構による『胃がんリスク層別化（ABC）検診』に準拠

## 2] 判定区分 上記両検査結果から、A群～D群の群別に判定を行う

	異常認めず		要 二 次 検 査	
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	－	－	＋	＋
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	－	＋	＋	－

## 2 実施状況

			受診者数	異常認めず（％）	要二次検査（％）
地 域	男		1,187	952（80.2）	235（19.8）
	女		2,321	1,909（82.2）	412（17.8）

## 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域	受診者数	4,158	2,758	3,704	3,781	3,508
	要二次検査率（％）	20.2	20.0	21.6	20.4	18.4

表１ 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳								二 次 検 査 結 果 内 訳							未受診(%)	未把握(%)				
		異常認めず(%) (A群)				要二次検査(%)				二次検査 受診者数(%)		胃がん (早期) 胃がん (進行) 胃がん (疑) その他 の疾患 異 常 認めず										
						B群(%)	C群(%)	D群(%)														
39歳以下	92	81	(88.0)	11	(12.0)	6	(6.5)	5	(5.4)	0	(0.0)	10	(90.9)				10		0	(0.0)	1	(9.1)
40～44歳	124	100	(80.6)	24	(19.4)	13	(10.5)	11	(8.9)	0	(0.0)	16	(66.7)				15	1	2	(8.3)	6	(25.0)
45～49歳	103	90	(87.4)	13	(12.6)	9	(8.7)	4	(3.9)	0	(0.0)	9	(69.2)				8	1	0	(0.0)	4	(30.8)
50～54歳	140	125	(89.3)	15	(10.7)	7	(5.0)	7	(5.0)	1	(0.7)	6	(40.0)				6		2	(13.3)	7	(46.7)
55～59歳	103	90	(87.4)	13	(12.6)	8	(7.8)	3	(2.9)	2	(1.9)	5	(38.5)				2	3	1	(7.7)	7	(53.8)
男 60～64歳	137	112	(81.8)	25	(18.2)	17	(12.4)	7	(5.1)	1	(0.7)	16	(64.0)			1	14	1	3	(12.0)	6	(24.0)
65～69歳	236	173	(73.3)	63	(26.7)	31	(13.1)	22	(9.3)	10	(4.2)	39	(61.9)	2	1	1	32	3	4	(6.3)	20	(31.7)
70～74歳	242	174	(71.9)	68	(28.1)	31	(12.8)	23	(9.5)	14	(5.8)	44	(64.7)				40	4	6	(8.8)	18	(26.5)
75～79歳	10	7	(70.0)	3	(30.0)	1	(10.0)	1	(10.0)	1	(10.0)	1	(33.3)				1		0	(0.0)	2	(66.7)
80歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,187	952	(80.2)	235	(19.8)	123	(10.4)	83	(7.0)	29	(2.4)	146	(62.1)	2	1	2	128	13	18	(7.7)	71	(30.2)
39歳以下	223	192	(86.1)	31	(13.9)	18	(8.1)	9	(4.0)	4	(1.8)	25	(80.6)				23	2	2	(6.5)	4	(12.9)
40～44歳	332	286	(86.1)	46	(13.9)	29	(8.7)	14	(4.2)	3	(0.9)	31	(67.4)				28	3	3	(6.5)	12	(26.1)
45～49歳	301	266	(88.4)	35	(11.6)	17	(5.6)	12	(4.0)	6	(2.0)	25	(71.4)				21	4	1	(2.9)	9	(25.7)
50～54歳	313	260	(83.1)	53	(16.9)	25	(8.0)	18	(5.8)	10	(3.2)	34	(64.2)				28	6	3	(5.7)	16	(30.2)
55～59歳	262	224	(85.5)	38	(14.5)	9	(3.4)	22	(8.4)	7	(2.7)	23	(60.5)				22	1	3	(7.9)	12	(31.6)
女 60～64歳	270	212	(78.5)	58	(21.5)	30	(11.1)	23	(8.5)	5	(1.9)	43	(74.1)			1	37	5	2	(3.4)	13	(22.4)
65～69歳	321	250	(77.9)	71	(22.1)	24	(7.5)	38	(11.8)	9	(2.8)	57	(80.3)	1			55	1	2	(2.8)	12	(16.9)
70～74歳	287	210	(73.2)	77	(26.8)	25	(8.7)	38	(13.2)	14	(4.9)	54	(70.1)				49	5	6	(7.8)	17	(22.1)
75～79歳	12	9	(75.0)	3	(25.0)	0	(0.0)	2	(16.7)	1	(8.3)	3	(100.0)				3		0	(0.0)	0	(0.0)
80歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,321	1,909	(82.2)	412	(17.8)	177	(7.6)	176	(7.6)	59	(2.5)	295	(71.6)	0	1	1	243	27	22	(5.3)	95	(23.1)
総 数	3,508	2,861	(81.6)	647	(18.4)	300	(8.6)	259	(7.4)	88	(2.5)	441	(68.2)	2	2	3	394	40	40	(6.2)	166	(25.7)

表２ 市町別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	判 定 内 訳							二 次 検 査 結 果 内 訳							未受診(%)	未把握(%)
	受診者数	異常認めず(%) (A群)			要二次検査(%)	二次検査 受診者数(%)			胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず			
		B群(%)	C群(%)	D群(%)												
鹿 沼 市	165	122 (73.9)	43 (26.1)	21 (12.7)	15 (9.1)	7 (4.2)	31 (72.1)					28	3	1 (2.3)	11 (25.6)	
栃 木 市	662	521 (78.7)	141 (21.3)	53 (8.0)	67 (10.1)	21 (3.2)	98 (69.5)				1	88	9	5 (3.5)	38 (27.0)	
小 山 市	781	656 (84.0)	125 (16.0)	60 (7.7)	46 (5.9)	19 (2.4)	89 (71.2)		2	1	78	8	10 (8.0)	26 (20.8)		
大田原市	323	242 (74.9)	81 (25.1)	38 (11.8)	36 (11.1)	7 (2.2)	54 (66.7)	1		1	49	3	12 (14.8)	15 (18.5)		
矢 板 市	231	184 (79.7)	47 (20.3)	28 (12.1)	13 (5.6)	6 (2.6)	35 (74.5)				31	4	5 (10.6)	7 (14.9)		
那須塩原市	698	595 (85.2)	103 (14.8)	49 (7.0)	37 (5.3)	17 (2.4)	71 (68.9)	1			65	5	0 (0.0)	32 (31.1)		
下 野 市	338	290 (85.8)	48 (14.2)	25 (7.4)	17 (5.0)	6 (1.8)	32 (66.7)				30	2	4 (8.3)	12 (25.0)		
野 木 町	168	138 (82.1)	30 (17.9)	13 (7.7)	15 (8.9)	2 (1.2)	15 (50.0)				11	4	3 (10.0)	12 (40.0)		
塩 谷 町	69	57 (82.6)	12 (17.4)	6 (8.7)	5 (7.2)	1 (1.4)	10 (83.3)				9	1	0 (0.0)	2 (16.7)		
那珂川町	73	56 (76.7)	17 (23.3)	7 (9.6)	8 (11.0)	2 (2.7)	6 (35.3)				5	1	0 (0.0)	11 (64.7)		
総 数	3,508	2,861 (81.6)	647 (18.4)	300 (8.6)	259 (7.4)	88 (2.5)	441 (68.2)	2	2	3	394	40	40 (6.2)	166 (25.7)		

## 4

## 肺がん検診

## 1 概 要

## 1] 精度管理

## 【胸部X線】

撮 影 方 式	FPD方式
撮 影 枚 数	背腹1方向、または背腹・側面2方向
読 影 方 法	二重読影及び比較読影
判 定 基 準	肺癌取扱い規約『肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分』に準拠
読 影 医	呼吸器専門医

## 【胸部CT】

撮 影 装 置	Alexion
撮 影 方 式	5mmスライス 30mA 120kV
撮 影 枚 数	60枚前後
読 影 方 法	二重読影及び比較読影
判 定 基 準	肺癌取扱い規約『肺がん低線量CT検査の判定基準と指導区分』に準拠
読 影 医	呼吸器専門医、肺がんCT検診認定医

## 【喀痰細胞診】

検 査 方 法	3日連続蓄痰
処 理 方 法	擦合せ2枚法、パパニコロウ染色
従 事 技 師	公益社団法人日本臨床細胞学会認定細胞検査士
判 定 方 法	細胞所見に基づき、判定を行う。細胞診検査後、C判定以上の場合は細胞診専門医が最終的な判定を行う。
判 定 基 準	肺癌取扱い規約『肺がん検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分』に準拠
判 定 医	公益社団法人日本臨床細胞学会認定専門医

## 2 実施状況

## 【胸部X線および胸部CT】

		受診者数	異常認めず (%)	要再検査 (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
地 域	男	32,857	18,560 (56.5)	0 (0.0)	12,959 (39.4)	1,338 (4.1)
	女	46,932	30,252 (64.5)	0 (0.0)	15,302 (32.6)	1,378 (2.9)
職 域	男	8,176	6,744 (82.5)	0 (0.0)	1,265 (15.5)	167 (2.0)
	女	6,133	5,303 (86.5)	0 (0.0)	747 (12.2)	83 (1.4)

【喀痰細胞診】 喀痰細胞診は原則、胸部X線又は胸部CTとの併用検査である為、前頁の受診者数に含まれる

			受診者数	異常認めず (%)	要再検査 (%)	要精検 (%)	判定不能 (%)
地 域	男		1,292	1,278 (98.9)	6 (0.5)	3 (0.2)	5 (0.4)
	女		133	133 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
職 域	男		182	181 (99.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)
	女		27	27 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

※喀痰細胞診は、原則として50歳以上で喫煙指数（1日の本数×喫煙年数）が600以上の方（過去の喫煙者も含む）を対象に実施。

## 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域	受 診 者 数	80,663	61,521	75,996	78,489	79,789
	要精検率 (%)	3.5	3.4	3.0	3.5	3.4
職 域	受 診 者 数	5,333	5,531	5,645	5,568	14,309
	要精検率 (%)	1.1	1.0	1.1	1.3	1.7

表1 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

		判 定 内 訳				精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)			原発性肺がん	肺がん (疑)	その他の疾患	異 常 認 め ず		
男	39歳以下	323	282 (87.3)	34 (10.5)	7 (2.2)	6 (85.7)				6	1 (14.3)	0 (0.0)
	40～44歳	1,184	999 (84.4)	172 (14.5)	13 (1.1)	10 (76.9)			3	7	0 (0.0)	3 (23.1)
	45～49歳	1,408	1,124 (79.8)	263 (18.7)	21 (1.5)	17 (81.0)		4	5	8	1 (4.8)	3 (14.3)
	50～54歳	1,665	1,240 (74.5)	374 (22.5)	51 (3.1)	42 (82.4)		2	20	20	1 (2.0)	8 (15.7)
	55～59歳	1,455	1,020 (70.1)	393 (27.0)	42 (2.9)	28 (66.7)	1		14	13	1 (2.4)	13 (31.0)
	60～64歳	2,459	1,597 (64.9)	775 (31.5)	87 (3.5)	64 (73.6)	1	3	27	33	4 (4.6)	19 (21.8)
	65～69歳	5,800	3,545 (61.1)	2,040 (35.2)	215 (3.7)	178 (82.8)		15	102	61	11 (5.1)	26 (12.1)
	70～74歳	8,509	4,574 (53.8)	3,605 (42.4)	330 (3.9)	262 (79.4)	4	27	137	94	14 (4.2)	54 (16.4)
	75～79歳	6,038	2,752 (45.6)	2,990 (49.5)	296 (4.9)	248 (83.8)	1	25	147	75	9 (3.0)	39 (13.2)
	80歳以上	4,016	1,427 (35.5)	2,313 (57.6)	276 (6.9)	225 (81.5)		22	136	67	8 (2.9)	43 (15.6)
計		32,857	18,560 (56.5)	12,959 (39.4)	1,338 (4.1)	1,080 (80.7)	7	98	591	384	50 (3.7)	208 (15.5)
女	39歳以下	518	473 (91.3)	45 (8.7)	0 (0.0)	—	—				—	—
	40～44歳	2,735	2,403 (87.9)	305 (11.2)	27 (1.0)	21 (77.8)		2	10	9	0 (0.0)	6 (22.2)
	45～49歳	3,177	2,688 (84.6)	466 (14.7)	23 (0.7)	20 (87.0)		1	9	10	0 (0.0)	3 (13.0)
	50～54歳	3,278	2,577 (78.6)	652 (19.9)	49 (1.5)	43 (87.8)		1	23	19	0 (0.0)	6 (12.2)
	55～59歳	3,321	2,425 (73.0)	823 (24.8)	73 (2.2)	61 (83.6)		6	32	23	2 (2.7)	10 (13.7)
	60～64歳	4,966	3,375 (68.0)	1,448 (29.2)	143 (2.9)	128 (89.5)		6	74	48	2 (1.4)	13 (9.1)
	65～69歳	8,118	5,194 (64.0)	2,677 (33.0)	247 (3.0)	228 (92.3)	2	13	120	93	4 (1.6)	15 (6.1)
	70～74歳	10,722	6,225 (58.1)	4,117 (38.4)	380 (3.5)	346 (91.1)	3	23	169	151	7 (1.8)	27 (7.1)
	75～79歳	6,587	3,438 (52.2)	2,897 (44.0)	252 (3.8)	228 (90.5)		11	132	85	3 (1.2)	21 (8.3)
	80歳以上	3,510	1,454 (41.4)	1,872 (53.3)	184 (5.2)	158 (85.9)	2	8	97	51	5 (2.7)	21 (11.4)
計		46,932	30,252 (64.5)	15,302 (32.6)	1,378 (2.9)	1,233 (89.5)	7	71	666	489	23 (1.7)	122 (8.9)
総 数		79,789	48,812 (61.2)	28,261 (35.4)	2,716 (3.4)	2,313 (85.2)	14	169	1,257	873	73 (2.7)	330 (12.2)

表2 性・年齢階級別実施状況（胸部X線のみ―地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳					精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)				原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
男	39歳以下	319	280 (87.8)	33 (10.3)	6 (1.9)		5 (83.3)				5	1 (16.7)	0 (0.0)
	40～44歳	1,169	990 (84.7)	167 (14.3)	12 (1.0)		9 (75.0)			2	7	0 (0.0)	3 (25.0)
	45～49歳	1,384	1,110 (80.2)	255 (18.4)	19 (1.4)		16 (84.2)		3	5	8	1 (5.3)	2 (10.5)
	50～54歳	1,573	1,186 (75.4)	347 (22.1)	40 (2.5)		34 (85.0)		1	15	18	1 (2.5)	5 (12.5)
	55～59歳	1,367	976 (71.4)	352 (25.7)	39 (2.9)		25 (64.1)	1		12	12	1 (2.6)	13 (33.3)
	60～64歳	2,280	1,499 (65.7)	708 (31.1)	73 (3.2)		55 (75.3)	1	3	23	28	3 (4.1)	15 (20.5)
	65～69歳	5,437	3,353 (61.7)	1,889 (34.7)	195 (3.6)		161 (82.6)		13	90	58	11 (5.6)	23 (11.8)
	70～74歳	8,027	4,377 (54.5)	3,356 (41.8)	294 (3.7)		235 (79.9)	4	23	120	88	14 (4.8)	45 (15.3)
	75～79歳	5,742	2,665 (46.4)	2,807 (48.9)	270 (4.7)		226 (83.7)	1	20	134	71	8 (3.0)	36 (13.3)
女	80歳以上	3,862	1,389 (36.0)	2,214 (57.3)	259 (6.7)		212 (81.9)		21	127	64	8 (3.1)	39 (15.1)
	計	31,160	17,825 (57.2)	12,128 (38.9)	1,207 (3.9)		978 (81.0)	7	84	528	359	48 (4.0)	181 (15.0)
	39歳以下	516	472 (91.5)	44 (8.5)	0 (0.0)		—	—				—	—
	40～44歳	2,712	2,391 (88.2)	294 (10.8)	27 (1.0)		21 (77.8)		2	10	9	0 (0.0)	6 (22.2)
	45～49歳	3,148	2,672 (84.9)	455 (14.5)	21 (0.7)		18 (85.7)			8	10	0 (0.0)	3 (14.3)
	50～54歳	3,219	2,548 (79.2)	627 (19.5)	44 (1.4)		39 (88.6)			21	18	0 (0.0)	5 (11.4)
	55～59歳	3,264	2,400 (73.5)	796 (24.4)	68 (2.1)		56 (82.4)		5	29	22	2 (2.9)	10 (14.7)
	60～64歳	4,892	3,351 (68.5)	1,404 (28.7)	137 (2.8)		122 (89.1)		6	68	48	2 (1.5)	13 (9.5)
	65～69歳	8,032	5,168 (64.3)	2,625 (32.7)	239 (3.0)		221 (92.5)	2	12	115	92	4 (1.7)	14 (5.9)
総 数	70～74歳	10,584	6,198 (58.6)	4,016 (37.9)	370 (3.5)		338 (91.4)	3	22	163	150	7 (1.9)	25 (6.8)
	75～79歳	6,510	3,426 (52.6)	2,839 (43.6)	245 (3.8)		222 (90.6)		11	127	84	3 (1.2)	20 (8.2)
	80歳以上	3,492	1,450 (41.5)	1,858 (53.2)	184 (5.3)		158 (85.9)	2	8	97	51	5 (2.7)	21 (11.4)
	計	46,369	30,076 (64.9)	14,958 (32.3)	1,335 (2.9)		1,195 (89.5)	7	66	638	484	23 (1.7)	117 (8.8)
	総 数	77,529	47,901 (61.8)	27,086 (34.9)	2,542 (3.3)		2,173 (85.5)	14	150	1,166	843	71 (2.8)	298 (11.7)

表3 性・年齢階級別実施状況（胸部X線＋喀痰細胞診―地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳								精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	要再検査 (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)	X線	喀痰				原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
男	39歳以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	40～44歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49歳	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54歳	56	43 (76.8)	0 (0.0)	7 (12.5)	6 (10.7)	6 (10.7)	6	0	5 (83.3)		1	3	1	0 (0.0)	1 (16.7)
	55～59歳	59	37 (62.7)	0 (0.0)	21 (35.6)	1 (1.7)	0 (0.0)	0	1	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)
	60～64歳	119	76 (63.9)	0 (0.0)	34 (28.6)	9 (7.6)	9 (7.6)	9	0	6 (66.7)			3	3	1 (11.1)	2 (22.2)
	65～69歳	280	169 (60.4)	1 (0.4)	100 (35.7)	10 (3.6)	10 (3.6)	10	0	7 (70.0)		1	6		0 (0.0)	3 (30.0)
	70～74歳	394	183 (46.4)	0 (0.0)	185 (47.0)	26 (6.6)	25 (6.3)	25	1	21 (80.8)		3	13	5	0 (0.0)	5 (19.2)
	75～79歳	241	79 (32.8)	0 (0.0)	148 (61.4)	14 (5.8)	14 (5.8)	14	0	10 (71.4)		1	7	2	1 (7.1)	3 (21.4)
女	80歳以上	127	33 (26.0)	0 (0.0)	82 (64.6)	12 (9.4)	11 (8.6)	11	1	10 (83.3)		1	6	3	0 (0.0)	2 (16.7)
	計	1,277	621 (48.6)	1 (0.1)	577 (45.2)	78 (6.1)	75 (5.8)	75	3	60 (76.9)	0	7	38	15	2 (2.6)	16 (20.5)
	39歳以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	40～44歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49歳	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54歳	23	16 (69.6)	0 (0.0)	4 (17.4)	3 (13.0)	3 (13.0)	3	0	2 (66.7)			1	1	0 (0.0)	1 (33.3)
	55～59歳	18	15 (83.3)	0 (0.0)	3 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—				—	—
	60～64歳	14	10 (71.4)	0 (0.0)	4 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—				—	—
	65～69歳	20	12 (60.0)	0 (0.0)	8 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—				—	—
総 数	70～74歳	37	15 (40.5)	0 (0.0)	19 (51.4)	3 (8.1)	3 (8.1)	3	0	1 (33.3)		1			0 (0.0)	2 (66.7)
	75～79歳	15	6 (40.0)	0 (0.0)	9 (60.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—				—	—
	80歳以上	5	2 (40.0)	0 (0.0)	3 (60.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—				—	—
	計	133	77 (57.9)	0 (0.0)	50 (37.6)	6 (4.5)	6 (4.5)	6	0	3 (50.0)	0	1	1	1	0 (0.0)	3 (50.0)
	総 数	1,410	698 (49.5)	1 (0.1)	627 (44.5)	84 (6.0)	81 (5.7)	81	3	63 (75.0)	0	8	39	16	2 (2.4)	19 (22.6)

表4 性・年齢階級別実施状況（胸部CTのみ—地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳				精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)			原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
男	39歳以下	4	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～44歳	15	9 (60.0)	5 (33.3)	1 (6.7)	1 (100.0)			1		0 (0.0)	0 (0.0)
	45～49歳	23	13 (56.5)	8 (34.8)	2 (8.7)	1 (50.0)		1			0 (0.0)	1 (50.0)
	50～54歳	34	10 (29.4)	19 (55.9)	5 (14.7)	3 (60.0)			2	1	0 (0.0)	2 (40.0)
	55～59歳	26	7 (26.9)	16 (61.5)	3 (11.5)	3 (100.0)			2	1	0 (0.0)	0 (0.0)
	60～64歳	59	22 (37.3)	33 (55.9)	4 (6.8)	3 (75.0)			1	2	0 (0.0)	1 (25.0)
	65～69歳	80	21 (26.3)	49 (61.3)	10 (12.5)	10 (100.0)		1	6	3	0 (0.0)	0 (0.0)
	70～74歳	85	14 (16.5)	60 (70.6)	11 (12.9)	7 (63.6)		1	5	1	0 (0.0)	4 (36.4)
	75～79歳	53	8 (15.1)	34 (64.2)	11 (20.8)	11 (100.0)		4	5	2	0 (0.0)	0 (0.0)
	80歳以上	26	5 (19.2)	16 (61.5)	5 (19.2)	3 (60.0)			3		0 (0.0)	2 (40.0)
計		405	111 (27.4)	241 (59.5)	53 (13.1)	43 (81.1)	0	7	25	11	0 (0.0)	10 (18.9)
女	39歳以下	2	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	— —					— —	— —
	40～44歳	23	12 (52.2)	11 (47.8)	0 (0.0)	— —					— —	— —
	45～49歳	28	15 (53.6)	11 (39.3)	2 (7.1)	2 (100.0)		1	1		0 (0.0)	0 (0.0)
	50～54歳	36	13 (36.1)	21 (58.3)	2 (5.6)	2 (100.0)		1	1		0 (0.0)	0 (0.0)
	55～59歳	39	10 (25.6)	24 (61.5)	5 (12.8)	5 (100.0)		1	3	1	0 (0.0)	0 (0.0)
	60～64歳	60	14 (23.3)	40 (66.7)	6 (10.0)	6 (100.0)			6		0 (0.0)	0 (0.0)
	65～69歳	66	14 (21.2)	44 (66.7)	8 (12.1)	7 (87.5)		1	5	1	0 (0.0)	1 (12.5)
	70～74歳	101	12 (11.9)	82 (81.2)	7 (6.9)	7 (100.0)			6	1	0 (0.0)	0 (0.0)
	75～79歳	62	6 (9.7)	49 (79.0)	7 (11.3)	6 (85.7)			5	1	0 (0.0)	1 (14.3)
	80歳以上	13	2 (15.4)	11 (84.6)	0 (0.0)	— —					— —	— —
計		430	99 (23.0)	294 (68.4)	37 (8.6)	35 (94.6)	0	4	27	4	0 (0.0)	2 (5.4)
総 数		835	210 (25.1)	535 (64.1)	90 (10.8)	78 (86.7)	0	11	52	15	0 (0.0)	12 (13.3)

表5 性・年齢階級別実施状況（胸部CT＋喀痰細胞診—地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳				CT	喀痰	精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	要再検査 (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)				原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
男	39歳以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	40～44歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	45～49歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	50～54歳	2	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 0	—	—	—			—	—
	55～59歳	3	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	—	—	—	—			—	—
	60～64歳	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	1 0	0 (0.0)					0 (0.0)	1 (1.0)
	65～69歳	3	1 (33.3)	0 (0.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	0 0	—	—	—			—	—
	70～74歳	3	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	—	—	—	—			—	—
	75～79歳	2	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	1 0	1 (50.0)			1		0 (0.0)	0 (0.0)
	80歳以上	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	1 0	1 (100.0)			1		0 (0.0)	0 (0.0)
計		15	2 (13.3)	0 (0.0)	10 (66.7)	3 (20.0)	3 0	2 (13.3)	0	0	2	0	0 (0.0)	1 (33.3)
女	39歳以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	40～44歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	45～49歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	50～54歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	55～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	70～74歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	75～79歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
	80歳以上	0	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—
計		0	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	—
総 数		15	2 (13.3)	0 (0.0)	10 (66.7)	3 (20.0)	3 0	2	—	0	0	2	0	—

表6 市町別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	喀痰細胞診 受診者数	要精検者数 (%)	要精検内訳		精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
				X線・CT	喀痰		原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認 め ず		
宇都宮市	3,358	341	156 (4.6)	155	1	118 (75.6)	1	8	62	47	0 (0.0)	38 (24.4)
栃木市	11,426	179	403 (3.5)	402	1	347 (86.1)	2	30	203	112	21 (5.2)	35 (8.7)
鹿沼市	2,716	25	159 (5.9)	159	0	135 (84.9)		12	82	41	0 (0.0)	24 (15.1)
小山市	10,791	201	353 (3.3)	353	0	305 (86.4)	2	22	158	123	12 (3.4)	36 (10.2)
真岡市	8,887	95	270 (3.0)	270	0	237 (87.8)	4	19	122	92	5 (1.9)	28 (10.4)
大田原市	8,785	119	283 (3.2)	283	0	245 (86.6)		15	135	95	5 (1.8)	33 (11.7)
矢板市	3,614	53	128 (3.5)	128	0	102 (79.7)		7	61	34	10 (7.8)	16 (12.5)
那須塩原市	7,242	128	251 (3.5)	250	1	207 (82.5)	3	18	113	73	1 (0.4)	43 (17.1)
那須烏山市	2,119	30	83 (3.9)	83	0	74 (89.2)		2	37	35	1 (1.2)	8 (9.6)
下野市	4,726	37	144 (3.0)	144	0	126 (87.5)		8	69	49	2 (1.4)	16 (11.1)
益子町	2,783	31	73 (2.6)	73	0	63 (86.3)		5	23	35	4 (5.5)	6 (8.2)
茂木町	2,130	28	74 (3.5)	74	0	62 (83.8)		4	23	35	0 (0.0)	12 (16.2)
芳賀町	2,508	31	85 (3.4)	85	0	73 (85.9)	2	6	39	26	5 (5.9)	7 (8.2)
野木町	2,410	48	64 (2.7)	64	0	47 (73.4)		5	23	19	6 (9.4)	11 (17.2)
塩谷町	1,270	20	47 (3.7)	47	0	44 (93.6)		2	29	13	1 (2.1)	2 (4.3)
那珂川町	1,695	21	40 (2.4)	40	0	35 (87.5)		4	17	14	0 (0.0)	5 (12.5)
足利市	3,329	38	106 (3.2)	106	0	96 (90.6)		2	64	30	0 (0.0)	10 (9.4)
総 数	79,789	1,425	2,719 (3.4)	2,716	3	2,316 (85.2)	14	169	1,260	873	73 (2.7)	330 (12.1)

※胸部CTを用いた肺がん検診は鹿沼市のみ

表7 性・年齢階級別実施状況（職域検診）

		胸 部 判 定 内 訳											
		受診者数	喀痰細胞診 受 診 者 数	異常認めず (%)		要再検査 (%)		精検不要 (%)		要精検 (%)		X線	喀 痰 細胞診
男	29歳以下	561	9	535	(95.4)	0	(0.0)	23	(4.1)	3	(0.5)	3	0
	30～34歳	533	11	502	(94.2)	0	(0.0)	30	(5.6)	1	(0.2)	1	0
	35～39歳	1,042	16	954	(91.6)	0	(0.0)	81	(7.8)	7	(0.7)	7	0
	40～44歳	1,028	14	895	(87.1)	0	(0.0)	118	(11.5)	15	(1.5)	15	0
	45～49歳	1,266	25	1,095	(86.5)	0	(0.0)	157	(12.4)	14	(1.1)	14	0
	50～54歳	1,211	31	989	(81.7)	0	(0.0)	193	(15.9)	29	(2.4)	29	0
	55～59歳	865	27	640	(74.0)	0	(0.0)	195	(22.5)	30	(3.5)	30	0
	60～64歳	806	21	585	(72.6)	0	(0.0)	202	(25.1)	19	(2.4)	19	0
	65～69歳	564	22	378	(67.0)	0	(0.0)	167	(29.6)	19	(3.4)	19	0
	70歳以上	300	6	171	(57.0)	0	(0.0)	99	(33.0)	30	(10.0)	30	0
計	8,176	182	6,744	(82.5)	0	(0.0)	1,265	(15.5)	167	(2.0)	167	0	
女	29歳以下	569	1	544	(95.6)	0	(0.0)	25	(4.4)	0	(0.0)	0	0
	30～34歳	380	1	364	(95.8)	0	(0.0)	15	(3.9)	1	(0.3)	1	0
	35～39歳	736	3	690	(93.8)	0	(0.0)	41	(5.6)	5	(0.7)	5	0
	40～44歳	752	4	698	(92.8)	0	(0.0)	49	(6.5)	5	(0.7)	5	0
	45～49歳	919	2	826	(89.9)	0	(0.0)	82	(8.9)	11	(1.2)	11	0
	50～54歳	873	4	755	(86.5)	0	(0.0)	106	(12.1)	12	(1.4)	12	0
	55～59歳	827	5	652	(78.8)	0	(0.0)	161	(19.5)	14	(1.7)	14	0
	60～64歳	639	6	482	(75.4)	0	(0.0)	136	(21.3)	21	(3.3)	21	0
	65～69歳	325	1	221	(68.0)	0	(0.0)	93	(28.6)	11	(3.4)	11	0
	70歳以上	113	0	71	(62.8)	0	(0.0)	39	(34.5)	3	(2.7)	3	0
計	6,133	27	5,303	(86.5)	0	(0.0)	747	(12.2)	83	(1.4)	83	0	
総 数	14,309	209	12,047	(84.2)	0	(0.0)	2,012	(14.1)	250	(1.7)	250	0	

表8 性・年齢階級別実施状況（地域検診）：「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」準拠

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳					要精検者数(%) (E判定者数)	精検受診者数(%)	精 検 結 果 内 訳				未受診(%)	未把握(%)
		A	B	C	D	E			原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
男	39歳以下	319	0	280	33	1	5 (1.6)	5 (100.0)				5	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～44歳	1,169	0	990	167	5	7 (0.6)	6 (85.7)			1	5	0 (0.0)	1 (14.3)
	45～49歳	1,385	0	1,111	255	6	13 (0.9)	12 (92.3)		3	3	6	1 (7.7)	0 (0.0)
	50～54歳	1,629	0	1,229	354	19	27 (1.7)	23 (85.2)		2	9	12	0 (0.0)	4 (14.8)
	55～59歳	1,426	0	1,013	374	16	23 (1.6)	16 (69.6)	1		7	8	0 (0.0)	7 (30.4)
	60～64歳	2,399	0	1,575	742	26	56 (2.3)	45 (80.4)	1	2	18	24	2 (3.6)	9 (16.1)
	65～69歳	5,717	0	3,523	1,989	70	135 (2.4)	116 (85.9)		9	62	45	7 (5.2)	12 (8.9)
	70～74歳	8,421	0	4,560	3,542	116	203 (2.4)	167 (82.3)	3	19	79	66	8 (3.9)	28 (13.8)
	75～79歳	5,983	0	2,744	2,955	93	191 (3.2)	169 (88.5)	1	19	93	56	3 (1.6)	19 (9.9)
	80歳以上	3,989	0	1,422	2,297	106	164 (4.1)	137 (83.5)		15	73	49	5 (3.0)	22 (13.4)
計		32,437	0	18,447	12,708	458	824 (2.5)	696 (84.5)	6	69	345	276	26 (3.2)	102 (12.4)
女	39歳以下	516	0	472	44	0	0 (0.0)	—					—	—
	40～44歳	2,712	0	2,391	294	16	11 (0.4)	9 (81.8)			4	5	0 (0.0)	2 (18.2)
	45～49歳	3,149	0	2,673	455	10	11 (0.3)	11 (100.0)			3	8	0 (0.0)	0 (0.0)
	50～54歳	3,242	0	2,564	631	17	30 (0.9)	26 (86.7)			12	14	0 (0.0)	4 (13.3)
	55～59歳	3,282	0	2,415	799	27	41 (1.2)	32 (78.0)		3	18	11	2 (4.9)	7 (17.1)
	60～64歳	4,906	0	3,361	1,408	51	86 (1.8)	76 (88.4)		5	38	33	1 (1.2)	9 (10.5)
	65～69歳	8,052	0	5,180	2,633	77	162 (2.0)	151 (93.2)	2	10	76	63	2 (1.2)	9 (5.6)
	70～74歳	10,621	0	6,213	4,035	112	261 (2.5)	238 (91.2)	3	17	97	121	6 (2.3)	17 (6.5)
	75～79歳	6,525	0	3,432	2,848	93	152 (2.3)	140 (92.1)		11	59	70	2 (1.3)	10 (6.6)
	80歳以上	3,497	0	1,452	1,861	84	100 (2.9)	88 (88.0)	2	5	49	32	0 (0.0)	12 (12.0)
計		46,502	0	30,153	15,008	487	854 (1.8)	771 (90.3)	7	51	356	357	13 (1.5)	70 (8.2)
総 数		78,939	0	48,600	27,716	945	1,678 (2.1)	1,467 (87.4)	13	120	701	633	39 (2.3)	172 (10.3)

表9 性・年齢階級別判定内訳（職域検診）：「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」準拠

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳					要精検者数(%) (E判定者数)
		A	B	C	D	E	
男	29歳以下	561	0	535	23	1	1 (0.2)
	30～34歳	533	0	502	30	0	0 (0.0)
	35～39歳	1,042	0	954	81	3	3 (0.3)
	40～44歳	1,028	0	895	118	9	9 (0.9)
	45～49歳	1,266	0	1,095	157	8	8 (0.6)
	50～54歳	1,211	0	989	193	23	23 (1.9)
	55～59歳	865	0	640	195	17	17 (2.0)
	60～64歳	806	0	585	202	17	17 (2.1)
	65～69歳	564	0	378	167	10	10 (1.8)
	70～74歳	294	0	169	96	17	17 (5.8)
女	75～79歳	4	0	1	2	1	1 (25.0)
	80歳以上	2	0	1	1	0	0 (0.0)
計		8,176	0	6,744	1,265	106	106 (1.3)
女	29歳以下	569	0	544	25	0	0 (0.0)
	30～34歳	380	0	364	15	0	0 (0.0)
	35～39歳	736	0	690	41	3	3 (0.4)
	40～44歳	752	0	698	49	4	4 (0.5)
	45～49歳	919	0	826	82	7	7 (0.8)
	50～54歳	873	0	755	106	6	6 (0.7)
	55～59歳	827	0	652	161	8	8 (1.0)
	60～64歳	639	0	482	136	6	6 (0.9)
	65～69歳	325	0	221	93	8	8 (2.5)
	70～74歳	112	0	71	38	2	2 (0.0)
計		6,133	0	5,303	747	44	44 (0.7)
総 数		14,309	0	12,047	2,012	150	150 (1.0)



## 5

## 大腸がん検診

## 1 概 要

## 1] 精度管理

検 査 装 置	OCセンサー PLEDIA
検 査 方 法	免疫学的便潜血検査2日法
判 定 基 準	異常認めず：すべて陰性
	要 精 検：1日でも陽性

## 2 実施状況

		受診者数	異常認めず (%)		要精検 (%)	
地 域	男	30,752	28,907	(94.0)	1,845	(6.0)
	女	46,093	44,442	(96.4)	1,651	(3.6)
職 域	男	14,769	14,157	(95.9)	612	(4.1)
	女	9,681	9,383	(96.9)	298	(3.1)

## 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域	受 診 者 数	77,799	59,362	73,438	75,514	76,845
	要精検率 (%)	5.4	5.4	4.8	4.7	4.5
職 域	受 診 者 数	23,441	24,449	25,413	25,328	24,450
	要精検率 (%)	4.1	4.5	3.9	3.7	3.7

表1 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判定内訳		精検受診者数 (%)	精検結果内訳						未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	要精検 (%)		大腸がん (早期)	大腸がん (進行)	大腸がん (疑)	腫瘍・ ポリープ (10mm以上)	その他 の疾患	異 常 認めず		
男	39歳以下	248	242 (97.6)	6 (2.4)	5 (83.3)				4	1	0 (0.0)	1 (16.7)
	40～44歳	1,159	1,120 (96.6)	39 (3.4)	32 (82.1)	1	2		4	14	0 (0.0)	7 (17.9)
	45～49歳	1,407	1,353 (96.2)	54 (3.8)	32 (59.3)				6	20	4 (7.4)	18 (33.3)
	50～54歳	1,633	1,558 (95.4)	75 (4.6)	42 (56.0)	4	1	2	5	24	4 (5.3)	29 (38.7)
	55～59歳	1,492	1,430 (95.8)	62 (4.2)	37 (59.7)	2	1		8	17	3 (4.8)	22 (35.5)
	60～64歳	2,382	2,269 (95.3)	113 (4.7)	71 (62.8)	2		4	16	40	10 (8.8)	32 (28.3)
	65～69歳	5,393	5,112 (94.8)	281 (5.2)	185 (65.8)	6		4	33	115	31 (11.0)	65 (23.1)
	70～74歳	7,785	7,286 (93.6)	499 (6.4)	341 (68.3)	14	11	7	60	199	35 (7.0)	123 (24.6)
	75～79歳	5,518	5,132 (93.0)	386 (7.0)	291 (75.4)	7	4	2	27	196	35 (9.1)	60 (15.5)
	80歳以上	3,735	3,405 (91.2)	330 (8.8)	220 (66.7)	3	4	4	25	152	24 (7.3)	86 (26.1)
	計	30,752	28,907 (94.0)	1,845 (6.0)	1,256 (68.1)	39	23	23	184	781	146 (7.9)	443 (24.0)
女	39歳以下	531	512 (96.4)	19 (3.6)	12 (63.2)					5	4 (21.1)	3 (15.8)
	40～44歳	2,760	2,676 (97.0)	84 (3.0)	58 (69.0)				3	33	8 (9.5)	18 (21.4)
	45～49歳	3,279	3,171 (96.7)	108 (3.3)	77 (71.3)	1			7	36	6 (5.6)	25 (23.1)
	50～54歳	3,565	3,447 (96.7)	118 (3.3)	77 (65.3)	3	1		4	44	14 (11.9)	27 (22.9)
	55～59歳	3,599	3,492 (97.0)	107 (3.0)	81 (75.7)	2	2		3	47	9 (8.4)	17 (15.9)
	60～64歳	5,166	5,008 (96.9)	158 (3.1)	121 (76.6)	1	3		15	72	9 (5.7)	28 (17.7)
	65～69歳	7,901	7,659 (96.9)	242 (3.1)	198 (81.8)	4	4	2	13	132	11 (4.5)	33 (13.6)
	70～74歳	9,902	9,538 (96.3)	364 (3.7)	283 (77.7)	8	6	4	23	188	25 (6.9)	56 (15.4)
	75～79歳	6,091	5,821 (95.6)	270 (4.4)	216 (80.0)	9	3	2	21	137	16 (5.9)	38 (14.1)
	80歳以上	3,299	3,118 (94.5)	181 (5.5)	127 (70.2)	7	1	2	9	83	15 (8.3)	39 (21.5)
	計	46,093	44,442 (96.4)	1,651 (3.6)	1,250 (75.7)	35	20	10	98	777	117 (7.1)	284 (17.2)
総 数	76,845	73,349 (95.5)	3,496 (4.5)	2,506 (71.7)	74	43	33	282	1,558	516	263 (7.5)	727 (20.8)

表2 市町別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判定内訳		精検受診者数 (%)	精検結果内訳						未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	要精検 (%)		大腸がん (早期)	大腸がん (進行)	大腸がん (疑)	腫瘍・ ポリープ (10mm以上)	その他 の疾患	異 常 認めず		
宇都宮市	3,335	3,192 (95.7)	143 (4.3)	92 (64.3)	8	2	1	10	56	15	1 (0.7)	50 (35.0)
栃木市	10,919	10,444 (95.6)	475 (4.4)	353 (74.3)	10	7	12	31	208	85	32 (6.7)	90 (18.9)
鹿沼市	3,634	3,483 (95.8)	151 (4.2)	117 (77.5)	1	5	2	25	56	28	2 (1.3)	32 (21.2)
小山市	11,042	10,547 (95.5)	495 (4.5)	368 (74.3)	12	4	4	40	217	91	47 (9.5)	80 (16.2)
真岡市	8,571	8,161 (95.2)	410 (4.8)	274 (66.8)	4	2	3	35	160	70	50 (12.2)	86 (21.0)
大田原市	8,763	8,308 (94.8)	455 (5.2)	318 (69.9)	12	4	5	32	228	37	50 (11.0)	87 (19.1)
矢板市	3,456	3,312 (95.8)	144 (4.2)	111 (77.1)	1	4	2	14	65	25	12 (8.3)	21 (14.6)
那須塩原市	7,289	6,940 (95.2)	349 (4.8)	245 (70.2)	8	4		32	163	38	4 (1.1)	100 (28.7)
那須烏山市	2,064	1,990 (96.4)	74 (3.6)	58 (78.4)	2	1		12	34	9	3 (4.1)	13 (17.6)
下野市	4,814	4,633 (96.2)	181 (3.8)	136 (75.1)	4	3		11	93	25	16 (8.8)	29 (16.0)
益子町	2,986	2,850 (95.4)	136 (4.6)	95 (69.9)	4	4	1	10	58	18	11 (8.1)	30 (22.1)
茂木町	2,211	2,115 (95.7)	96 (4.3)	68 (70.8)	1			7	46	14	0 (0.0)	28 (29.2)
芳賀町	2,147	2,036 (94.8)	111 (5.2)	82 (73.9)	4	1		3	55	19	5 (4.5)	24 (21.6)
野木町	2,623	2,512 (95.8)	111 (4.2)	66 (59.5)	1		2	6	40	17	19 (17.1)	26 (23.4)
塩谷町	1,286	1,208 (93.9)	78 (6.1)	70 (89.7)	1	1	1	6	44	17	3 (3.8)	5 (6.4)
那珂川町	1,705	1,618 (94.9)	87 (5.1)	53 (60.9)	1	1		8	35	8	8 (9.2)	26 (29.9)
総 数	76,845	73,349 (95.5)	3,496 (4.5)	2,506 (71.7)	74	43	33	282	1,558	516	263 (7.5)	727 (20.8)

表3 性・年齢階級別判定内訳（職域検診）

		受診者数	異常認めず (%)		要精検 (%)	
男	29歳以下	571	555	(97.2)	16	(2.8)
	30～34歳	699	679	(97.1)	20	(2.9)
	35～39歳	1,697	1,641	(96.7)	56	(3.3)
	40～44歳	2,172	2,113	(97.3)	59	(2.7)
	45～49歳	2,375	2,302	(96.9)	73	(3.1)
	50～54歳	2,505	2,389	(95.4)	116	(4.6)
	55～59歳	1,946	1,861	(95.6)	85	(4.4)
	60～64歳	1,565	1,468	(93.8)	97	(6.2)
	65～69歳	822	769	(93.6)	53	(6.4)
	70歳以上	417	380	(91.1)	37	(8.9)
	計	14,769	14,157	(95.9)	612	(4.1)
女	29歳以下	579	557	(96.2)	22	(3.8)
	30～34歳	443	430	(97.1)	13	(2.9)
	35～39歳	1,145	1,102	(96.2)	43	(3.8)
	40～44歳	1,190	1,148	(96.5)	42	(3.5)
	45～49歳	1,532	1,492	(97.4)	40	(2.6)
	50～54歳	1,619	1,577	(97.4)	42	(2.6)
	55～59歳	1,481	1,440	(97.2)	41	(2.8)
	60～64歳	1,049	1,010	(96.3)	39	(3.7)
	65～69歳	480	471	(98.1)	9	(1.9)
	70歳以上	163	156	(95.7)	7	(4.3)
	計	9,681	9,383	(96.9)	298	(3.1)
総 数		24,450	23,540	(96.3)	910	(3.7)

## 6

## 子宮がん検診

## 1 概 要

## 1] 精度管理

検 査 方 法	頸部：子宮頸部の細胞診・HPV-DNA 検査 (住民：細胞診のみ、ASC-US 時 HPV-DNA 検査追加、HPV-DNA 検査併用) (事業所：ASC-US 時 HPV-DNA 検査追加) 体部：子宮体部の細胞診
処 理 方 法	頸部：細胞診（液状検体法）、HPV-DNA 検査（リアルタイム PCR 法） 体部：細胞診（直接塗抹法）
従 事 技 師	公益社団法人日本臨床細胞学会認定細胞検査士
判 定 方 法	細胞所見に基づき、判定を行う。子宮頸がんについては細胞診検査後 ASC-US 以上の場合、子宮体がんについては疑陽性以上の場合に細胞診専門医が最終的な判定を行う。
判 定 基 準	頸部：『ベセスダシステム』に準拠 体部：子宮体癌取り扱い規約『陰性・疑陽性・陽性の3段階分類』に準拠
判 定 医	公益社団法人日本臨床細胞学会認定専門医

## 2] 判定区分

## 【子宮頸がん検診】

			標 本 適 否	細 胞 診 検 査					
			不 適 正	NILM		ASC-US		ASC-H ～	
HPV検査	検 査 未 実 施		判 定 不 能	異常認めず		要 精 検		要 精 検	
	陰 性		判 定 不 能	異常認めず		精 検 不 要		要 精 検	
	陽 性		要 精 検 *1	要 精 検 *1		要 精 検	要 精 検	要 精 検	要 精 検
			判定不能 *2	精検不要 *2					
	判 定 不 能		判 定 不 能	判 定 不 能		要 精 検		要 精 検	

\*1 前回の結果（細胞診検査NILM・HPV検査陽性）かつ前回受診日6ヶ月以前

\*2 上記以外

## 【子宮体がん検診】

	異常認めず	要精検
細胞診結果 (結果分類)	陰性	疑陽性 ・ 陽性

## 2 実施状況

### 1] 地域・職域別実施状況

		方式	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)	判定不能 (%)
頸部	地域	集団検診方式	27,792	26,790 (96.4)	394 (1.4)	604 (2.2)	4 (0.0)
		医療機関方式	9,237	8,686 (94.1)	159 (1.7)	389 (4.2)	3 (0.0)
		計	37,029	35,476 (95.8)	553 (1.5)	993 (2.7)	7 (0.0)
	職域	集団検診方式	3,631	3,513 (96.8)	42 (1.2)	76 (2.1)	0 (0.0)
体部	地域	医療機関方式	3,410	3,397 (99.6)	—	13 (0.4)	—

### 【年次推移】

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
頸部	地域	受診者数	38,016	29,196	40,991	37,232	37,029
		要精検率 (%)	2.6	2.5	2.7	3.0	2.7
	職域	受診者数	3,059	3,241	3,507	3,445	3,631
		要精検率 (%)	2.2	2.7	2.7	3.1	2.1
体部	地域	受診者数	3,353	2,860	3,342	3,199	3,410
		要精検率 (%)	0.8	0.5	0.4	0.4	0.4

表1 子宮頸がん検診 検査方法別年齢階級別実施状況（地域検診）

	受診者数	細胞診結果内訳（ベセスダ分類）											HPV 結果内訳		
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	other malign	標本不適	陰性	陽性	判定不能
細胞診のみ	19歳以下	0											—	—	—
	20～24歳	11	9	1		1							—	—	—
	25～29歳	24	23		1								—	—	—
	30～34歳	13	11	1		1							—	—	—
	35～39歳	28	25	1	1	1							—	—	—
	40～44歳	163	153	4		3	3						—	—	—
	45～49歳	145	138	5		1	1						—	—	—
	50～54歳	154	148	4			2						—	—	—
	55～59歳	160	158	2									—	—	—
	60～64歳	181	178	1	1		1						—	—	—
	65～69歳	263	260	1		1	1						—	—	—
	70～74歳	310	308		1		1						—	—	—
	75～79歳	154	152	1			1						—	—	—
	80歳以上	48	48										—	—	—
計		1,654	1,611	21	4	8	10	0	0	0	0	0	—	—	—
(%)															
ASC-US時HPV追加	19歳以下	20	16			4									
	20～24歳	561	493	18	1	47	1		1				9	9	
	25～29歳	817	764	16	2	30	3		2				8	8	
	30～34歳	1,175	1,102	12	3	34	12		12				10	2	
	35～39歳	1,571	1,491	24	3	34	11		8				22	2	
	40～44歳	1,971	1,879	36	1	23	16		16				28	8	
	45～49歳	2,627	2,526	50	4	29	14		4				44	6	
	50～54歳	2,666	2,580	39	5	26	8		8				34	5	
	55～59歳	2,260	2,223	23	3	8	2		1				20	3	
	60～64歳	3,086	3,046	21	6	6	4		1			2	16	5	
	65～69歳	3,796	3,756	19	3	9	7		1		1		15	4	
	70～74歳	4,115	4,072	24	1	6	9	1				2	19	5	
	75～79歳	2,228	2,196	19	4	4	3		1			1	16	3	
	80歳以上	947	930	10	3	2	2						6	4	
計		27,840	27,074	311	39	262	92	1	55	0	1	0	247	64	0
(%)													(79.4)	(20.6)	(0.0)
HPV併用	19歳以下	6	4			2							5	1	
	20～24歳	249	215	12		19	2		1				210	39	
	25～29歳	432	378	17		28	4		5				360	72	
	30～34歳	785	705	31	3	34	6		5			1	703	81	
	35～39歳	1,017	952	32	4	20	3		5			1	932	84	
	40～44歳	1,053	973	45		17	12		6				975	77	
	45～49歳	826	774	36		12	3		1				776	50	
	50～54歳	797	748	22	7	11	7		2				756	41	
	55～59歳	516	494	14	2	4	1		1				493	23	
	60～64歳	488	470	10	1	4	3						457	31	
	65～69歳	496	492	2		1	1						482	14	
	70～74歳	436	428	4		2	2						418	18	
	75～79歳	280	275	2		1	2						261	19	
	80歳以上	154	151			1	2						145	9	
計		7,535	7,059	227	17	156	48	0	26	0	0	0	6,973	559	0
(%)													(92.4)	(7.4)	(0.0)
総数		37,029	35,744	559	60	426	150	1	81	0	1	0	7,220	623	0
(%)															

令和6年10月31日現在

判定内訳				精 検 受診者数	精検結果内訳							異常 認めず	未受診	未把握
異常 認めず	精検不要	要精検	判定不能		がん	上皮内 腺がん	上皮内がん・ 高度異形成	中等度 異形成	軽 度 異形成	その他 の疾患				
—	—	—	—	—									—	—
9	0	2	0	0									0	2
23	0	1	0	1						0	1		0	0
11	0	2	0	2					1	0	1		0	0
25	0	3	0	3					1	1	1		0	0
153	0	10	0	7				1	3	1	2		0	3
138	0	7	0	4					1	0	3		0	3
148	0	6	0	5					2	1	2		0	1
158	0	2	0	2						0	2		0	0
178	0	3	0	2	1					0	1		0	1
260	0	3	0	2					1	0	1		1	0
308	0	2	0	2				1	1	0			0	0
152	0	2	0	2					2	0			0	0
48	0	0	0	—						0			—	—
1,611	0	43	0	32	1	0	0	2	12	3	14		1	10
(97.4)	(0.0)	(2.6)	(0.0)	(74.4)									(2.3)	(23.3)
16		4		1				1					1	2
493	9	59		48				2	29	1	16		2	9
764	8	45		35				5	20	1	9		3	7
1,102	10	63		50			2	7	18	1	22		1	12
1,491	22	58		45			1	13	14	2	15		5	8
1,879	28	64		56			8	6	21	1	20		2	6
2,526	44	57		51		1	4	8	21	2	15		3	3
2,580	34	52		45				3	20	1	21		1	6
2,223	20	17		13				2	3	1	7		2	2
3,046	16	22	2	19	1		1	3	7	1	6			3
3,756	15	25		22				2	7	4	9			3
4,072	19	22	2	14	1		1	1	6	0	5		1	7
2,196	16	15	1	11					2	3	6		2	2
930	6	11		7					1	0	6		3	1
27,074	247	514	5	417	2	1	17	53	169	18	157		26	71
(97.2)	(0.9)	(1.8)	(0.0)	(81.1)									(5.1)	(13.8)
4		2		2					2					
202	16	31		24			1	5	11		7		1	6
341	38	53		45			2	1	23	2	17		1	7
675	35	74	1	61			4	5	34	3	15		3	10
911	49	56	1	50			6	6	17	1	20			6
942	49	62		47		1	2	5	17	4	18		1	14
750	42	34		30	1		1	1	16	2	9			4
733	30	34		31			4	4	14	2	7		1	2
484	9	23		20	1			1	10	1	7		1	2
450	15	23		16				2	5	0	9		3	4
479	6	11		9				1		0	8			2
416	4	16		15				2	6	0	7		1	
260	10	10		7					2	1	4			3
144	3	7		4					2	0	2		2	1
6,791	306	436	2	361	2	1	20	33	159	16	130		14	61
(90.1)	(4.1)	(5.8)	(0.0)	(82.8)									(3.2)	(14.0)
35,476	553	993	7	810	5	2	37	88	340	37	301		41	142
(95.8)	(1.5)	(2.7)	(0.0)	(81.6)									(4.1)	(14.3)

表2 子宮頸がん検診 市町別検査方法別実施状況

		受診 者数	細胞診結果内訳（ベセスダ分類）										HPV 結果内訳			
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	other malig.	標本 不適	陰性	陽性	判定 不能
宇都宮市	細胞診のみ	1,654	1,611	21	4	8	10							—	—	—
足利市	HPV 併用	83	78	3		2								79	3	0
	HPV 追加	2,230	2,184	23		13	8		2					19	4	0
栃木市	HPV 追加	7,990	7,708	100	14	114	22		31			1	76	24	0	0
鹿沼市	HPV 追加	2,720	2,598	35	5	44	20		15		1	2	27	8	0	0
小山市	HPV 併用	3,265	3,075	79	5	75	21		9			1	3,000	264	0	0
真岡市	HPV 追加	4,559	4,449	53	4	34	14		5				44	9	0	0
大田原市	HPV 併用	527	474	33	1	11	4		4				486	41	0	0
	HPV 追加	3,414	3,348	35	6	17	7		1				31	4	0	0
矢板市	HPV 追加	1,520	1,485	22	2	9	2						17	5	0	0
那須塩原市	HPV 併用	861	789	41	4	16	5		6				805	56	0	0
	HPV 追加	1,768	1,734	16	5	9	4						11	5	0	0
那須烏山市	HPV 併用	22	21			1							21	1	0	0
	HPV 追加	838	821	8		2	3	1	1			2	7	1	0	0
下野市	HPV 併用	1,577	1,482	45	4	32	12		2				1,461	116	0	0
益子町	HPV 追加	1,325	1,299	10	3	8	5						7	3	0	0
茂木町	HPV 併用	332	322	3		4	2		1				320	12	0	0
	HPV 追加	13	11	1		1							1	0	0	0
芳賀町	HPV 併用	306	285	8	2	8	2		1				286	20	0	0
	HPV 追加	67	67										—	—	—	—
野木町	HPV 併用	562	533	15	1	7	2		3			1	515	46	0	0
塩谷町	HPV 追加	644	629	6		5	4						5	1	0	0
那珂川町	HPV 追加	752	741	2		6	3						2	0	0	0

※「ASC-US時HPV追加」は「HPV追加」と略した

## 【子宮頸がん検診実施方法】

実 施 方 法	市 町 名
細胞診のみ	宇都宮市
HPV 追加	鹿沼市、栃木市、真岡市、矢板市、益子町、塩谷町、那珂川町、芳賀町（医療機関方式）
HPV 併用	小山市、下野市、野木町、芳賀町（医療機関方式以外）
HPV 併用+HPV 追加	足利市（30、35、40歳の希望者）、那須塩原市（30歳から59歳）、大田原市（25歳から45歳）、那須烏山市（31・36・41歳）、茂木町（30歳以上）



令和6年10月31日現在

	判定内訳				精検 受診者数 (%)	精検結果内訳							異常 認めず	未受診 (%)	未把握 (%)
	異常 認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)	判定不能 (%)		がん	上皮内腺 がん	上皮内がん・ 高度異形成	中等度 異形成	軽度 異形成	その他の 疾患				
	1,611 (97.4)	0 (0.0)	43 (2.6)	0 (0.0)	32 (1.9)	1			2	12	3	14	1 (2.3)	10 (23.3)	
	78 (94.0)	1 (1.2)	4 (4.8)	0 (0.0)	4 (4.8)					2	1	1	0 (0.0)	0 (0.0)	
	2,184 (97.9)	19 (0.9)	27 (1.2)	0 (0.0)	20 (0.9)			3	1	7	2	7	3 (11.1)	4 (14.8)	
	7,708 (96.5)	76 (1.0)	205 (2.6)	1 (0.0)	162 (2.0)			2	22	69	5	64	15 (7.3)	28 (13.7)	
	2,598 (95.5)	27 (1.0)	93 (3.4)	2 (0.1)	82 (3.0)	1		7	12	32	4	26	1 (1.1)	10 (10.8)	
	2,941 (90.1)	124 (3.8)	199 (6.1)	1 (0.0)	161 (4.9)			8	11	72	5	65	9 (4.5)	29 (14.6)	
	4,449 (97.6)	44 (1.0)	66 (1.4)	0 (0.0)	57 (1.3)			3	5	25	3	21	1 (1.5)	8 (12.1)	
	461 (87.5)	34 (6.5)	32 (6.1)	0 (0.0)	27 (5.1)			3	4	4	3	13	1 (3.1)	4 (12.5)	
	3,348 (98.1)	31 (0.9)	35 (1.0)	0 (0.0)	29 (0.8)		1			8	2	18	1 (2.9)	5 (14.3)	
	1,485 (97.7)	17 (1.1)	18 (1.2)	0 (0.0)	16 (1.1)				3	8	0	5	0 (0.0)	2 (11.1)	
	770 (89.4)	43 (5.0)	48 (5.6)	0 (0.0)	39 (4.5)		1	2	3	22	2	9	1 (2.1)	8 (16.7)	
	1,734 (98.1)	11 (0.6)	23 (1.3)	0 (0.0)	16 (0.9)				4	8	0	4	2 (8.7)	5 (21.7)	
	20 (90.9)	1 (4.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	1 (4.5)						0	1	0 (0.0)	1 (100.0)	
	821 (98.0)	7 (0.8)	8 (1.0)	2 (0.2)	7 (0.8)	1		1	1	2	0	2	0 (0.0)	0 (0.0)	
	1,425 (90.4)	59 (3.7)	93 (5.9)	0 (0.0)	84 (5.3)	1		7	10	42	2	22	2 (2.2)	7 (7.5)	
	1,299 (98.0)	7 (0.5)	19 (1.4)	0 (0.0)	15 (1.1)			1	4	5	2	3	1 (5.3)	3 (15.8)	
	316 (95.2)	7 (2.1)	9 (2.7)	0 (0.0)	7 (2.1)				2	1	1	3	0 (0.0)	2 (22.2)	
	11 (84.6)	1 (7.7)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (7.7)						0	1	0 (0.0)	0 (0.0)	
	277 (90.5)	7 (2.3)	22 (7.2)	0 (0.0)	17 (5.6)	1			1	7	2	6	1 (4.5)	4 (18.2)	
	67 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)						0		0 (0.0)	0 (0.0)	
	503 (89.5)	30 (5.3)	28 (5.0)	1 (0.2)	21 (3.7)				2	9	1	9	0 (0.0)	7 (25.0)	
	629 (97.7)	5 (0.8)	10 (1.6)	0 (0.0)	7 (1.1)				1	3	0	3	1 (10.0)	2 (20.0)	
	741 (98.5)	2 (0.3)	9 (1.2)	0 (0.0)	5 (0.7)					2	0	3	1 (11.1)	3 (33.3)	

表3 子宮頸がん検診 年齢階級別実施状況（職域検診・ASC-US時HPV追加）

	受診者数	細胞診結果内訳（ベセスダ分類）										標本不適	HPV結果内訳			判定内訳			
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	other malign		陰性	陽性	判定不能	異常認めず	精検不要	要精検	判定不能
19歳以下	0												-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	114	105	1		8								0	1	0	105	0	9	0
25～29歳	249	232	7	1	8	1							4	3	0	232	4	13	0
30～34歳	335	321	5	1	6	2							3	2	0	321	3	11	0
35～39歳	409	398	3		4	3		1					2	1	0	398	2	9	0
40～44歳	458	435	10	1	10	2							8	2	0	435	8	15	0
45～49歳	537	517	13	1	2	3		1					12	1	0	517	12	8	0
50～54歳	573	563	7		1	2							7	0	0	563	7	3	0
55～59歳	487	478	4		3	2							4	0	0	478	4	5	0
60～64歳	313	310	1	2									1	0	0	310	1	2	0
65～69歳	131	129	1			1							1	0	0	129	1	1	0
70～74歳	24	24											-	-	-	24	0	0	0
75～79歳	1	1											-	-	-	1	0	0	-
80歳以上	0												-	-	-	-	-	-	-
計	3,631	3,513	52	6	42	16	0	2	0	0	0	0	42	10	0	3,513	42	76	0
(%)													(96.8)			(96.8)	(1.2)	(2.1)	(0.0)

表4 子宮体がん検診 年齢階級別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判定内訳		精検受診者数	精検結果内訳					
		異常認めず	要精検		子宮体がん	子宮内 膜異型増殖症	子宮内 膜増殖症	子宮内 膜増殖症	その他の疾患	異常認めず
19歳以下	0	0	0	-						
20～24歳	9	9	0	-						
25～29歳	47	47	0	-						
30～34歳	109	109	0	-						
35～39歳	190	189	1	1						1
40～44歳	438	438	0	-						
45～49歳	673	672	1	1						1
50～54歳	700	696	4	3						3
55～59歳	402	401	1	1						1
60～64歳	289	286	3	3						3
65～69歳	220	220	0	-						
70～74歳	208	206	2	2					1	1
75～79歳	85	85	0	-						
80歳以上	40	39	1	0						
総数	3,410	3,397	13	11	0	0	0	0	1	10
(%)		(99.6)	(0.4)	(84.6)						

表5 子宮体がん検診 市町別実施状況

令和6年10月31日現在

	受診者数	判定内訳				精検受診者数	(%)	精検結果内訳				
		異常認めず	(%)	要精検	(%)			子宮体がん	子宮内 膜異型増殖症	子宮内 膜増殖症	その他 の疾患	異常認めず
鹿沼市	314	314	(100.0)	0	(0.0)	—	—					
栃木市	1,048	1,041	(99.3)	7	(0.7)	5	(71.4)					5
小山市	483	483	(100.0)	0	(0.0)	—	—					
真岡市	1,477	1,473	(99.7)	4	(0.3)	4	(100.0)				1	3
芳賀町	35	35	(100.0)	0	(0.0)	—	—					
茂木町	17	16	(94.1)	1	(5.9)	1	(100.0)					1
野木町	36	35	(97.2)	1	(2.8)	1	(100.0)					1
総 数	3,410	3,397	(99.6)	13	(0.4)	11	(84.6)	0	0	0	1	10

## 7

## 乳がん検診

## 1 概 要

## 1] 精度管理

## 【マンモグラフィ】

撮 影 方 式	FPD方式
撮 影 装 置	マンモグラフィガイドラインに準拠
撮 影 線 量	マンモグラフィガイドラインに準拠
撮 影 技 師	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構認定技師
読 影 方 法	二重読影及び比較読影
読 影 医	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構読影認定医

## 【乳房超音波】

検 査 装 置	乳房超音波診断ガイドラインに準拠
検 査 方 法	乳房超音波診断ガイドラインに準拠
検 査 技 師	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構「乳がん検診超音波検査実施技師」
読 影 方 法	乳房超音波診断ガイドラインに準拠
読 影 医	公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導医 NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構「乳がん検診超音波検査実施・判定医師」

## 2] 判定区分

## 【マンモグラフィと乳房超音波による分離併用総合判定方式】

判 定 対 象	マンモグラフィもしくは乳房超音波の少なくともどちらか一方で要精検となった症例
判 定 方 法	マンモグラフィの情報なしで実施された乳房超音波と、マンモグラフィの画像を比較検討する
判 定 基 準	マンモグラフィと乳房超音波の総合判定マニュアルに準拠

\*マンモグラフィまたは乳房超音波のみの受診者については、それぞれ単独で判定する

## 2 実施状況

	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
地 域	48,952	24,699 (50.5)	22,557 (46.1)	1,696 (3.4)
職 域	5,004	2,573 (51.4)	2,206 (44.1)	225 (4.5)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域 受 診 者 数	51,089	37,373	47,387	48,476	48,952
要精検率 (%)	3.6	3.8	4.1	4.2	3.5
職 域 受 診 者 数	4,107	4,390	4,874	4,868	5,004
要精検率 (%)	5.3	4.4	5.3	5.7	4.5

表1 年齢階級別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)		乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	163	94 (57.7)	65 (39.9)	4 (2.5)	3 (75.0)				3		0 (0.0)	1 (25.0)
30～34歳	1,668	839 (50.3)	760 (45.6)	69 (4.1)	59 (85.5)	1	1	1	47	9	2 (2.9)	8 (11.6)
35～39歳	3,251	1,504 (46.3)	1,627 (50.0)	120 (3.7)	106 (88.3)	7		3	74	22	2 (1.7)	12 (10.0)
40～44歳	4,178	1,603 (38.4)	2,297 (55.0)	278 (6.7)	244 (87.8)	5	1	6	164	68	5 (1.8)	29 (10.4)
45～49歳	4,615	1,696 (36.7)	2,678 (58.0)	241 (5.2)	209 (86.7)	13	3	5	139	49	2 (0.8)	30 (12.4)
50～54歳	4,553	2,017 (44.3)	2,335 (51.3)	201 (4.4)	176 (87.6)	12	2	5	117	40	2 (1.0)	23 (11.4)
55～59歳	4,101	2,174 (53.0)	1,813 (44.2)	114 (2.8)	102 (89.5)	7	2	5	55	33	3 (2.6)	9 (7.9)
60～64歳	5,271*	2,975 (56.4)	2,133 (40.5)	162 (3.1)	144 (88.9)	16	2	7	72	47	4 (2.5)	14 (8.6)
65～69歳	6,802	3,786 (55.7)	2,852 (41.9)	164 (2.4)	149 (90.9)	16	2	4	80	47	1 (0.6)	14 (8.5)
70～74歳	7,776	4,344 (55.9)	3,230 (41.5)	202 (2.6)	188 (93.1)	24	4	6	91	63	1 (0.5)	13 (6.4)
75～79歳	4,540	2,556 (56.3)	1,891 (41.7)	93 (2.0)	88 (94.6)	18		3	36	31	1 (1.1)	4 (4.3)
80歳以上	2,035	1,111 (54.6)	876 (43.0)	48 (2.4)	43 (89.6)	5		1	23	14	1 (2.1)	4 (8.3)
総 数	48,953*	24,699 (50.5)	22,557 (46.1)	1,696 (3.5)	1,511 (89.1)	124	17	46	901	423	24 (1.4)	161 (9.5)

\*判定不能含む

表2 年齢階級別実施状況（マンモグラフィ＋乳房超音波―地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)		乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	8	6 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	—	—	—	—	—	—	—	—
30～34歳	155	75 (48.4)	66 (42.6)	14 (9.0)	13 (92.9)			1	8	4	1 (7.1)	0 (0.0)
35～39歳	745	318 (42.7)	375 (50.3)	52 (7.0)	46 (88.5)	3		2	26	15	2 (3.8)	4 (7.7)
40～44歳	4,075	1,548 (38.0)	2,253 (55.3)	274 (6.7)	240 (87.6)	5	1	6	160	68	5 (1.8)	29 (10.6)
45～49歳	4,575	1,686 (36.9)	2,652 (58.0)	237 (5.2)	206 (86.9)	13	3	5	136	49	2 (0.8)	29 (12.2)
50～54歳	4,522	2,008 (44.4)	2,314 (51.2)	200 (4.4)	175 (87.5)	12	2	5	116	40	2 (1.0)	23 (11.5)
55～59歳	4,064	2,149 (52.9)	1,801 (44.3)	114 (2.8)	102 (89.5)	7	2	5	55	33	3 (2.6)	9 (7.9)
60～64歳	5,225*	2,950 (56.5)	2,112 (40.4)	162 (3.1)	144 (88.9)	16	2	7	72	47	4 (2.5)	14 (8.6)
65～69歳	6,762	3,757 (55.6)	2,841 (42.0)	164 (2.4)	149 (90.9)	16	2	4	80	47	1 (0.6)	14 (8.5)
70～74歳	7,726	4,320 (55.9)	3,204 (41.5)	202 (2.6)	188 (93.1)	24	4	6	91	63	1 (0.5)	13 (6.4)
75～79歳	4,483	2,520 (56.2)	1,870 (41.7)	93 (2.1)	88 (94.6)	18		3	36	31	1 (1.1)	4 (4.3)
80歳以上	1,986	1,082 (54.5)	856 (43.1)	48 (2.4)	43 (89.6)	5		1	23	14	1 (2.1)	4 (8.3)
総 数	44,326*	22,419 (50.6)	20,346 (45.9)	1,560 (3.5)	1,394 (89.4)	119	16	45	803	411	23 (1.5)	143 (9.2)

\*判定不能含む

表3 年齢階級別実施状況（乳房超音波のみ―地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)		乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	155	88 (56.8)	63 (40.6)	4 (2.6)	3 (75.0)				3		0 (0.0)	1 (25.0)
30～34歳	1,513	764 (50.5)	694 (45.9)	55 (3.6)	46 (83.6)	1	1		39	5	1 (1.8)	8 (14.5)
35～39歳	2,506	1,186 (47.3)	1,252 (50.0)	68 (2.7)	60 (88.2)	4		1	48	7	0 (0.0)	8 (11.8)
40～44歳	103	55 (53.4)	44 (42.7)	4 (3.9)	4 (100.0)				4		0 (0.0)	0 (0.0)
45～49歳	40	10 (25.0)	26 (65.0)	4 (10.0)	3 (75.0)				3		0 (0.0)	1 (25.0)
50～54歳	31	9 (29.0)	21 (67.7)	1 (3.2)	1 (100.0)				1		0 (0.0)	0 (0.0)
55～59歳	37	25 (67.6)	12 (32.4)	0 (0.0)	－	－					－	－
60～64歳	46	25 (54.3)	21 (45.7)	0 (0.0)	－	－					－	－
65～69歳	40	29 (72.5)	11 (27.5)	0 (0.0)	－	－					－	－
70～74歳	50	24 (48.0)	26 (52.0)	0 (0.0)	－	－					－	－
75～79歳	57	36 (63.2)	21 (36.8)	0 (0.0)	－	－					－	－
80歳以上	49	29 (59.2)	20 (40.8)	0 (0.0)	－	－					－	－
総 数	4,627	2,280 (49.3)	2,211 (47.8)	136 (2.9)	117 (86.0)	5	1	1	98	12	1 (0.7)	18 (13.2)

表4 市町別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)		乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
宇都宮市	1,409	739 (52.4)	570 (40.5)	100 (7.1)	82 (82.0)	5		2	56	19	0 (0.0)	18 (18.0)
足 利 市	2,790	1,484 (53.2)	1,219 (43.7)	87 (3.1)	81 (93.1)	10	1	4	38	28	0 (0.0)	6 (6.9)
栃 木 市	5,621	2,451 (43.6)	2,934 (52.2)	236 (4.2)	212 (89.8)	19	4	4	105	80	5 (2.1)	19 (8.1)
鹿 沼 市	2,570	1,361 (53.0)	1,104 (43.0)	105 (4.1)	94 (89.5)	9	2	1	57	25	0 (0.0)	11 (10.5)
小 山 市	7,036	3,732 (53.0)	3,073 (43.7)	231 (3.3)	214 (92.6)	17	1	9	106	81	4 (1.7)	13 (5.6)
真 岡 市	2,468 *	1,303 (52.8)	1,095 (44.4)	69 (2.8)	63 (91.3)	2		8	34	19	1 (1.4)	5 (7.2)
大田原市	6,077	2,993 (49.3)	2,889 (47.5)	195 (3.2)	170 (87.2)	13	2	4	118	33	2 (1.0)	23 (11.8)
矢 板 市	2,548	1,279 (50.2)	1,192 (46.8)	77 (3.0)	68 (88.3)	5	2	1	49	11	2 (2.6)	7 (9.1)
那須塩原市	5,348	2,697 (50.4)	2,462 (46.0)	189 (3.5)	160 (84.7)	16	1	3	116	24	0 (0.0)	29 (15.3)
那須烏山市	1,285	614 (47.8)	643 (50.0)	28 (2.2)	26 (92.9)	1		2	18	5	2 (7.1)	0 (0.0)
下 野 市	4,305	2,122 (49.3)	2,043 (47.5)	140 (3.3)	128 (91.4)	8	1		85	34	4 (2.9)	8 (5.7)
益 子 町	1,811	939 (51.8)	811 (44.8)	61 (3.4)	52 (85.2)	5	1	3	27	16	1 (1.6)	8 (13.1)
茂 木 町	561	306 (54.5)	231 (41.2)	24 (4.3)	21 (87.5)	0	1		13	7	0 (0.0)	3 (12.5)
芳 賀 町	1,458	761 (52.2)	664 (45.5)	33 (2.3)	31 (93.9)	4	1		15	11	0 (0.0)	2 (6.1)
野 木 町	1,611	844 (52.4)	719 (44.6)	48 (3.0)	44 (91.7)	6		3	19	16	3 (6.3)	1 (2.1)
塩 谷 町	905	474 (52.4)	409 (45.2)	22 (2.4)	22 (100.0)	1		1	16	4	0 (0.0)	0 (0.0)
那珂川町	1,150	600 (52.2)	499 (43.4)	51 (4.4)	43 (84.3)	3		1	29	10	0 (0.0)	8 (15.7)
総 数	48,953 *	24,699 (50.5)	22,557 (46.1)	1,696 (3.5)	1,511 (89.1)	124	17	46	901	423	24 (1.4)	161 (9.5)

\*判定不能含む

表5 年齢階級別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず (%)		精検不要 (%)		要 精 検 (%)	
29歳以下	543	240	(44.2)	278	(51.2)	25	(4.6)
30～34歳	460	220	(47.8)	223	(48.5)	17	(3.7)
35～39歳	537	247	(46.0)	261	(48.6)	29	(5.4)
40～44歳	607	299	(49.3)	265	(43.7)	43	(7.1)
45～49歳	742	337	(45.4)	364	(49.1)	41	(5.5)
50～54歳	752	389	(51.7)	335	(44.5)	28	(3.7)
55～59歳	644	405	(62.9)	218	(33.9)	21	(3.3)
60～64歳	463	286	(61.8)	160	(34.6)	17	(3.7)
65～69歳	202	116	(57.4)	84	(41.6)	2	(1.0)
70歳以上	54	34	(63.0)	18	(33.3)	2	(3.7)
総 数	5,004	2,573	(51.4)	2,206	(44.1)	225	(4.5)

表6 方式別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず (%)		精検不要 (%)		要 精 検 (%)	
マンモグラフィ + 乳房超音波	2,242	1,058	(47.2)	1,082	(48.3)	102	(4.5)
マンモグラフィのみ	618	533	(86.2)	56	(9.1)	29	(4.7)
乳房超音波のみ	2,144	982	(45.8)	1,068	(49.8)	94	(4.4)

表7 方式・年齢階級別受診状況（職域検診）

	受診者数	29歳以下 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60歳以上 (%)
マンモグラフィ + 乳房超音波	2,242	0 (0.0)	46 (2.1)	828 (36.9)	936 (41.7)	432 (19.3)
マンモグラフィのみ	618	0 (0.0)	22 (3.6)	253 (40.9)	232 (37.5)	111 (18.0)
乳房超音波のみ	2,144	543 (25.3)	929 (43.3)	268 (12.5)	228 (10.6)	176 (8.2)

## 8

## 前立腺がん検診

## 1 概 要

## 1] 精度管理

検 査 装 置	LUMIPULSE G1200 Plus
検 査 方 法	化学発光酵素免疫測定法（CLEIA 法）
判 定 基 準	前立腺がん検診ガイドライン（日本泌尿器科学会）を参考とした 年齢階層別 PSA 基準値

前立腺がん検診における判定区分の追加

がん検診の対象者は無症状の健常者であることが原則だが、前立腺がん治療中や観察中で検診を受診した場合の判定として「要継続通院」を追加した。

## 2 実施状況

	受診者数	異常認めず (%)	要継続通院 (%)	要精検 (%)
地 域	27,421	25,189 (91.9)	108 (0.4)	2,124 (7.7)
職 域	4,106	3,886 (94.7)	14 (0.3)	206 (5.0)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域 受 診 者 数	27,184	21,020	25,142	26,634	27,421
要精検率 (%)	9.1	8.8	8.2	7.9	7.7
職 域 受 診 者 数	3,455	3,744	3,790	3,862	4,106
要精検率 (%)	4.9	5.2	5.3	5.6	5.0

表1 年齢階級別実施状況（地域検診）

令和6年10月31日現在

	受診 者数	判 定 内 訳				精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)	
		異常認めず (%)	要継続通院 (%)	要精検 (%)		精検受診者数 (%)		前立腺 がん	前立腺 がん (疑)			その 他 異 常 の 疾 患 認 め ず
39歳以下	7	7 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—				—	—
40～44歳	67	67 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—				—	—
45～49歳	227	223 (98.2)	0 (0.0)	4 (1.8)	4 (1.8)	4 (100.0)		1	1	2	0 (0.0)	0 (0.0)
50～54歳	1,757	1,718 (97.8)	0 (0.0)	39 (2.2)	39 (2.2)	30 (76.9)	1	5	8	16	0 (0.0)	9 (23.1)
55～59歳	1,652	1,572 (95.2)	0 (0.0)	80 (4.8)	80 (4.8)	49 (61.3)	3	10	14	22	4 (5.0)	27 (33.8)
60～64歳	2,557	2,360 (92.3)	3 (0.1)	194 (7.6)	194 (7.6)	128 (66.0)	4	33	40	51	12 (6.2)	54 (27.8)
65～69歳	5,381	4,947 (91.9)	10 (0.2)	424 (7.9)	424 (7.9)	311 (73.3)	17	82	97	115	25 (5.9)	88 (20.8)
70～74歳	7,397	6,827 (92.3)	23 (0.3)	547 (7.4)	547 (7.4)	385 (70.4)	30	97	152	106	25 (4.6)	137 (25.0)
75～79歳	5,034	4,531 (90.0)	31 (0.6)	472 (9.4)	472 (9.4)	360 (76.3)	16	114	120	110	26 (5.5)	86 (18.2)
80歳以上	3,342	2,937 (87.9)	41 (1.2)	364 (10.9)	364 (10.9)	270 (74.2)	20	74	105	71	24 (6.6)	70 (19.2)
総 数	27,421	25,189 (91.9)	108 (0.4)	2,124 (7.7)	2,124 (7.7)	1,537 (72.4)	91	416	537	493	116 (5.5)	471 (22.2)



表2 市町別実施状況

令和6年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	要継続通院 (%)	要精検 (%)		前立腺 が ん	前立腺 が ん (疑)	その他 の疾患	異 常 認 め ず		
宇都宮市	1,168	1,085 (92.9)	3 (0.3)	80 (6.8)	47 (58.8)	5	14	17	11	0 (0.0)	33 (41.3)
栃 木 市	4,280	3,867 (90.4)	32 (0.7)	381 (8.9)	288 (75.6)	4	90	115	79	28 (7.3)	65 (17.1)
鹿 沼 市	826	773 (93.6)	0 (0.0)	53 (6.4)	39 (73.6)	7	14	8	10	0 (0.0)	14 (26.4)
小 山 市	3,848	3,443 (89.5)	20 (0.5)	385 (10.0)	298 (77.4)	23	49	130	96	25 (6.5)	62 (16.1)
真 岡 市	3,372	3,145 (93.3)	13 (0.4)	214 (6.3)	170 (79.4)	8	37	61	64	12 (5.6)	32 (15.0)
大田原市	3,365	3,148 (93.6)	6 (0.2)	211 (6.3)	159 (75.4)	12	54	55	38	10 (4.7)	42 (19.9)
矢 板 市	1,282	1,193 (93.1)	3 (0.2)	86 (6.7)	62 (72.1)	6	10	21	25	7 (8.1)	17 (19.8)
那須塩原市	2,491	2,279 (91.5)	11 (0.4)	201 (8.1)	122 (60.7)	11	52	27	32	0 (0.0)	79 (39.3)
那須烏山市	831	767 (92.3)	1 (0.1)	63 (7.6)	43 (68.3)	1	14	6	22	7 (11.1)	13 (20.6)
下 野 市	1,443	1,307 (90.6)	7 (0.5)	129 (8.9)	95 (73.6)	1	25	29	40	10 (7.8)	24 (18.6)
益 子 町	1,138	1,064 (93.5)	3 (0.3)	71 (6.2)	57 (80.3)	2	17	18	20	1 (1.4)	13 (18.3)
茂 木 町	286	271 (94.8)	0 (0.0)	15 (5.2)	5 (33.3)		1	1	3	0 (0.0)	10 (66.7)
芳 賀 町	931	859 (92.3)	1 (0.1)	71 (7.6)	46 (64.8)	2	13	12	19	2 (2.8)	23 (32.4)
野 木 町	927	848 (91.5)	5 (0.5)	74 (8.0)	51 (68.9)	6	13	15	17	10 (13.5)	13 (17.6)
塩 谷 町	531	495 (93.2)	1 (0.2)	35 (6.6)	25 (71.4)	2	5	8	10	4 (11.4)	6 (17.1)
那珂川町	702	645 (91.9)	2 (0.3)	55 (7.8)	30 (54.5)	1	8	14	7	0 (0.0)	25 (45.5)
総 数	27,421	25,189 (91.9)	108 (0.4)	2,124 (7.7)	1,537 (72.4)	91	416	537	493	116 (5.5)	471 (22.2)

表3 年齢階級別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず (%)	要継続通院 (%)	要精検 (%)
29歳以下	17	17 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
30～34歳	27	27 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
35～39歳	48	48 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
40～44歳	60	60 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
45～49歳	228	224 (98.2)	0 (0.0)	4 (1.8)
50～54歳	1,388	1,346 (97.0)	2 (0.1)	40 (2.9)
55～59歳	1,136	1,085 (95.5)	2 (0.2)	49 (4.3)
60～64歳	780	702 (90.0)	6 (0.8)	72 (9.2)
65～69歳	269	240 (89.2)	3 (1.1)	26 (9.7)
70歳以上	153	137 (89.5)	1 (0.7)	15 (9.8)
総 数	4,106	3,886 (94.6)	14 (0.3)	206 (5.0)

## 学 域 ・ 母 子 保 健

- 1 心 臓 検 診
- 2 腎臓検診（尿検査）
- 3 寄 生 虫 卵 検 査
- 4 小児生活習慣病予防健診
- 5 貧 血 検 査
- 6 脂 質 検 査
- 7 血 清 検 査
- 8 骨粗しょう症検診
- 9 結 核 検 診
- 10 先天性代謝異常等検査

1	心 臓 検 診
---	---------

## 1 概 要

### 1] 目 的

突然死の防止と心疾患児の適正管理

### 2] 根拠法令

学校保健安全法

### 3] 対 象

小学校1年生、中学校1年生、高等学校1年生及びその他の学年

### 4] 検診方法

#### (1) 心電図・心音図方式

心臓病調査票と標準12誘導心電図検査・2点3心音図検査を実施し、判定の結果要精検となった者は、医療機関で精密検査を受診して管理区分を決定した。

#### (2) 標準12誘導心電図方式

心臓病調査票と標準12誘導心電図検査を実施し、判定の結果要精検となった者は、医療機関で精密検査を受診して管理区分を決定した。

※他学年は、実施主体が定める検診方式により実施。((1)、(2)いずれかを選択)

### 5] 判定方法

「栃木県の学校心臓検診における管理基準と判定基準」をもとに、県立学校の児童・生徒は「栃木県児童生徒健康管理委員会」で、市町立及び私立校の児童・生徒は「宇都宮市医師会心臓検診委員会」で判定した。

## 2 実施状況

表1 検診方式別実施状況

			標準12誘導心電図・心音方式		標準12誘導心電図方式	
			受診者数	有所見者数 (%)	受診者数	有所見者数 (%)
小 学 校	1年生	男	3,843	218 (5.7)	-	-
		女	3,408	138 (4.0)	-	-
		計	7,251	356 (4.9)	-	-
	他学年	男	1,656	107 (6.5)	2,275	112 (4.9)
		女	1,529	72 (4.7)	2,183	109 (5.0)
		計	3,185	179 (5.6)	4,458	221 (5.0)
中 学 校	1年生	男	4,263	304 (7.1)	-	-
		女	3,996	237 (5.9)	-	-
		計	8,259	541 (6.6)	-	-
	他学年	男	-	-	46	6 (13.0)
		女	-	-	61	4 (6.6)
		計	-	-	107	10 (9.3)
高 等 学 校	1年生	男	-	-	6,379	555 (8.7)
		女	-	-	5,860	318 (5.4)
		計	-	-	12,239	873 (7.1)
	他学年	男	-	-	2,570	170 (6.6)
		女	-	-	1,533	89 (5.8)
		計	-	-	4,103	259 (6.3)
総 数		男	9,762	629 (6.4)	11,270	843 (7.5)
		女	8,933	447 (5.0)	9,637	520 (5.4)
		計	18,695	1,076 (5.8)	20,907	1,363 (6.5)

### 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
標準12誘導心電図・心音図方式	受診者数	20,128	19,865	19,672	19,159	18,695
	有所見率 (%)	2.3	2.6	2.6	5.5*	5.8
標準12誘導心電図方式	受診者数	23,983	23,848	21,279	21,500	20,907
	有所見率 (%)	6.8	6.8	7.6	6.3	6.5

\*検診方式の変更により増加

表2 郡市別実施状況（小学校1年生）

		計	鹿沼市	日光市	芳賀	下都賀 (小山)	塩谷	那須	南那須	私立	県立
受診状況	在籍者数	7,265	683	431	1,069	2,339	829	1,581	204	2	127
	受診者数	7,251	681	431	1,069	2,338	829	1,575	203	2	123
	(%)	(99.8)	(99.7)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(99.6)	(99.5)	(100.0)	(96.9)
	有所見者数	564	54	28	76	173	66	121	16	1	29
	(%)	(7.8)	(7.9)	(6.5)	(7.1)	(7.4)	(8.0)	(7.7)	(7.9)	(50.0)	(23.6)
	有所見内訳										
	調査票10点以上	351	32	14	47	109	40	74	10	0	25
	学校医所見	14	0	1	3	6	1	2	0	0	1
	心電図所見	243	28	17	30	71	28	49	6	1	13
	心音図所見	31	2	2	2	9	3	6	0	1	6
先天性心疾患	対象者数	356	37	21	47	107	39	76	10	1	18
	受診者数	310	33	20	40	99	36	62	8	0	12
	(%)	(4.3)	(4.8)	(4.6)	(3.7)	(4.2)	(4.3)	(3.9)	(3.9)	(0.0)	(9.8)
	有所見者数	222	20	12	24	71	25	51	7	0	12
	(%)	(3.1)	(2.9)	(2.8)	(2.2)	(3.0)	(3.0)	(3.2)	(3.4)	(0.0)	(9.8)
	心室中隔欠損	24	3	2	4	9	1	3	0	0	2
	心室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心房中隔欠損	10	3	0	2	1	0	2	0	0	2
	心房中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	房室中隔欠損	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	房室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精密検査有所見内訳	動脈管開存	6	1	0	1	3	0	0	0	0	1
	動脈管開存疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ファロー四徴症	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0
	ファロー四徴症疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肺動脈狭窄・閉鎖	4	0	0	0	1	1	1	0	0	1
	大血管転位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大血管転位疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（複雑心奇形）	9	2	0	0	1	2	1	0	0	3
	右胸心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	58	9	2	7	17	4	9	0	0	10
後天性心疾患	弁 障 害	35	1	0	7	12	1	7	3	0	4
	川崎病既往（後遺症なし）	40	2	1	4	13	6	13	1	0	0
	川崎病既往（後遺症あり）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心筋炎既往	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	僧帽弁逸脱症	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	43	2	1	5	15	6	13	1	0	0
	心筋症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（心臓腫瘍を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心雑音・心音異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心電図異常	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	房室ブロックⅠ度	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	房室ブロックⅡ度	4	0	0	0	1	3	0	0	0	0
	高度房室ブロック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不完全右脚ブロック	33	2	1	1	10	6	8	3	0	2
	その他の脚ブロック	8	1	2	1	3	0	1	0	0	0
	軸偏位	9	0	2	2	4	0	1	0	0	0
	WPW・LGL症候群他	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0
	異常ST-T・T変化	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	異常Q波	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
その他	QT延長	8	1	1	2	4	0	0	0	0	0
	心室期外収縮	15	3	1	1	2	3	4	1	0	0
	上室期外収縮	21	3	3	1	5	4	4	1	0	0
	その他の高度の不整脈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	17	0	2	0	7	3	5	0	0	0
	計	123	11	12	9	38	19	27	5	0	2
	管理区分										
	A（在宅医療・入院が必要）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B（登校はできるが運動は不可）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C（軽い運動は可）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	D（中程度の運動まで可）	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	E（強い運動も可）	140	15	6	20	43	14	29	4	0	9
	管理不要	80	5	6	4	28	10	22	3	0	2

表3 郡市別実施状況（中学校1年生）

		計	鹿沼市	日光市	芳賀	下都賀 (小山)	塩谷	那須	南那須	私立	県立
受診状況	在籍者数	8,365	777	521	1,184	2,394	921	1,738	280	100	450
	受診者数	8,259	768	515	1,169	2,370	909	1,712	274	99	443
	(%)	(98.7)	(98.8)	(98.8)	(98.7)	(99.0)	(98.7)	(98.5)	(97.9)	(99.0)	(98.4)
	有所見者数	864	74	51	139	253	87	166	25	7	62
	(%)	(10.5)	(9.6)	(9.9)	(11.9)	(10.7)	(9.6)	(9.7)	(9.1)	(7.1)	(14.0)
	調査票10点以上	505	44	30	66	159	53	77	20	5	51
	学校医所見	9	0	3	1	1	1	3	0	0	0
	心電図所見	428	39	18	84	117	44	94	10	4	18
	心音図所見	71	3	7	19	18	4	13	1	1	5
	対象者数	541	41	31	102	145	53	116	16	4	33
先天性心疾患	受診者数	455	39	23	91	122	44	95	13	0	28
	(%)	(5.5)	(5.1)	(4.5)	(7.8)	(5.1)	(4.8)	(5.5)	(4.7)	(0.0)	(6.3)
	有所見者数	324	27	16	62	85	29	72	10	0	23
	(%)	(3.9)	(3.5)	(3.1)	(5.3)	(3.6)	(3.2)	(4.2)	(3.6)	(0.0)	(5.2)
	心室中隔欠損	20	2	1	3	7	2	0	0	0	5
	心室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心房中隔欠損	15	3	0	2	2	2	2	0	0	4
	心房中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	房室中隔欠損	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	房室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精密検査有所見内訳	動脈管開存	6	1	0	0	1	1	0	1	0	2
	動脈管開存疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ファロー四徴症	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	ファロー四徴症疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肺動脈狭窄・閉鎖	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0
	大血管転位	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	大血管転位疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（複雑心奇形）	6	0	1	0	3	1	1	0	0	0
	右胸心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	57	6	2	7	17	6	5	1	0	13
後天性心疾患	弁 障 害	44	5	3	11	14	0	5	3	0	3
	川崎病既往（後遺症なし）	14	0	1	3	1	2	6	1	0	0
	川崎病既往（後遺症あり）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心筋炎既往	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	僧帽弁逸脱症	10	0	1	6	1	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	24	0	2	9	2	2	6	2	0	1
	心筋症	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他（心臓腫瘍を含む）	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	心雑音・心音異常	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
心電図異常	計	4	0	1	1	2	0	0	0	0	0
	房室ブロックⅠ度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	房室ブロックⅡ度	10	0	0	5	1	3	0	0	0	1
	高度房室ブロック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不完全右脚ブロック	57	4	4	12	17	5	14	0	0	1
	その他の脚ブロック	10	2	1	1	4	1	1	0	0	0
	軸偏位	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	WPW・LGL症候群他	11	1	1	2	2	1	2	0	0	2
	異常ST-T・T変化	5	0	0	0	1	3	1	0	0	0
	異常Q波	6	1	0	0	1	0	4	0	0	0
管理区分	QT延長	29	0	1	2	13	4	6	0	0	3
	心室期外収縮	54	7	1	13	15	2	11	3	0	2
	上室期外収縮	30	3	2	6	4	1	13	0	0	1
	その他の高度の不整脈	4	0	0	0	2	0	2	0	0	0
	その他	26	0	1	3	7	2	11	2	0	0
	計	244	18	11	44	67	22	67	5	0	10
	その他	4	2	0	0	1	0	1	0	0	0
	A（在宅医療・入院が必要）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B（登校はできるが運動は不可）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C（軽い運動は可）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	D（中程度の運動まで可）	4	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	E（強い運動も可）	197	20	8	41	55	14	31	8	0	20
	管理不要	121	6	7	19	29	14	41	2	0	3

表4 実施状況（高等学校1年生）

	計	私 立	県 立
在籍者数	12,303	2,050	10,253
受診者数	12,239	2,021	10,218
（％）	(99.5)	(98.6)	(99.7)
有所見者数	1,498	246	1,252
（％）	(12.2)	(12.2)	(12.3)
調査票10点以上	973	192	781
学校医所見	9	5	4
心電図所見	761	87	674
対象者数	873	132	741
受診者数	661	0	661
（％）	(5.4)	(0.0)	(6.5)
有所見者数	475	0	475
（％）	(3.9)	(0.0)	(4.6)
心室中隔欠損	33	0	33
心室中隔欠損疑	0	0	0
心房中隔欠損	14	0	14
心房中隔欠損疑	0	0	0
房室中隔欠損	5	0	5
房室中隔欠損疑	0	0	0
動脈管開存	4	0	4
動脈管開存疑	0	0	0
ファロー四徴症	5	0	5
ファロー四徴症疑	0	0	0
肺動脈狭窄・閉鎖	4	0	4
大血管転位	2	0	2
大血管転位疑	0	0	0
その他（複雑心奇形）	12	0	12
右胸心	1	0	1
計	80	0	80
弁 障 害	50	0	50
川崎病既往（後遺症なし）	12	0	12
川崎病既往（後遺症あり）	0	0	0
心筋炎既往	0	0	0
僧帽弁逸脱症	12	0	12
その他	0	0	0
計	24	0	24
心筋症	5	0	5
その他（心臓腫瘍を含む）	2	0	2
心雑音・心音異常	0	0	0
計	7	0	7
房室ブロックⅠ度	12	0	12
房室ブロックⅡ度	22	0	22
高度房室ブロック	0	0	0
不完全右脚ブロック	76	0	76
その他の脚ブロック	26	0	26
軸偏位	11	0	11
WPW・LGL症候群他	28	0	28
異常ST-T・T変化	19	0	19
異常Q波	5	0	5
QT延長	23	0	23
心室期外収縮	71	0	71
上室期外収縮	48	0	48
その他の高度の不整脈	3	0	3
その他	45	0	45
計	389	0	389
その他	6	0	6
A（在宅医療・入院が必要）	0	0	0
B（登校はできるが運動は不可）	1	0	1
C（軽い運動は可）	0	0	0
D（中程度の運動まで可）	6	0	6
E（強い運動も可）	331	0	331
管理不要	134	0	134

## 2

## 腎臓検診（尿検査）

## 【腎臓検診】

## 1 概 要

## 1] 目 的

腎臓病、糖尿病等の早期発見と学校生活における指導区分の適切な管理

## 2] 対 象

児童・生徒

## 2 検査方法

## 1] 1次検査

提出された尿検体は、尿自動分析装置を用いて試験紙法による半定量検査を実施した。

検査項目は、蛋白、潜血、糖の3項目で、蛋白が（±）以上のものに対しては、色素結合定量（ピロガロールレッド・モリブデン錯体）法により確認検査を実施した。

## 2] 2次検査

1次検査と同様の検査を実施後、蛋白または潜血が陽性のものについては沈渣鏡検を行い、その後、腎臓検診判定委員会で総合判定を実施した。

## 3 実施状況

表1 実施状況

		一次検査				二次検査				要精検対象者数*（％）		精検受診者数（％）	
		受診者数	陽性者数（％）	陽性者数のうち 至急対象者数		受診者数	陽性者数（％）	陽性者数のうち 至急対象者数					
幼稚園	男	17	0	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	20	0	(0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校	男	24,963	439	(1.8)	7	420	106	(25.2)	1	113	(0.5)	90	(79.6)
	女	23,042	969	(4.2)	12	918	193	(21.0)	7	205	(0.9)	168	(82.0)
	計	48,005	1,408	(2.9)	19	1,338	299	(22.3)	8	318	(0.7)	258	(81.1)
中学校	男	13,811	984	(7.1)	18	927	215	(23.2)	15	233	(1.7)	166	(71.2)
	女	12,783	1,026	(8.0)	13	932	159	(17.1)	16	172	(1.3)	133	(77.3)
	計	26,594	2,010	(7.6)	31	1,859	374	(20.1)	31	405	(1.5)	299	(73.8)
高等学校	男	21,841	1,334	(6.1)	26	1,240	240	(19.4)	4	266	(1.2)	183	(68.8)
	女	20,304	1,332	(6.6)	25	1,209	203	(16.8)	11	228	(1.1)	174	(76.3)
	計	42,145	2,666	(6.3)	51	2,449	443	(18.1)	15	494	(1.2)	357	(72.3)
総 数	男	60,632	2,757	(4.5)	51	2,587	561	(21.7)	20	612	(1.0)	439	(71.7)
	女	56,132	3,327	(5.9)	50	3,059	555	(18.1)	34	605	(1.1)	475	(78.5)
	計	116,764	6,084	(5.2)	101	5,646	1,116	(19.8)	54	1,217	(1.0)	914	(75.1)

\*要精検対象者数：一次検査の至急対象者数及び二次検査の陽性者数

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	123,344	123,867	122,026	119,444	116,764
要精検率（％）	1.4	1.2	1.3	1.2	1.0

表1-(1) 一次検査陽性者の項目別内訳

		受診者数	陽性者数 (%)	内 至 急 対象者数	蛋白 (%)	糖 (%)	潜血 (%)
幼稚園	男	17	0 (0.0)	-	-	-	-
	女	3	0 (0.0)	-	-	-	-
	計	20	0 (0.0)	-	-	-	-
小学校	男	24,963	439 (1.8)	7	243 (1.0)	22 (0.1)	184 (0.7)
	女	23,042	969 (4.2)	12	438 (1.9)	23 (0.1)	565 (2.5)
	計	48,005	1,408 (2.9)	19	681 (1.4)	45 (0.1)	749 (1.6)
中学校	男	13,811	984 (7.1)	18	832 (6.0)	30 (0.2)	163 (1.2)
	女	12,783	1,026 (8.0)	13	440 (3.4)	34 (0.3)	610 (4.8)
	計	26,594	2,010 (7.6)	31	1,272 (4.8)	64 (0.2)	773 (2.9)
高等学校	男	21,841	1,334 (6.1)	26	1,097 (5.0)	96 (0.4)	206 (0.9)
	女	20,304	1,332 (6.6)	25	644 (3.2)	52 (0.3)	728 (3.6)
	計	42,145	2,666 (6.3)	51	1,741 (4.1)	148 (0.4)	934 (2.2)
総 数	男	60,632	2,757 (4.5)	51	2,172 (3.6)	148 (0.2)	553 (0.9)
	女	56,132	3,327 (5.9)	50	1,522 (2.7)	109 (0.2)	1,903 (3.4)
	計	116,764	6,084 (5.2)	101	3,694 (3.2)	257 (0.2)	2,456 (2.1)

表1-(2) 二次検査陽性者の項目別内訳

		受診者数	陽性者数 (%)	内 至 急 対象者数	蛋白 (%)	糖 (%)	潜血 (%)
幼稚園	男	0	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-
小学校	男	420	106 (25.2)	1	32 (7.6)	1 (0.2)	76 (18.1)
	女	918	193 (21.0)	7	55 (6.0)	5 (0.5)	142 (15.5)
	計	1,338	299 (22.3)	8	87 (6.5)	6 (0.4)	218 (16.3)
中学校	男	927	215 (23.2)	15	156 (16.8)	7 (0.8)	60 (6.5)
	女	932	159 (17.1)	16	85 (9.1)	11 (1.2)	86 (9.2)
	計	1,859	374 (20.1)	31	241 (13.0)	18 (1.0)	146 (7.9)
高等学校	男	1,240	240 (19.4)	4	182 (14.7)	16 (1.3)	63 (5.1)
	女	1,209	203 (16.8)	11	103 (8.5)	7 (0.6)	123 (10.2)
	計	2,449	443 (18.1)	15	285 (11.6)	23 (0.9)	186 (7.6)
総 数	男	2,587	561 (21.7)	20	370 (14.3)	24 (0.9)	199 (7.7)
	女	3,059	555 (18.1)	34	243 (7.9)	23 (0.8)	351 (11.5)
	計	5,646	1,116 (19.8)	54	613 (10.9)	47 (0.8)	550 (9.7)



## 【尿検査】

## 1 概 要

## 1] 目 的

腎臓病、糖尿病等の早期発見

## 2] 対 象

幼児・児童・生徒等

## 2 検査方法

## 1] 1次検査

提出された尿検体は、尿自動分析装置を用いて試験紙法による半定量検査を実施した。  
検査項目は、A項目が蛋白、糖の2項目、B項目が蛋白、潜血、糖の3項目で、蛋白が（±）以上のものに対しては、色素結合定量（ピロガロールレッド・モリブデン錯体）法により確認検査を実施した。

## 2] 2次検査

1次検査と同様の検査を実施するが、今年度の依頼はなかった。

## 3 実施状況

表2 検査方法別実施状況

		一次検査						二次検査					
		A項目（蛋白＋糖）			B項目（蛋白＋糖＋潜血）			A項目（蛋白＋糖）			B項目（蛋白＋糖＋潜血）		
		受診者数	陽性者数（％）		受診者数	陽性者数（％）		受診者数	陽性者数（％）		受診者数	陽性者数（％）	
幼稚園 保育所	男	3,195	21	(0.7)	16,354	319	(2.0)	0	-	-	0	-	-
	女	3,022	35	(1.2)	15,546	617	(4.0)	0	-	-	0	-	-
	計	6,217	56	(0.9)	31,900	936	(2.9)	0	-	-	0	-	-
小学校	男	0	-	-	22	1	(4.5)	0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	20	0	(0.0)	0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	42	1	(2.4)	0	-	-	0	-	-
中学校	男	0	-	-	3	0	(0.0)	0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	2	0	(0.0)	0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	5	0	(0.0)	0	-	-	0	-	-
高等学校	男	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
その他	男	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
総 数	男	3,195	21	(0.7)	16,379	320	(2.0)	0	-	-	0	-	-
	女	3,022	35	(1.2)	15,568	617	(4.0)	0	-	-	0	-	-
	計	6,217	56	(0.9)	31,947	937	(2.9)	0	-	-	0	-	-

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	41,526	41,507	41,416	40,180	38,164
陽性率（％）	2.5	2.1	2.3	2.3	2.6

表2-(1) 一次検査陽性者の項目別内訳（A項目：蛋白＋糖）

		受診者数	陽性者数 (%)		蛋白 (%)		糖 (%)	
幼稚園 保育所	男	3,195	21	(0.7)	18	(0.6)	3	(0.1)
	女	3,022	35	(1.2)	33	(1.1)	2	(0.1)
	計	6,217	56	(0.9)	51	(0.8)	5	(0.1)
小学校	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
中学校	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
高等学校	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
その他	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
総 数	男	3,195	21	(0.7)	18	(0.6)	3	(0.1)
	女	3,022	35	(1.2)	33	(1.1)	2	(0.1)
	計	6,217	56	(0.9)	51	(0.8)	5	(0.1)

表2-(2) 一次検査陽性者の項目別内訳（B項目：蛋白＋糖＋潜血）

		受診者数	陽性者数 (%)		蛋白 (%)		糖 (%)		潜血 (%)	
幼稚園 保育所	男	16,354	319	(2.0)	115	(0.7)	22	(0.1)	201	(1.2)
	女	15,546	617	(4.0)	178	(1.1)	15	(0.1)	475	(3.1)
	計	31,900	936	(2.9)	293	(0.9)	37	(0.1)	676	(2.1)
小学校	男	22	1	(4.5)	1	(4.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
	女	20	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	計	42	1	(2.4)	1	(2.4)	0	(0.0)	0	(0.0)
中学校	男	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数	男	16,379	320	(2.0)	116	(0.7)	22	(0.1)	201	(1.2)
	女	15,568	617	(4.0)	178	(1.1)	15	(0.1)	475	(3.1)
	計	31,947	937	(2.9)	294	(0.9)	37	(0.1)	676	(2.1)

## 3

## 寄生虫卵検査

## 1 概 要

## 1] 目 的

蟯虫卵の検出

## 2] 対 象

幼児・児童・生徒等

## 3] 検査方法

肛門付近に産卵された蟯虫卵をセロテープに付着させ、顕微鏡下で虫卵の有無を検査した。

## 2 実施状況

表1 検査方法別実施状況

		二回法	
		受診者数	陽性者数 (%)
幼稚園 保育所	男	731	0 (0.0)
	女	676	1 (0.1)
	計	1,407	1 (0.1)
小学校	男	333	0 (0.0)
	女	109	0 (0.0)
	計	442	0 (0.0)
中学校	男	0	- -
	女	0	- -
	計	0	- -
高等学校	男	0	- -
	女	0	- -
	計	0	- -
その他	男	85	0 (0.0)
	女	72	2 (2.8)
	計	157	2 (1.3)
総 数	男	1,149	0 (0.0)
	女	857	3 (0.4)
	計	2,006	3 (0.1)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	5,021	3,682	2,750	2,348	2,006
陽性率 (%)	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1

## 4

## 小児生活習慣病予防健診

## 1 概 要

## 1] 目 的

小児期の生活習慣病予防を目的としたリスクの早期発見・早期対応

## 2] 対 象

児童・生徒

## 3] 検査内容

## (1) 検査項目

- 1) 肥満度（身体計測値から肥満度を算出）
- 2) 脂 質（総コレステロール・HDLコレステロール・LDLコレステロール）
- 3) 血 圧
- 4) 小児生活習慣病予防健診調査票（糖尿病現病歴・家族歴）

## (2) 判定

（公財）予防医学事業中央会が示す項目別判定基準に準拠して判定した後、その判定をもとに総合判定を決定する。

## 総合判定

判定区分	指導内容
I（要医学的管理）	I-1 引き続き専門医による管理を行うことを勧める
	I-2 専門医への受診を勧める
	I-3
II（要経過観察）	医師、学校、家庭などが連携して生活指導を行い、数か月～1年後に経過観察のための再検査を受けることが望ましい
III（要生活指導）	学校、家庭などの連携のもとに生活指導を行うことが望ましい
IV（管理不要）	所見はあるが管理は不要。但し、次回健診時に各検査項目値の変動に留意する
N（正常）	今回の健診では異常所見が認められない

## 2 実施状況

表1 判定別実施状況

		受診者数	I 要医学的管理 (%)	II 要経過観察 (%)	III 要生活指導 (%)	IV 管理不要 (%)	N 正常 (%)
小学校 (129校)	男	2,317	86 (3.7)	228 (9.8)	376 (16.2)	1,088 (47.0)	539 (23.3)
	女	2,241	48 (2.1)	160 (7.1)	386 (17.2)	1,143 (51.0)	504 (22.5)
	計	4,558	134 (2.9)	388 (8.5)	762 (16.7)	2,231 (48.9)	1,043 (22.9)
中学校 (89校)	男	4,246	122 (2.9)	322 (7.6)	421 (9.9)	2,464 (58.0)	917 (21.6)
	女	3,988	80 (2.0)	270 (6.8)	629 (15.8)	2,186 (54.8)	823 (20.6)
	計	8,234	202 (2.5)	592 (7.2)	1,050 (12.8)	4,650 (56.5)	1,740 (21.1)
高等学校 (0校)	男	0	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-
総 数 (218校)	男	6,563	208 (3.2)	550 (8.4)	797 (12.1)	3,552 (54.1)	1,456 (22.2)
	女	6,229	128 (2.1)	430 (6.9)	1,015 (16.3)	3,329 (53.4)	1,327 (21.3)
	計	12,792	336 (2.6)	980 (7.7)	1,812 (14.2)	6,881 (53.8)	2,783 (21.8)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	15,368	14,088	13,675	12,982	12,792
有所見率(%)*	22.3	24.8	24.1	26.0	24.5

\*判定区分Ⅰ～Ⅲ

表2 検査項目別実施状況

受診者数			肥満度		血 圧		糖尿病歴		家族歴	
			肥満(%)	やせ(%)	有所見者数(%)	有所見者数(%)	有所見者数(%)	有所見者数(%)	有所見者数(%)	有所見者数(%)
小学校 (129校)	男	2,317	455 (19.6)	51 (2.2)	214 (9.2)	0 (0.00)	1,451 (62.6)			
	女	2,241	309 (13.8)	42 (1.9)	277 (12.4)	3 (0.13)	1,395 (62.2)			
	計	4,558	764 (16.8)	93 (2.0)	491 (10.8)	3 (0.07)	2,846 (62.4)			
中学校 (89校)	男	4,246	645 (15.2)	110 (2.6)	1,168 (27.5)	2 (0.05)	2,681 (63.1)			
	女	3,988	398 (10.0)	124 (3.1)	845 (21.2)	0 (0.00)	2,539 (63.7)			
	計	8,234	1,043 (12.7)	234 (2.8)	2,013 (24.4)	2 (0.02)	5,220 (63.4)			
高等学校 (0校)	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数 (218校)	男	6,563	1,100 (16.8)	161 (2.5)	1,382 (21.1)	2 (0.03)	4,132 (63.0)			
	女	6,229	707 (11.4)	166 (2.7)	1,122 (18.0)	3 (0.05)	3,934 (63.2)			
	計	12,792	1,807 (14.1)	327 (2.6)	2,504 (19.6)	5 (0.04)	8,066 (63.1)			

受診者数			脂 質	
			有所見者数(%)	有所見者数(%)
小学校 (129校)	男	2,281	605 (26.5)	
	女	2,216	588 (26.5)	
	計	4,497	1,193 (26.5)	
中学校 (89校)	男	4,214	615 (14.6)	
	女	3,966	1,017 (25.6)	
	計	8,180	1,632 (20.0)	
高等学校 (0校)	男	0	-	-
	女	0	-	-
	計	0	-	-
総 数 (218校)	男	6,495	1,220 (18.8)	
	女	6,182	1,605 (26.0)	
	計	12,677	2,825 (22.3)	

## 5

## 貧 血 検 査

## 1 概 要

## 1] 目 的

貧血の早期発見・早期対応

## 2] 対 象

児童・生徒

## 3] 判定基準

学術委員指導の下、統計学的に算出して設定した基準範囲を用い判定した。

《令和3年度事業年報94頁参照》

## 2 実施状況

表1 判定別実施状況

		受診者数	異常認めず (%)	要観察 (%)	要精検 (%)
小学校 (106校)	男	1,938	1,924 (99.3)	12 (0.6)	2 (0.1)
	女	1,936	1,913 (98.8)	18 (0.9)	5 (0.3)
	計	3,874	3,837 (99.0)	30 (0.8)	7 (0.2)
中学校 (90校)	男	5,981	5,952 (99.5)	18 (0.3)	11 (0.2)
	女	5,606	5,344 (95.3)	198 (3.5)	64 (1.1)
	計	11,587	11,296 (97.5)	216 (1.9)	75 (0.6)
高等学校 (11校)	男	857	794 (92.6)	56 (6.5)	7 (0.8)
	女	1,038	934 (90.0)	73 (7.0)	31 (3.0)
	計	1,895	1,728 (91.2)	129 (6.8)	38 (2.0)
その他 (6校)	男	25	21 (84.0)	3 (12.0)	1 (4.0)
	女	366	320 (87.4)	40 (10.9)	6 (1.6)
	計	391	341 (87.2)	43 (11.0)	7 (1.8)
総 数 (213校)	男	8,801	8,691 (98.8)	89 (1.0)	21 (0.2)
	女	8,946	8,511 (95.1)	329 (3.7)	106 (1.2)
	計	17,747	17,202 (96.9)	418 (2.4)	127 (0.7)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	23,257	20,889	19,290	18,397	17,747
有所見率 (%)	2.7	2.6	2.5	2.4	3.1

表2 検査項目別実施状況

		血色素量			赤血球数			ヘマトクリット		
受診者数		異常認めず (%)	要観察 (%)	要精検 (%)	異常認めず (%)	要観察 (%)	要精検 (%)	異常認めず (%)	要観察 (%)	要精検 (%)
小学校 (106校)	男	1,938	1,925 (99.3)	12 (0.6)	1	(0.1)		1,912 (98.7)	25 (1.3)	1 (0.1)
	女	1,936	1,913 (98.8)	18 (0.9)	5	(0.3)		1,911 (98.7)	23 (1.2)	2 (0.1)
	計	3,874	3,838 (99.1)	30 (0.8)	6	(0.2)		3,823 (98.7)	48 (1.2)	3 (0.1)
中学校 (90校)	男	5,981	5,952 (99.5)	18 (0.3)	11	(0.2)		5,877 (98.3)	22 (0.4)	11 (0.2)
	女	5,606	5,345 (95.3)	200 (3.6)	61	(1.1)		5,504 (98.2)	64 (1.1)	38 (0.7)
	計	11,587	11,297 (97.5)	218 (1.9)	72	(0.6)		11,381 (98.2)	86 (0.7)	49 (0.4)
高等学校 (11校)	男	857	797 (93.0)	58 (6.8)	2	(0.2)		798 (93.1)	59 (6.9)	0 (0.0)
	女	1,038	935 (90.1)	75 (7.2)	28	(2.7)		951 (91.6)	81 (7.8)	6 (0.6)
	計	1,895	1,732 (91.4)	133 (7.0)	30	(1.6)		1,749 (92.3)	140 (7.4)	6 (0.3)
その他 (6校)	男	25	22 (88.0)	3 (12.0)	0	(0.0)		23 (92.0)	2 (8.0)	0 (0.0)
	女	366	320 (87.4)	40 (10.9)	6	(1.6)		348 (95.1)	17 (4.6)	1 (0.3)
	計	391	342 (87.5)	43 (11.0)	6	(1.5)		371 (94.9)	19 (4.9)	1 (0.3)
総 数 (213校)	男	8,801	8,696 (98.8)	91 (1.0)	14	(0.2)		8,610 (97.8)	108 (1.2)	12 (0.1)
	女	8,946	8,513 (95.2)	333 (3.7)	100	(1.1)		8,714 (97.4)	185 (2.1)	47 (0.5)
	計	17,747	17,209 (97.0)	424 (2.4)	114	(0.6)		17,324 (97.6)	293 (1.7)	59 (0.3)

6	脂 質 検 査
---	---------

## 1 概 要

### 1] 目 的

脂質代謝異常の早期発見・早期対応

### 2] 対 象

児童・生徒

### 3] 判定基準

学術委員指導の下、統計学的に算出して設定した基準範囲を用い判定した。

《令和3年度事業年報96頁参照》

## 2 実施状況

表1 検査項目別実施状況

		受診者数	総コレステロール		
			異常認めず (%)	要観察 (%)	要精検 (%)
総 数 (3校)	男	126	95 (75.4)	29 (23.0)	2 (1.6)
	女	104	63 (60.6)	38 (36.5)	3 (2.9)
	計	230	158 (68.7)	67 (29.1)	5 (2.2)

### 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	265	0	257	245	230
有所見率 (%)	24.2	－	18.7	27.3	31.3

7	血 清 検 査
---	---------

## 1 概 要

### 1] 対 象

県内看護学校の学生

## 2 実施状況

	受診者数	HB s 抗原	HB s 抗体	HCV 抗体	感染症関連 4項目*	麻疹抗体	結核菌特異的 IFN- $\gamma$
専門学校	222	222	222	125	140	7	0

\*感染症関連4項目：水痘、ムンプス、麻疹、風疹

### 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	350	293	262	263	222



## 8

## 骨粗しょう症検診

## 1 概 要

## 1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で同一年齢平均骨量を測定した。

## 2] 対象

中学校の生徒

## 3] 判定基準

	異常認めず	要指導	要精検
同一年齢平均骨量	90%以上	80%～89%	80%未満

## 2 実施状況

表1 判定別実施状況

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
1年生	男	34	31 (91.2)	3 (8.8)
	女	30	29 (96.7)	1 (3.3)
	計	64	60 (93.8)	4 (6.3)

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	67	83	82	67	64
要精検率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

9	結核検診
---	------

## 1 概要

### 1] 対象

高等学校及び高等専門学校の第1学年、各種学校

### 2] 検査方法

胸部エックス線デジタル撮影による背腹1方向撮影

### 3] 判定方法

呼吸器の専門医が読影を行い判定した。

## 2 実施状況

表1 判定内訳

		受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
高等学校	男	6,939	6,872 (99.0)	49 (0.7)	18 (0.3)
	女	6,511	6,424 (98.7)	79 (1.2)	8 (0.1)
	計	13,450	13,296 (98.9)	128 (1.0)	26 (0.2)
特別支援学校	男	238	224 (94.1)	8 (3.4)	6 (2.5)
	女	117	104 (88.9)	13 (11.1)	0 (0.0)
	計	355	328 (92.4)	21 (5.9)	6 (1.7)
その他	男	121	117 (96.7)	1 (0.8)	3 (2.5)
	女	384	376 (97.9)	7 (1.8)	1 (0.3)
	計	505	493 (97.6)	8 (1.6)	4 (0.8)
総数	男	7,298	7,213 (98.8)	58 (0.8)	27 (0.4)
	女	7,012	6,904 (98.5)	99 (1.4)	9 (0.1)
	計	14,310	14,117 (98.7)	157 (1.1)	36 (0.3)

### 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数	15,921	14,982	14,644	14,383	14,310
要精検率 (%)	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3

## 10 先天性代謝異常等検査

## 1 概要

## 1] 目的

疾患の早期発見と障害発生の予防を目的に県からの委託により検査を実施

## 2] 対象

栃木県内で出生した新生児のうち、この検査を希望する者

## 3] 対象疾患

アミノ酸代謝異常症5疾患、有機酸代謝異常症7疾患、脂肪酸代謝異常症5疾患、糖代謝異常症1疾患、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症、脊髄性筋萎縮症および重症複合免疫不全症の合計22疾患

## 4] 検査方法

先天性代謝異常等検査実施要領に定められた検査方法に基づいて行い、アミノ酸代謝異常症・有機酸代謝異常症・脂肪酸代謝異常症はタンデムマス法により実施した。糖代謝異常症はマイクロプレート酵素法、先天性甲状腺機能低下症および先天性副腎過形成症はELISA法により実施した。また、脊髄性筋萎縮症および重症複合免疫不全症はPCR法により実施した。

## 5] 判定基準

日本マススクリーニング学会が示す基準に準拠し判定した。

昨年度、拡大スクリーニング検査として実施していた脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の2疾患が今年度より公費スクリーニングに追加された。これにより、公費スクリーニングの対象疾患は従来から実施している20疾患から22疾患となった。

## 2 実施状況

表1 判定内訳

令和6年10月31日現在

対 象 疾 患	一 次 検 査				再 検 査			要精検
	検査件数	正 常	要再検査	要精検	検査件数	正 常	要精検	
アミノ酸代謝異常症	10,670	10,667	3	0	3	2	1	1
有機酸代謝異常症	10,670	10,655	14	0	14	14	0	0
脂肪酸代謝異常症	10,670	10,670	0	0	0	0	0	0
ガラクトース血症	10,670	10,639	31	0	31	30	1	1
先天性甲状腺機能低下症	10,670	10,608	54	8	54	53	1	9
先天性副腎過形成症	10,670	10,573	95	2	94	92	2	4
重症複合免疫不全症	10,670	10,656	10	4	10	6	4	8
脊髄性筋萎縮症	10,670	10,670	0	0	0	0	0	0
低出生体重児の2回採血	—	—	232	0	231	231	0	0

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検査件数	13,604	12,795	12,425	11,323	10,670

# 感 染 症 検 査 事 業

## 感染症検査事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年9月から新規事業として、新型コロナウイルス感染症PCR検査及び高感度抗原定量検査を導入し、令和5年度においても引き続き検査体制を整備したが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された影響を受け、一部事業が終了した。

### 1 概要

#### (1) 一般（PCR検査・高感度抗原定量検査）

企業や市町を対象に実施した。

#### (2) 無症状妊婦（PCR検査）

栃木県及び宇都宮市の委託事業として、無症状妊婦を対象に実施した。（令和5年6月末事業終了）

#### (3) 一定高齢者等（高感度抗原定量検査）

栃木県や市町の委託事業として、一定の高齢者や高齢者施設の職員等を対象に実施した。

※令和5年度は委託なし

#### (4) 行政検査委託（PCR検査・高感度抗原定量検査）

栃木県から行政検査の依頼により実施した。

※令和5年度は委託なし

### 2 実施状況

	P C R 検査		高感度抗原定量検査	
	受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数
一般	0	－	16	0
無症状妊婦	60	0	0	－
一定高齢者等	0	－	0	－
行政検査委託分	0	－	0	－
計	60	0	16	0

#### 参考：令和4年度実施状況

	P C R 検査		高感度抗原定量検査	
	受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数
一般	32	4	1,680	61
無症状妊婦	976	5	－	－
一定高齢者等	－	－	0	－
行政検査委託分	－	－	369	5
計	1,008	9	2,049	66

人 間 ド ッ ク

# 人 間 ド ッ ク

## 1 概 要

### 1] 目 的

総合的な健康診断により、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防・改善を図る。

### 2] 特 徴

- (1) 一般社団法人日本病院会、公益社団法人日本人間ドック学会が実施する「人間ドック健診施設機能評価」の認定を平成17年に受け、以降5年毎の更新を行っている。
- (2) 人間ドックの結果説明に医師3名、保健指導に保健師3名体制で対応している。また、健康相談センターを設置し、人間ドックを受診された後の健診結果など、各種問合せに保健師が対応できる体制を整えている。

### 3] 検査項目

#### (1) 基本コース

身体計測、血圧、心電図、貧血、白血球、血小板、血清蛋白、肝機能、膵機能、腎機能  
尿検査、脂質代謝、糖代謝、尿酸、CRP、リウマチ因子、肝炎ウイルス、CPK  
視力、眼圧、眼底、聴力、肺機能、上部消化管X線、胸部X線、喀痰細胞診、便潜血  
腹部超音波、診察、保健指導

#### (2) オプション検査

上部消化管内視鏡（経口・経鼻）、ペプシノゲン、ヘリコバクター・ピロリ抗体  
胸部CT、子宮頸部細胞診\*、HPV－DNA、経腔超音波、マンモグラフィ（3Dマンモグラフィ）、乳房超音波、前立腺特異抗原（PSA）、甲状腺ホルモン（TSH・FT4）、  
甲状腺超音波、HOMA-R、アレルギー、遺伝子（生活習慣病予防プログラム）、  
NT-proBNP、頸動脈超音波、骨粗鬆症、内臓脂肪、血管年齢、視野、姿勢分析

\* 細胞診結果がASC－USの場合はHPV－DNAを追加実施

#### (3) 専門コース

婦 人 ド ッ ク 子宮頸がん検診（内診、細胞診\*）

乳がん検診（マンモグラフィ（3Dマンモグラフィ）、乳房超音波）

肺 ド ッ ク 肺がん検診（胸部CT、喀痰細胞診）

\* 細胞診結果がASC－USの場合はHPV－DNAを追加実施

### 4] 判定区分

A	異常なし	B	軽度異常	C	要経過観察
D1	要医療	D2	要精密検査	D3	至急精検
				E	要継続治療

## 5] 検査基準値

日本人間ドック学会の判定基準及び各種疾患ガイドライン等に基づき判定した。

## 6] フォローアップ

総合判定結果により、要医療・要精密検査・至急精検対象者には医療機関への紹介状を結果書に添付し受診を促している。併せて精密検査結果連絡票を同封し、受診結果を医療機関から返信してもらうことにより、精密検査の受診状況を把握している。その後、人間ドック受診月より3ヶ月を経過（至急精検は1ヶ月）しても精密検査結果連絡票の返信が無い場合は、受診勧奨の手紙を個人宛に送付し、医療機関への受診を促している。

また、糖代謝、脂質代謝、尿酸の要経過観察者は、生活習慣改善後の3～6ヶ月後に医療機関や当施設での再検査を勧めている。胸部CTや喀痰細胞診についても当施設で再検査を実施している。当施設では糖代謝、脂質代謝、尿酸の要経過観察者で48名、胸部CTで10名、喀痰細胞診で4名の再検査を実施した。

### 3Dマンモグラフィ開始

乳房を断層で撮影することで、乳腺組織を分離して表示ができるため、乳腺と病変の存在をより明確にすることが可能となった。

## 2 実施状況

- (1) 人間ドック実施日数は233日で昨年度同様の日数となった。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類となり、5月8日より肺機能検査を再開した。
- (3) 施設型特定健康診査を70名実施した。集計は地域保健【1健康診査-2】へ計上した。
- (4) 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究の健診事業として17名実施した。
- (5) 低線量CTによる肺がん検診の精度および死亡減少効果評価のための個人単位ランダム化比較試験を104名実施した。
- (6) 風しんの追加的対策の一環として抗体検査を14名実施した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本コース	11,560	10,650	11,340	11,287	11,561

表1 性・年齢階級別実施状況

		年 齢 階 級 区 分										
		受診者数	29歳以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上
基 本 コ ー ス	男	6,471	45	228	456	650	881	1,050	1,147	978	501	535
	女	5,090	31	114	264	570	840	1,026	929	631	346	339
	計	11,561	76	342	720	1,220	1,721	2,076	2,076	1,609	847	874
専 門 コ ー ス	婦人ドック 女	21	5	1	1	0	3	3	1	1	2	4
	男	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	肺ドック 女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0



表2 オプション受診者数

			年 齢 階 級 区 分									
			受診者数	29歳以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69 70歳以上
上部消化管内視鏡	男	2,068	6	47	98	174	251	307	354	335	231	265
	女	1,436	5	18	73	133	219	248	243	207	142	148
ペプシノゲン	男	249	0	6	22	26	35	41	66	41	7	5
	女	296	0	2	16	27	51	75	70	45	7	3
ヘリコバクター・ ピロリ抗体	男	355	5	12	34	29	49	50	87	62	13	14
	女	371	3	12	23	32	64	92	78	50	12	5
胸部 C T	男	513	3	12	22	35	55	75	58	90	72	91
	女	275	1	2	16	24	49	48	33	35	25	42
子宮頸がん	女	2,809	7	45	119	312	494	582	560	366	177	147
H P V - D N A	女	74	1	0	4	18	22	14	10	3	0	2
経膣超音波	女	223	1	4	10	22	59	50	42	18	9	8
マンモグラフィ	女	2,421	0	2	25	233	427	551	499	351	183	150
3Dマンモグラフィ*	女	1,011	0	1	9	93	169	226	209	151	84	69
乳房超音波	女	3,420	7	58	164	388	587	702	651	442	227	194
前立腺	男	1,803	2	8	19	73	136	345	402	366	215	237
甲状腺ホルモン	男	61	0	2	1	3	8	14	7	8	10	8
	女	190	4	7	4	26	19	36	47	14	14	19
甲状腺超音波	男	68	0	3	0	6	6	12	8	7	13	13
	女	309	2	3	6	24	19	53	81	50	30	41
H O M A - R	男	77	1	3	2	9	3	16	12	14	10	7
	女	64	2	2	3	9	8	15	14	4	3	4
アレルギー	男	45	3	1	10	11	5	8	5	2	0	0
	女	68	3	8	5	9	9	10	12	7	2	3
遺伝子	男	13	0	1	3	2	0	3	2	1	1	0
	女	15	2	1	2	2	1	0	5	2	0	0
N T - P r o B N P	男	49	0	0	1	4	2	13	11	7	7	4
	女	61	0	1	1	2	6	13	15	11	5	7
頸動脈超音波	男	231	0	3	4	15	15	45	28	40	27	54
	女	202	0	0	2	6	16	26	51	35	28	38
骨粗鬆症	男	69	0	2	1	6	4	6	4	13	11	22
	女	412	2	4	15	21	47	86	91	73	31	42
内臓脂肪	男	173	1	10	14	14	17	34	23	24	15	21
	女	84	0	1	3	8	12	20	15	10	8	7
血管年齢	男	184	0	6	9	14	12	26	29	29	26	33
	女	148	1	1	3	6	24	22	36	23	15	17
視野	男	121	1	3	5	13	12	25	14	24	8	16
	女	124	1	1	5	13	18	30	31	16	6	3
姿勢分析	男	7	0	1	0	0	1	2	1	1	0	1
	女	25	0	1	1	5	6	6	4	1	0	1

\* マンモグラフィの受診者数に、3Dマンモグラフィを追加受診した者

表3 性・年齢階級別総合判定内訳

	受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)	
男	29歳以下	45	0 (0.0)	6 (13.3)	25 (55.6)	0 (0.0)	14 (31.1)	0 (0.0)
	30～34歳	228	3 (1.3)	27 (11.8)	115 (50.4)	2 (0.9)	81 (35.5)	0 (0.0)
	35～39歳	456	7 (1.5)	43 (9.4)	258 (56.6)	3 (0.7)	142 (31.1)	3 (0.7)
	40～44歳	650	2 (0.3)	43 (6.6)	401 (61.7)	5 (0.8)	195 (30.0)	4 (0.6)
	45～49歳	881	1 (0.1)	29 (3.3)	567 (64.4)	18 (2.0)	260 (29.5)	6 (0.7)
	50～54歳	1,050	0 (0.0)	20 (1.9)	632 (60.2)	25 (2.4)	365 (34.8)	8 (0.8)
	55～59歳	1,147	0 (0.0)	5 (0.4)	735 (64.1)	17 (1.5)	386 (33.7)	4 (0.3)
	60～64歳	978	1 (0.1)	2 (0.2)	577 (59.0)	24 (2.5)	372 (38.0)	2 (0.2)
	65～69歳	501	0 (0.0)	0 (0.0)	263 (52.5)	14 (2.8)	222 (44.3)	2 (0.4)
	70歳以上	535	0 (0.0)	0 (0.0)	267 (49.9)	16 (3.0)	252 (47.1)	0 (0.0)
計	6,471	14 (0.2)	175 (2.7)	3,840 (59.3)	124 (1.9)	2,289 (35.4)	29 (0.4)	
女	29歳以下	31	1 (3.2)	9 (29.0)	10 (32.3)	0 (0.0)	11 (35.5)	0 (0.0)
	30～34歳	114	3 (2.6)	9 (7.9)	70 (61.4)	4 (3.5)	26 (22.8)	2 (1.8)
	35～39歳	264	2 (0.8)	31 (11.7)	155 (58.7)	0 (0.0)	72 (27.3)	4 (1.5)
	40～44歳	570	4 (0.7)	42 (7.4)	334 (58.6)	8 (1.4)	174 (30.5)	8 (1.4)
	45～49歳	840	2 (0.2)	29 (3.5)	529 (63.0)	11 (1.3)	256 (30.5)	13 (1.5)
	50～54歳	1,026	1 (0.1)	22 (2.1)	679 (66.2)	25 (2.4)	295 (28.8)	4 (0.4)
	55～59歳	929	2 (0.2)	6 (0.6)	649 (69.9)	15 (1.6)	251 (27.0)	6 (0.6)
	60～64歳	631	0 (0.0)	3 (0.5)	395 (62.6)	16 (2.5)	215 (34.1)	2 (0.3)
	65～69歳	346	0 (0.0)	1 (0.3)	231 (66.8)	10 (2.9)	103 (29.8)	1 (0.3)
	70歳以上	339	0 (0.0)	0 (0.0)	179 (52.8)	14 (4.1)	145 (42.8)	1 (0.3)
計	5,090	15 (0.3)	152 (3.0)	3,231 (63.5)	103 (2.0)	1,548 (30.4)	41 (0.8)	
総数	11,561	29 (0.3)	327 (2.8)	7,071 (61.2)	227 (2.0)	3,837 (33.2)	70 (0.6)	

表4 検査項目別判定内訳(1)

		受診者数	やせ (%)	普通 (%)	肥満 (%)
B M I	男	6,464	171 (2.6)	4,120 (63.7)	2,173 (33.6)
	女	5,090	586 (11.5)	3,432 (67.4)	1,072 (21.1)

		受診者数	非該当 (%)	基準該当 (%)
腹 囲	男	6,464	3,666 (56.7)	2,798 (43.3)
	女	5,090	4,432 (87.1)	658 (12.9)

		受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
診 察	男	6,465	6,297 (97.4)	15 (0.2)	42 (0.6)	1 (0.0)	38 (0.6)	69 (1.1)
	女	5,090	4,866 (95.6)	32 (0.6)	59 (1.2)	1 (0.0)	57 (1.1)	73 (1.4)
血 圧	男	6,468	2,340 (36.2)	615 (9.5)	1,520 (23.5)	0 (0.0)	226 (3.5)	1,767 (27.3)
	女	5,090	2,657 (52.2)	554 (10.9)	968 (19.0)	0 (0.0)	105 (2.1)	806 (15.8)
心 電 図	男	6,464	4,401 (68.1)	939 (14.5)	873 (13.5)	1 (0.0)	109 (1.7)	141 (2.2)
	女	5,090	3,823 (75.1)	661 (13.0)	519 (10.2)	0 (0.0)	53 (1.0)	34 (0.7)
貧 血	男	6,463	5,610 (86.8)	501 (7.8)	264 (4.1)	0 (0.0)	52 (0.8)	36 (0.6)
	女	5,090	3,856 (75.8)	327 (6.4)	516 (10.1)	0 (0.0)	172 (3.4)	219 (4.3)
白血球数	男	6,463	6,103 (94.4)	48 (0.7)	196 (3.0)	0 (0.0)	97 (1.5)	19 (0.3)
	女	5,090	4,617 (90.7)	31 (0.6)	374 (7.3)	0 (0.0)	58 (1.1)	10 (0.2)
血小板数	男	6,411	5,996 (93.5)	333 (5.2)	44 (0.7)	0 (0.0)	29 (0.5)	9 (0.1)
	女	5,054	4,603 (91.1)	371 (7.3)	26 (0.5)	0 (0.0)	46 (0.9)	8 (0.2)
血清蛋白	男	6,289	5,621 (89.4)	21 (0.3)	622 (9.9)	0 (0.0)	21 (0.3)	4 (0.1)
	女	5,005	4,213 (84.2)	17 (0.3)	745 (14.9)	0 (0.0)	25 (0.5)	5 (0.1)
肝 機 能	男	6,463	3,920 (60.7)	1,065 (16.5)	530 (8.2)	0 (0.0)	505 (7.8)	443 (6.9)
	女	5,090	4,314 (84.8)	364 (7.2)	143 (2.8)	0 (0.0)	126 (2.5)	143 (2.8)
膵 機 能	男	6,322	5,900 (93.3)	0 (0.0)	419 (6.6)	0 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.0)
	女	5,002	4,596 (91.9)	0 (0.0)	405 (8.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)
腎 機 能	男	6,463	5,239 (81.1)	0 (0.0)	1,055 (16.3)	0 (0.0)	71 (1.1)	98 (1.5)
	女	5,090	4,358 (85.6)	0 (0.0)	682 (13.4)	0 (0.0)	19 (0.4)	31 (0.6)
尿	男	6,461	5,560 (86.1)	497 (7.7)	297 (4.6)	0 (0.0)	48 (0.7)	59 (0.9)
	女	5,089	3,904 (76.7)	807 (15.9)	254 (5.0)	0 (0.0)	89 (1.7)	31 (0.6)
脂質代謝	男	6,463	1,865 (28.9)	1,445 (22.4)	1,658 (25.7)	1 (0.0)	187 (2.9)	1,307 (20.2)
	女	5,090	1,843 (36.2)	1,106 (21.7)	1,177 (23.1)	2 (0.0)	141 (2.8)	821 (16.1)
糖 代 謝	男	6,463	1,618 (25.0)	2,802 (43.4)	1,326 (20.5)	0 (0.0)	104 (1.6)	613 (9.5)
	女	5,090	1,868 (36.7)	2,138 (42.0)	836 (16.4)	0 (0.0)	40 (0.8)	208 (4.1)

			受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
尿酸	男		6,463	4,579 (70.8)	862 (13.3)	250 (3.9)	0 (0.0)	64 (1.0)	708 (11.0)
	女		5,090	4,963 (97.5)	65 (1.3)	32 (0.6)	0 (0.0)	3 (0.1)	27 (0.5)
CRP	男		6,200	5,752 (92.8)	342 (5.5)	13 (0.2)	0 (0.0)	88 (1.4)	5 (0.1)
	女		4,947	4,599 (93.0)	300 (6.1)	8 (0.2)	0 (0.0)	35 (0.7)	5 (0.1)
リウマチ 因子	男		5,335	4,777 (89.5)	0 (0.0)	542 (10.2)	0 (0.0)	1 (0.0)	15 (0.3)
	女		4,441	3,859 (86.9)	0 (0.0)	531 (12.0)	0 (0.0)	1 (0.0)	50 (1.1)
肝炎 ウイルス	男		5,561	5,497 (98.8)	0 (0.0)	24 (0.4)	0 (0.0)	11 (0.2)	29 (0.5)
	女		4,629	4,542 (98.1)	0 (0.0)	54 (1.2)	0 (0.0)	8 (0.2)	25 (0.5)
CPK	男		5,379	5,117 (95.1)	0 (0.0)	258 (4.8)	0 (0.0)	4 (0.1)	0 (0.0)
	女		4,475	4,176 (93.3)	0 (0.0)	299 (6.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
眼底	男		6,371	4,791 (75.2)	28 (0.4)	1,173 (18.4)	208 (3.3)	17 (0.3)	152 (2.4)
	女		5,020	4,017 (80.0)	16 (0.3)	745 (14.8)	139 (2.8)	10 (0.2)	92 (1.8)
眼圧	男		6,288	5,836 (92.8)	0 (0.0)	4 (0.1)	0 (0.0)	61 (1.0)	387 (6.2)
	女		4,939	4,657 (94.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	34 (0.7)	248 (5.0)
聴力	男		6,447	4,942 (76.7)	0 (0.0)	1,146 (17.8)	0 (0.0)	296 (4.6)	63 (1.0)
	女		5,069	4,464 (88.1)	0 (0.0)	448 (8.8)	0 (0.0)	111 (2.2)	46 (0.9)
肺機能*	男		6,084	5,336 (87.7)	0 (0.0)	484 (8.0)	0 (0.0)	230 (3.8)	34 (0.6)
	女		4,788	4,461 (93.2)	0 (0.0)	176 (3.7)	0 (0.0)	138 (2.9)	13 (0.3)
腹部 超音波	男		6,407	910 (14.2)	1,753 (27.4)	3,578 (55.8)	0 (0.0)	155 (2.4)	11 (0.2)
	女		5,041	1,205 (23.9)	1,712 (34.0)	1,991 (39.5)	0 (0.0)	129 (2.6)	4 (0.1)
甲状腺 ホルモン	男		61	51 (83.6)	0 (0.0)	8 (13.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.3)
	女		190	162 (85.3)	0 (0.0)	27 (14.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)
甲状腺 超音波	男		68	20 (29.4)	18 (26.5)	23 (33.8)	0 (0.0)	7 (10.3)	0 (0.0)
	女		309	24 (7.8)	94 (30.4)	177 (57.3)	0 (0.0)	8 (2.6)	6 (1.9)
NT-ProBNP	男		49	43 (87.8)	0 (0.0)	6 (12.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女		61	36 (59.0)	0 (0.0)	25 (41.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
頸動脈 超音波	男		231	99 (42.9)	47 (20.3)	80 (34.6)	0 (0.0)	5 (2.2)	0 (0.0)
	女		202	122 (60.4)	33 (16.3)	45 (22.3)	0 (0.0)	2 (1.0)	0 (0.0)
骨粗鬆症	男		69	37 (53.6)	0 (0.0)	24 (34.8)	0 (0.0)	6 (8.7)	2 (2.9)
	女		412	252 (61.2)	0 (0.0)	79 (19.2)	0 (0.0)	51 (12.4)	30 (7.3)
視野	男		121	108 (89.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (10.7)	0 (0.0)
	女		124	114 (91.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (8.1)	0 (0.0)

※受診者数に判定不能含む

\*5月8日より再開

表4 検査項目別判定内訳(2)

		受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
胃がん検診	上部消化管 X 線 男	3,756	2,575 (68.6)	0 (0.0)	1,038 (27.6)	0 (0.0)	143 (3.8)	0 (0.0)
	女	2,699	1,702 (63.1)	0 (0.0)	940 (34.8)	0 (0.0)	57 (2.1)	0 (0.0)
	上部消化管内視鏡 男	2,068	87 (4.2)	637 (30.8)	1,259 (60.9)	32 (1.5)	42 (2.0)	9 (0.4)
	女	1,436	59 (4.1)	590 (41.1)	751 (52.3)	18 (1.3)	14 (1.0)	4 (0.3)
	計 男	5,824	2,662 (45.7)	637 (10.9)	2,297 (39.4)	32 (0.5)	185 (3.2)	9 (0.2)
	女	4,135	1,761 (42.6)	590 (14.3)	1,691 (40.9)	18 (0.4)	71 (1.7)	4 (0.1)
肺がん検診	胸部 X 線 男	5,855	5,189 (88.6)	0 (0.0)	486 (8.3)	0 (0.0)	171 (2.9)	9 (0.2)
	女	4,566	4,004 (87.7)	0 (0.0)	446 (9.8)	0 (0.0)	107 (2.3)	9 (0.2)
	胸部 C T 男	516	224 (43.4)	0 (0.0)	284 (55.0)	0 (0.0)	8 (1.6)	0 (0.0)
	女	276	137 (49.6)	0 (0.0)	135 (48.9)	0 (0.0)	4 (1.4)	0 (0.0)
	計 男	6,371	5,413 (85.0)	0 (0.0)	770 (12.1)	0 (0.0)	179 (2.8)	9 (0.1)
	女	4,842	4,141 (85.5)	0 (0.0)	581 (12.0)	0 (0.0)	111 (2.3)	9 (0.2)
喀痰細胞診	男	2,243	2,229 (99.4)	0 (0.0)	9 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.0)	0 (0.0)
	女	982	977 (99.5)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
大腸がん検診	男	6,336	6,067 (95.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	262 (4.1)	7 (0.1)
	女	4,827	4,639 (96.1)	0 (0.0)	3 (0.1)	0 (0.0)	180 (3.7)	5 (0.1)
子宮頸がん検診	女	2,824	2,475 (87.6)	73 (2.6)	195 (6.9)	7 (0.2)	57 (2.0)	17 (0.6)
乳がん検診	マンモグラフィ* 女	2,432	2,039 (83.8)	0 (0.0)	337 (13.9)	0 (0.0)	56 (2.3)	0 (0.0)
	乳房超音波 女	3,441	1,089 (31.6)	1,400 (40.7)	887 (25.8)	0 (0.0)	65 (1.9)	0 (0.0)
前立腺がん検診	男	1,803	1,669 (92.6)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	97 (5.4)	36 (2.0)

※ 受診者数に判定不能を含む

※ 肺がんは重複受診者及び肺ドック受診者を含む

※ 子宮頸がん、乳がんは婦人ドック受診者を含む

\* マンモグラフィの受診者数に、3Dマンモグラフィを追加受診した者を含む

		受診者数	陰性 (%)	陽性 (%)
HPV-DNA	女	74	69 (93.2)	5 (6.8)
ペプシノゲン	男	249	243 (97.6)	6 (2.4)
	女	296	280 (94.6)	16 (5.4)
ヘリコバクター・ピロリ抗体	男	355	295 (83.1)	60 (16.9)
	女	371	311 (83.8)	60 (16.2)

※ HPV-DNA受診者数に追加者を含む

表5 胃がん検診 性・年齢階級別精検受診状況

令和5年10月31日現在

受診者数				要精検者 (%)				精検受診者 (%)				精 検 結 果 内 訳							未受診 (%)		未把握 (%)	
												胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	食道がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず					
男	29歳以下	43	0	(0.0)	—	—								—	—	—	—					
	30～34歳	220	8	(3.6)	5	(62.5)					4	1	1	(12.5)	2	(25.0)						
	35～39歳	431	9	(2.1)	6	(66.7)					5	1	0	(0.0)	3	(33.3)						
	40～44歳	607	17	(2.8)	9	(52.9)					5	4	0	(0.0)	8	(47.1)						
	45～49歳	823	19	(2.3)	13	(68.4)	1				8	4	1	(5.3)	5	(26.3)						
	50～54歳	963	31	(3.2)	20	(64.5)					17	3	0	(0.0)	11	(35.5)						
	55～59歳	1,055	42	(4.0)	35	(83.3)					28	7	0	(0.0)	7	(16.7)						
	60～64歳	851	36	(4.2)	25	(69.4)	1		1	1	19	3	0	(0.0)	11	(30.6)						
	65～69歳	427	29	(6.8)	23	(79.3)					23		0	(0.0)	6	(20.7)						
70歳以上	404	26	(6.4)	22	(84.6)	2		2		18		0	(0.0)	4	(15.4)							
計	5,824	217	(3.7)	158	(72.8)	4	0	3	1	127	23	2	(0.9)	57	(26.3)							
女	29歳以下	26	0	(0.0)	—	—							—	—	—	—						
	30～34歳	92	0	(0.0)	—	—							—	—	—	—						
	35～39歳	213	2	(0.9)	2	(100.0)					2		0	(0.0)	0	(0.0)						
	40～44歳	466	9	(1.9)	5	(55.6)					4	1	1	(11.1)	3	(33.3)						
	45～49歳	686	16	(2.3)	14	(87.5)					11	3	0	(0.0)	2	(12.5)						
	50～54歳	858	18	(2.1)	10	(55.6)					8	2	1	(5.6)	7	(38.9)						
	55～59歳	770	17	(2.2)	14	(82.4)					11	3	0	(0.0)	3	(17.6)						
	60～64歳	520	17	(3.3)	15	(88.2)					14	1	0	(0.0)	2	(11.8)						
	65～69歳	268	3	(1.1)	3	(100.0)					3		0	(0.0)	0	(0.0)						
70歳以上	236	7	(3.0)	6	(85.7)					5	1	0	(0.0)	1	(14.3)							
計	4,135	89	(2.2)	69	(77.5)	0	0	0	0	58	11	2	(2.2)	18	(20.2)							
総 数	9,959	306	(3.1)	227	(74.2)	4	0	3	1	185	34	4	(1.3)	75	(24.5)							

表6 胃がん検診 性・年齢階級別精検受診状況（上部消化管X線）

令和5年10月31日現在

精 検 結 果 内 訳														
受診者数		要精検者 (%)		精検受診者 (%)		胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認 め ず	未受診 (%)		未把握 (%)	
男	29歳以下	37	0	(0.0)	—	—					—	—	—	—
	30～34歳	173	3	(1.7)	3	(100.0)			2	1	0	(0.0)	0	(0.0)
	35～39歳	333	5	(1.5)	3	(60.0)			3		0	(0.0)	2	(40.0)
	40～44歳	433	13	(3.0)	7	(53.8)			3	4	0	(0.0)	6	(46.2)
	45～49歳	572	14	(2.4)	10	(71.4)			6	4	0	(0.0)	4	(28.6)
	50～54歳	656	19	(2.9)	13	(68.4)			12	1	0	(0.0)	6	(31.6)
	55～59歳	701	35	(5.0)	28	(80.0)			23	5	0	(0.0)	7	(20.0)
	60～64歳	516	25	(4.8)	18	(72.0)			16	2	0	(0.0)	7	(28.0)
	65～69歳	196	18	(9.2)	16	(88.9)			16		0	(0.0)	2	(11.1)
70歳以上	139	11	(7.9)	10	(90.9)			10		0	(0.0)	1	(9.1)	
計	3,756	143	(3.8)	108	(75.5)	0	0	0	91	17	0	(0.0)	35	(24.5)
女	29歳以下	21	0	(0.0)	—	—					—	—	—	—
	30～34歳	74	0	(0.0)	—	—					—	—	—	—
	35～39歳	140	2	(1.4)	2	(100.0)			2		0	(0.0)	0	(0.0)
	40～44歳	333	5	(1.5)	5	(100.0)			4	1	0	(0.0)	0	(0.0)
	45～49歳	467	11	(2.4)	11	(100.0)			8	3	0	(0.0)	0	(0.0)
	50～54歳	610	11	(1.8)	8	(72.7)			7	1	0	(0.0)	3	(27.3)
	55～59歳	527	11	(2.1)	8	(72.7)			6	2	0	(0.0)	3	(27.3)
	60～64歳	313	10	(3.2)	10	(100.0)			9	1	0	(0.0)	0	(0.0)
	65～69歳	126	3	(2.4)	3	(100.0)			3		0	(0.0)	0	(0.0)
70歳以上	88	4	(4.5)	3	(75.0)			3		0	(0.0)	1	(25.0)	
計	2,699	57	(2.1)	50	(87.7)	0	0	0	42	8	0	(0.0)	7	(12.3)
総 数	6,455	200	(3.1)	158	(79.0)	0	0	0	133	25	0	(0.0)	42	(21.0)

表7 胃がん検診 性・年齢階級別精検受診状況（上部消化管内視鏡）

令和5年10月31日現在

		精 検 結 果 内 訳										未受診 (%)		未把握 (%)		
受診者数		要精検者 (%)		精検受診者 (%)		胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	食道がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず					
男	29歳以下	6	0	(0.0)	—	—							—	—	—	—
	30～34歳	47	5	(10.6)	2	(40.0)					2		1	(20.0)	2	(40.0)
	35～39歳	98	4	(4.1)	3	(75.0)					2	1	0	(0.0)	1	(25.0)
	40～44歳	174	4	(2.3)	2	(50.0)					2		0	(0.0)	2	(50.0)
	45～49歳	251	5	(2.0)	3	(60.0)	1				2		1	(20.0)	1	(20.0)
	50～54歳	307	12	(3.9)	7	(58.3)					5	2	0	(0.0)	5	(41.7)
	55～59歳	354	7	(2.0)	7	(100.0)					5	2	0	(0.0)	0	(0.0)
	60～64歳	335	11	(3.3)	7	(63.6)	1		1	1	3	1	0	(0.0)	4	(36.4)
65～69歳	231	11	(4.8)	7	(63.6)					7		0	(0.0)	4	(36.4)	
70歳以上	265	15	(5.7)	12	(80.0)	2		2		8		0	(0.0)	3	(20.0)	
計		2,068	74	(3.6)	50	(67.6)	4	0	3	1	36	6	2	(2.7)	22	(29.7)
女	29歳以下	5	0	(0.0)	—	—							—	—	—	—
	30～34歳	18	0	(0.0)	—	—							—	—	—	—
	35～39歳	73	0	(0.0)	—	—							—	—	—	—
	40～44歳	133	4	(3.0)	0	(0.0)							1	(25.0)	3	(75.0)
	45～49歳	219	5	(2.3)	3	(60.0)					3		0	(0.0)	2	(40.0)
	50～54歳	248	7	(2.8)	2	(28.6)					1	1	1	(14.3)	4	(57.1)
	55～59歳	243	6	(2.5)	6	(100.0)					5	1	0	(0.0)	0	(0.0)
	60～64歳	207	7	(3.4)	5	(71.4)					5		0	(0.0)	2	(28.6)
65～69歳	142	0	(0.0)	—	—							—	—	—	—	
70歳以上	148	3	(2.0)	3	(100.0)					2	1	0	(0.0)	0	(0.0)	
計		1,436	32	(2.2)	19	(59.4)	0	0	0	0	16	3	2	(6.3)	11	(34.4)
総 数		3,504	106	(3.0)	69	(65.1)	4	0	3	1	52	9	4	(3.8)	33	(31.1)

表8 肺がん検診 性・年齢階級別精検受診状況

令和5年10月31日現在

		受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
					原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
男	29歳以下	45	2 (4.4)	2 (100.0)				2	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～34歳	227	2 (0.9)	2 (100.0)				2	0 (0.0)	0 (0.0)
	35～39歳	455	3 (0.7)	3 (100.0)			1	2	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～44歳	647	10 (1.5)	9 (90.0)		1	3	5	0 (0.0)	1 (10.0)
	45～49歳	878	19 (2.2)	15 (78.9)			5	10	0 (0.0)	4 (21.1)
	50～54歳	1,036	32 (3.1)	24 (75.0)			7	17	0 (0.0)	8 (25.0)
	55～59歳	1,126	26 (2.3)	20 (76.9)			5	15	0 (0.0)	6 (23.1)
	60～64歳	967	35 (3.6)	33 (94.3)		1	15	17	0 (0.0)	2 (5.7)
65～69歳	490	13 (2.7)	11 (84.6)			6	5	0 (0.0)	2 (15.4)	
70歳以上	529	38 (7.2)	33 (86.8)	1	4	14	14	1 (2.6)	4 (10.5)	
計		6,400	180 (2.8)	152 (84.4)	1	6	56	89	1 (0.6)	27 (15.0)
女	29歳以下	29	1 (3.4)	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～34歳	110	0 (0.0)	－	－				－	－
	35～39歳	252	4 (1.6)	4 (100.0)			2	2	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～44歳	554	2 (0.4)	2 (100.0)			2		0 (0.0)	0 (0.0)
	45～49歳	815	16 (2.0)	10 (62.5)			6	4	0 (0.0)	6 (37.5)
	50～54歳	973	12 (1.2)	9 (75.0)			6	3	1 (8.3)	2 (16.7)
	55～59歳	873	21 (2.4)	17 (81.0)		3	6	8	0 (0.0)	4 (19.0)
	60～64歳	602	24 (4.0)	21 (87.5)		2	14	5	0 (0.0)	3 (12.5)
	65～69歳	335	9 (2.7)	9 (100.0)			4	5	0 (0.0)	0 (0.0)
	70歳以上	335	22 (6.6)	17 (77.3)		1	8	8	0 (0.0)	5 (22.7)
計		4,878	111 (2.3)	90 (81.1)	0	6	48	36	1 (0.9)	20 (18.0)
総 数		11,278	291 (2.6)	242 (83.2)	1	12	104	125	2 (0.7)	47 (16.2)

表9 肺がん検診 性・年齢階級別精検受診状況（胸部X線）

令和5年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	内 訳		精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
			X線	喀痰		原発性肺がん	肺がん(疑)	その他の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	42	2 (4.8)	2	0	2 (100.0)				2	0 (0.0)	0 (0.0)
30～34歳	215	2 (0.9)	2	0	2 (100.0)				2	0 (0.0)	0 (0.0)
35～39歳	431	3 (0.7)	3	0	3 (100.0)			1	2	0 (0.0)	0 (0.0)
40～44歳	609	9 (1.5)	9	0	8 (88.9)		1	3	4	0 (0.0)	1 (11.1)
45～49歳	823	19 (2.3)	19	0	15 (78.9)			5	10	0 (0.0)	4 (21.1)
男 50～54歳	959	32 (3.3)	32	0	24 (75.0)			7	17	0 (0.0)	8 (25.0)
55～59歳	1,058	26 (2.5)	26	0	20 (76.9)			5	15	0 (0.0)	6 (23.1)
60～64歳	869	33 (3.8)	33	0	32 (97.0)		1	15	16	0 (0.0)	1 (3.0)
65～69歳	414	13 (3.1)	13	0	11 (84.6)			6	5	0 (0.0)	2 (15.4)
70歳以上	435	33 (7.6)	32	1	28 (84.8)	1	3	12	12	1 (3.0)	4 (12.1)
計	5,855	172 (2.9)	171	1	145 (84.3)	1	5	54	85	1 (0.6)	26 (15.1)
29歳以下	28	1 (3.6)	1	0	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)
30～34歳	106	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
35～39歳	236	4 (1.7)	4	0	4 (100.0)			2	2	0 (0.0)	0 (0.0)
40～44歳	525	2 (0.4)	2	0	2 (100.0)			2		0 (0.0)	0 (0.0)
45～49歳	764	15 (2.0)	15	0	10 (66.7)			6	4	0 (0.0)	5 (33.3)
女 50～54歳	917	11 (1.2)	11	0	8 (72.7)			5	3	1 (9.1)	2 (18.2)
55～59歳	829	21 (2.5)	21	0	17 (81.0)		3	6	8	0 (0.0)	4 (19.0)
60～64歳	559	23 (4.1)	23	0	21 (91.3)		2	14	5	0 (0.0)	2 (8.7)
65～69歳	310	8 (2.6)	8	0	8 (100.0)			3	5	0 (0.0)	0 (0.0)
70歳以上	292	22 (7.5)	22	0	17 (77.3)		1	8	8	0 (0.0)	5 (22.7)
計	4,566	107 (2.3)	107	0	88 (82.2)	0	6	46	36	1 (0.9)	18 (16.8)
総 数	10,421	279 (2.7)	278	1	233 (83.5)	1	11	100	121	2 (0.7)	44 (15.8)

表10 肺がん検診 性・年齢階級別精検受診状況（胸部CT）

令和5年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	内 訳		精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
			CT	喀痰		原発性肺がん	肺がん(疑)	その他の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	3	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
30～34歳	12	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
35～39歳	22	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
40～44歳	35	1 (2.9)	1	0	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)
45～49歳	56	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
男 50～54歳	75	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
55～59歳	58	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
60～64歳	90	2 (2.2)	2	0	1 (50.0)				1	0 (0.0)	1 (50.0)
65～69歳	73	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
70歳以上	92	5 (5.4)	5	0	5 (100.0)		1	2	2	0 (0.0)	0 (0.0)
計	516	8 (1.6)	8	0	7 (87.5)	0	1	2	4	0 (0.0)	1 (12.5)
29歳以下	1	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
30～34歳	2	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
35～39歳	16	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
40～44歳	24	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
45～49歳	50	1 (2.0)	1	0	0 (0.0)					0 (0.0)	1 (100.0)
女 50～54歳	48	1 (2.1)	1	0	1 (100.0)			1		0 (0.0)	0 (0.0)
55～59歳	33	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
60～64歳	35	1 (2.9)	1	0	0 (0.0)					0 (0.0)	1 (100.0)
65～69歳	25	1 (4.0)	1	0	1 (100.0)			1		0 (0.0)	0 (0.0)
70歳以上	42	0 (0.0)	0	0	— —					— —	— —
計	276	4 (1.4)	4	0	2 (50.0)	0	0	2	0	0 (0.0)	2 (50.0)
総 数	792	12 (1.5)	12	0	9 (75.0)	0	1	4	4	0 (0.0)	3 (25.0)



表11 大腸がん検診 性・年齢階級別精検受診状況

令和5年10月31日現在

精 検 結 果 内 訳													
	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	大腸がん (早期)	大腸がん (進行)	大腸がん (疑)	腫瘍マーカー 陽性 (10nm以上)	その他 の疾患	異 常 認めず	未受診 (%)	未把握 (%)		
男	29歳以下	44	3 (6.8)	0 (0.0)						0 (0.0)	3 (100.0)		
	30～34歳	225	11 (4.9)	8 (72.7)				6	2	1 (9.1)	2 (18.2)		
	35～39歳	447	13 (2.9)	11 (84.6)	1		1	6	3	0 (0.0)	2 (15.4)		
	40～44歳	638	18 (2.8)	11 (61.1)		1		1	6	3	0 (0.0)	7 (38.9)	
	45～49歳	862	21 (2.4)	14 (66.7)				1	9	4	0 (0.0)	7 (33.3)	
	50～54歳	1,034	43 (4.2)	32 (74.4)	2			3	25	2	2 (4.7)	9 (20.9)	
	55～59歳	1,120	51 (4.6)	36 (70.6)	1			5	24	6	2 (3.9)	13 (25.5)	
	60～64歳	959	44 (4.6)	28 (63.6)	1		1	1	21	4	1 (2.3)	15 (34.1)	
65～69歳	487	26 (5.3)	21 (80.8)	2			2	16	1	0 (0.0)	5 (19.2)		
70歳以上	520	32 (6.2)	21 (65.6)	1		1	1	17	1	2 (6.3)	9 (28.1)		
計	6,336	262 (4.1)	182 (69.5)	8	1	3	14	130	26	8 (3.1)	72 (27.5)		
女	29歳以下	27	3 (11.1)	1 (33.3)				1		0 (0.0)	2 (66.7)		
	30～34歳	108	4 (3.7)	3 (75.0)				1	2	1 (25.0)	0 (0.0)		
	35～39歳	246	13 (5.3)	9 (69.2)				4	5	0 (0.0)	4 (30.8)		
	40～44歳	520	20 (3.8)	16 (80.0)				1	9	6	0 (0.0)	4 (20.0)	
	45～49歳	776	33 (4.3)	15 (45.5)				1	8	6	4 (12.1)	14 (42.4)	
	50～54歳	968	34 (3.5)	22 (64.7)				1	13	8	1 (2.9)	11 (32.4)	
	55～59歳	897	29 (3.2)	24 (82.8)	1			2	12	9	2 (6.9)	3 (10.3)	
	60～64歳	620	20 (3.2)	14 (70.0)	1			1	8	4	1 (5.0)	5 (25.0)	
65～69歳	334	11 (3.3)	10 (90.9)		1			5	4	0 (0.0)	1 (9.1)		
70歳以上	331	13 (3.9)	9 (69.2)					8	1	1 (7.7)	3 (23.1)		
計	4,827	180 (3.7)	123 (68.3)	2	1	0	7	68	45	10 (5.6)	47 (26.1)		
総 数	11,163	442 (4.0)	305 (69.0)	10	2	3	21	198	71	18 (4.1)	119 (26.9)		

表12 子宮頸がん検診 年齢階級別精検受診状況

令和5年10月31日現在

	受診 者数	細胞診結果（ベセスダ分類）*1										HPV 結果内訳			要精検者 （%）*2	精検受診者（%）	精 検 結 果 内 訳										未受診（%）	未把握（%）	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	標本 不適	陰性	陽性			判定 不能	浸潤 がん	上皮内 腺がん	上皮内 腺異形成	中等度 異形成	軽度 異形成	その他 <sup>a</sup> の疾患	異 常 認めず					
29歳以下	12				1								1			1 (8.3)	0 (0.0)									0 (0.0)	1 (100.0)		
30～34歳	45															0 (0.0)	—	—							—	—	—	—	
35～39歳	119				1	1							4			4 (3.4)	2 (50.0)							2	0 (0.0)	2 (50.0)	2 (50.0)		
40～44歳	312	10	1	3	2								17	1		11 (3.5)	8 (72.7)				2	3	3		0 (0.0)	3 (27.3)	3 (27.3)		
45～49歳	496	8	1	7			1						21	1		21 (4.2)	18 (85.7)						2	7	9	0 (0.0)	3 (14.3)	3 (14.3)	
50～54歳	585	4		3	1								13	1		14 (2.4)	8 (57.1)						1	4	3	1 (7.1)	5 (35.7)	5 (35.7)	
55～59歳	560	2	1		3								9	1		7 (1.3)	5 (71.4)						2		3	0 (0.0)	2 (28.6)	2 (28.6)	
60～64歳	367	2											2	1		1 (0.3)	1 (100.0)								1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
65～69歳	178															3 (1.7)	2 (66.7)							2	0 (0.0)	1 (33.3)	1 (33.3)		
70歳以上	150	1			1								2			2 (1.3)	2 (100.0)								1	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	2,824	27	3	14	9	0	1	0	0	0	0	0	69	5	0	64 (2.3)	46 (71.9)	0	0	0	2	8	17	19	1 (1.6)	17 (26.6)	17 (26.6)		

\*1 子宮頸部細胞診 (ベセスダ分類)

1: NILM 2: ASC-US 3: ASC-H 4: LSIL 5: HSIL 6: SCC 7: AGC 8: AIS 9: Adenocarcinoma 10: other malign

\*2 要精検者数に内診結果を含む

\*3 その他の疾患に子宮体がん1名含む

表13 乳がん検診 年齢階級別精検受診状況

令和5年10月31日現在

	受診者数	要精検者（％）	精検受診者（％）	精 検 結 果 内 訳						未受診（％）	未把握（％）
				乳がん （早期）	乳がん （進行）	乳がん （疑）	その他 の疾患	異 常 認めず			
29歳以下	12	1（8.3）	1（100.0）				1			0（0.0）	0（0.0）
30～34歳	59	1（1.7）	1（100.0）				1			0（0.0）	0（0.0）
35～39歳	165	6（3.6）	4（66.7）				4			0（0.0）	2（33.3）
40～44歳	388	29（7.5）	27（93.1）	4			23			0（0.0）	2（6.9）
45～49歳	591	27（4.6）	25（92.6）		1		19	5		1（3.7）	1（3.7）
50～54歳	707	21（3.0）	19（90.5）	3	1		13	2		0（0.0）	2（9.5）
55～59歳	652	8（1.2）	7（87.5）	1			2	4		0（0.0）	1（12.5）
60～64歳	443	11（2.5）	9（81.8）	1			5	3		0（0.0）	2（18.2）
65～69歳	229	2（0.9）	2（100.0）	1			1			0（0.0）	0（0.0）
70歳以上	198	4（2.0）	4（100.0）				4			0（0.0）	0（0.0）
総 数	3,444	110（3.2）	99（90.0）	10	2	0	73	14		1（0.9）	10（9.1）

表14 乳がん検診 方式別判定内訳

	受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
マンモグラフィ*+乳房超音波	2,429	726 (29.9)	830 (34.2)	789 (32.5)	84 (3.5)	0 (0.0)
マンモグラフィのみ*	3	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
乳房超音波のみ	1,012	314 (31.0)	410 (40.5)	262 (25.9)	26 (2.6)	0 (0.0)
総 数	3,444	1,043 (30.3)	1,240 (36.0)	1,051 (30.5)	110 (3.2)	0 (0.0)

\* マンモグラフィの受診者数に、3Dマンモグラフィを追加受診した者を含む

表15 乳がん検診 年齢階級別精検受診状況(マンモグラフィ+乳房超音波)

令和5年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	内 訳						精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳					未受診 (%)	未把握 (%)		
			マンモ* (%)		超音波 (%)		マンモ*+超音波 (%)			乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 疾患	異 常 認めず				
29歳以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—					—	—	—	—
30～34歳	2	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—						—	—	—	—
35～39歳	26	3 (11.5)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)					1		0 (0.0)		2 (66.7)	
40～44歳	233	19 (8.2)	7 (36.8)	7 (36.8)	5 (26.3)	17 (89.5)	2					15			0 (0.0)		2 (10.5)	
45～49歳	428	21 (4.9)	11 (52.4)	10 (47.6)	0 (0.0)	20 (95.2)						15	5		0 (0.0)		1 (4.8)	
50～54歳	550	20 (3.6)	11 (55.0)	5 (25.0)	4 (20.0)	18 (90.0)	3	1				12	2		0 (0.0)		2 (10.0)	
55～59歳	500	6 (1.2)	5 (83.3)	0 (0.0)	1 (16.7)	6 (100.0)	1					1	4		0 (0.0)		0 (0.0)	
60～64歳	352	9 (2.6)	7 (77.8)	2 (22.2)	0 (0.0)	7 (77.8)	1					3	3		0 (0.0)		2 (22.2)	
65～69歳	184	2 (1.1)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	1					1			0 (0.0)		0 (0.0)	
70歳以上	154	4 (2.6)	0 (0.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	4 (100.0)						4			0 (0.0)		0 (0.0)	
総 数	2,429	84 (3.5)	45 (53.6)	28 (33.3)	11 (13.1)	75 (89.3)	8	1	0	52	14	0 (0.0)			9 (10.7)			

\* マンモグラフィの受診者数に、3Dマンモグラフィを追加受診した者を含む

表16 乳がん検診 年齢階級別精検受診状況(乳房超音波のみ)

令和5年10月31日現在

	受診者数	要精検者（％）	精検受診者（％）	精 検 結 果 内 訳					未受診（％）	未把握（％）
				乳がん （早期）	乳がん （進行）	乳がん （疑）	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	12	1（8.3）	1（100.0）					1	0（0.0）	0（0.0）
30～34歳	57	1（1.8）	1（100.0）					1	0（0.0）	0（0.0）
35～39歳	139	3（2.2）	3（100.0）					3	0（0.0）	0（0.0）
40～44歳	155	10（6.5）	10（100.0）		2			8	0（0.0）	0（0.0）
45～49歳	162	6（3.7）	5（83.3）			1		4	1（16.7）	0（0.0）
50～54歳	155	1（0.6）	1（100.0）					1	0（0.0）	0（0.0）
55～59歳	152	2（1.3）	1（50.0）					1	0（0.0）	1（50.0）
60～64歳	91	2（2.2）	2（100.0）					2	0（0.0）	0（0.0）
65～69歳	45	0（0.0）	－	－					－	－
70歳以上	44	0（0.0）	－	－					－	－
総 数	1,012	26（2.6）	24（92.3）	2	1	0	21	0	1（3.8）	1（3.8）

表17 前立腺がん検診 年齢階級別精検受診状況

令和5年10月31日現在

	受診者数	要精検者（％）			精検受診者（％）			精 検 結 果 内 訳					未受診（％）		未把握（％）	
								前立腺 が ん (早期)	前立腺 が ん (進行)	前立腺 が ん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず				
29歳以下	2	0	(0.0)	－	－							－	－	－	－	
30～34歳	8	0	(0.0)	－	－							－	－	－	－	
35～39歳	19	1	(5.3)	1	(100.0)						1	0	(0.0)	0	(0.0)	
40～44歳	73	0	(0.0)	－	－							－	－	－	－	
45～49歳	136	2	(1.5)	2	(100.0)			1		1		0	(0.0)	0	(0.0)	
50～54歳	345	14	(4.1)	12	(85.7)			2	4	6		0	(0.0)	2	(14.3)	
55～59歳	402	20	(5.0)	19	(95.0)	1		2	6	10		0	(0.0)	1	(5.0)	
60～64歳	366	32	(8.7)	24	(75.0)			11	6	7		1	(3.1)	7	(21.9)	
65～69歳	215	18	(8.4)	15	(83.3)			5	5	5		0	(0.0)	3	(16.7)	
70歳以上	237	10	(4.2)	7	(70.0)			2	2	3		1	(10.0)	2	(20.0)	
総 数	1,803	97	(5.4)	80	(82.5)	1	0	23	23	33		2	(2.1)	15	(15.5)	

健 康 支 援

## 健康支援

## 概要及び実施状況

## 1] 特定保健指導

特定保健指導が開始された平成20年4月から、標準的な健診・保健指導プログラムに基づき、実施主体である医療保険者から委託を受け、「特定保健指導」を実施している。

令和5年度は20団体から委託を受け、積極的支援459人、動機付け支援652人、動機付け支援相当5人、合わせて1,116人の特定保健指導を実施した。そのうち健診当日の初回面接の分割実施は、国保以外1団体の51人（積極的支援14人、動機付け支援37人）に実施した。（健診当日の分割実施①の時点を実績として計上）

表1 特定保健指導実施状況

		実施者数	終了者数				途中終了者数				初回未完了者数 <sup>*4</sup> (%)	
			評価終了(%)		督促終了 <sup>*1</sup> (%)		脱落 <sup>*2</sup> (%)		資格喪失 <sup>*3</sup> (%)			
積極的支援	男	359	299	(83.3)	0	(0.0)	57	(15.9)	3	(0.8)	0	(0.0)
	女	100	70	(70.0)	0	(0.0)	28	(28.0)	1	(1.0)	1	(1.0)
動機付け支援相当	男	5	5	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	女	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
動機付け支援	男	382	326	(85.3)	53	(13.9)	1	(0.3)	2	(0.5)	0	(0.0)
	女	270	206	(76.3)	50	(18.5)	1	(0.4)	5	(1.9)	8	(3.0)
総数	男	746	630	(84.5)	53	(7.1)	58	(7.8)	5	(0.7)	0	(0.0)
	女	370	276	(74.6)	50	(13.5)	29	(7.8)	6	(1.6)	9	(2.4)

<sup>\*1</sup>督促終了とは、終了時評価が実施出来ず、度重なる督促により終了した者

<sup>\*2</sup>脱落とは、最終利用日から未利用のまま2ヶ月以上経過した者や支援途中で服薬開始となった者等

<sup>\*3</sup>資格喪失とは、退職等により保険が変更になった者

<sup>\*4</sup>初回未完了者とは、健診当日に初回面接の分割実施①を実施、後日の電話で②行動計画作成を完了できなかった者

## 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
積極的支援	441	416	483	394	459
動機付け支援相当	5	1	3	10	5
動機付け支援	1,131	963	1,016	969	652
総数	1,577	1,380	1,502	1,373	1,116

表2-1 積極的支援実施状況

	実施者数	終了者数				途中終了者数			
		評価終了(%)		督促終了 <sup>*1</sup> (%)		脱落 <sup>*2</sup> (%)		資格喪失 <sup>*3</sup> (%)	
国保 男	89	70	(78.7)	0	(0.0)	16	(18.0)	3	(3.4)
国保 女	28	23	(82.1)	0	(0.0)	4	(14.3)	1	(3.6)
国保以外 男	270	229	(84.8)	0	(0.0)	41	(15.2)	0	(0.0)
国保以外 女	58	40	(69.0)	0	(0.0)	18	(31.0)	0	(0.0)
総数	445	362	(81.3)	0	(0.0)	79	(17.8)	4	(0.9)

表2-2 積極的支援実施状況（初回面接の分割実施）

		実施者数	終了者数				途中終了者数				初回未完了者数* <sup>4</sup> (%)	
			評価終了(%)		督促終了* <sup>1</sup> (%)		脱落* <sup>2</sup> (%)		資格喪失* <sup>3</sup> (%)			
国保以外	男	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	女	14	7	(50.0)	0	(0.0)	6	(42.9)	0	(0.0)	1	(7.1)
総 数		14	7	(50.0)	0	(0.0)	6	(42.9)	0	(0.0)	1	(7.1)

表3 動機付け支援相当実施状況

		実施者数	終了者数				途中終了者数			
			評価終了(%)		督促終了* <sup>1</sup> (%)		脱落* <sup>2</sup> (%)		資格喪失* <sup>3</sup> (%)	
国 保	男	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	女	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
国保以外	男	5	5	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	女	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
総 数		5	5	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)

表4-1 動機付け支援実施状況

		実施者数	終了者数				途中終了者数			
			評価終了(%)		督促終了* <sup>1</sup> (%)		脱落* <sup>2</sup> (%)		資格喪失* <sup>3</sup> (%)	
国 保	男	63	56	(88.9)	7	(11.1)	0	(0.0)	0	(0.0)
	女	43	37	(86.0)	6	(14.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
国保以外	男	319	270	(84.6)	46	(14.4)	1	(0.3)	2	(0.6)
	女	190	145	(76.3)	41	(21.6)	1	(0.5)	3	(1.6)
総 数		615	508	(82.6)	100	(16.3)	2	(0.3)	5	(0.8)

表4-2 動機付け支援実施状況（初回面接の分割実施）

		実施者数	終了者数				途中終了者数				初回未完了者数*4(%)	
			評価終了(%)		督促終了*1(%)		脱落*2(%)		資格喪失*3(%)			
国保以外	男	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	女	37	24	(64.9)	3	(8.1)	0	(0.0)	2	(5.4)	8	(21.6)
総 数		37	24	(64.9)	3	(8.1)	0	(0.0)	2	(5.4)	8	(21.6)

## 2] 専門職の派遣、健康教育等の受託

市町等からの委託を受け、専門職の派遣を11団体に対して60日間実施した。また、健康教育は3団体に対して17日間実施した。

表5 実施状況

			実施団体数	実施日数	職種別派遣人数		
					保健師	管理栄養士	健康運動指導士
専門職の派遣	地 域		5	47	42	18	2
	職 域		6	13	14	0	2
	学 域		0	0	0	0	0
健康教育の受託	地 域		0	0	0	0	0
	職 域		3	17	19	7	10
	学 域		0	0	0	0	0
総 数			14	77	75	25	14

### 3] 健診データ等の統計・解析の実施

地域・職域診断サービスシステムを用いた健診結果報告書を20団体に提供した。また、そのうち9団体に対して個別に結果説明を実施した。

表6 地域・職域診断サービス健診結果報告書件数

	作成団体数	結果説明実施団体数
地 域	14	7
職 域	6	2
総 数	20	9

### 4] 健康相談センター

今年度は132人から151件の相談があった。前年度同様、人間ドックや集団健診後の検査所見の説明や医療機関受診に関する相談が約5割を占めていた。

表10 相談内容と件数

	件数
検 査 所 見 の 説 明	40
医 療 機 関 紹 介	37
検 査 内 容	3
生活習慣アドバイス	11
紹 介 状	27
そ の 他	33
総 数	151

### 5] 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施している。

当事業団では、平成27年度から当該研究に協力して健診事業を行っており、令和5年度は17名の健康診査を実施した。

# とちぎ健康づくりセンター支援事業



## とちぎ健康づくりセンター支援事業

### 1 概 要

#### 1] 目 的

健康増進施設「とちぎ健康づくりセンター」設置の目的である「生活習慣の改善による生活習慣病の予防その他県民の自主的な健康づくりの総合的な支援」の一層の推進のため、栃木県、とちぎ健康づくりセンターを運営する社会福祉法人とちぎ健康福祉協会、当事業団が協定書に基づき実施している。

#### 2] 内 容

- (1) とちぎ健康づくりセンター事業における医学的助言
- (2) とちぎ健康づくりセンター利用者の応急時における処置
- (3) とちぎ健康づくりセンター利用者の健康状態把握のための検査、測定等
- (4) とちぎ健康づくりセンターの利用促進に係る取組
- (5) 健康づくり相談及び健康づくり講座への支援
- (6) 特定保健指導対象者への運動プログラム提供ととちぎ健康づくりセンターの利用勧奨
- (7) とちぎ健康の森来館者に対する健康情報の提供

### 2 実施状況

#### 1] とちぎ健康づくりセンター事業における医学的助言

とちぎ健康づくりセンターの利用を希望する有病者に対し、自己の身体能力に応じた適切な健康づくりが実践できるよう、医師による面接相談を56人に対して実施した。また、スタッフに対し、疾患や利用者に関する助言等を実施した。

表1 医学的助言利用者数

相談日（日）	面接・相談（人）	助言・指導（人）
20	56	41

#### 2] とちぎ健康づくりセンター利用者の応急時における処置

とちぎ健康づくりセンター利用時における負傷等の応急処置については、0件であった。

#### 3] とちぎ健康づくりセンター利用者の健康状態把握のための検査、測定等

とちぎ健康づくりセンター利用者が安全に、より効果的に健康づくりに取り組めるよう、医学的検査（健康チェック）を希望者に対し実施した。

表2 検査・測定利用者数

	利用者数
健 康 診 断	2
血 液 検 査	2
内臓脂肪検査	6
骨 密 度 測 定	3
血管年齢検査	6
姿 勢 分 析	7
計	26

#### 4] とちぎ健康づくりセンター利用促進に係る取組

事業団における人間ドック受診者や特定保健指導利用者に対して、センターが実施する体力測定や健康づくり講座・施設利用講習への参加勧奨を行った。また、各種の講座チラシや情報誌「さんぽ」等の配布に協力した。

#### 5] 健康づくり相談及び健康づくり講座への支援

事業団から医師を派遣し、センター利用者の面接相談（1] 参照）や健康づくり講座の講師として協力した。また、事業団が有する検査機器を利用して、受講者の内臓脂肪測定や骨密度測定を実施した。

表3 健康づくり講座への支援内容

	支 援 内 容	実施数
3・3講座	内臓脂肪検査	19人
	医師派遣（講師）	1回
食べて健康講座	骨密度測定	3人
体を動かそう講座	姿勢分析	15人

#### 6] 特定保健指導対象者への運動プログラムの提供と、とちぎ健康づくりセンターの利用勧奨

事業団における特定保健指導利用者が運動に取り組めるように、センターの施設利用券を148枚配付し、35枚の利用があった。

#### 7] とちぎ健康の森来館者に対する健康情報の提供

社会福祉法人とちぎ健康福祉協会が主催する「とちぎ健康の森」健康づくりDayに「骨密度測定コーナー」を設置し、臨床検査技師1人を派遣し、114人に骨密度測定を実施した。

# 環 境 保 健

- 1 食 品 検 査
- 2 簡 易 専 用 水 道 検 査
- 3 食品自主衛生管理認証事業
- 4 放 射 能 検 査
- 5 そ の 他 の 検 査

1	食 品 検 査
---	---------

## 1 概 要

### 1] 目 的

安全な食品の確保、飲食物に起因する衛生上の危害を防止するため、細菌学的及び理化学的検査を実施する。

### 2] 対 象

- (1) 食品衛生法に基づく食品検査
- (2) 各種食品の指導基準に基づく検査
- (3) 栄養表示基準に基づく栄養成分分析
- (4) 調理場等のふきとり検査
- (5) 学校給食用食材検査
- (6) 保存試験
- (7) 異物検査
- (8) その他

### 3] 検査方法

法令項目は「食品衛生法に基づく方法」により検査を実施した。その他の項目は、各種の通知や食品衛生検査指針等に基づいて検査を実施した。

## 2 実施状況

表1 実施状況

	施 設 数	検 体 数	項目別検査件数	
			細菌検査	理化学検査
法 令 等 に よ る 検 査	217	937	1,467	602
一 般 依 頼 検 査	820	3,807	6,093	323
総 数	1,037	4,744	7,560	925

表2 検査項目数と不適件数（不適率）

	検査項目数	不適件数 (%)
細 菌 検 査	7,560	19 (0.3)
理 化 学 検 査	925	1 (0.1)
総 数	8,485	20 (0.2)

## 【年次推移】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
法令等による検査	細菌検査	5,416	5,013	3,247	1,449	1,467
	理化学検査	598	597	627	592	602
一般依頼検査	細菌検査	3,662	3,710	5,687	6,644	6,093
	理化学検査	1,303	404	390	257	323
不適率（％）	細菌検査	1.4	1.3	0.8	0.2	0.3
	理化学検査	0.3	0.5	0.2	0.2	0.1

表3 主な検査項目の件数及び不適数

## 【細菌検査】

	件数	不適数
食中毒菌	黄色ブドウ球菌	1,488
	サルモネラ属菌	462
	腸管出血性大腸菌O157等	293
	腸炎ビブリオ	134
	カンピロバクター	105
	セレウス菌	25
	リステリア属菌	13
その他細菌項目	生菌数	2,073 3
	大腸菌群	1,359 14
	E.coli(大腸菌)	1,072 2
	カビ	45
	酵母	131
	クロストリジウム属菌	42
	乳酸菌数	63
	緑膿菌	58
	耐熱性好気性菌	14

## 【理化学検査】

	件数	不適数
添加物試験	ソルビン酸	59
	亜硝酸根	69 1
	二酸化硫黄	18
	食用タール系色素	23
	安息香酸	15
	プロピレングリコール	15
	パラオキシ安息香酸	17
無機物	サッカリンナトリウム	6
	ナトリウム	51
	カルシウム	24
	ヒ素	14
	鉛	5
	重金属(鉛として)	9
	その他の無機物	13
栄養成分関係	たんぱく質	51
	水分	57
	熱量(エネルギー値)	51
	脂質	51
	食物繊維	5
	牛乳規格試験	54
	無脂乳固形分	6
その他	乳脂肪分	9
	シアン化合物	9
	酸価	74
	過酸化価	71
	水分活性	37
	異物検査	5

## 2

## 簡易専用水道検査

## 1 概 要

## 1] 目 的

市や町の水道水を受水槽と呼ばれる飲料用水槽に受けて使用する簡易専用水道及び小規模貯水槽水道について、設置者が実施している日々の管理状況を検査し、飲料水の安全を確保する。

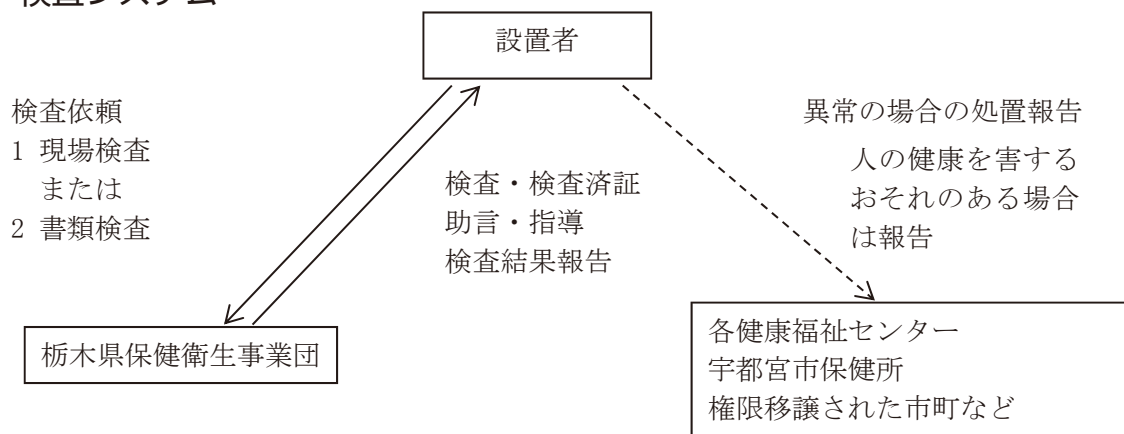
## 2] 対 象

学校や共同住宅、ビルなどに設置される受水槽の有効容量が10m<sup>3</sup>を超える施設（現場検査）、及び建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管理法）の適用がある施設（書類検査）。受水槽の有効容量が10m<sup>3</sup>以下の施設（小規模貯水槽水道）及び井戸水を受水槽に受けている施設についても依頼に基づき簡易専用水道検査に準じて検査を実施。

## 3] 登録検査機関

水道法第34条の2第2項に基づく厚生労働大臣登録検査機関（登録番号第41号）

## 4] 検査システム



## 5] 検査方法

## (1) 現場検査

## 1) 書類の整理等に関する検査

給水設備の図面（配管系統図や周辺構造物の配置図）、水槽の清掃記録、その他の帳簿書類の保存状況確認

## 2) 施設検査

受水槽や高置水槽及びその周辺の管理状況確認

## 3) 水質検査

臭気、味、色、色度、濁度及び残留塩素

## (2) ビル管理対象施設における書類検査

当該施設の管理担当者がビル管理技術者の意見に基づき記入した「簡易専用水道施設管理状況報告書」の内容を確認し、実施した。

## 2 実施状況

### 1] 実施状況

表1 実施件数

	実施件数
現場検査	1,326
書類検査	131

#### 【年次推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
現場検査	1,324	1,296	1,361	1,305	1,326
書類検査	144	137	133	136	131
総 数	1,468	1,433	1,494	1,441	1,457

表2 現場検査における受水槽の規模別実施状況

	V：受水槽の有効容量（m <sup>3</sup> ）	施設数	規模比率
小規模貯水槽水道	0<V≤ 5	20	1.5
	5<V≤ 10	74	5.6
簡易専用水道	10<V≤ 20	536	40.5
	20<V≤ 40	479	36.1
	40<V≤ 60	146	11.0
	60<V≤ 80	28	2.1
	80<V≤ 100	16	1.2
	100<V	27	2.0
総 数		1,326	100.0

### 2] 検査別総合判定

	実施件数	問題なし（％）		改善が必要（％）		衛生上問題あり（％）	
現場検査	1,326	666	(50.2)	639	(48.2)	21	(1.6)
書類検査	131	130	(99.2)	1	(0.8)	0	(0.0)
総数	1,457	796	(54.6)	640	(44.0)	21	(1.4)

## 3] 現場検査における不適について

表3 現場検査における不適事項件数及び内容

検査事項	判定基準	不適件数	
		受水槽	高置水槽
水槽周囲の状態	1 点検、清掃、修理等に支障のない空間がある	6	3
	2 清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていない	54	13
	3 たまり水、湧水等がない	35	30
水槽本体の状態	4 点検、清掃、修理等に支障のない形状である	0	7
	5 亀裂し、又は漏水している箇所がない	67	19
	6 雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がない	94	40
	7 電極部、揚水管等の接合部が固定、防水密閉されている	18	10
水槽上部の状態	8 水たまりができず、ほこり等有害なものの堆積がない	63	24
	9 ふたの上部には、他の設備機器等が置かれていない	0	0
	10 上床盤上部に、汚染設備、機器等が置かれていない	5	0
水槽内部の状態	11 沈積物、内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常にない	123	40
	12 掃除が定期的に行われている	6	1
	13 光が透過する状態になっていない	12	33
	14 当該施設以外の配管設備がない	5	1
	15 流入口と流出口が近接していない	14	2
	16 水中及び水面に異常な浮遊物質がない	3	2
マンホールの状態	17 ふたが防水密閉型であり、ほこり等有害なものが入らず、点検等を行う者以外が容易に開閉できないものである	64	58
	18 マンホール面は有効に立ち上がっている	2	0
オーバーフロー管の状態	19 管端部からほこり等有害なものが入らない	2	1
	20 管端部の防虫網が確認でき、正常であり、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分である	8	17
	21 管端部と排水管の流入口等とは直結でなく、その間隔は逆流防止に十分な距離である	7	1
通気管の状態	22 管端部からほこり等有害なものが入らない	4	3
	23 管端部の防虫網が確認でき、正常であり、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分である	53	96
	24 十分な有効断面積を有するものである	0	0
水抜管の状態	25 管端部と排水管の流入口等とは直結でなく、その間隔は逆流防止に十分な距離である	23	0
給水管等の状態	26 当該施設以外の配管設備と直接連結されていない	0	
	27 水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していない	0	
水質検査	28 臭気	0	
	29 味	0	
	30 色	0	
	31 色度	0	
	32 濁度	0	
	33 残留塩素	3	
書類の整理等に関する検査	34 簡易専用水道の設備の配置及び系統を明らかにした図面、受水槽の周囲の構造物の配置を明らかにした平面図及び水槽の掃除の記録その他の帳簿書類の適切な整理及び保存がなされていること。	223	



## 4] 保健所報告（簡易専用水道の区分で衛生上問題のあった施設）

表4 保健所報告件数及び内容

No.	報告要件 番 号	詳 細	指摘場所		
			受水槽	高置水槽	給水栓
1	(3)	残留塩素不検出			○
2	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入	○		
3	(5)	通気管の笠がなく内部へ雨水侵入	○		
4	(5)	水槽の亀裂箇所から雨水侵入	○		
5	(5)	水槽の亀裂箇所から雨水侵入	○		
6	(5)	通気管の笠が外れて内部へ雨水侵入		○	
7	(6)	清掃未実施	○		
8	(3)	残留塩素不検出			○
9	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入	○		
10	(3)	残留塩素不検出			○
11	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入	○		
12	(6)	清掃未実施	○		
13	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入	○		
14	(3)	残留塩素不検出			○
15	(6)	清掃未実施	○	○	
16	(6)	清掃未実施	○		
17	(6)	清掃未実施	○		
18	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入	○		
19	(6)	清掃未実施	○		
20	(3)	残塩不検出			○
21	(5)	通気管破損により内部へ雨水侵入	○		

付表 厚生労働省告示第262号による水の供給について特に衛生上問題のある場合

報告要件番号	内 容
(1)	汚水槽その他排水設備から水槽に汚水若しくは排水が流入し、又はそのおそれがある場合
(2)	水槽内に動物等の死骸がある場合
(3)	給水栓における水質の検査において、異常が認められる場合
(4)	水槽の上部が清潔に保たれず、又は、マンホール面が槽上面から、衛生上有効に立ち上がっていないため、汚水等が水槽に流入するおそれがある場合
(5)	マンホール、通気管等が著しく破損し、又は汚水若しくは雨水が水槽に流入するおそれがある場合
(6)	その他検査者が水の供給について特に衛生上問題があると認める場合

## 3

## 食品自主衛生管理認証事業

## 1 概 要

## 1] 認証制度

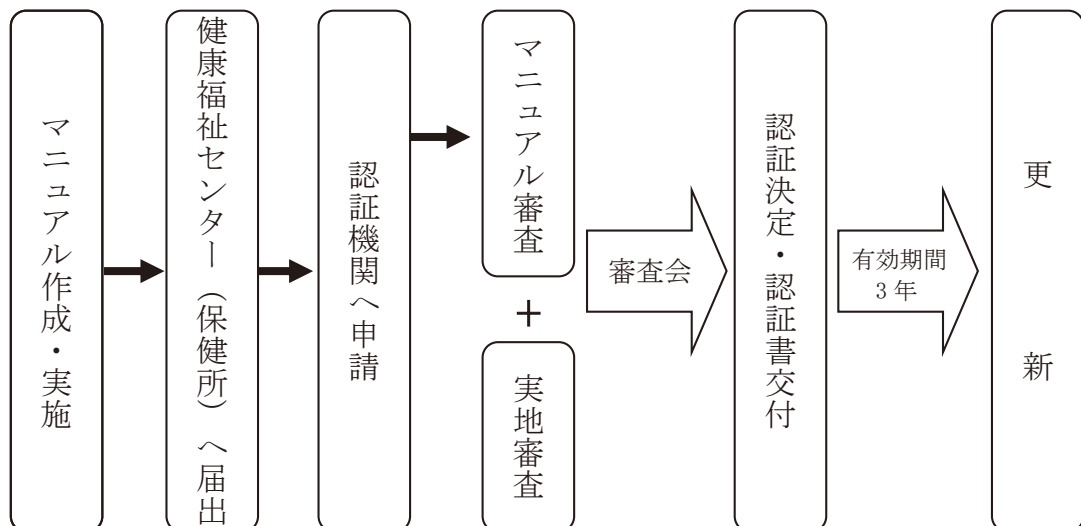
栃木県食品自主衛生管理認証制度（とちぎHACCP）

## 2] 目 的

食品関係事業者が自主的に行う衛生管理について、一定の水準にある施設を認証することにより、県内食品関係施設の衛生管理を推進させ食品の安全確保を図り、県民の安全・安心な食生活に寄与することを目的としている。

## 3] 認証の仕組み

栃木県食品自主衛生管理認証制度実施要綱（令和3年6月1日改正）に基づき、対象26業種の審査を行い認証書を交付する。



## 2 実施状況

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新
総	数	9	18	9	16	7	17	4	20	3	20

## 4

## 放射能検査

## 1 概要

## 1] 目的

県民の健康と食の安全・安心を守るために実施する。

## 2] 対象

学校・保育園給食、飲料水、農産物、畜産物、加工食品、魚介類、土壌 他

## 3] 搬入方法

- (1) 直接食品環境検査所に持込む方法
- (2) 指定場所にて回収する方法
- (3) 検査員が直接採取及び回収する方法

## 4] 検査方法

## (1) 精密検査

- 1) 測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリー
- 2) 検出核種：放射性ヨウ素 ( $^{131}\text{I}$ )、放射性セシウム ( $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ )

## 2 実施状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検査件数	553	370	599	542	479
不適件数 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

## 5

## その他の検査

## 1 浴槽水等の検査

## 1] 概要

## (1) 目的

安全な水を確保し、衛生上の危害を防止するため検査を実施する。

## (2) 対象

浴槽水、温泉水、地下水、河川水 他

## (3) 搬入方法

- 1) 直接食品環境検査所に持ち込む方法
- 2) 検査員が直接採取及び回収する方法

## (4) 検査方法

レジオネラ症防止指針や各通知等に基づいて検査を実施した。

## 2] 実施状況

表1 検査項目別不適状況

	検査件数	不適件数
レジオネラ属菌	485	61
浴槽水基準項目	71	8
嫌気性芽胞菌	133	0
その他	32	0
総 数	721	69

## 2 ノロウイルス検査

## 1] 概要

## (1) 目的

食中毒を未然に防止するため検査を実施した。

## (2) 対象

大量調理施設や飲食店の調理員 他

## (3) 搬入方法

- 1) 直接食品環境検査所に持ち込む方法
- 2) 指定場所にて回収する方法

## (4) 検査方法

大量調理施設衛生管理マニュアルに基づくリアルタイムPCRによる遺伝子検査法で実施した。

## 2] 実施状況

表2 依頼区分別陽性状況

	検査件数	陽性件数
大量調理施設	905	48
ホテル・レジャー施設	29	0
飲食店	85	1
その他	30	4
総 数	1,049	53

# 発見がん追跡調査結果

- 1 集 団 検 診
- 2 人 間 ド ッ ク

1	集 団 検 診
---	---------

## 1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

## 2 調査対象

令和4年度の地域検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

## 3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

### 1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

### 2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

### 3] 調査期間

初回調査：令和5年9月・・・調査票回収期限：令和5年9月29日

再 調 査：令和5年11月・・・調査票回収期限：令和5年11月30日

※再調査は、下記の場合に実施

(1) 初回調査の結果、転院が判明した者

(2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

## 4 用語の解説

### 1] 精密検査結果内訳

精 検 受 診：医療機関より精検結果の報告があった者。または、要精検者からの報告で精検受診日・精検法・精検結果・精検医療機関の4項目が揃っている者

精検未把握：精検受診の有無が不明な者。または精検を受診していても精検結果が正確に分からない者

精検未受診：精検を受診していても不適切な精検が行われた者。または、精検未受診が判明している者

### 2] 発見がん追跡調査

追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者（精検未把握者のうちがん又はがん疑いの者を含む）

詳細把握：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者

がん以外：発見がん追跡調査前に、がん以外の疾患であることを把握できた者

そ の 他：初回調査及び再調査実施後、新たに医療機関よりがん又はがん疑いと精検結果の報告を受け、今回の調査期間中に調査を実施出来なかった者やがんと判明しているものの精検医療機関が不明な者等

## 令和4年度 地域検診における発見がん追跡調査結果

令和6年1月31日現在

	胃がん	肺がん		大腸がん
	X線	胸部X線	胸部C T	
受診者数	39,045	77,616	873	75,514
要精検者数	2,532	1,871	40	3,558
要精検率(%)	6.5	2.4	4.6	4.7
精検受診者数	2,104	1,639	37	2,368
精検受診率(%)	83.1	87.6	92.5	66.6
追跡調査回収率(%)	100.0	98.6	100.0	99.3
発見がん数	37	67	2	123
がん発見率(%)	0.09	0.09	0.23	0.16
早期がん割合*(%)	97.3	52.2	0.0	57.7
陽性反応適中度(%)	1.5	3.6	5.0	3.5

	子宮頸がん			乳がん	前立腺がん
	細胞診のみ	ASC-US時HPV追加	H P V 併用		
受診者数	1,380	26,831	9,021	48,476	26,634
要精検者数	43	516	571	2,032	2,103
要精検率(%)	3.1	1.9	6.3	4.2	7.9
精検受診者数	32	420	510	1,826	1,642
精検受診率(%)	74.4	81.4	89.3	89.9	78.1
追跡調査回収率(%)	75.0	100.0	100.0	98.4	94.6
発見がん数	0	4	6	160	154
がん発見率(%)	0.00	0.01	0.07	0.33	0.58
早期がん割合*(%)	—	75.0	0.0	77.5	79.9
陽性反応適中度(%)	0.0	0.8	1.1	7.9	7.3

\*肺がんは0～I期、子宮頸がんはIA期を計上。

### 【付表1】 令和3年度 栃木県におけるがん検診実施状況（栃木県がん検診実施状況報告書より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受診者数	72,965	163,830	162,091	85,889	75,961
要精検率(%)	7.14	1.85	5.59	2.57	3.46
精検受診率(%)	84.4	82.4	67.2	86.8	91.1

### 【付表2】 令和4年度 日本対がん協会全国集計におけるがん検診実施状況（住民） （日本対がん協会がん検診年次報告書より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
受診者数	1,699,368	2,798,244	2,427,675	1,111,922	1,095,875	419,036
要精検率(%)	4.1	2.0	5.4	1.4	4.1	6.5
精検受診率(%)	80.8	81.2	65.5	83.1	88.1	63.9

### 【付表3】 がん検診に関する事業評価指標と許容値及び目標値 （がん検診の事業評価に関する委員会報告書より）

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
精検受診率	許容値	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	80.0%以上
	目標値	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
要精検率	許容値	11.0%以下	3.0%以下	7.0%以下	1.4%以下*	11.0%以下*
がん発見率	許容値	0.11%以上	0.03%以上	0.13%以上	0.05%以上*	0.23%以上*
陽性反応適中度	許容値	1.0%以上	1.3%以上	1.9%以上	4.0%以上*	2.5%以上*

\*乳がん検診、子宮がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

## 胃がん検診

### 【胃X線検査】

### 1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	
男	17,539	1,513	(8.6)
女	21,506	1,019	(4.7)
総数	39,045	2,532	(6.5)

### 2 精検結果内訳

	精検受診															精検未把握	精検未受診	総数
	早期がん	進行がん	がんに疑い	食道がん	その他の悪性腫瘍	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	胃潰瘍痕	十二指腸潰瘍	十二指腸潰瘍痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	その他の疾患	異常なし		
男	24	5	14	0	1	28	17	76	10	27	126	3	612	91	61	118	233	1,513
女	5	1	1	1	0	48	11	19	4	11	159	1	412	62	47	109	106	1,019
総数	29	6	15	1	1	76	28	95	14	38	285	4	1,024	153	108	227	339	2,532

### 3 発見がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)	
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		回収数	
男	43	0	0	1	42	42	(100.0)
女	7	0	1	0	6	6	(100.0)
総数	50	0	1	1	48	48	(100.0)

#### 2] 調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細）

	確定がん			食道がん	良性疾患	異常なし	未確定	追跡不能
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
男	31 (73.8)	1 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (23.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女	5 (83.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	36 (75.0)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (22.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

#### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
男	39歳以下	202	5 (2.5)	5 (100.0)
	40～44歳	924	32 (3.5)	23 (71.9)
	45～49歳	1,207	48 (4.0)	36 (75.0)
	50～54歳	1,210	57 (4.7)	34 (59.6)
	55～59歳	1,056	66 (6.3)	46 (69.7)
	60～64歳	1,812	126 (7.0)	91 (72.2)
	65～69歳	3,621	361 (10.0)	294 (81.4)
	70～74歳	4,675	505 (10.8)	415 (82.2)
	75～79歳	2,559	291 (11.4)	252 (86.6)
	80歳以上	273	22 (8.1)	17 (77.3)
	計	17,539	1,513 (8.6)	1,213 (80.2)
女	39歳以下	346	11 (3.2)	11 (100.0)
	40～44歳	1,854	32 (1.7)	28 (87.5)
	45～49歳	2,181	50 (2.3)	41 (82.0)
	50～54歳	2,173	56 (2.6)	41 (73.2)
	55～59歳	2,030	74 (3.6)	61 (82.4)
	60～64歳	2,782	133 (4.8)	118 (88.7)
	65～69歳	3,915	221 (5.6)	194 (87.8)
	70～74歳	4,285	281 (6.6)	252 (89.7)
	75～79歳	1,860	150 (8.1)	137 (91.3)
	80歳以上	80	11 (13.8)	8 (72.7)
	計	21,506	1,019 (4.7)	891 (87.4)
総数	39,045	2,532 (6.5)	2,104 (83.1)	37 (0.09)



#### 4] 発見がんの詳細

深達度	早期		進行				不 明
	M	SM	MP	SS	SE	SI	
男	26	5	0	1	0	0	0
女	3	2	0	0	0	0	0
総数	29	7	0	1	0	0	0

#### 5] 早期・進行別発見数

深達度	発見数	総 数 (%)
早期 M	29	36 (97.3)
SM	7	
進行 MP	0	1 (2.7)
SS	1	
SE	0	
SI	0	
総数	37	37 (100.0)

#### 6] 肉眼的分類別発見数

肉眼的分類	発見数
I	2
II a	8
II a+ II c	5
II b	2
II c	19
II c+ II a	0
1型	0
2型	1
3型	0
4型	0
5型	0
総数	37

#### 7] 進行度分類（病理）別発見数

進行度	発見数
I A	36
I B	0
II A	1
II B	0
III A	0
III B	0
III C	0
IV	0
不明	0
総 数	37

#### 8] 部位（壁在）分類別発見数

	早期	進行	総 数
前壁	7	0	7
後壁	9	1	10
大彎	4	0	4
小彎	16	0	16
全周	0	0	0
総数	36	1	37

#### 9] 部位（UML）分類別発見数

	早期	進行	総 数
U	2	0	2
UM	0	1	1
MU	1	0	1
M	6	0	6
ML	7	0	7
LM	4	0	4
L	16	0	16
全体	0	0	0
総数	36	1	37

#### 10] 組織型分類別発見数

組織型	発見数
pap	0
tub1	26
tub2	8
por1	1
por2	1
por(1,2不明)	0
sig	1
muc	0
特殊型	0
総 数	37

#### 11] 治療分類別発見数

	発見数
外 科 手 術	2
腹腔鏡下手術	12
内視鏡的治療	22
化 学 療 法	0
無 治 療	0
未 記 入	1
そ の 他	0
総 数	37

#### 12] 初回・非初回別発見数

		受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	発見数 (%)	発 見 が ん 内 訳	
						早 期 (%)	進 行 (%)
初 回	男	3,947	433	334 (77.1)	9 (0.23)	9 (100.0)	0 (0.0)
	女	4,829	313	264 (84.3)	2 (0.04)	2 (100.0)	0 (0.0)
	計	8,776	746	598 (80.2)	11 (0.13)	11 (100.0)	0 (0.0)
非初回	男	13,592	1,080	879 (81.4)	23 (0.17)	22 (95.7)	1 (4.3)
	女	16,677	706	627 (88.8)	3 (0.02)	3 (100.0)	0 (0.0)
	計	30,269	1,786	1,506 (84.3)	26 (0.09)	25 (96.2)	1 (3.8)
総 数		39,045	2,532	2,104 (83.1)	37 (0.09)	36 (97.3)	1 (2.7)

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も胃がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上胃がん検診を受診している者

## 【胃がんリスク層別化検診】

### 1 検診実施状況

#### 1) 判定区分

	異常認めず		要二次検査	
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	－	－	＋	＋
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	－	＋	＋	－

#### 2) 判定区分内訳

年 齢	受診者数	A群 (%)		B群 (%)		C群 (%)		D群 (%)		B+C+D群 (%)
39歳以下	284	239	(84.2)	23	(8.1)	16	(5.6)	6	(2.1)	45 (15.8)
40～44歳	529	461	(87.1)	38	(7.2)	23	(4.3)	7	(1.3)	68 (12.9)
45～49歳	428	368	(86.0)	28	(6.5)	24	(5.6)	8	(1.9)	60 (14.0)
50～54歳	439	349	(79.5)	41	(9.3)	34	(7.7)	15	(3.4)	90 (20.5)
55～59歳	330	275	(83.3)	26	(7.9)	23	(7.0)	6	(1.8)	55 (16.7)
60～64歳	452	361	(79.9)	33	(7.3)	45	(10.0)	13	(2.9)	91 (20.1)
65～69歳	599	452	(75.5)	56	(9.3)	62	(10.4)	29	(4.8)	147 (24.5)
70～74歳	684	480	(70.2)	97	(14.2)	74	(10.8)	33	(4.8)	204 (29.8)
75～79歳	36	25	(69.4)	2	(5.6)	6	(16.7)	3	(8.3)	11 (30.6)
総 数	3,781	3,010	(79.6)	344	(9.1)	307	(8.1)	120	(3.2)	771 (20.4)

#### 3) 性別要二次検査者数

	受診者数	要二次検査者数 (%)	
男	1,296	301	(23.2)
女	2,485	470	(18.9)
総数	3,781	771	(20.4)

## 2 二次検査結果内訳（発見がん追跡調査前の二次検査結果）

	二次検査受診														二次検査未把握	二次検査未受診	総 数
	早期がん	進行がん	がん疑い	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	胃潰瘍痕	十二指腸潰瘍・癒痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	逆流性食道炎	その他の疾患	異常なし			
男	2	0	1	0	5	5	8	9	0	119	10	7	10	23	80	22	301
女	0	0	1	4	4	7	6	28	0	226	20	9	30	39	81	15	470
総数	2	0	2	4	9	12	14	37	0	345	30	16	40	62	161	37	771

## 3 発見がん追跡調査結果

#### 1) 調査状況

	追跡調査対象者数* (a)	調 査 除 外 内 訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	3	0	0	0	3	3 (100.0)
女	1	0	0	0	1	1 (100.0)
総数	4	0	0	0	4	4 (100.0)

\*追跡調査対象者数：二次検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者。

## 2] 調査結果内訳

	発見がん				良性疾患 (%)		追跡不能 (%)		未確定 (%)	
	早期 (%)		進行 (%)							
男	1	(33.3)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)	1	(33.3)
女	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)
総数	1	(25.0)	0	(0.0)	1	(25.0)	1	(25.0)	1	(25.0)

## 3] 発見がん内訳

	受診者数	要二次検査者数 (%)	二次検査受診者数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	86	14 (16.3)	9 (64.3)	0 (0.00)
40～44歳	138	27 (19.6)	16 (59.3)	0 (0.00)
45～49歳	108	22 (20.4)	12 (54.5)	0 (0.00)
50～54歳	128	27 (21.1)	17 (63.0)	0 (0.00)
55～59歳	93	14 (15.1)	7 (50.0)	0 (0.00)
男 60～64歳	168	39 (23.2)	32 (82.1)	1 (0.60)
65～69歳	239	52 (21.8)	40 (76.9)	0 (0.00)
70～74歳	320	100 (31.3)	65 (65.0)	0 (0.00)
75～79歳	16	6 (37.5)	1 (16.7)	0 (0.00)
80歳以上	0	— —	— —	— —
計	1,296	301 (23.2)	199 (66.1)	1 (0.08)
39歳以下	198	31 (15.7)	26 (83.9)	0 (0.00)
40～44歳	391	41 (10.5)	25 (61.0)	0 (0.00)
45～49歳	320	38 (11.9)	29 (76.3)	0 (0.00)
50～54歳	311	63 (20.3)	51 (81.0)	0 (0.00)
55～59歳	237	41 (17.3)	34 (82.9)	0 (0.00)
女 60～64歳	284	52 (18.3)	37 (71.2)	0 (0.00)
65～69歳	360	95 (26.4)	84 (88.4)	0 (0.00)
70～74歳	364	104 (28.6)	84 (80.8)	0 (0.00)
75～79歳	20	5 (25.0)	4 (80.0)	0 (0.00)
80歳以上	0	— —	— —	— —
計	2,485	470 (18.9)	374 (79.6)	0 (0.00)
総 数	3,781	771 (20.4)	573 (74.3)	1 (0.03)

## 4] リスク分類別発見がん

	B群	C群	D群
二 次 検 査 受 診 者 数	255	222	96
男	1	0	0
女	0	0	0
計	1	0	0
陽性反応適中度 (%)	(0.2)	(0.0)	(0.0)

## 5] 令和4年度と前回受診年度の受診結果状況

令和4年度受診結果						前回受診結果	
胃がんリスク判定	検診方法	深達度	がん内訳	進行度	組織型	受診年度	検診方法 (判定)
B群	X線+リスク	SM	早期がん	I A	sig		受診歴なし

## 4 まとめ

令和4年度胃X線検査における追跡調査の結果は、胃がん発見率0.09%、要精検率6.5%、精検受診率83.1%、陽性反応適中度1.5%であった。胃がん発見率においては、がん検診事業評価指標値を満たしていない。要精検率は例年と比較して低くなっているが、陽性反応的中度は指標値を満たしており、発見がんのうち早期がん割合が高い結果となった。

早期がん割合は初回受診100.0%、非初回受診96.2%であった。発見された進行がんが非初回受診群の1名であったため、例年と違い初回受診群の方が高い結果となった。今後とも精検受診率を高めるための働きかけ、経年受診の必要性について周知していく必要があると考えられる。

令和4年度の胃がんリスク層別化検診は、7市3町において実施され、受診者数は3,781人（男性1,296人、女性2,485人）、二次検査の対象者数は771人、二次検査未把握と二次検査未受診を除く二次検査受診者数は573人で、二次検査受診率は74.3%であった。また、胃がん発見率は、1人（0.03%）で、陽性反応適中度は0.1%であった。

付表1 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和4年度	39,045	2,532 (6.5)	(83.1)	37 (0.09)	(1.5)
令和3年度	39,973	3,098 (7.8)	(84.3)	54 (0.14)	(1.7)
令和2年度	33,486	2,861 (8.5)	(85.6)	34 (0.10)	(1.2)
がん検診事業評価指標値	許容値	11.0以下	70.0以上	0.11以上	1.0以上
	目標値		90.0以上		

付表2 胃がんリスク層別化検診における発見がん調査結果

	受診者数	要二次検査者数 (%)	二次検査受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和4年度	3,781	771 (20.4)	(74.3)	1 (0.03)	(0.1)
令和3年度	3,704	800 (21.6)	(71.9)	4 (0.11)	(0.5)
令和2年度	2,758	551 (20.0)	(76.4)	8 (0.29)	(1.5)

## 肺がん検診

### 1 検診実施状況

#### 1] 肺がん検診

		受診者数	要精検者数*	
			D判定	E判定 (%)
男	胸部X線	30,200	354	904 (3.0)
	胸部X線 + 喀痰細胞診	1,634	35	69 (4.2)
	計	31,834	389	973 (3.1)
女	胸部X線	45,615	442	892 (2.0)
	胸部X線 + 喀痰細胞診	167	2	6 (3.6)
	計	45,782	444	898 (2.0)
総数	胸部X線	75,815	796	1,796 (2.4)
	胸部X線 + 喀痰細胞診	1,801	37	75 (4.2)
	総 数	77,616	833	1,871 (2.4)

\*要精検者数 D判定は「肺癌以外の疾患を疑う」、E判定は「肺癌の疑い」及び喀痰細胞診でのみ要精検を含む。

### 2 精検結果内訳（肺がん検診要精検者E判定の精検結果内訳）

	精検受診													精検	精検	総数
	原発性肺がん	肺がん疑い	転移性肺腫瘍	悪性腫瘍以外の肺腫瘍	その他の悪性腫瘍	縦隔腫瘍	活動性肺結核疑い	不活動性肺結核疑い	肺結核治癒	その他の呼吸器疾患	循環器疾患	その他の異常	異常認めず	検未把握	検未受診	
男	12	83	6	3	0	3	0	5	4	355	7	32	291	147	25	973
女	4	60	2	7	0	0	1	3	7	314	13	26	401	56	4	898
総数	16	143	8	10	0	3	1	8	11	669	20	58	692	203	29	1,871

### 3 発見がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査	調 査 除 外 内 訳			調査数	回収数	（％）
	対象者数 (a)	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)	(a- (b+c+d))		
男	95	0	7	1	87	85	(97.7)
女	64	0	5	0	59	59	(100.0)
総数	159	0	12	1	146	144	(98.6)

#### 2] 調査結果内訳

	発見がん			その他(%)	異常なし(%)	未確定(%)	追跡不能(%)
	I期(%)	I期外(%)	不明(%)				
男	21 (24.1)	23 (26.4)	2 (2.3)	31 (35.6)	3 (3.4)	5 (5.7)	2 (2.3)
女	14 (23.7)	5 (8.5)	2 (3.4)	36 (61.0)	0 (0.0)	2 (3.4)	0 (0.0)
総数	35 (24.0)	28 (19.2)	4 (2.7)	67 (45.9)	3 (2.1)	7 (4.8)	2 (1.4)

### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	確定がん数 (%)
39歳以下	324	1 (0.3)	1 (100.0)	0 (0.00)
40～44歳	1,172	14 (1.2)	12 (85.7)	0 (0.00)
45～49歳	1,450	21 (1.4)	15 (71.4)	0 (0.00)
50～54歳	1,491	28 (1.9)	23 (82.1)	1 (0.07)
55～59歳	1,372	26 (1.9)	20 (76.9)	0 (0.00)
男 60～64歳	2,569	68 (2.6)	50 (73.5)	4 (0.16)
65～69歳	5,932	162 (2.7)	129 (79.6)	9 (0.15)
70～74歳	8,574	288 (3.4)	236 (81.9)	13 (0.15)
75～79歳	5,361	200 (3.7)	172 (86.0)	11 (0.21)
80歳以上	3,589	165 (4.6)	143 (86.7)	8 (0.22)
計	31,834	973 (3.1)	801 (82.3)	46 (0.14)
39歳以下	524	0 (0.0)	— —	— —
40～44歳	2,848	14 (0.5)	12 (85.7)	0 (0.00)
45～49歳	3,207	32 (1.0)	29 (90.6)	0 (0.00)
50～54歳	3,113	29 (0.9)	29 (100.0)	0 (0.00)
55～59歳	3,260	49 (1.5)	44 (89.8)	0 (0.00)
女 60～64歳	5,063	97 (1.9)	90 (92.8)	1 (0.02)
65～69歳	8,454	173 (2.0)	161 (93.1)	7 (0.08)
70～74歳	10,630	214 (2.0)	200 (93.5)	9 (0.08)
75～79歳	5,569	169 (3.0)	160 (94.7)	3 (0.05)
80歳以上	3,114	121 (3.9)	113 (93.4)	1 (0.03)
計	45,782	898 (2.0)	838 (93.3)	21 (0.05)
総 数	77,616	1,871 (2.4)	1,639 (87.6)	67 (0.09)

### 4] 検査方法別 発見がん数と発見率

	実施人数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
胸部X線	77,616	1,871 (2.4)	1,639 (87.6)	67 (0.09)
胸部CT	873	40 (4.6)	37 (92.5)	2 (0.23)
総 数	78,489	1,911 (2.4)	1,676 (87.7)	69 (0.09)

### 5] 検診実施状況（胸部CT検診）

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)
		D判定	E判定 (%)
胸部CT	854	29	40 (4.7)
胸部CT + 喀痰細胞診	19	0	0 (0.0)
			37 (92.5)
			— (—)

### 6] 発見がん内訳（胸部CT検診）

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
60代・女性	無	その他	II B	手術
60代・男性	無	腺癌	IV B	化学療法

### 7] 検診実施状況（喀痰細胞診+胸部X線又は胸部CT）

	受診者数	要精検者数 (%)	発見がん数 (%)
喀痰細胞診	1,820	2 (0.1)	1 (0.05)

### 8] 発見がん内訳（喀痰細胞診+胸部X線又は胸部CT）

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
70代・男性	有	小細胞癌	II B	手術、化学療法、放射線療法

## 9] 発見がん内訳（胸部CT検診以外）

(1) 組織分類別発見数				(2) 臨床病期分類別発見数				(3) 治療分類別発見数			
	男	女	総数		男	女	総数		男	女	総数
腺癌	24	17	41	0期	0	0	0	胸腔鏡下手術	24	15	39
扁平上皮癌	10	1	11	I A期	0	0	0	手術	1	1	2
小細胞癌	5	0	5	I A1期	3	6	9	ロボット支援下手術	1	1	2
大細胞癌	0	1	1	I A2期	7	2	9	胸腔鏡下手術・化学療法	3	1	4
その他	2	0	2	I A3期	3	2	5	手術・化学療法・放射線療法	1	0	1
不明	5	2	7	I B期	8	4	12	化学療法	6	1	7
総数	46	21	67	II A期	0	3	3	放射線療法	3	0	3
				II B期	9	0	9	化学療法・放射線療法	1	0	1
				III A期	5	1	6	治療拒否	2	0	2
				III B期	1	0	1	不明	4	2	6
				III C期	0	0	0	総数	46	21	67
				IV期	0	0	0				
				IV A期	5	1	6				
				IV B期	3	0	3				
				不明	2	2	4				
				総数	46	21	67				

## 4 初回、非初回別 追跡調査結果（胸部CT検診以外）

令和5年度地域保健・健康増進事業報告より

初回：前年度受診していない者

非初回：前年度も検診を受診している者

（肺癌取扱い規約では、前回未受診・前回受診）

### 1] 初回、非初回別 発見率及び0～I期率

		受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
						0～I期 (%)	0～I期外 (%)	不明 (%)
初回	男	8,746	411	319 (77.6)	13 (0.15)	6 (46.2)	6 (46.2)	1 (7.7)
	女	13,090	359	334 (93.0)	6 (0.05)	5 (83.3)	1 (16.7)	0 (0.0)
	計	21,836	770	653 (84.8)	19 (0.09)	11 (57.9)	7 (36.8)	1 (5.3)
非初回	男	23,088	562	482 (85.8)	33 (0.14)	15 (45.5)	17 (51.5)	1 (3.0)
	女	32,692	539	504 (93.5)	15 (0.05)	9 (60.0)	4 (26.7)	2 (13.3)
	計	55,780	1,101	986 (89.6)	48 (0.09)	24 (50.0)	21 (43.8)	3 (6.3)
総数		77,616	1,871	1,639 (87.6)	67 (0.09)	35 (52.2)	28 (41.8)	4 (6.0)

### 2] 初回、非初回別 臨床病期分類別発見数

	初回	非初回
0期	0	0
I A期	0	0
I A1期	3	6
I A2期	5	4
I A3期	1	4
I B期	2	10
II A期	1	2
II B期	3	6
III A期	1	5
III B期	0	1
III C期	0	0
IV期	0	0
IV A期	1	5
IV B期	1	2
不明	1	3
総数	19	48



## 5 喫煙及び組織型

### 1] 喫煙指数（本数/日×年数）

喫煙指数	男	女	総数
0～	10	19	29
200～	4	0	4
400～	5	0	5
600～	5	0	5
800～	8	0	8
1000～	6	0	6
1200～	7	0	7
1400～	1	2	3
総 数	46	21	67

※喫煙歴なし 男7人、女18人

### 2] 喫煙指数及び組織型別発見数

喫煙指数	組 織 型	男	女	総数
600未満	腺 癌	11	16	27
	扁平上皮癌	2	0	2
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	0	1	1
	そ の 他	1	0	1
	不 明	4	2	6
600以上	腺 癌	13	1	14
	扁平上皮癌	8	1	9
	大細胞癌	4	0	4
	小細胞癌	0	0	0
	そ の 他	1	0	1
	不 明	1	0	1
総 数		46	21	67

### 3] 喫煙習慣及び組織型別発見数

喫煙習慣	組 織 型	男	女	総数
吸わない	腺 癌	4	16	20
	扁平上皮癌	1	0	1
	小細胞癌	0	0	0
	大細胞癌	0	1	1
	そ の 他	0	0	0
	不 明	2	1	3
止めた	腺 癌	9	1	10
	扁平上皮癌	4	0	4
	小細胞癌	3	0	3
	大細胞癌	0	0	0
	そ の 他	2	0	2
	不 明	3	1	4
吸 う	腺 癌	11	0	11
	扁平上皮癌	5	1	6
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	0	0	0
	そ の 他	0	0	0
	不 明	0	0	0
総 数		46	21	67

## 6 まとめ

肺癌取扱い規約の肺がん検診の手引きより「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」の中で「肺がん検診における肺癌確診患者数（検診発見肺癌）とは、E1およびE2判定となった要精検者の中から原発性肺癌と確診された患者数を意味する」、また「D判定者の中から肺癌が発見されたとしても、検診発見肺癌とは認めない」との記述があり、これに基づいて追跡調査を行っている。

令和4年度の肺がん検診受診者は77,616人であり、コロナ禍による受診者数減少から徐々に回復傾向ではあるがコロナ禍前の受診者数（令和元年度79,619人）までは達していない。また要精検率は昨年度の1.8%に対し今年度は2.4%、がん発見率は昨年度0.06%に対し今年度0.09%、陽性反応的中度は昨年度3.4%に対し今年度3.6%と昨年度と比較し上昇した。また、いずれもがん検診事業評価指標の許容値を満たしていた。



初回受診者と非初回受診者の比較では、がん発見率は初回受診者、非初回受診者どちらも0.09%であった。Ⅰ期肺がん割合は初回受診者では57.9%だったが、非初回受診者では50.0%で、初回受診者の方がⅠ期肺がんの割合が高かった。

当事業団では令和4年10月より胸部AI読影支援システムが稼働しており、半年間はAIによる読影補助を追加した運用で判定を行っている。今後は胸部AIシステムが結果に対しどのように寄与したのか検証し精度向上につなげていきたい。

肺がん検診の精検受診率については、胸部X線検診（喀痰細胞診併用を含む）では、前年度の85.9%に対し今年度は87.6%だった。当施設における肺がん検診の成績と、今後は更なる精度管理の向上をはかるために、精検受診率の目標値である90%以上を目指して各関係機関と連携していきたい。（付表1）

付表1 がん検診事業評価指標値との比較(対象は胸部CT検診を除く肺がん検診とする)

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診率(%)	確定がん数	がん発見率(%)	陽性反応適中度(%)
事業団 令和4年度	77,616	1,871 (2.4)	(87.6)	67	(0.09)	(3.6)
事業団 令和3年度	75,151	1,373 (1.8)	(85.9)	46	(0.06)	(3.4)
事業団 令和2年度	60,830	1,358 (2.2)	(89.4)	41	(0.07)	(3.0)
がん検診 事業評価 指標値	許容値	3.0以下	70.0以上		0.03以上	1.3以上
	目標値		90.0以上			

付表2 最終読影判定Dの発見肺がん

検査法	年代・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
胸部X線のみ	70代・女性	有	腺癌	ⅢA	胸腔鏡下手術
胸部X線のみ	90代・女性	有	不明	ⅣA	不明

付表3 胸部検診（肺がん検診・結核検診）における至急精検結果

1] 至急対象内訳

	男	女	総数
肺がん疑い	46	26	72
結核疑い	1	3	4
その他疑い	11	12	23
総数	58	41	99

2] 精検結果内訳（肺がん疑い）

	男	女	総数
原発性肺がん	4	2	6
肺がん疑い	18	8	26
転移性肺腫瘍	2	0	2
悪性腫瘍以外の肺腫瘍	0	1	1
肺結核治癒	0	1	1
その他の呼吸器疾患	18	13	31
循環器疾患	2	0	2
その他の異常なし	1	0	1
異常なし	1	0	1
不明	0	1	1
総数	46	26	72

3] 精検結果内訳（結核疑い）

	男	女	総数
その他の呼吸器疾患	1	2	3
異常なし	0	1	1
総数	1	3	4

4] 精検結果内訳（その他疑い）

	男	女	総数
肺がん疑い	0	2	2
活動性肺結核（疑）	1	0	1
その他の呼吸器疾患	9	8	17
循環器疾患	1	1	2
異常なし	0	1	1
総数	11	12	23

大腸がん検診

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	
男	30,284	1,830	(6.0)
女	45,230	1,728	(3.8)
総数	75,514	3,558	(4.7)

2 精検結果内訳（発見がん追跡調査前の精検結果）

	精 検 受 診														精	精	総	
	早	進	が	腺	腺	ポリ	ポリ	ポ	ポ	ク	潰	憩	痔	そ	異	精	精	
	期	行	ん	腫	腫	リーブ	リーブ	（二	（全	ロ	瘍		疾	の	常	検	検	
	が	が	疑	10mm	10mm	10mm	10mm	つでも	て10mm	ー	性			他	認	未	未	
	ん	ん	い	以上	未	以上	未	10mm	未	ン	大			の	め	把	受	
	病	炎						ス	ス	病	腸	室	患	患	ず	握	診	数
男	37	30	14	126	318	46	238	4	3	0	5	84	65	29	146	434	251	1,830
女	19	19	6	79	254	42	209	0	2	0	6	128	111	34	300	306	213	1,728
総数	56	49	20	205	572	88	447	4	5	0	11	212	176	63	446	740	464	3,558

※令和5年度より、精密検査結果連絡票の「検査結果」が変更になり、腺腫、ポリープ、ポリポースについて、10mm以上、10mm未満に区分された。

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	94	0	0	2	92	91 (98.9)
女	47	0	0	0	47	47 (100.0)
総数	141	0	0	2	139	138 (99.3)

※精検未把握（精検検査項目が空欄）、精検未受診（不適切な精検）の者のうちがん又はがん疑いの16名を含む。

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			腺腫 (10mm以上) (%)	腺腫 (10mm未満) (%)	ポリープ (10mm以上) (%)	その他の 疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)							
男	48 (52.2)	32 (34.8)	0 (0.0)	4 (4.3)	2 (2.2)	3 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.2)	1 (1.1)
女	23 (48.9)	19 (40.4)	1 (2.1)	1 (2.1)	1 (2.1)	0 (0.0)	1 (2.1)	0 (0.0)	1 (2.1)	0 (0.0)
総数	71 (51.1)	51 (36.7)	1 (0.7)	5 (3.6)	3 (2.2)	3 (2.2)	1 (0.7)	0 (0.0)	3 (2.2)	1 (0.7)

### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	246	9 (3.7)	3 (33.3)	0 (0.00)
40～44歳	1,141	35 (3.1)	22 (62.9)	0 (0.00)
45～49歳	1,471	55 (3.7)	34 (61.8)	1 (0.07)
50～54歳	1,521	49 (3.2)	22 (44.9)	2 (0.13)
55～59歳	1,452	65 (4.5)	37 (56.9)	4 (0.28)
男 60～64歳	2,525	123 (4.9)	74 (60.2)	6 (0.24)
65～69歳	5,583	326 (5.8)	206 (63.2)	9 (0.16)
70～74歳	7,967	480 (6.0)	301 (62.7)	25 (0.31)
75～79歳	4,966	368 (7.4)	291 (79.1)	20 (0.40)
80歳以上	3,412	320 (9.4)	166 (51.9)	13 (0.38)
計	30,284	1,830 (6.0)	1,156 (63.2)	80 (0.26)
39歳以下	519	28 (5.4)	11 (39.3)	0 (0.00)
40～44歳	2,880	92 (3.2)	53 (57.6)	0 (0.00)
45～49歳	3,333	86 (2.6)	54 (62.8)	1 (0.03)
50～54歳	3,444	98 (2.8)	67 (68.4)	2 (0.06)
55～59歳	3,609	113 (3.1)	83 (73.5)	1 (0.03)
女 60～64歳	5,232	173 (3.3)	128 (74.0)	8 (0.15)
65～69歳	8,231	257 (3.1)	184 (71.6)	9 (0.11)
70～74歳	9,805	405 (4.1)	295 (72.8)	10 (0.10)
75～79歳	5,240	235 (4.5)	227 (96.6)	9 (0.17)
80歳以上	2,937	241 (8.2)	110 (45.6)	3 (0.10)
計	45,230	1,728 (3.8)	1,212 (70.1)	43 (0.10)
総 数	75,514	3,558 (4.7)	2,368 (66.6)	123 (0.16)

### 4] 占居部位別発見数

	男	女	総数
盲 腸	6	3	9
上 行 結 腸	13	12	25
横 行 結 腸	8	1	9
下 行 結 腸	2	0	2
S 状 結 腸	26	13	39
直 腸 S 状 部	6	5	11
直 腸	19	8	27
不 明	0	1	1
総 数	80	43	123

### 5] 組織分類別発見数

	男	女	総数
乳 頭 腺 癌	5	1	6
高分化	42	17	59
管状腺癌 中分化	25	18	43
低分化	1	2	3
粘 液 癌	3	2	5
不 明	4	3	7
総 数	80	43	123

### 6] 組織学的深達度別発見数

	男	女	総数
Tis (M)	28	15	43
T1a (SM)	5	0	5
T1b (SM)	15	8	23
T2 (MP)	14	7	21
T3 (SS)	12	8	20
T4a (SE)	5	3	8
T4b (SI)	1	1	2
不 明	0	1	1
総 数	80	43	123

### 7] 治療方法別発見数

	早期	進行	不明	総数
ポリペクトミー	8	0	0	8
内視鏡的粘膜切除	39	0	0	39
腹腔鏡下手術	22	43	0	65
外 科 手 術	1	5	0	6
そ の 他	1	3	1	5
総 数	71	51	1	123

## 8] Stage分類別発見数

	男	女	総数
0	28	15	43
I	22	14	36
II a	7	2	9
II b	2	1	3
II c	1	0	1
III a	9	0	9
III b	4	6	10
III c	1	0	1
IV	3	4	7
不明	3	1	4
総数	80	43	123

## 9] Dukes分類別発見数

	男	女	総数
A	50	29	79
B	10	3	13
C	14	6	20
D	3	4	7
不明	3	1	4
総数	80	43	123

## 10] 初回・非初回別早期割合

		受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳					
						早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)			
初回	男	5,191	368	214 (58.2)	26 (0.50)	14 (53.8)	12 (46.2)	0 (0.0)			
	女	7,528	334	222 (66.5)	18 (0.24)	10 (55.6)	7 (38.9)	1 (5.6)			
	計	12,719	702	436 (62.1)	44 (0.35)	24 (54.5)	19 (43.2)	1 (2.3)			
非初回	男	25,093	1,462	942 (64.4)	54 (0.22)	34 (63.0)	20 (37.0)	0 (0.0)			
	女	37,702	1,394	990 (71.0)	25 (0.07)	13 (52.0)	12 (48.0)	0 (0.0)			
	計	62,795	2,856	1,932 (67.6)	79 (0.13)	47 (59.5)	32 (40.5)	0 (0.0)			
総数		75,514	3,558	2,368 (66.6)	123 (0.16)	71 (57.7)	51 (41.5)	1 (0.8)			

※ 令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も大腸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上大腸がん検診を受診している者

## 4 まとめ

令和4年度の発見大腸がん追跡調査の結果、男性80人、女性43人のがんが発見された。がん発見率は男性0.26%、女性0.10%であり、男性のがん発見率が有意に高かった ( $p < 0.05$ )。また、男性では75～79歳と80歳以上、女性では60～64歳と75～79歳のがん発見率が高い傾向を示した。令和4年度の集計から、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」による精密検査受診とされる検査方法が、全大腸内視鏡検査又は注腸エックス線検査及びS状結腸内視鏡検査を行った場合に変更となった。そのため、精検未受診者が増加し、例年より低い精検受診率 (66.6%) となった。

発見大腸がんの占居部位はS状結腸が最も多く39人、次いで直腸27人、上行結腸25人であった。例年では直腸に癌が多く発見されているが、今回はS状結腸に癌が最も多く発見される結果となった。

組織型は管状腺癌が最も多く、高分化型59人、中分化型43人を合わせると102人 (83.0%) を占めていた。また、粘液癌が5人発見された。

発見大腸がんの深達度は、癌が粘膜内にとどまるTis(M)が43人と最も多かった。早期がん (Tis(M)、T1a、T1b(SM)) 割合は、123人中71人 (57.8%) であり、例年同様に約6割を占めていた。

発見大腸がんの治療は、早期がんでは内視鏡下で行われるポリペクトミー、ESDを含む内視鏡的切除が123人中47人 (38.2%) に実施された。腹腔鏡下手術は123人中65人 (52.8%) に実施されており、進行がんでも51人中43人 (84.3%) と、術式の中で最も多く用いられていた。

大腸がん検診の受診歴別によるがん発見率は、初回受診者 (0.35%)、非初回受診者 (0.13%) であり、初回受診者のがん発見率が有意に高かった ( $p < 0.05$ )。また、発見大腸がんの早期がん

割合は、初回受診者(54.5%)、非初回受診者(59.5%)であり、非初回受診者の早期がん割合が高い傾向を示した。

大腸がん検診で発見されるがんは早期がんが多く、内視鏡下での切除にて治療が済む割合が高い。また、非初回受診者で発見される大腸がんは初回受診者と比較して早期がんの割合が高いことから、継続的に検診を受診する必要性と適切な精検受診の重要性を併せた受診勧奨が、より多くの大腸がんの早期発見・早期治療に繋がるものとする。

「がん検診事業の評価に関する委員会」で示されたプロセス指標の許容値との比較を下記に示す。精検受診率においては適切な精検受診とする検査方法が変更となったため、精検未受診者が増加し許容値より低い値となっているが、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度においては許容値を満たしていた。

付表 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数(%)		精検 受診率(%)	発見がん数(%)		陽性反応 適中度(%)
事業団 令和4年度	75,514	3,558	(4.7)	(66.6)	123	(0.16)	(3.5)
事業団 令和3年度	73,438	3,507	(4.8)	(70.9)	106	(0.14)	(3.0)
事業団 令和2年度	59,362	3,182	(5.4)	(72.7)	85	(0.14)	(2.7)
がん検診 事業評価指標	許容値		7.0% 以下	70.0%以上		0.13% 以上	1.9% 以上
	目標値			90.0%以上			

## 子宮頸がん検診

### 1 検診実施状況

#### 1] 検査方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
細胞診のみ	1,380	43 (3.1)
ASC-US時HPV追加	26,831	516 (1.9)
H P V 併 用	9,021	571 (6.3)
総 数	37,232	1,130 (3.0)

#### 2] 市町別実施方式

細胞診のみ	宇都宮市
ASC-US時HPV追加	栃木市・鹿沼市・真岡市・矢板市・益子町・塩谷町・那珂川町 芳賀町の医療機関方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者以外 那須烏山市の31歳・36歳・41歳以外 茂木町の30歳未満 那須塩原市の30歳から59歳以外 大田原市の25歳から45歳以外
HPV併用	小山市・野木町・下野市 芳賀町の検診車方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者 那須烏山市の31歳・36歳・41歳 茂木町の30歳以上 那須塩原市の30歳から59歳 大田原市の25歳から45歳

## 【細胞診のみ】

### 1 検診実施状況

#### 1] 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総 数	1,380	43 (3.1)

#### 2] 細胞診結果の内訳

受診者数		ベセスダシステム判定結果内訳									不適正 標 本
		適正標本									
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～24歳	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29歳	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30～34歳	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	19	18	0	0	0	0	0	1	0	0	0
40～44歳	99	94	1	0	3	1	0	0	0	0	0
45～49歳	115	102	7	2	3	1	0	0	0	0	0
50～54歳	111	108	0	0	3	0	0	0	0	0	0
55～59歳	124	120	2	0	2	0	0	0	0	0	0
60～64歳	169	164	3	0	1	1	0	0	0	0	0
65～69歳	280	276	0	0	2	2	0	0	0	0	0
70～74歳	295	290	3	2	0	0	0	0	0	0	0
75～79歳	121	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	31	29	0	1	0	1	0	0	0	0	0
総 数	1,380	1,337	16	5	14	7	0	1	0	0	0

## 2 精検結果内訳

	上 皮 内 が ん *	上 皮 内 腺 が ん *	扁平 上皮 が ん *	精 検 が ん *	受 診 そ の 他 が ん *	診 高 度 異 形 成 *	中 等 度 異 形 成	軽 度 異 形 成	そ の 他 の 疾 患	異 常 を 認 め ず	結 果 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
総数	1	0	1	0	1	2	5	5	2	15	9	2	43

\*追跡対象者

## 3 発見がん追跡調査結果

### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳 詳細把握 (b)	がん以外 (C)	その他 (d)	調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)
総数	4	0	0	0	4	3 (75.0)

### 2] 調査結果内訳

	発 見 が ん I B期以上 (%)	I A期 (%)	AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	異常なし (%)	追跡不能 (%)
総 数	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)

### 3] 細胞診結果別発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否 適正 不適正	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
	1,380 0	1,337	16	5	14	7	0	1	0	0
要 精 検 者 数	43	—	—	16	5	14	7	—	1	—
精 検 受 診 者 数	32	—	—	13	4	9	5	—	1	—
発見CIN3+AIS数	2	—	0	0	0	0	2	—	0	—
発 見 が ん 数	0	—	0	0	0	0	—	0	—	—

### 4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	0	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
20～24歳	7	0 (0.0)	— (—)	0 (0.00)	0 (0.00)
25～29歳	4	1 (25.0)	1 (100.0)	1 (25.00)	0 (0.00)
30～34歳	5	0 (0.0)	— (—)	0 (0.00)	0 (0.00)
35～39歳	19	1 (5.3)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
40～44歳	99	5 (5.1)	4 (80.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
45～49歳	115	13 (11.3)	10 (76.9)	0 (0.00)	0 (0.00)
50～54歳	111	3 (2.7)	2 (66.7)	0 (0.00)	0 (0.00)
55～59歳	124	4 (3.2)	4 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
60～64歳	169	5 (3.0)	3 (60.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
65～69歳	280	4 (1.4)	1 (25.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
70～74歳	295	5 (1.7)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
75～79歳	121	0 (0.0)	— (—)	0 (0.00)	0 (0.00)
80歳以上	31	2 (6.5)	1 (50.0)	1 (3.23)	0 (0.00)
総 数	1,380	43 (3.1)	32 (74.4)	2 (0.14)	0 (0.00)

※子宮頸がんの発見がん以外に35～39歳で子宮体癌が1人発見された



## 5] 初回、非初回別実施状況

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

### (1) 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)
初 回	604	27 (4.5)	20 (74.1)	2 (0.33)	0 (0.00)
非初回	776	16 (2.1)	12 (75.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
総 数	1,380	43 (3.1)	32 (74.4)	2 (0.14)	0 (0.00)

### (2) 年齢別発見数

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	35	2 (5.7)	2 (100.0)	1 (2.86)	0 (0.00)
40歳以上	1,345	41 (3.0)	30 (73.2)	1 (0.07)	0 (0.00)
総 数	1,380	43 (3.1)	32 (74.4)	2 (0.14)	0 (0.00)

## 6] CIN3、AISの治療分類別発見数

CIN3 2人のうち1人が経過観察、1人が不明

## 【ASC-US時HPV追加】

### 1 検診実施状況

#### 1] 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総 数	26,831	516 (1.9)

### 2] 細胞診結果の内訳

		ベセスダシステム判定結果内訳									
		適正標本									不適正 標 本
受診者数		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	11	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0
20～24歳	526	470	11	2	39	3	0	1	0	0	0
25～29歳	664	606	13	1	35	6	0	3	0	0	0
30～34歳	1,096	1,031	20	3	32	4	0	6	0	0	0
35～39歳	1,572	1,499	30	3	27	7	0	6	0	0	0
40～44歳	1,938	1,853	31	6	30	6	0	12	0	0	0
45～49歳	2,572	2,448	52	6	47	2	0	17	0	0	0
50～54歳	2,394	2,318	42	2	21	3	0	8	0	0	0
55～59歳	2,232	2,186	23	4	10	5	0	4	0	0	0
60～64歳	3,050	3,005	19	5	13	7	0	0	0	0	1
65～69歳	3,951	3,900	20	5	15	8	1	1	0	0	1
70～74歳	4,160	4,102	26	4	20	7	0	1	0	0	0
75～79歳	1,907	1,882	11	3	3	7	0	1	0	0	0
80歳以上	758	745	6	0	4	1	0	2	0	0	0
総 数	26,831	26,055	304	44	297	66	1	62	0	0	2



### 3] ASC-USと判定された受診者のHPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV (-)	HPV (+) (%)
19歳以下	0	-	- (-)
20～24歳	11	9	2 (18.2)
25～29歳	13	7	6 (46.2)
30～34歳	20	15	5 (25.0)
35～39歳	30	24	6 (20.0)
40～44歳	31	29	2 (6.5)
45～49歳	52	48	4 (7.7)
50～54歳	42	37	5 (11.9)
55～59歳	23	22	1 (4.3)
60～64歳	19	17	2 (10.5)
65～69歳	20	15	5 (25.0)
70～74歳	26	21	5 (19.2)
75～79歳	11	9	2 (18.2)
80歳以上	6	5	1 (16.7)
総 数	304	258	46 (15.1)

## 2 精検結果内訳

精 検 受 診											結	精	総
	上皮内がん*	上皮内腺がん*	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん	高度異形成*	中等度異形成	軽度異形成	その他の疾患**	異常を認めず	果未把握	検未受診	数
総数	0	0	1	1	2	22	37	196	14	147	61	35	516

\* 追跡対象者

\*\* その他の疾患から6人追跡調査の対象者とした

## 3 発見がん追跡調査結果

### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳	調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)
総数	30	詳細把握 (b) 0 がん以外 (C) 0 その他 (d) 0	30	30 (100.0)

### 2] 調査結果内訳

	発見がん I B期以上 (%)	I A期 (%)	AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	その他の疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)
総 数	1 (3.3)	3 (10.0)	0 (0.0)	14 (46.7)	2 (6.7)	3 (10.0)	1 (3.3)	4 (13.3)	2 (6.7)

### 3] 細胞診結果別発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否 適正 不適正	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
	26,829 2	26,055	304	44	297	66	1	62	0	0
精 検 不 要 者 数	258 -	-	258*	-	-	-	-	-	-	-
要 精 検 者 数	516 -	-	46	44	297	66	1	62	-	-
精 検 受 診 者 数	420 -	-	38	41	235	51	1	54	-	-
発見CIN3+AIS数	14 0	0	0	3	2	9	0	0	-	-
発 見 が ん 数	4 0	0	0	0	0	1	1	2	-	-

\*細胞診(ASC-US)・HPV(-)は精検不要

#### 4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見 CIN3+ AIS 数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	11	1 (9.1)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
20～24歳	526	47 (8.9)	33 (70.2)	1 (0.19)	0 (0.00)
25～29歳	664	51 (7.7)	43 (84.3)	1 (0.15)	0 (0.00)
30～34歳	1,096	50 (4.6)	39 (78.0)	1 (0.09)	0 (0.00)
35～39歳	1,572	49 (3.1)	45 (91.8)	2 (0.13)	1 (0.06)
40～44歳	1,938	56 (2.9)	49 (87.5)	2 (0.10)	1 (0.05)
45～49歳	2,572	76 (3.0)	64 (84.2)	0 (0.00)	0 (0.00)
50～54歳	2,394	39 (1.6)	34 (87.2)	0 (0.00)	0 (0.00)
55～59歳	2,232	24 (1.1)	21 (87.5)	2 (0.09)	1 (0.04)
60～64歳	3,050	27 (0.9)	22 (81.5)	2 (0.07)	0 (0.00)
65～69歳	3,951	35 (0.9)	25 (71.4)	0 (0.00)	1 (0.03)
70～74歳	4,160	37 (0.9)	29 (78.4)	1 (0.02)	0 (0.00)
75～79歳	1,907	16 (0.8)	10 (62.5)	2 (0.10)	0 (0.00)
80歳以上	758	8 (1.1)	5 (62.5)	0 (0.00)	0 (0.00)
総 数	26,831	516 (1.9)	420 (81.4)	14 (0.05)	4 (0.01)

※子宮頸がん以外に、子宮体癌が2人（55～59歳1人、65～69歳1人）、異型内膜増殖症が1人（45～49歳）発見された

#### 5] 初回、非初回別実施状況

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

##### (1) 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見 CIN3+ AIS 数 (%)	発見がん数 (%)	発見がん内訳	
						I A 期 (%)	I B 期以上 (%)
初 回	6,107	223 (3.7)	178 (79.8)	9 (0.15)	4 (0.07)	3 (75.0)	1 (25.0)
非初回	20,724	293 (1.4)	242 (82.6)	5 (0.02)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)
総 数	26,831	516 (1.9)	420 (81.4)	14 (0.05)	4 (0.01)	3 (75.0)	1 (25.0)

##### (2) 年齢別発見数

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見 CIN3+ AIS 数 (%)	発見がん数 (%)	発見がん内訳	
						I A 期 (%)	I B 期以上 (%)
39歳以下	3,869	198 (5.1)	161 (81.3)	5 (0.13)	1 (0.03)	1 (100.0)	0 (0.0)
40歳以上	22,962	318 (1.4)	259 (81.4)	9 (0.04)	3 (0.01)	2 (66.7)	1 (33.3)
総 数	26,831	516 (1.9)	420 (81.4)	14 (0.05)	4 (0.01)	3 (75.0)	1 (25.0)

#### 6] 発見がんの詳細及び CIN3、AIS の詳細

##### (1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数
I A 期及び CIN3、AIS	C I N 3 14
	A I S 0
	I A 1 期 2
	I A 2 期 1
I B 期以上	I I B 期 1
総数	18

##### (2) TNM 分類別発見数

TNM 分類	CIN3	AIS	I A 期	I B 期以上
T i s ・ N O ・ M O	1	0	0	0
T i s ・ N 不明 ・ M 不明	1	0	0	0
T 1 a 1 ・ N X ・ M O	0	0	1	0
T 1 a 1 ・ N O ・ M O	0	0	1	0
T 1 a 2 ・ N O ・ M O	0	0	1	0
T 2 b ・ N O ・ M O	0	0	0	1
T 不明 ・ N 不明 ・ M 不明	12	0	0	0
総 数	14	0	3	1

### (3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
C I N 3	14	-	-
A I S	0	-	-
扁平上皮癌	0	0	1
腺 癌	0	2	0
不 明	0	1	0
総 数	14	3	1

### (4) 治療分類別発見数

#### 1) 手術療法

術 式	CIN3	AIS	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	8	0	0	0
単純子宮全摘出術	5	0	1	0
広汎子宮全摘出術	0	0	1	0
拡大子宮全摘出術	0	0	1	0
不 明	1	0	0	0
総 数	14	0	3	0

#### 2) 化学療法および放射線療法

II B期で化学療法と放射線療法を1人施行

## 【HPV併用】

### 1 検診実施状況

#### 1) 実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	9,021	571 (6.3)

#### 2) 細胞診結果の内訳

ベセスダシステム判定結果内訳											
受診者数		適正標本									不適正 標 本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	228	193	10	0	21	3	0	1	0	0	0
25～29歳	486	422	21	1	34	6	0	2	0	0	0
30～34歳	838	744	37	5	32	12	0	8	0	0	0
35～39歳	1,140	1,025	57	4	30	18	0	6	0	0	0
40～44歳	1,142	1,033	53	2	31	15	0	8	0	0	0
45～49歳	970	882	41	5	25	8	0	9	0	0	0
50～54歳	843	798	24	4	8	7	0	2	0	0	0
55～59歳	741	710	13	5	8	5	0	0	0	0	0
60～64歳	673	657	5	1	5	5	0	0	0	0	0
65～69歳	788	771	12	1	0	3	0	0	0	0	1
70～74歳	681	667	7	0	4	3	0	0	0	0	0
75～79歳	354	343	7	0	1	3	0	0	0	0	0
80歳以上	133	131	0	1	1	0	0	0	0	0	0
総 数	9,021	8,380	287	29	200	88	0	36	0	0	1

### 3] HPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV (-)	HPV (+) (%)
19歳以下	4	3	1 (25.0)
20～24歳	228	189	39 (17.1)
25～29歳	486	402	82 (16.9)
30～34歳	838	732	104 (12.4)
35～39歳	1,140	1,014	123 (10.8)
40～44歳	1,142	1,052	86 (7.5)
45～49歳	970	912	57 (5.9)
50～54歳	843	818	25 (3.0)
55～59歳	741	706	35 (4.7)
60～64歳	673	648	25 (3.7)
65～69歳	788	762	25 (3.2)
70～74歳	681	651	30 (4.4)
75～79歳	354	330	24 (6.8)
80歳以上	133	125	8 (6.0)
総 数	9,021	8,344	664 (7.4)

※受診者数はHPV検査判定不能1人、不同意3人、希望なし9人を含む

## 2 精検結果内訳

	上皮内がん*	上皮内腺がん*	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん	高度異形成*	中等度異形成	軽度異形成	その他の疾患**	異常を認めず	結果未把握	精検未受診	総数
総数	5	0	0	2	1	15	48	242	25	172	48	13	571

\* 追跡対象者

\*\* その他の疾患から6人追跡調査の対象者とした

## 3 発見がん追跡調査結果

### 1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳 詳細把握 (b)	がん以外 (C)	その他 (d)	調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)
総数	28	0	0	0	28	28 (100.0)

### 2] 調査結果内訳

	発見がん I B期以上 (%)	I A期 (%)	AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	その他の疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)
総 数	6 (21.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (46.4)	2 (7.1)	2 (7.1)	4 (14.3)	1 (3.6)

### 3] 細胞診結果別HPV結果及び発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否 適正 不適正	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
検査 (-)	9,020 1	8,380	287	29	200	88	0	36	0	0
検査 (+)	8,344 -	8,099	143	15	50	16	-	21	-	-
未実施	664 -	269	144	14	150	72	-	15	-	-
精検不要者数	12 -	12	0	0	0	0	-	0	-	-
要精検者数	338 -	195	143	-	-	-	-	-	-	-
精検受診者数	571 -	74*	144	29	200	88	-	36	-	-
発見CIN3+AIS数	510 -	66	130	28	175	76	-	35	-	-
発見がん数	13 0	0	0	3	1	9	-	0	-	-
	6 0	0	0	1	1	3	-	1	-	-

\*2年連続で細胞診 (NILM)・HPV (+) は要精検

#### 4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見 CIN3+ AIS 数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	4	0 (0.0)	— (—)	0 (0.00)	0 (0.00)
20～24歳	228	35 (15.4)	27 (77.1)	1 (0.44)	0 (0.00)
25～29歳	486	61 (12.6)	57 (93.4)	0 (0.00)	0 (0.00)
30～34歳	838	86 (10.3)	77 (89.5)	2 (0.24)	0 (0.00)
35～39歳	1,140	108 (9.5)	98 (90.7)	3 (0.26)	2 (0.18)
40～44歳	1,142	80 (7.0)	73 (91.3)	2 (0.18)	1 (0.09)
45～49歳	970	67 (6.9)	59 (88.1)	2 (0.21)	1 (0.10)
50～54歳	843	27 (3.2)	24 (88.9)	0 (0.00)	0 (0.00)
55～59歳	741	25 (3.4)	23 (92.0)	1 (0.13)	2 (0.27)
60～64歳	673	21 (3.1)	18 (85.7)	1 (0.15)	0 (0.00)
65～69歳	788	18 (2.3)	16 (88.9)	0 (0.00)	0 (0.00)
70～74歳	681	19 (2.8)	18 (94.7)	0 (0.00)	0 (0.00)
75～79歳	354	20 (5.6)	17 (85.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
80歳以上	133	4 (3.0)	3 (75.0)	1 (0.75)	0 (0.00)
総 数	9,021	571 (6.3)	510 (89.3)	13 (0.14)	6 (0.07)

#### 5] 初回、非初回別実施状況

※令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

##### (1) 初回、非初回別発見数

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見 CIN3+ AIS 数 (%)	発見がん数 (%)	発見がん内訳	
						I A 期 (%)	I B 期以上 (%)
初 回	5,031	321 (6.4)	285 (88.8)	8 (0.16)	6 (0.12)	0 (0.0)	6 (100.0)
非初回	3,990	250 (6.3)	225 (90.0)	5 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)
総 数	9,021	571 (6.3)	510 (89.3)	13 (0.14)	6 (0.07)	0 (0.0)	6 (100.0)

##### (2) 年齢別発見数

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見 CIN3+ AIS 数 (%)	発見がん数 (%)	発見がん内訳	
						I A 期 (%)	I B 期以上 (%)
39歳以下	2,696	290 (10.8)	259 (89.3)	6 (0.22)	2 (0.07)	0 (0.0)	2 (100.0)
40歳以上	6,325	281 (4.4)	251 (89.3)	7 (0.11)	4 (0.06)	0 (0.0)	4 (100.0)
総 数	9,021	571 (6.3)	510 (89.3)	13 (0.14)	6 (0.07)	0 (0.0)	6 (100.0)

#### 6] 発見がんの詳細及び CIN3、AIS の詳細

##### (1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数
I A 期及び CIN3、AIS	CIN3 13
	AIS 0
	I A 期 0
I B 期以上	I B 1期 5
	III A 期 1
総数	19

##### (2) TNM 分類別発見数

TNM 分類	CIN3	AIS	I A 期	I B 期以上
T1b1・NX・MO	0	0	0	1
T1b1・NO・MO	0	0	0	4
T3a・N1・MO	0	0	0	1
T不明・N不明・M不明	13	0	0	0
総 数	13	0	0	6

### (3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
C I N 3	13	—	—
A I S	0	—	—
扁平上皮癌	0	0	4
腺 癌	0	0	2
総 数	13	0	6

### (4) 治療分類別発見数

#### 1) 手術療法

術 式	CIN3	AIS	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	6	0	0	0
単純子宮全摘出術	2	0	0	1
広汎子宮全摘出術	0	0	0	4
経 過 観 察	2	0	0	0
不 明	3	0	0	0
総 数	13	0	0	5

※CIN3の単純子宮全摘出術2人のうち1人はロボット支援下で施行

※ⅢA期の1人は手術療法未実施

#### 2) 化学療法および放射線療法

I B1期1人は単純子宮全摘出術と放射線療法、I B1期1人は広汎子宮全摘出術と放射線療法、I B1期1人は広汎子宮全摘出術で化学療法と放射線療法、ⅢA期1人は化学療法と放射線療法を施行

### 子宮頸がん総数の集計表

受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	発見CIN3+AIS数 及び発見がん数 (%)
37,232	1,130 (3.0)	962 (85.1)	29 (0.08)	10 (0.03)	39 (0.10)

## 4 まとめ

令和4年度の発見子宮頸がん追跡調査の結果は、治療対象である子宮頸部上皮内腫瘍3（以下CIN3）及び上皮内腺癌（以下AIS）を追加して集計した。発見CIN3+AIS数及び発見がん数の発見率は、細胞診のみの方式で発見CIN3+AIS数2人（0.14%）、発見がん数は0人（0.00%）だった。ASC-US時HPV追加方式は、発見CIN3+AIS数14人（0.05%）、発見がん数4人（0.01%）（I A期3人、II B期1人）だった。HPV併用方式では、発見CIN3+AIS数13人（0.14%）、発見がん数6人（0.07%）（I B期5人、ⅢA期1人）であった。

初回、非初回別実施状況は、細胞診のみの方式でCIN3+AIS発見率は、初回受診0.33%、非初回受診0%で、がん発見率では、初回受診、非初回受診ともに0%であり、ASC-US時HPV追加方式でCIN3+AIS発見率は、初回受診0.15%、非初回受診0.02%で、がん発見率では、初回受診0.07%、非初回受診0%で、HPV併用方式ではCIN3+AIS発見率は、初回受診0.16%、非初回受診0.13%で、がん発見率は初回受診0.12%、非初回受診0%であった。CIN3+AIS発見率は、細胞診のみの方式とHPV併用方式は、初回受診が非初回受診より高い傾向にあり、ASC-US時HPV追加方式は初回受診が非初回受診より有意（ $p < 0.05$ ）に高かった。がん発見率は、ASC-US時HPV追加方式とHPV併用方式ともに、初回受診が非初回受診より有意（ $p < 0.05$ ）に高かった。これらのことから、未受診者の受診啓発の重要性が示唆された。

年齢別実施状況は、細胞診のみの方式ではCIN3+AIS発見率は、39歳以下2.86%、40歳以上0.07%で、がん発見率では、39歳以下40歳以上ともに0%であった。ASC-US時HPV追加方式ではCIN3+AIS発見率は、39歳以下0.13%、40歳以上0.04%で、がん発見率では、39歳



以下0.03%、40歳以上0.01%であった。HPV併用方式では、CIN3+AIS発見率は、39歳以下0.22%、40歳以上0.11%で、がん発見率は39歳以下0.07%、40歳以上0.06%であった。CIN3+AIS発見率は、細胞診のみの方式とHPV併用方式ともに、39歳以下が40歳以上より高い傾向にあり、ASC-US時HPV追加方式では39歳以下が40歳以上より有意( $p<0.05$ )に高かった。がん発見率は、ASC-US時HPV追加方式、HPV併用方式ともに、39歳以下が40歳以上より高い傾向にあった。これらのことから、若年層の受診啓発の重要性が示唆された。

組織型は、細胞診のみの方式では、前駆病変のCIN3が2人(0.14%)で、ASC-US時HPV追加方式では、前駆病変のCIN3が14人(0.05%)であり、発見されたがん4人のうち、扁平上皮癌が1人(0.004%)、腺癌が2人(0.007%)、不明が1人(0.004%)であった。HPV併用方式では、前駆病変のCIN3が13人(0.14%)であり、発見されたがん6人のうち、扁平上皮癌が4人(0.04%)、腺癌が2人(0.02%)であった。

治療法の手術方式別は、ASC-US時HPV追加方式では、子宮頸部円錐切除術はCIN3 8人(0.03%)、単純子宮全摘出術はCIN3 5人、がん(I A期) 1人と合わせて6人(0.02%)、広汎子宮全摘出術はがん(I A期) 1人(0.004%)、拡大子宮全摘出術はがん(I A期) 1人(0.004%)であった。HPV併用方式では子宮頸部円錐切除術はCIN3で6人(0.07%)、単純子宮全摘出術はCIN3で2人、がん(I B期) 1人と合わせて3人(0.03%)、広汎子宮全摘出術はがん(I B期)で4人(0.04%)であった。近年、出産年齢とがん発見年齢が重なってきていることから、妊孕力を保たせるためにも、前駆病変や早期がんを発見することが大切である。

当施設における子宮頸がん検診の成績と事業評価指標値との比較は、付表の通りである。追跡調査の結果、がん発見率はHPV併用方式で許容値を上回っていたが、細胞診のみの方式とASC-US時HPV追加方式は、許容値を満たしていなかった。要精検率及び陽性反応適中度は、細胞診のみの方式、ASC-US時HPV追加方式、HPV併用方式の3方式ともに、許容値を満たしていなかった。以前はがんに含まれていた上皮内癌、上皮内腺癌が、がん取扱い規約の変更により、がんとして取り扱われなくなったことも一因である。精検受診率は、3方式とも許容値を満たしていたが、目標値は満たしていなかった。ベセスダシステム導入に伴い、ASC-US判定が増えたことにより、要精検率と陽性反応適中度等は許容値を満たしていない値になっているのが現状である。今後は、ベセスダシステムに準拠した新たながん検診事業評価指標値が必要と考える。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診率(%)	発見がん数(%)	陽性反応 適中度(%)
事業団 令和4年度					
細胞診のみ	1,380	43 (3.1)	(74.4)	0 (0.00)	(0.0)
ASC-US時 HPV追加	26,831	516 (1.9)	(81.4)	4 (0.01)	(0.8)
HPV併用	9,021	571 (6.3)	(89.3)	6 (0.07)	(1.1)
事業団 令和3年度					
細胞診のみ	1,306	42 (3.2)	(73.8)	0 (0.00)	(0.0)
ASC-US時 HPV追加	27,418	555 (2.0)	(83.6)	5 (0.02)	(0.9)
HPV併用	12,267	523 (4.3)	(88.0)	3 (0.02)	(0.6)
事業団 令和2年度					
細胞診のみ	1,130	43 (3.8)	(83.7)	1 (0.09)	(2.3)
ASC-US時 HPV追加	22,294	400 (1.8)	(81.3)	5 (0.02)	(1.3)
HPV併用	5,772	293 (5.1)	(88.4)	2 (0.03)	(0.7)
がん検診 事業評価 指標値	許容値	1.4%以下	70.0%以上	0.05%以上	4.0%以上
	目標値		90.0%以上		

## 乳がん検診

本調査票では、マンモグラフィをMG、乳房超音波をUSと表記する。

### 1 検診実施状況

#### 1] 検診方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
MG + US	43,817	1,873 (4.3)
US	4,659	159 (3.4)
総 数	48,476	2,032 (4.2)

#### 2] 年齢別実施状況

	39歳以下 (%)		40～49歳 (%)		50～59歳 (%)		60～69歳 (%)		70歳以上 (%)	
MG + US	908	(2.1)	8,740	(19.9)	8,435	(19.3)	12,192	(27.8)	13,542	(30.9)
US	4,263	(91.5)	145	(3.1)	61	(1.3)	79	(1.7)	111	(2.4)
総 数	5,171	(10.7)	8,885	(18.3)	8,496	(17.5)	12,271	(25.3)	13,653	(28.2)

### 2 精検結果内訳

	精 検 受 診								精	精	総	
	早 期 が ん	進 行 が ん	が ん 疑 い	線 維 腺 腫	乳 腺 症	嚢 胞	乳 管 内 乳 頭 腫	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し	精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	数
総数	121	14	56	243	502	212	68	103	507	170	36	2,032

### 3 発見乳がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			追加調査 (e)*	調査数 (a-(b+c+d)+e)	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (C)	その他 (d)			
総数	193**	6	0	0	3	190	187 (98.4)

\*追加調査：精密検査結果連絡票ではその他の疾患であったが、記載より乳がんが疑われるため調査とした者

\*\*：検査項目が空欄だった精検未把握者2人含む

#### 2] 調査結果内訳（調査数及び調査前に発見乳がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発見乳がん			良性 (%)	経過観察 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)					
総数	124 (63.3)	32 (16.3)	4 (2.0)	23 (11.7)	6 (3.1)	1 (0.5)	3 (1.5)	3 (1.5)

#### 3] 検診方式別調査結果内訳

	発見乳がん			良性	経過観察	異常なし	未確定	追跡不能
	早期	進行	不明					
MG + US	121	31	4	20	5	1	3	3
US	3	1	0	3	1	0	0	0



#### 4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
29歳以下	155	3 (1.9)	2 (66.7)	0 (0.00)
30～34歳	1,735	87 (5.0)	81 (93.1)	0 (0.00)
35～39歳	3,281	150 (4.6)	131 (87.3)	2 (0.06)
40～44歳	4,265	349 (8.2)	305 (87.4)	5 (0.12)
45～49歳	4,620	297 (6.4)	260 (87.5)	15 (0.32)
50～54歳	4,358	217 (5.0)	190 (87.6)	9 (0.21)
55～59歳	4,138	151 (3.6)	136 (90.1)	20 (0.48)
60～64歳	5,218	160 (3.1)	147 (91.9)	9 (0.17)
65～69歳	7,053	235 (3.3)	214 (91.1)	41 (0.58)
70～74歳	7,974	229 (2.9)	215 (93.9)	33 (0.41)
75～79歳	3,941	103 (2.6)	97 (94.2)	15 (0.38)
80歳以上	1,738	51 (2.9)	48 (94.1)	11 (0.63)
総 数	48,476	2,032 (4.2)	1,826 (89.9)	160 (0.33)

#### 5] 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数 (%)
早期 0 (Tis)	31
I	93 (77.5)
II A	21
II B	7
進行 III A	2 (20.0)
III B	1
III C	1
不 明	4 (2.5)
総 数	160

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

#### 6] 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	31 (19.4)
微小浸潤癌	4 (2.5)
腺管形成型	26 (16.3)
充実型	14 (8.8)
浸潤性乳管癌 硬性型	34 (21.3)
亜型不明	15 (9.4)
その他**	3 (1.9)
浸潤性小葉癌	9 (5.6)
管状癌	1 (0.6)
粘液癌	2 (1.3)
特殊型 髄様癌	1 (0.6)
浸潤性微小乳頭癌	1 (0.6)
充実乳頭癌	1 (0.6)
アポクリン癌	3 (1.9)
不明・未記入	15 (9.4)
総 数	160

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

\*\*：硬性型と粘液癌の混在(1)と硬性型と腺管形成型の混在(2)

### 4 検診方式別実施状況

#### 1] MG + US併用方式 (MGはML O1方向撮影、クーポン券利用の40歳代は原則2方向撮影)

##### (1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	検査別要精検者数 (%)*		精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
			MG	U S		
29歳以下	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	— (—)	0 (0.00)
30～34歳	181	20 (11.0)	11 (6.1)	10 (5.5)	18 (90.0)	0 (0.00)
35～39歳	726	76 (10.5)	56 (7.7)	28 (3.9)	68 (89.5)	1 (0.14)
40～44歳	4,150	346 (8.3)	223 (5.4)	153 (3.7)	302 (87.3)	5 (0.12)
45～49歳	4,590	297 (6.5)	176 (3.8)	150 (3.3)	260 (87.5)	15 (0.33)
50～54歳	4,327	215 (5.0)	137 (3.2)	102 (2.4)	188 (87.4)	9 (0.21)
55～59歳	4,108	150 (3.7)	102 (2.5)	73 (1.8)	135 (90.0)	20 (0.49)
60～64歳	5,183	157 (3.0)	102 (2.0)	68 (1.3)	144 (91.7)	9 (0.17)
65～69歳	7,009	233 (3.3)	140 (2.0)	125 (1.8)	212 (91.0)	39 (0.56)
70～74歳	7,931	229 (2.9)	130 (1.6)	131 (1.7)	215 (93.9)	33 (0.42)
75～79歳	3,900	102 (2.6)	60 (1.5)	57 (1.5)	96 (94.1)	15 (0.38)
80歳以上	1,711	48 (2.8)	30 (1.8)	26 (1.5)	45 (93.8)	10 (0.58)
総 数	43,817	1,873 (4.3)	1,167 (2.7)	923 (2.1)	1,683 (89.9)	156 (0.36)

\* 検査別要精検者数については総合判定後の内訳

(2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類		発見数 (%)	
早期	0 (Tis)	30	(77.6)
	I	91	
進行	II A	21	(19.9)
	II B	6	
	III A	2	
	III B	1	
	III C	1	
不 明		4	(2.6)
総 数		156	

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

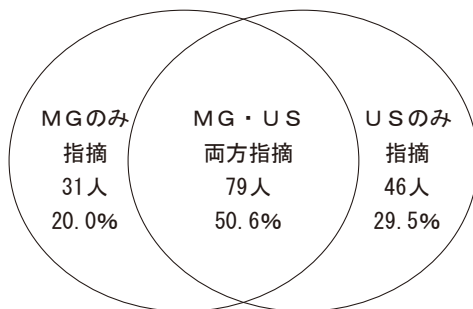
(3) 組織学的分類別発見数

組織学的分類		発見数 (%)	
非浸潤性乳管癌		30	(19.2)
微 小 浸 潤 癌		4	(2.6)
浸潤性乳管癌	腺管形成型	26	(16.7)
	充実型	13	(8.3)
	硬性型	33	(21.2)
	亜型不明	14	(9.0)
	その他**	3	(1.9)
特殊型	浸潤性小葉癌	9	(5.8)
	管状癌	1	(0.6)
	粘液癌	2	(1.3)
	髄様癌	1	(0.6)
	浸潤性微小乳頭癌	1	(0.6)
	充実乳頭癌	1	(0.6)
	アポクリン癌	3	(1.9)
	不 明 ・ 未 記 入	15	(9.6)
	総 数	156	

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

\*\*：硬性型と粘液癌の混在(1)と硬性型と腺管形成型の混在(2)

(4) 検査方法別発見がん内訳



(5) 手術方法

切除範囲	腫瘍摘出術	乳房部分切除術	乳房全切除術	乳頭温存乳房全切除術	不明
総数	1	90	55	1	13

※ 両側乳がんが4人。のべ総数160人。

(6) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

		MG	U S	総数
実施人数				43,817
発見がん数 (%)		110 (0.25)	125 (0.29)	156 (0.36)
総合判定前	要精検者数 (%)	1,438 (3.3)	933 (2.1)	2,140 (4.9)
	陽性反応適中度 (%)	7.6	13.4	7.3
総合判定後	要精検者数 (%)	1,167 (2.7)	923 (2.1)	1,873 (4.3)
	陽性反応適中度 (%)	9.4	13.5	8.3

(7) 初回・非初回別実施状況

※ 令和5年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も乳がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上乳がん検診を受診している者

1) 検査方法別要精検率内訳

初回 (18.3%)					非初回 (81.7%)			
	受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別* 要精検率 (%)		受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別 要精検率 (%)	
			MG	U S			MG	U S
29歳以下	1	0 (0.0)	0.0	0.0	0	— (—)	—	—
30～34歳	120	17 (14.2)	9.2	5.8	61	3 (4.9)	0.0	4.9
35～39歳	275	40 (14.5)	10.2	5.8	451	36 (8.0)	6.2	2.7
40～44歳	1,180	171 (14.5)	10.3	6.1	2,970	175 (5.9)	3.4	2.7
45～49歳	1,109	147 (13.3)	9.6	5.5	3,481	150 (4.3)	2.0	2.6
50～54歳	974	105 (10.8)	8.8	3.9	3,353	110 (3.3)	1.5	1.9
55～59歳	850	84 (9.9)	7.5	4.4	3,258	66 (2.0)	1.2	1.1
60～64歳	994	78 (7.8)	6.2	2.1	4,189	79 (1.9)	1.0	1.1
65～69歳	1,051	91 (8.7)	6.3	3.8	5,958	142 (2.4)	1.2	1.4
70～74歳	858	81 (9.4)	6.4	4.8	7,073	148 (2.1)	1.1	1.3
75～79歳	408	29 (7.1)	5.9	3.4	3,492	73 (2.1)	1.0	1.2
80歳以上	201	18 (9.0)	5.5	5.5	1,510	30 (2.0)	1.3	1.0
総 数	8,021	861 (10.7)	7.9	4.5	35,796	1,012 (2.8)	1.5	1.6

\* 検査方法別要精検率については総合判定後の内訳

## 2) 初回、非初回別 病期分類内訳

病期分類		初回：受診者数 / 発見率 (%) *	非初回：受診者数 / 発見率 (%) *	総数：受診者数 / 発見率 (%) *
		8,021/0.71 発見数 (%)	35,796 /0.28 発見数 (%)	43,817 /0.36 発見数 (%)
早 期	0	13 (71.9)	17 (80.8)	30 (77.6)
	I	28	63	91
進 行	II A	8	13	21
	II B	4	2	6
	III A	2 (24.6)	0 (17.2)	2 (19.9)
	III B	0	1	1
	III C	0	1	1
不 明		2 (3.5)	2 (2.0)	4 (2.6)
総 数		57	99	156

\* 発見率は未記入、不明のものもすべて含む

※ 両側乳がん4人あり、Stageの高い方に計上

## 2] US法

※主に30代のUS単独検診と、40歳以上で当施設が定める禁忌事項に当てはまりMG撮影が出来なかった受診者

### (1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
29歳以下	154	3 (1.9)	2 (66.7)	0 (0.00)
30～34歳	1,554	67 (4.3)	63 (94.0)	0 (0.00)
35～39歳	2,555	74 (2.9)	63 (85.1)	1 (0.04)
40～44歳	115	3 (2.6)	3 (100.0)	0 (0.00)
45～49歳	30	0 (0.0)	— (—)	0 (0.00)
50～54歳	31	2 (6.5)	2 (100.0)	0 (0.00)
55～59歳	30	1 (3.3)	1 (100.0)	0 (0.00)
60～64歳	35	3 (8.6)	3 (100.0)	0 (0.00)
65～69歳	44	2 (4.5)	2 (100.0)	2 (4.55)
70～74歳	43	0 (0.0)	— (—)	0 (0.00)
75～79歳	41	1 (2.4)	1 (100.0)	0 (0.00)
80歳以上	27	3 (11.1)	3 (100.0)	1 (3.70)
総 数	4,659	159 (3.4)	143 (89.9)	4 (0.09)

### (2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数 (%)
早期 0 (Tis)	1 (75.0)
I	2
進行 II B	1 (25.0)
総 数	4

### (3) 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	1 (25.0)
浸潤性乳管癌 充 実 型	1 (25.0)
硬 性 型	1 (25.0)
亜型不明	1 (25.0)
総 数	4

### (4) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房全切除術
総数	1	3

### (5) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
U S	4,659	159	4 (0.09)	2.5

### (6) 40歳未満に限定した陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
U S	4,263	144	1 (0.02)	0.7

## 5 まとめ

令和4年度の受診者数は48,476人であり、令和3年度の47,387人から1,089人増加している。

追跡調査票の回収率は98.4%であり、令和3年度の98.3%から0.1%増加した。発見がん数は160人であった。要精検率4.2%、精検受診率89.9%、がん発見率0.33%、陽性反応適中度7.9%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。精検受診率は目標値には至らなかった。

1) MG + U S 併用方式の受診者数は43,817人で、当施設の乳がん検診の90.4%を占めている。発見がん数は156人であった。要精検率4.3%、精検受診率89.9%、がん発見率0.36%、陽性反応適中度8.3%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。MGとU S 両方で指摘し発見されたがんは79人50.6%、U S のみで発見されたがんが46人29.5%、MGのみで発見されたがんは31人20.0%であった。

平成29年度より分離併用総合判定方式を導入し、今年度は6年目となる。総合判定の対象となったのは2,140人4.9%であり、総合判定後1,873人4.3%が要精検、がん発見率0.36%、陽性反応適中度8.3%となった。令和3年度、総合判定の対象となったのは2,100人4.9%であり、総合判定後1,801人4.2%が要精検、がん発見率0.36%、陽性反応適中度8.4%であった。令和3年度と比較して要精検率はほぼ変化がなく、がん発見率や陽性反応適中度も維持していた。

2) U S 単独方式の受診者数は4,659人であり、がん発見数は4人でがん発見率は0.09%であった。

令和4年度は、令和3年度と比較して要精検率やがん発見率に大きな変化は見られなかった。分離併用総合判定方式を導入して6年目となり、安定した稼働が出来てきているのではないかと考えられる。

発見がん数が前年度と続けてこれまでにない高い値となった。新型コロナウイルスにより受診者数に変動があった影響なのか、乳がんが増加しているためなのか、今後も引き続き動向に注目していきたい。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
事業団 令和4年度	48,476	2,032 (4.2)	(89.9)	160 (0.33)	(7.9)
事業団 令和3年度	47,387	1,938 (4.1)	(91.5)	153 (0.32)	(7.9)
事業団 令和2年度	37,373	1,406 (3.8)	(92.7)	112 (0.30)	(8.0)
がん検診 事業評価指標	許容値	11.0%以下	80.0%以上	0.23%以上	2.5%以上
	目標値		90.0%以上		

※ 乳がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

## 前立腺がん検診

### 1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	26,634	2,103 (7.9)

※年齢階層別PSA基準値

64歳以下：3.00ng/mL以下

65歳～69歳：3.50ng/mL以下

70歳以上：4.00ng/mL以下

### 2 精検結果内訳

	精 検 受 診							精 検	精 検	総
	早 期	進 行	が ん	前 立 腺	前 立 腺	そ の 他	異 常	未 把 握	未 受 診	数
	が ん	が ん	疑 い	肥 大 症	炎	の 疾 患	な し			
総数	97	16	392	458	30	39	485	460	126	2,103

## 3 発見がん追跡調査結果

### 1] 調査状況

		追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調査数 (a- (b+c+d))	回収数 (%)
			詳細把握 (b)	がん以外 (C)	その他 (d)		
総	数	505	15	0	11	479	453 (94.6)

### 2] 調査結果内訳

	発見がん			その他の疾患 (%)	異常なし (%)	経過観察 (%)	未確定 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)				
総数	123 (27.2)	15 (3.3)	16 (3.5)	30 (6.6)	69 (15.2)	191 (42.2)	9 (2.0)

### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	12	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)
40～44歳	65	1 (1.5)	1 (100.0)	0 (0.00)
45～49歳	210	4 (1.9)	4 (100.0)	0 (0.00)
50～54歳	1,615	47 (2.9)	25 (53.2)	1 (0.06)
55～59歳	1,601	85 (5.3)	50 (58.8)	4 (0.25)
60～64歳	2,682	214 (8.0)	169 (79.0)	14 (0.52)
65～69歳	5,578	442 (7.9)	329 (74.4)	26 (0.47)
70～74歳	7,464	557 (7.5)	454 (81.5)	57 (0.76)
75～79歳	4,505	404 (9.0)	335 (82.9)	32 (0.71)
80歳以上	2,902	349 (12.0)	275 (78.8)	20 (0.69)
総 数	26,634	2,103 (7.9)	1,642 (78.1)	154 (0.58)

### 4] 臨床病期(ABCD分類)別発見数

ABCD分類	発見数 (%)
B0	6 (3.9)
B1	77 (50.0)
B2	40 (26.0)
C	11 (7.1)
D	4 (2.6)
不 明	16 (10.4)
総 数	154

### 5] 臨床病期(T分類)別発見数

T分類	発見数 (%)
T1c	12 (7.8)
T2a	77 (50.0)
T2b	13 (8.4)
T2c	36 (23.4)
T3a	8 (5.2)
T3b	5 (3.2)
T4	2 (1.3)
Tx	0 (0.0)
不 明	1 (0.6)
総 数	154

(1) T分類別による所属リンパ節への転移 (N) 及び遠隔転移 (M) の内訳

臨床病期 分類	発見数	所属リンパ節転移 (N)				遠 隔 転 移 (M)			
		N0	N1	NX	不明	M0	M1	MX	不明
T1c	12	11	0	0	1	11	0	0	1
T2a	77	72	0	0	5	70	1	1	5
T2b	13	12	0	0	1	12	0	0	1
T2c	36	34	1	1	0	34	1	1	0
T3a	8	6	2	0	0	7	1	0	0
T3b	5	4	1	0	0	4	1	0	0
T4	2	1	1	0	0	1	1	0	0
Tx	0	1	0	0	0	0	0	0	0
不 明	1	0	0	0	1	0	0	0	1
総 数	154	141	5	1	8	139	5	2	8

6] Gleasonスコア別発見数

Gleasonスコア	発見数 (%)
5	0 (0.0)
6	25 (16.2)
7	67 (43.5)
8	34 (22.1)
9	21 (13.6)
10	2 (1.3)
不 明	5 (3.2)
総 数	154

7] 治療法別発見数

治 療 法	発見数 (%)
監 視 療 法	11 (7.1)
内分泌療法	30 (19.5)
手 術 療 法	81 (52.6)
放射線療法	25 (16.2)
そ の 他	6 (3.9)
不 明	1 (0.6)
総 数	154

8] 初回、非初回受診別実施状況

(1) 実施状況

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
					早期 (%)	進行 (%)	不 明
初 回	4,719	452	361 (79.9)	58 (1.23)	44 (75.9)	12 (20.7)	2 (3.4)
非初回	21,915	1,651	1,281 (77.6)	96 (0.44)	79 (82.3)	3 (3.1)	14 (14.6)
総 数	26,634	2,103	1,642 (78.1)	154 (0.58)	123 (79.9)	15 (9.7)	16 (10.4)

※初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も前立腺がん検診を受診していない者  
非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上前立腺がん検診を受診している者

(2) 臨床病期 (ABCD分類)

ABCD分類	初 回		非 初 回	
	発見数 (%)		発見数 (%)	
早期	B0	2	4	
	B1	27 (75.9)	50 (82.3)	
	B2	15	25	
進行	C	8 (20.7)	3 (3.1)	
	D	4	0	
不 明	2	(3.4)	14	(14.6)
総 数	58		96	

(3) 非初回受診で発見された96人の前回受診結果と精検受診の状況

	発見がん数	前回受診結果	
		異常なし	要精検 (精検未受診者数)
早 期	79	39	40 (3)
進 行	3	0	3 (0)
不 明	14	5	9 (1)
総 数	96	44	52 (4)



(4) 非初回受診で発見された96人のうち進行がんであった3人の令和4年度と前回受診年度の検診及び精検結果状況

ABCD分類	令和4年度受診			前回受診結果		
	検診時 P S A値	Gleason スコア	TNM分類	受診年度	検診時 P S A値	精検結果
C	4.95	7	T3a, N0, M0	R3	4.65	結果未把握
C	5.19	7	T3a, N0, M0	R3	4.50	前立腺肥大症
C	6.58	8	T2a, N0, M0	R3	4.76	前立腺肥大症

(5) 初回受診のうち進行がんであった12人の精検結果状況

ABCD分類	検診時 P S A値	Gleason スコア	TNM分類
C	10.51	7	T3a, N0, M0
C	12.42	7	T3a, N1, M0
C	12.56	9	T3a, N0, M0
C	16.62	8	T3b, N0, M0
C	21.87	7	T3a, N0, M0
C	26.46	8	T3b, N0, M0
C	43.09	8	T1c, N0, M0
C	96.08	9	T3b, N0, M0
D	4.17	7	T2c, N1, M1
D	4.43	9	T2a, N0, M1
D	14.44	7	T4, N0, M0
D	22.40	8	T3b, N0, M1

## 4 まとめ

今回の発見前立腺がん追跡調査結果では、154人のがんが確定され、がん発見率は0.58%であった。年齢別にがん発見率をみると、50歳以上から加齢とともに上昇傾向を示していた。

発見がん154人の臨床病期（ABCD分類）は、早期がんである病期B群が多く、全体の79.9%を占めていた。また、臨床病期TNM分類のうち原発腫瘍の深達度を分類するT分類では、がんが前立腺内にとどまっているT1c、T2a、T2b、T2cが多く、全体の138人（89.6%）であった。

前立腺がん検診の受診歴別にみると、がん発見率は初回受診群1.23%、非初回受診群0.44%であり、非初回受診群と比較して初回受診群の方が有意に高かった（ $p < 0.05$ ）。臨床病期（ABCD分類）による早期がん割合の比較では、初回受診群75.9%、非初回受診群82.3%と、非初回受診群の方が高かったが有意な差は認められなかった。

非初回受診の発見前立腺がん96人のうち52人は前回検診結果が要精検であり、精検未受診者が4人いた。また、検診時のPSA値が基準値に近い値である進行がんが確認されたことから、要精検者については適切な精密検査の受診勧奨が重要であると思われる。

今回発見された前立腺がんの約8割が早期がんであった。早期に発見された前立腺がんは治療法の選択肢も多く根治の可能性があることから、定期的に前立腺がん検診を受診し要精検となった場合には速やかに専門の精密検査医療機関を受診し、適切な診断・治療を受けることが重要であると考えられた。

2	人間ドック
---	-------

## 1 調査目的

人間ドックにおける発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

## 2 調査対象

- 1] 前年度のがん検診受診者で、精密検査結果が「がん」又は「がん疑い」と報告のあった者
- 2] 前々年度の精密検査結果が前年の調査以降に判明し、「がん」又は「がん疑い」と報告のあった者（翌年度の検診結果等を確認し、担当医と相談の上、対象とするか決定する）

## 3 調査内容

人間ドックにおける発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）の把握を行う。

### 1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を簡易書留にて郵送し、回収する。

- (1) 事業団（理事長）から医療機関（医療機関長）に対し、調査票を送付する方法
- (2) 事業団担当医から精密検査実施担当医に対し、調査票を送付する方法

### 2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果の報告医療機関またはその紹介先医療機関及び精密検査実施担当医

### 3] 調査期間

初回調査：令和5年9月・・・調査票回収期限：令和5年9月29日

再 調 査：令和5年11月・・・調査票回収期限：令和5年11月30日

※再調査は、下記の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

## 4 用語の解説

追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者

発 見 が ん 数：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者も含む



## 人間ドック

令和6年1月31日現在

	上部消化管		肺がん <sup>*2*3</sup>			大腸がん
	X線	内視鏡 <sup>*1</sup>	X線	CT	喀痰	
受診者数	6,570	3,159	10,130	784	3,001	10,877
要精検者数	280	68	173	3	1	392
要精検率(%)	4.3	2.2	1.7	0.4	0.0	3.6
精検受診者数	198	51	141	2	1	278
精検受診率(%)	70.7	75.0	81.5	66.7	100.0	70.9
追跡調査数	1	5	11	0	0	8
追跡調査回収数	1	5	11	－	－	8
追跡調査回収率(%)	100.0	100.0	100.0	(－)	(－)	100.0
発見がん数	1	5	6	0	0	8
がん発見率(%)	0.02	0.16	0.06	0.0	0.0	0.07
早期がん数	1	5	3	－	－	4
早期がん割合(%)	100.0	100.0	50.0	(－)	(－)	50.0
陽性反応適中度(%)	0.4	7.4	3.5	0.0	0.0	2.0
胃：4						
食道：1						
	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	腹部超音波 <sup>*4</sup>	甲状腺がん	
受診者数	2,751	3,342	1,861	11,200	394	
要精検者数	39	132	76	271	15	
要精検率(%)	1.4	3.9	4.1	2.4	3.8	
精検受診者数	34	113	55	190	11	
精検受診率(%)	87.2	85.6	72.4	70.1	73.3	
追跡調査数	0	6	24	4	1	
追跡調査回収数	－	6	23	4	1	
追跡調査回収率(%)	(－)	100.0	95.8	100.0	100.0	
発見がん数	0	5	8	2	0	
がん発見率(%)	0.0	0.15	0.43	0.02	0.00	
早期がん数	－	3	6	－	－	
早期がん割合(%)	(－)	60.0	75.0	(－)	(－)	
陽性反応適中度(%)	0.0	3.8	10.5	(－)	0.0	
膵臓：1						
腎臓：1						

<sup>\*1</sup> 医療機関を受診したものすべて含む

<sup>\*2</sup> 最終読影の結果がん以外で要精検となった者を除く

<sup>\*3</sup> 早期がんの分類がないため、0～Ⅰ期を早期がんとして計上

<sup>\*4</sup> 早期がん数、早期がん割合、及び陽性反応適中度は算出せず

# 調 査 ・ 研 究

- 1 調 査 ・ 研 究
- 2 集 統 計 ・ 解 析
- 3 論 文 ・ 研 究 発 表

## 1 調査・研究

県民に精度の高い効果的な手法による健診・検査の受診機会を提供し、広く県民の疾病の予防や健康の保持増進に繋げるため、行政や医師会、大学病院等と連携し、各種健診手法の検証や健診・検査等の精度管理等に係る調査、新しい健診・検査の取り組みなども検討している。

### 1] 発見がん追跡調査の実施

令和4年度に、住民検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、精密検査結果連絡票にがん又はがん疑いと記載のあった症例について、発見がん追跡調査を実施した。各がん取扱い規約に基づいた詳細な内容を把握する調査票を、精密検査を実施した114医療機関宛てに1,220枚送付し、回収できたのは1,185枚（回収率97.1%）であった。

これにより、がん発見率や陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握し、がん検診の精度管理状況の評価をし、改善に向けた検討を行っている。なお、追跡調査結果は、読影医及び調査協力医療機関に報告している。

### 2] 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施している。当事業団では県内唯一の健診受託機関として参画しており、令和5年度は17名の対象者に健康診査を実施した。

## 2 集統計・解析

県民の疾病予防、健康の保持増進のため、健診・検査等で得られたデータの集統計及び解析、がんの追跡調査を行い、その結果及び健診手法などに関して得られた成果を受診団体等に提供した。

### 1] 地域職域診断サービス報告書を受診団体へ提供

受診団体における健康づくりに活用いただくために、健康診断の有所見率や生活習慣などについて当該団体と全国・県データ\*と比較評価し、報告書として提供した。さらに要望に応じて保健師等を派遣し、分析結果や改善策について直接説明を行った。

・地域職域診断サービス：20団体（14市町、6事業所）に提供

\* 全国・県のデータは公益財団法人予防医学事業中央会の「地域職域診断サービス」を活用

### 2] 事業年報作成及び配付

健診・検査で得られたデータの集統計や解析、がん追跡調査の結果等をまとめた当事業団発足以来発行している事業年報（第47号）を640部作成した。県民の疾病予防及び健康増進のための基礎資料や、地域・職域において実施される保健事業の計画及び市町が定める健康増進計画策定等の参考にできるよう、県、市町、受診団体、医療機関、大学などの関係機関に配付したほか、より多くの方が利用できるようホームページに公開した。

### 3 論文・研究発表

#### 1] 各種学会研修会等での公表

研究の成果を広く県内関係団体や全国的な研究機関等における疾病の予防、生活環境の保全、健康増進のための基礎資料として活用の促進に繋げるため、事業の成果を次のとおり学会で発表し、公表した。

題 名	年月日	学 会 名 等	発 表 者
(1) 胸部X線画像AI読影支援システムの構築について	R5.9.5	第61回栃木県公衆衛生学会	岩崎 恭平
(2) 令和4年度における脊髄性筋萎縮症および複合免疫不全症を対象とした臨床研究事業の実施状況報告	R5.9.5	第61回栃木県公衆衛生学会	尾熊 朋子
(3) 総合判定において精検不要とした所見からの検討	R5.11.24	第33回日本乳癌検診学会	堀江 聡
(4) 過去の簡易専用水道検査結果に基づく貯水槽の劣化傾向と耐用年数についての考察	R6.1.18	第51回建築物環境衛生管理全国大会	田邊 大輔
(5) 発見大腸がん追跡調査における一考察	R6.3.7	第57回全国予防医学技術研究会	所 晃子
(6) 胃X線検査を安全に実施するための取り組み	R6.3.7	第57回全国予防医学技術研究会	小泉 享子

## (1) 胸部X線画像AI読影支援システムの構築について

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○岩崎 恭平  
小澤 悠  
阿久津敏恵

平山 隼  
堀江 聡  
森久保 寛

中村 唯  
増田 英夫  
渡邊 慶

薄井 隆英  
阿部 聡子

### はじめに

近年、ディープラーニングによりAI技術が進歩したことで、医療において様々な支援システムの導入が進んでいる。胸部X線画像では、肺がんが疑われる肺結節候補域を検出する技術が製品化されており、当施設でも肺がん検診の精度向上を目的にAIによる胸部X線画像診断支援システムの検討を行い、エルピクセル株式会社の胸部X線画像AI解析ソフトEIRL Chest Screeningを導入し、2022年10月1日より運用を開始した。

今回の導入にあたっては、人間ドックと巡回検診の両方の運用を想定し構築したものであり、検討時の結果を交え、導入したシステム構成について報告する。

### 検討内容及びシステム構成について

AI読影支援システム導入に向けて、以下の項目を検討し整備を行った。

1. AI読影支援システムの導入前性能評価
2. AI解析を効率的に行えるシステムの構築
3. 読影支援を効率的に行えるシステムの構築

#### 1. AI読影支援システムの性能評価

今回導入したAI解析ソフトEIRL Chest Screeningは、5mm～30mmの肺結節の検出機能に加えて、気胸や心胸郭比、大動脈弓の径などの自動計測機能を有する。

導入に向けた性能評価では、肺結節の検出を対象に①感度、②特異度に分けて検証した。

#### ① 感度の評価

当施設で用意した、追跡調査結果で確定した肺がん症例をもとに、過去振り返りで所見が確認できる症例を含めた45症例をエルピクセル社に解析を依頼し、検出感度の性能評価を行った。結果は、感度が91.1%（45

症例中、41件を検出）の成績となった。発見時に所見を指摘できていた症例であるが、前年度に所見を認める症例もありAIシステムも、この所見を指摘しており、より小さなうちに発見できる可能性が示唆された。

#### ② 特異度の評価

検診時判定「異常を認めず」及び「精検不要」100例（内訳：異常を認めず85件、精検不要を含めた症例13件、肺がん2件）の解析を行い検証した。結果は、特異度90.6%（85症例中、8件が偽検出）となり、肺がん症例の2件とも検出でき、良好な結果が得られた。偽検出した8件は、「乳頭陰影」、「肋軟骨」、「血管の軸方向による陰影」を検出する傾向であったが、オリジナル画像と比較すれば落とせるものであり、過剰検出による読影時の負担は最小であると判断した。

#### 2. AI解析を効率的に行えるシステムの構築

当施設での健診業務は、施設内で行う人間ドックと巡回検診であり、それぞれの業務に合わせたシステム運用を行っている。（図1）

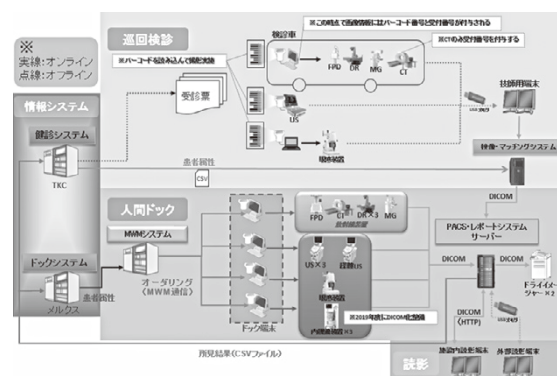


図1 デジタル画像システム構成図

像のため、画像容量を圧縮して出力できるように対応した。

表1 1日あたりの解析処理人数の条件

人間ドック	運用	人間ドック施設内では、人間ドックシステム上にMWMサーバーを設置し、進捗管理も含め属性情報と撮影オーダーの連携を行っている。
	検査	1日の検査数は50件程、7時40分～9時30分の間に撮影。10,000件/年間
	読影	当日の結果説明のため、読影開始時間の10時30分までに解析が完了
巡回検診	運用	健診現場で受診者情報の取得ができないため、受診票に印字されているバーコードをマッチングキーとし、検査装置で読み取り、帰庁後に属性情報のマッチングを行っている。
	検査	土曜・日曜日分のマッチング処理を、月曜日の午前中に行うため、月曜日も含め、1日あたり最大で1700件。150,000件/年間
	読影	マッチング処理後、翌日の読影までに解析が完了。

## ① AI読影支援システム構成について

表1の条件を満たすため、ハードの構成を分けた。さらに巡回検診では解析処理数が多く、翌日の読影までに解析処理を完了する必要性から、2基構成とし、並列処理で対応した。(図2)

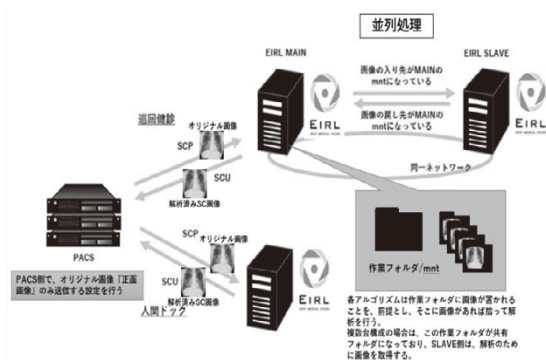


図2 AI読影支援システム構成図

検査画像は、PACSで受信したタイミングでAI解析サーバーへ自動送信する。AI解析サーバーへは、DICOMタグに登録されているオーダー情報より、正面画像のみ送信し、不必要な解析を行わない仕組みとした。

② AI解析結果のデータについて

AI解析結果は、セカンダリキャプチャ(SC)の画像データでPACSへ送信する。巡回検診、人間ドックで使用する装置により、シリーズの発番体系に違いがあった。そこでSC画像は、シリーズ番号を9000の固定値とすることで、読影時にオリジナル画像よりも、最後に表示する仕様とした。また、SC画像が検証時に、オリジナル画像より画像容量が大きいことがわかり、参考画

### 3. 読影支援を効率的に行えるシステムの構築

## ① 読影業務への対応

AI解析されたSC画像のDICOMタグ上に検出数を登録して、出力する仕様を整備条件とした。この仕様により、レポートシステムの入力画面上に「AI所見有」を表示でき、読影者が検出した対象者のみ、AI解析画像を確認できる対応ができた。(図3)さらに、AI解析で検出した対象者を抽出してリスト化でき、3次読影(確定読影)では、1次・2次読影の要精検者に追加して読影できる仕組みが取れた。



図3 レポートシステムでの『AI所見有』の表示

## ② 精度管理への対応

レポートシステムの機能として、統計機能を有している。AI解析の所見検出の有無と検出数の検索ができ、CSVで情報を出力できる。この機能により、追跡調査で確定した肺がん症例から、AI読影支援システムの感度や陽性反応適中度など、今後の精度管理が、評価し易い環境を整えた。

## まとめ

AI読影支援システムの導入に向け、性能評価、システムの運用構築を進めてきた。当施設における症例の性能評価では、感度・特異度ともに90%を超える評価となった。全ての所見を検出できることは不可能なため、検出の不得意部分を理解し、読影する必要があるが、偽検出も含め今後のバージョンアップに期待したい。今後は導入後の効果の検証など、精度管理の評価を行い、診断精度の向上に努めたい。



## (2) 令和4年度における脊髄性筋萎縮症および複合免疫不全症を対象とした臨床研究事業の実施状況報告

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○尾熊 朋子 関口 梨沙 高橋 史  
高瀬 訓子 高橋 英和 手塚 真史  
増田 英夫 永井 充洋 森久保 寛  
渡邊 慶

栃木県立リハビリテーションセンター

山形 崇倫

自治医科大学とちぎ子ども医療センター

小坂 仁

### 【はじめに】

当施設では、栃木県の委託事業として県内で出生した新生児に対して、アミノ酸代謝異常症などの20疾患を対象に、公費による新生児マススクリーニング検査（以下新生児マス）を行っている。近年の新しい検査技術、治療法や治療薬の進歩により、疾患の早期発見・治療による予後の改善が見込まれることから、全国で新たに難病である脊髄性筋萎縮症と複合免疫不全症の2疾患を、新生児マスの対象疾患に追加することを目的に、拡大マススクリーニング検査（以下拡大マス）として徐々に実施されつつある。検査は保護者の希望による任意検査である。

令和4年4月より自治医科大学（以下自治医大）を主幹として、脊髄性筋萎縮症と複合免疫不全症を追加した拡大マスの確立と検証を目的に臨床研究が実施され、当施設は共同研究機関として参加した。今回、1年間の臨床研究事業が終了したため、拡大マスの実施状況を報告する。

### 【対象疾患の概要と拡大マスの検査体制】

脊髄性筋萎縮症は常染色体潜性遺伝の神経筋疾患であり乳幼児期の死亡原因の一つで、発生頻度は1/20,000である。複合免疫不全症は易感染症のため早期診断、早期治療を行わなければ致死的な疾患であり、発生頻度は1/50,000である。

拡大マスの検査体制を図1に示す。拡大マスの構成は、栃木県産婦人科医会、小児科医会および栃木県こども政策課の協力を

得て、県内の産科施設、精密検査医療機関となる自治医大、獨協医科大学病院（以下獨協）、済生会宇都宮病院（以下済生会）および検査機関の公益財団法人栃木県保健衛生事業団（以下事業団）である。

産科施設では、拡大マス検査の案内や保護者向けの説明と参加のお願いを行い、保護者から同意が得られた場合は、同意書と新生児マス検査用乾燥紙血液検体（以下検体）を併せて事業団に郵送する。事業団では同意書を確認した児の検体を使用し検査を行う。拡大マスで残余検体を使用することは、栃木県こども政策課から事前に許可を得た。結果は新生児マスの結果と併せて事業団から各産科へ郵送し、産科施設から保護者へ報告される。要精密検査が必要な場合は、事業団から産科施設に至急報告し、自治医大と獨協、済生会のうち保護者が希望するいずれかが精密検査・治療機関となる体制を整備した。なお、拡大マスの実施にかかる費用は（一社）小児先進治療協議会の支援を受け、保護者の検査費用は無料で行った。

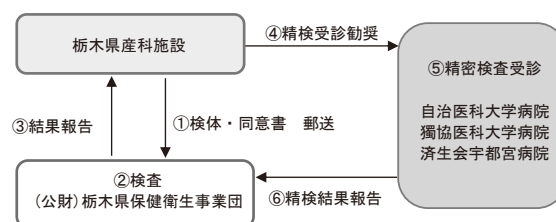


図1 拡大マスの検査体制

## 【対象】

対象は令和4年度に栃木県内で生まれ、新生児マスを受検した11,323人のうち、保護者より拡大マス参加の同意が得られた10,738人とした。

## 【方法】

検査は検体からDNAを抽出し脊髄性筋萎縮症の原因遺伝子であるSMN1遺伝子と、複合免疫不全症のマーカーであるTRECとKRECを同時に検出できる試薬を使用し、遺伝子増幅検査（PCR法）を行い、得られたデータをカットオフ値で判定した。

## 【検査項目と検査機器】

- (1)検査項目：脊髄性筋萎縮症（SMN1）  
複合免疫不全症（TREC、KREC）  
内部コントロール（RPP30）  
(2)検査機器：Quant Studio DX  
（Thermo Fisher SCIENTIFIC社）  
(3)検査法：リアルタイムPCR法  
(4)測定試薬：NeoMD x DNA抽出キット/  
NeoMD x PCR試薬（Perkin Elmer社）

各検査項目のカットオフ値を表1、2に示す。

表1 SMN1の判定基準

	(Ct値)
判定基準	
正常	SMN1 < 31.24
要精検	SMN1 ≥ 31.24

表2 TREC, KRECの判定基準

	(コピー/10 <sup>5</sup> セル)
判定基準	
正常	TREC ≥ 500、KREC ≥ 500
要再採血	TREC < 500 or KREC < 500（在胎週数37週未満）
要精検	TREC < 500 or KREC < 500

表3 令和4年度拡大マス実施状況

表3 令和4年度拡大出生児施設別							人(%)
新生児マス	拡大マス	同意率(%)		正常	要再採血(%)	要精検(%)	確定数
11,323	10,738	94.8	脊髄性筋萎縮症	10,737	0(—)	1(0.01)	1
			複合免疫不全症	10,725	9(0.08)	4(0.04)	0

SMN1は31.24以上(Ct値)を超えた場合、要精密検査として判定した。

TREC、KRECは500(コピー/10<sup>5</sup>セル)未満の場合、精密検査の対象とした。また、在胎週数37週未満でTRECまたはKRECが、カットオフ値より低値であった場合は、免疫機能が未熟である可能性を考慮し、自治医大、獨協、済生会と協議のうえ、産科施設に再採血を依頼し再検査を行った。

今回、拡大マスの参加に同意した10,738人について、各疾患の実施状況と要再採血および要精密検査検体の内訳を集計した。

## 【結果】

(1)新生児マスの検査件数と拡大マスの同意率

図2に令和4年度の新生児マスの検査件数と拡大マスの同意率を示す。栃木県内の産科施設は助産所を含め36施設あり、全ての産科施設が拡大マスに参加した。新生児マスを受検した11,323人中、拡大マスの同意が得られたのは10,738人であり、同意率は94.8%であった。

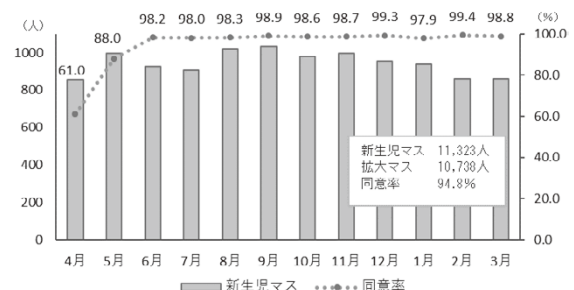


図2 新生児マスの検査件数と拡大マスの同意率

(2)表3に令和4年度の拡大マスの実施状況を示す。再採血を依頼した件数は、複合免疫不全症疑いで9人、再採血率は0.08%であった。要精密検査となった者は複合免疫不全症疑いで4人、脊髄性筋萎縮症疑いが1人の計5人であり、要精検率は0.05%であった。



表4 要再採血および要精密検査対象者の結果

No.	在胎週数(w)	出生時体重(g)	陽性項目	初回判定	最終判定
1	36	2,372	TREC	要再採血	正常
2	37	2,280	TREC	要再採血	正常
3	35	1,736	TREC	要再採血	正常
4	30	803	KREC	要再採血	正常
5	34	1,822	KREC	要再採血	正常
6	31	1,642	TREC	要再採血	正常
7	34	1,872	KREC	要再採血	正常
8	36	1,655	KREC	要再採血	正常
9	23	592	TREC	要再採血	要精検
10	37	2,344	KREC	要精検	—
11	37	2,228	TREC	要精検	—
12	27	2,539	TREC	要精検	—
13	38	3,136	SMN1	要精検	—

(3)要再採血および要精密検査対象者の結果を表4に示す。複合免疫不全症疑いのため要再採血になった9人はTREC低値5人、KREC低値4人であった。また、TREC、KRECのどちらも低値の児はいなかった。最終的に要精密検査となった者はTREC低値3人、KREC低値1人、SMN1陽性が1人の計5人であった。また、TREC低値またはKREC低値で要再採血または要精密検査の判定となった者は、いずれも在胎週数37週未満または出生体重が2,500g未満であった。

(4)要精密検査の対象となった5人の、精密検査結果の内訳を表5示す。精密検査の結果、脊髄性筋萎縮症が1人、二次性B細胞減少症1人、異常なし3人であった。

表5 精密検査結果の内訳

診断名	(人)
脊髄性筋萎縮症	1
二次性B細胞減少症	1
異常なし	3

## 【考察】

(1)臨床研究事業に、栃木県内の全ての産科施設から協力を得られたことによって、県内のどの地域で出生した新生児でも、拡大マス受検の機会が得られることになったため、現在の新生児マスと同様の受検環境を整えることが出来た。また、最終的な同意率が94.8%となった。このことについて

は、新生児マスの残余検体を使用するため追加採血が必要ないこと、検査費用が無料であることや産科施設での丁寧な説明により保護者の理解が得られたものと考えられる。

(2)複合免疫不全症検査で要再採血および要精密検査と判定された検体は、在胎週数37週未満または出生体重2,500g未満であったことから、早産児や低出生体重児では、TREC、KREC値が正常出生児より低値傾向であり、TREC、KRECが低値であった場合、修正在胎週数37週以降に再採血検査を実施することの必要性が示唆された。

(3)令和2年10月から公費によるロタウイルス感染症に対する生ワクチンの定期予防接種が施行された。複合免疫不全症の児が生ワクチンを接種した場合、重篤な副反応を引き起こす恐れがあるため、ワクチン接種前に複合免疫不全症の診断を行うためには、拡大マスの実施が重要であると考えられる。

(4)精密検査の結果、脊髄性筋萎縮症1人が発見された。症状出現前の治療介入が予後を左右することから、迅速な結果報告の重要性が確認できた。

## 【まとめ】

今回の2疾患を対象にした拡大マスの結果から、現行の新生児マスに追加して実施することの有用性を確認することが出来た。

栃木県では令和5年度から、脊髄性筋萎縮症と複合免疫不全症を新生児マスの対象疾患に追加し、全国初の全額公費負担で実施している。今後も検査機関として各関係機関との連携を深め、検査体制の整備と精度の維持向上に励みたい。

### (3) 総合判定において精検不要とした所見からの検討

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

堀江 聡 平澤 舞 渡邊 律子 小澤 稔子  
 神尾 恵子 阿久津敏恵 阿部 聡子 森久保 寛  
 渡邊 慶

#### 【背景】

当施設ではマンモグラフィ（以下MG）と乳腺超音波（以下US）の分離併用総合判定方式を2017年度から開始している。2021年度の乳癌検診学会の報告で総合判定方式初年度に総合判定にて精検不要とした方の経過を確認し、不利益となる偽陽性症例を的確に落としていることを確認した。今回、総合判定にて精検不要とした所見の傾向を調査しフィードバックすることで精度向上につなげる課題を抽出する。

#### 【方法】

2018年度から2022年度の乳がん検診受診者のうちMGとUSを併用で受診したのべ211,581名について、総合判定にて精検不要とした所見名および読影医が精検不要とした理由について集計する。

#### 【結果】

受診者数211,581名のうち総合判定対象者9,855名（4.7%）であり、総合判定の結果要精検となった方は8,412名（4.0%）であった。総合判定で精検不要となった1,422名、左右のべ1,592件について、モダリティ割合はMGでは1,542件（96.9%）、USでは50件（3.1%）であった。所見名割合ではMG所見でFAD：47.9%、腫瘍：48.0%、その他：1.0%であり、US所見で乳腺腫瘍疑い：1.3%、乳腺症様所見：1.3%、その他：0.5%であった。全体の精検不要となった理由については「USにて同一精検不要所見」：67.7%、「乳腺が多くUS優先（正常乳腺）」：19.5%、その他：12.8%であった。

#### 【まとめ】

総合判定マニュアルに沿ってMGのFADと腫瘍が精検不要とされた割合が大きかったが、MGの石灰化所見や、USの点状高エコーを伴う乳腺症所見などの所見についても精検不要と判断されることがあった。精検不要に落とす理由の多くは同一部位に所見があり性状を確認できたものであったが、約25%はMGにて乳腺の重なりや正常乳腺がFADや腫瘍として判定されたものであった。総合判定を行うことで偽陽性症例を減少させることは大きな利点であるが、モダリティ毎の更なる確信度を向上させるためにはMGのポジショニングまた画質の改善の余地が含まれるものとする。

## (4) 過去の簡易専用水道検査結果に基づく貯水槽の劣化傾向と耐用年数についての考察

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

田邊 大輔 松島 史朗 増田 英夫 渡邊 慶

### 1.はじめに

FRP水槽の耐用年数は『FRP水槽構造設計計算法（1996年版）社団法人強化プラスチック協会』によると、理論上15年とされている。しかし実際の耐用年数は様々な条件、要因によって大きく異なっているのは周知である。

今回、当事業団の過去18年間の検査結果を様々な角度から分析し、行政報告対象となった衛生上特に問題のある施設について、様々な条件下での劣化の傾向や度合いを整理すると共に、今後の課題等について報告する。

### 2.調査対象

平成17年度から令和4年度の当事業団の検査実績は29,471件で、そのうち行政報告対象となったのは234件（0.79%）であった。

それらを表1で示す厚生労働省告示第262号に基づいて区分すると263件であった。水槽の直接的な破損を示す区分は4,5または6の一部であり、99件（37.6%）と全体の中でも一定の割合を占めている。

本調査では、区分4, 5(6)の直接の原因となる指摘箇所を確認し、下記の通り調査対象と設定した。

- ・本体（開口部、すき間）：区分4, 5
- ・本体（亀裂）：区分5
- ・本体（電極部等の接合部）：区分5
- ・マンホール（破損）：区分5
- ・通気管（破損）：区分5
- ・内部（光の透過）：区分6

### 3.集計条件

#### ①水槽材質別

#### ②受水槽または高置水槽の別

#### ③設置場所別:屋内または屋外（樹木）

④設置者等の意識別:3年以上同じ指摘が続いている、または細かく修繕を行っている

⑤関連する不適箇所が最初に発生してから行政報告となるまでの年数別

#### ⑥設置から行政報告となるまでの年数別

### 4.結 果

図1～図5、表2の通り。

①水槽材質別の集計を図1に示す。FRP製が88.9%と群を抜いて多かった。特にSUS製と鋼板製は、本体的な問題はほぼ発生していなかった。

②受水槽または高置水槽の別の集計を図2に示す。受水槽が67件（67.7%）、高置水槽が32件（32.3%）であった。ただし全体的な設置数の比率もほぼ同等であり、明確な差とは必ずしも言えない。特徴として受水槽は「本体（亀裂）」が14件と多く、高置水槽は通気管（破損）が12件と他の指摘と比較し多く現れた。

③設置条件別の集計を図3に示す。屋外設置が98.0%であり、中でも周囲に樹木の多い施設は、本

表1 厚生労働省告示262号に基づく行政報告区分

1	汚水槽その他排水設備から水槽に汚水若しくは排水が流入し、又はそのおそれがある場合
2	水槽内に動物等の死骸がある場合
3	給水栓における水質の検査において、異常が認められる場合
4	水槽の上部が清潔に保たれず、又はマンホール面が槽上面から衛生上有効に立ち上がっていないため、汚水等が水槽に流入するおそれがある場合
5	マンホール、通気管等が著しく破損し、又は汚水若しくは雨水が水槽に流入するおそれがある場合
6	その他検査者が水の供給について特に衛生上問題があると認める場合（※光の透過により水槽内部に藻類が発生している場合）

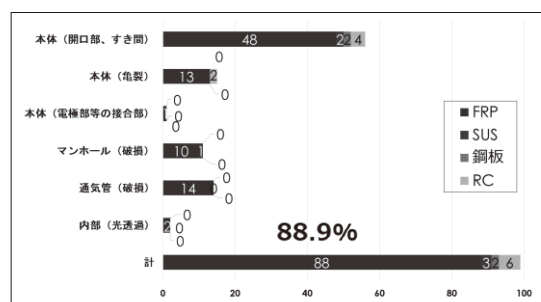


図1 材質別内訳 (n=99)

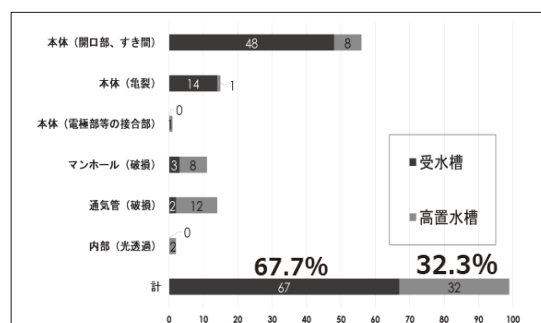


図2 受水槽または高置水槽の別内訳 (n=99)



体（開口部、すき間）による不適が大部分を占めていた。

④設置者等の意識別の集計を図4に示す。3年以上同じ指摘を繰り返していた施設は65件であり、随時修繕を行っている施設の34件と比較すると、多くの不適が発生している。詳細としては、本体の不適においての大きな差は見られなかったが、マンホールや通気管といった付帯設備の不適に大きな影響が見られた。

⑤関連する不適箇所が最初に発生してから行政報告となるまでの年数を表2に示す。ほとんどの年で差は見られなかったが、過半数近くが1年以内に（その場で）対象となっていた。

⑥設置から行政報告となるまでの年数を図5に示す。一番多いのは30～39年経過した水槽で26件（38.2%）、続いて20～29年経過した水槽で22件（32.4%）となった。10～19年経過した水槽は6件（8.8%）であった。

## 5. 考 察

簡易専用水道における貯水槽の劣化、という意味合いだけで考慮した場合、FRP製の屋外設置型受水槽のリスクが最も高くなることが分かった。これは現時点で最も初期費用がかからない形であるが、その分だけ管理に手間を惜しまぬ姿勢が問われていると言え換えられる。

また設置者の意識が低い施設は多くの不適を生み出しているが、それらは主にマンホールや通気管といった付帯設備が原因であり、本体の不適は前回の検査から1年未満の期間で多く発生している。これは行政報告対象となる不適は事前に予期せず訪れることを意味すると共に、定期的な自主検査の実施や、1年に1回以上法定検査の受検の根拠と成り得る数値である。

本調査で得た設置から行政報告となるまでの年数を「貯水槽の現実的な耐用年数」と仮定すると、理論上の数値である15年以上が経過した水槽が多数見受けられた。それらの多くの場合は20年を超えると著しく不適が広がり、40年まで至ると極めて多くの水槽において行政報告対象となることが分かった。

## 6. まとめ

本調査の観点から貯水槽の現実的な耐用年数を推測すると、理論値よりも長い事例が多く確認できたが、そこを超えると行政報告になる施設が大きく増える傾向がある。水槽の劣化は環境や状況に大きく左右されており、中でも設置者の意識による細かな修繕行動は、付帯設備の劣化を大きく軽減させていた。

また本体の不適は突発的に発生し、即座に行政報告にまで達する傾向があるため、定期的な点検や検査は水の衛生を保持するためには必須と言える。

我々検査機関はそれらの点を常に意識し、設置者への積極的な啓発や精度の高い検査を行うことで、公衆衛生の向上に寄与することが出来る。

それこそが登録検査機関としての責務であり、今後の課題でもあると言えるだろう。

\*本報告は「令和4年度簡易専用水道検査全国技術研究発表会（一般社団法人全国給水衛生検査協会主催）」で報告したものに令和4年度のデータを追加し、再集計したものである。

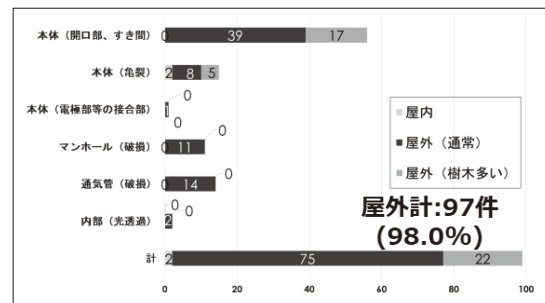


図3 設置条件別内訳 (n=99)

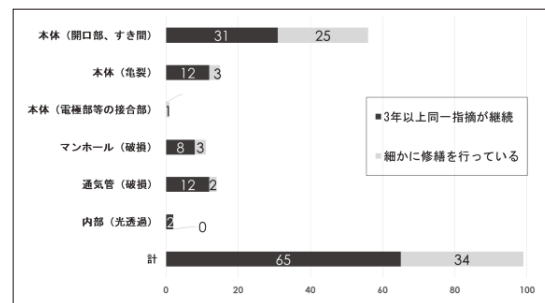


図4 設置者の意識別内訳 (n=99)

表2 関連不適箇所が最初に発生してから行政報告に至るまでの期間 (n=80 ※データ不明の19件は除く)

	10年以上	9年	8年	7年	6年	5年	4年	3年	2年	1年	1年未満	計
本体（開口部、すき間）	0	1	0	0	1	0	0	1	1	4	35	
本体（亀裂）	0	1	1	2	1	1	2	0	3	0	3	
本体（電極部等の接合部）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マンホール（破損）	1	0	0	1	0	1	1	0	3	0	3	
通気管（破損）	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	6	
内部（光透過、コケ）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	3	2	1	6	2	2	3	2	7	5	47	58.8%

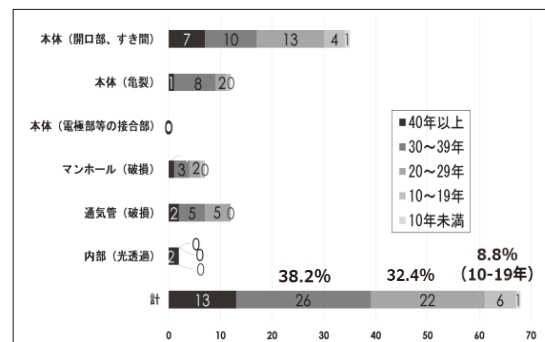


図5 設置から行政報告になるまでの年数 (n=68 ※設置年数不明の31件を除く)

## (5) 発見大腸がん追跡調査における一考察

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○所 晃子 奥村 昌子 清水 正幸 高橋 史  
高瀬 訓子 大出 定夫 増田 英夫 森久保 寛  
渡邊 慶

### はじめに

当施設のがん検診は、特定健診と併せて実施することが多く、住民大腸がん検診受診者の約20%を75歳以上の後期高齢者が占めている。今回、平成29年度から令和3年度の住民大腸がん検診の実施状況、及び発見された大腸がんの追跡調査結果を基に、40～74歳の受診者群（以下「75歳未満」と）と75歳以上の受診者群（以下「75歳以上」）に群別化し集計を行ったため、今後の課題について報告する。

### 対 象

平成29年度から令和3年度の住民大腸がん検診受診者365,834人のうち、40歳未満の受診者と不明がん等9人を除いた361,624人を対象とした。また、大腸がん追跡調査でがんと確定された受診者555人のうち40歳未満の2人と、不明がん及びその他のがん（肛門管がん、虫垂がん）9人を除いた544人（男性312人、女性232人）を対象とした。

### 方 法

平成29年度から令和3年度の住民大腸がん検診の実施状況について集計した。また、40歳未満と不明がん等を除いた確定大腸がん

544人について、「75歳未満」と「75歳以上」の受診者に群別化し、「右側大腸」（盲腸、上行結腸、横行結腸）および「左側大腸」（下行結腸、S状結腸、直腸S状部、直腸）の占拠部位及び早期がん・進行がん割合を集計し比較検討した。

### 結 果

(1)図1に平成29年度から令和3年度の大腸がん検診における年齢階級別受診者数とがん発見率を示す。受診者数は65～69歳が最も多く、がん発見率は55歳以上から増加していた。75～79歳のがん発見率は0.24%、80歳以上は0.26%であり、全体のがん発見率平均値0.15%を大きく超えていた。

また、表1に平成29年度から令和3年度の年齢階級別精密検査受診状況を示す。受診者総数は361,624人、要精検者数18,642人、要精検率5.2%、精検受診者数13,211人、精検受診率70.9%、確定がん数544人、がん発見率は0.15%であった。年齢階級別にみると、精検受診率は40～44歳が60.6%と最も低く、75～79歳が75.7%と最も高かった。がん発見率は40～44歳、45～49歳が0.04%、80歳以上が0.26%と、精検受診率同様に若年層は低く、高齢になるほど高くなる傾向が認めら

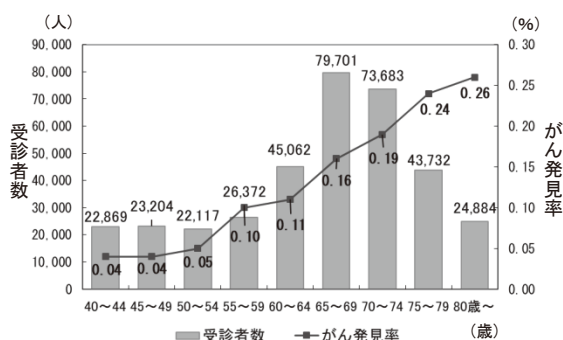


図1 年齢階級別大腸がん検診受診者数とがん発見率

表1 年齢階級別精密検査受診状況

年齢(歳)	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	確定がん数(人)	がん発見率(%)
40～44	22,869	842	3.7	510	60.6	9	0.04
45～49	23,204	807	3.5	519	64.3	10	0.04
50～54	22,117	834	3.8	533	63.9	11	0.05
55～59	26,372	1,097	4.2	774	70.6	26	0.10
60～64	45,062	1,898	4.2	1,346	70.9	51	0.11
65～69	79,701	3,943	4.9	2,808	71.2	129	0.16
70～74	73,683	4,104	5.6	3,012	73.4	138	0.19
75～79	43,732	2,927	6.7	2,215	75.7	105	0.24
80歳～	24,884	2,190	8.8	1,494	68.2	65	0.26
総数	361,624	18,642	5.2	13,211	70.9	544	0.15

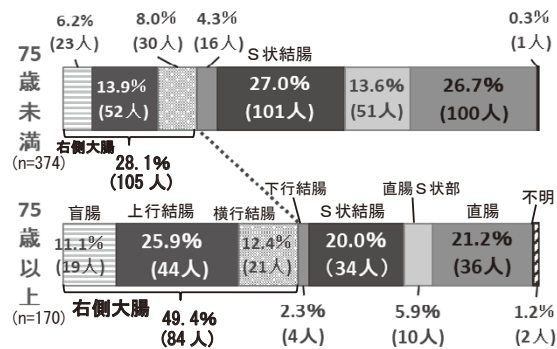


図2 年齢群別占拠部位の比較

れた。

(2)図2に発見大腸がん544人を「75歳未満」と「75歳以上」に群別化し、占拠部位の比較を行った。がんが最も多く発見された部位は、「75歳未満」ではS状結腸101人(27.0%)、「75歳以上」では上行結腸44人(25.9%)であった。また、がんが「右側大腸」から発見された割合は、「75歳未満」は105人(28.1%)であったのに対し、「75歳以上」は84人(49.4%)であり、「75歳以上」では「75歳未満」よりも「右側大腸」にがんが発見される割合が有意に高かった。(p<0.05)

(3)図3に年齢群、占拠部位別の早期・進行がん割合を示す。「75歳未満」の進行がんは「右側大腸」が51人(48.6%)、「左側大腸」が92人(34.3%)、「75歳以上」では「右側大腸」が48人(57.1%)、「左側大腸」が37人(44.0%)発見され、両群とも「左側大腸」より「右側大腸」に進行がん割合が高い傾向が認められた。また、「右側大腸」と「左側大腸」の両方において、「75歳未満」よりも「75歳以上」の進行がん割合が高かったが、有意差は認められなかった。(p>0.05)

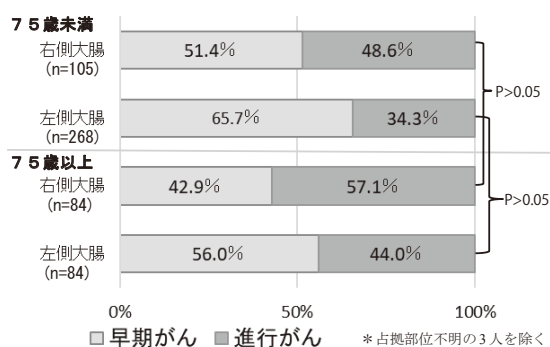


図3 年齢群、占拠部位別早期・進行がん割合の比較

## 考察

平成29年度から令和3年度の5年間に544人の大腸がんが発見され、がん発見率は0.15%であった。しかし、全体の精検受診率は70.9%であり、「がん検診事業の評価に関する委員会」のプロセス指標許容値70.0%は満たしているものの、目標値90.0%には大きな差がある現況であった。また、年齢階級別にみると、「75歳未満」のうち40～54歳の精検受診率が低かった。精検未受診者から精検受診者と同じ割合で大腸がんが発見されると仮定すると、224人の大腸がんが発見される可能性があることから、精密検査の受診勧奨と啓発活動等が重要であると考えられた。

年齢群別の占拠部位の比較では、「右側大腸」に発見された大腸がんが「75歳未満」では28.1%であったが、「75歳以上」では49.4%であり、「75歳以上」の「右側大腸」がんが有意に多かった。高齢者において「右側大腸」がんが多い傾向があるという報告は多くの文献でなされており、今回の検討と一致する結果となった。また、占拠部位別の早期・進行がん割合の比較では、「左側大腸」よりも「右側大腸」の進行がん割合が高く、「75歳以上」では57.1%、「75歳未満」においても48.6%と約半数を占めていた。自覚症状が現れにくいと言われている「右側大腸」がんを早期に発見するためにも、大腸がん検診を受診する重要性が示唆された。

## まとめ

がんの増加は受診者の高齢化が大きく関係していると考えられるが、「75歳以上」と「75歳未満」の進行がん割合に有意差は認められず、また、「75歳以上」と「75歳未満」の両群において「右側大腸」がんが半数以上を占めていたことから、検診による早期発見・早期治療で大腸がんの罹患と死亡を減少させるためには、年齢や自覚症状の有無に関わらず検診を受診し、要精検となった場合には精密検査を受診することが重要と考えられた。しかし、働く世代での精検受診率が低迷している現状が重要課題であると考えられた。



(6) 胃X線検査を安全に実施するための取り組み  
～「胃X線検査同意書」を活用した問診について～

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○小泉 享子      高橋 靖子      菊池 宏美      増田 英夫  
森久保 寛      渡邊 慶

はじめに

胃がん検診は受診者の高齢化が進み、また、高濃度バリウムの普及後、誤嚥の報告が増えている。

当施設では、胃がん検診を「安全」に提供することが重要との意識が強く、様々な取り組みを行っている。その一つとして日本消化器がん検診学会関東甲信越支部による「胃X線検診安全基準」に基づき確認項目を設定することによって、看護師と医師が連携し受診者へ検査のリスクの説明を行い、「胃X線（バリウム）検診中止同意書」（以下、同意書とする）を使用し受診者の同意を取ったうえで検査を中止する等の取り組みを行っている。

今回は同意書の内容を集計、分析することで、得られた傾向や課題を考察し報告する。

胃X線検診中止同意書について

同意書の内容を（表1）に示す。同意書は検査のリスクが高い受診者が、納得して検査中止に同意する事を目的に運用を開始した。

看護師の問診において、慎重な対応が必要

表1 胃X線検査中止同意書の内容

確認事項	バリウム誤嚥の可能性 バリウム排泄困難の可能性 検査台で体位変換困難の可能性 中止項目（＊）で設定期間経過 パーキンソン病既往 便秘（3日間排便なし） その他
	【バリウム製剤の禁忌】 バリウム過敏症（アレルギー） 消化管穿孔・閉塞またはその疑い 消化管急性出血 【既往歴等の中止】 バリウム誤嚥の既往 高血圧（180/110mmHg以上[当日の値：      /      ]） 現在、次の疾患で治療中（炎症性腸疾患・上部消化管疾患） 大腸憩室での憩室炎症状あり 透析中、心不全、慢性腎疾患での水分制限 糖尿病治療中で本日インスリンや内服薬を使用した ＊1年以内の発作（虚血性心疾患・脳血管障害） ＊1年以内に手術既往（消化管手術・心疾患手術 呼吸器疾患手術・頭部手術・運動障害手術） 体重130kg以上

な「確認事項」とバリウム製剤の禁忌、既往歴等を「胃X線検診安全基準」に基づいた運用方法で「中止事項」を設定し、いずれかの項目に該当した場合、問診スタッフ、医師が検査リスクの説明をし、中止か実施を判断し了承を得た上で、受診者の自署をもらうこととしている。

対象と方法

平成30年度～令和4年度の胃がん検診希望者及び実施者数、同意書作成数及び実施・中止数、年齢別の確認事項・検診中止事項該当者数を集計し検討を行った。

結 果

表2に平成30年度～令和4年度の胃がん検診実施状況を示す。実施総数は男女ともに減少傾向である。

表2 胃がん検診実施状況

(人)					
男性	H30	R1	R2	R3	R4
39歳以下	219	210	140	207	202
40歳代	2487	2344	1701	2252	2131
50歳代	2325	2265	1687	2199	2266
60歳代	8071	7188	5118	5642	5433
70歳代	7177	7483	6016	7000	7234
80歳以上	404	331	265	302	273
計	20683	19821	14927	17602	17539

(人)					
女性	H30	R1	R2	R3	R4
39歳以下	450	399	282	443	346
40歳代	4946	4829	3420	4368	4035
50歳代	4886	4548	3351	4129	4203
60歳代	9915	8877	6278	7198	6697
70歳代	6308	6441	5104	6111	6145
80歳以上	172	147	60	122	80
計	26677	25241	18495	22371	21506

表3に同意書作成数及び検査中止・実施数を示す。同意書の作成数は希望者総数に対して8%～9%とほぼ横ばいである。胃がん検診中止は同意書対象者全体の66%～74%であった。

表3 同意書作成数及び検査中止・実施数

年度	H30	R1	R2	R3	R4
同意書作成数	4204	3720	2831	3806	3779
中止数	2791 (66%)	2575 (69%)	1913 (68%)	2717 (71%)	2804 (74%)
実施数	1413 (34%)	1145 (31%)	918 (32%)	1089 (32%)	975 (26%)

図1に年代別同意書作成数を示す

同意書作成総数の中で70歳以上が61%～71%の割合で占めている。

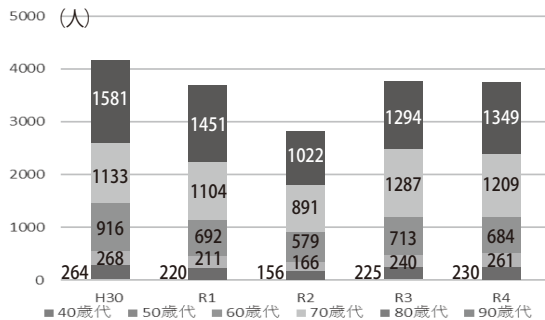


図1 年代別同意書作成数

胃X線検診中止理由を確認事項、検査中止事項別及び年代別に表4-1・4-2に示す

「検診中止理由」の集計（令和4年度）より確認事項では、誤嚥の可能性が1737人（62%）と最も多く、その中でも70歳代以上が1587人（90%）占めていた。次にその他が多く466人（17%）、その他の内容としては大腸ポリープ切除によるものや、同意書作成時に該当項目の選択の判断に迷ったものを、その他の欄に記載してしまう事例が多かった。

「検診中止事項」においては、1年以内の手術既往が最も多く495人（18%）その中でも、60～70歳台が379人（77%）と多かった。

表4-1 令和4年度検診中止理由「確認事項」

確認事項（複数該当あり）	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
バリウム誤嚥の可能性	29	31	90	258	1329
バリウム排泄困難の可能性	30	18	62	95	70
検査台で体位変換困難の可能性	8	12	41	102	44
検査中止事項（*）で設定期間経過	14	33	86	158	22
パーキンソン病既往	0	0	7	6	1
便秘（3日間排便なし）	22	10	25	39	8
その他	57	56	141	191	21
計	160 (5.1%)	160 (5.1%)	452 (14.5%)	849 (27.2%)	1945 (48%)

表4-2 令和4年度検診中止理由「検診中止事項」

検診中止事項（複数該当あり）	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
バリウム過敏症	2	2	2	0	0
消化管穿孔・閉塞またはその疑い	3	5	11	14	3
消化管急性出血	1	1	3	4	0
バリウム誤嚥の既往	2	1	1	3	0
高血圧（180/110mmHg以上）	13	27	40	45	8
炎症性疾患・上部消化管疾患で治療中	3	2	2	9	0
大腸憩室での憩室炎症状あり	0	1	6	14	0
透析中、心不全、慢性腎疾患での水分制限	1	2	4	4	0
糖尿病治療中で本日インスリンや内服薬を使用した	8	11	55	87	11
*1年以内の発作（虚血性心疾患・脳血管障害）	3	3	10	29	4
*1年以内の手術既往（消化管・心疾患・呼吸器・泌尿・運動障害手術）	42	55	134	245	19
体重130kg以上	1	0	0	0	0
計	79 (8.3%)	110 (11.5%)	268 (28.0%)	454 (47.7%)	45 (4.7%)

## 考察

同意書の活用により胃X線検診の実施可否判断をしやすくなり、受診者への説明が明確になったことで、納得して中止することができ、リスク回避に繋がったと考えられる。

検診中止理由の集計結果より、「確認事項」では70歳代以上の誤嚥の可能性が多いが、問診のみで誤嚥の可能性を判断することは難しいため、高齢者への検診の利益と不利益を踏まえた検診の勧め方が課題である。

「検診中止事項」では60～70歳代の1年以内の手術既往が最も多いことから受診者（特に高齢者）の胃がん検診リスクの理解が不十分なまま検診を希望していると考えられ、安全な胃がん検診への理解を得るために、実施方法やリスクを今まで以上に詳しく説明する必要があると考えた。

同意書によって、「確認事項」と「中止事項」の内容を具体化することで問診の標準化に繋がった。しかし同意書の項目に該当しないものに関してはスタッフ個人の知識やスキルによって中止内容の認識の違いがあり、勉強会や研修会を実施することで、スタッフ間の知識や理解度の標準化を図る必要がある。正確な問診を伝えることで医師との連携向上に繋がり、受診者へ安全な胃がん検診を提供することができると考える。

## まとめ

同意書を活用することによって、受診者へのリスクを最小限にすると共に、医師との連携を向上させ、より安全な胃がん検診を提供していきたい。



# 精 度 管 理

- 1 精 度 管 理 体 制
- 2 精 度 管 理 調 査
- 3 優 良 施 設 認 定 等
- 4 安 全 管 理 体 制 の 充 実
- 5 研 修 会 等 参 加 状 況
- 6 学 術 委 員
- 7 判 定 医

## 1 精度管理体制

### 1] 精度管理体制

事業団が実施する健診検査事業等の精度の維持向上を図るため、精度管理体制を整備し、各種精度管理活動を行うと伴に、継続的な改善に努めた。

精度管理委員会：全体の精度管理を統括し、各種精度管理調査や各委員会の活動状況の精査や定期的に代表者に報告し承認を得るなど、精度管理に係る重要事項について審議する

健診精度管理委員会：健診の精度を適正に保つため、健診の手順や安全確保の方法、検体の取り扱いや試薬の管理、問診票や結果書などの事項について検討する

検査精度管理委員会：健診精度管理以外を対象に、上記と同様の事項を検討する

精度管理専門委員会：肺がん検診・胃がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診・心電図検査の各分野で、外部の専門家や有識者を含め委員会を編成した。検診の実施方法、撮影や読影精度の向上、医療技術者の技術向上などについて検討する

## 2] 委員会名簿

### (1) 精度管理委員会

	所 属	氏 名
委 員 長	理事長	渡邊 慶
副 委 員 長	常務理事	金澤 秀行
精度管理責任者	医療局長	森久保 寛
委員(部門責任者)	管理部	福田 篤
	管理部	渡邊 哲
	集団検診部	永井 充洋
	健康増進部	川田 光宏
	技術部	増田 英夫
事 務 局	精度管理室	木村 高幸
	精度管理室	大出 定夫

### (2) 健診精度管理委員会

	所 属	氏 名		所 属	氏 名
委 員 長	医療局長	森久保 寛		健診調整課	佐藤 祥一
副 委 員 長	技術部長	増田 英夫		情報処理課	日賀野 充
委 員	医療局	湯川 悟		人間ドック課	蔵野 寿幸
	医療局	阿久津 敏恵		健康支援課	伊東 利枝
	医療局	阿部 聡子	事 務 局	健康支援課	大金 優妃
	放射線課	堀江 聡		健康支援課	高橋 夢描
	看護課	菊池 宏美		健康支援課	中島 麻里紗
	臨床検査一課	高瀬 訓子		精度管理室	木村 高幸
	臨床検査二課	大窪 三紀世		精度管理室	大出 定夫
	健診推進課	手塚 真史			

### (3) 検査精度管理委員会

	所 属	氏 名
委 員 長	技術部長	増田 英夫
副 委 員 長	臨床検査一課長	高瀬 訓子
委 員	健診推進課	手塚 真史
	情報処理課	日賀野 充
	食品環境検査所	松島 史朗
事 務 局	臨床検査一課	高橋 史
	精度管理室	木村 高幸
	精度管理室	大出 定夫

### (4) 精度管理専門委員会

委 員 会 委 員	所 属	氏 名	事務局
肺がん検診	黒沢病院 呼吸器内科部長	町田 優	放射線課
	県立がんセンター 総括診療部 副部長(呼吸器外科)	松隈 治久	
	医療局	森久保 寛、阿久津 敏恵	
	放射線課	堀江 聡、小澤 悠、善谷 昌弘、平山 隼	
胃がん検診	健康支援課	大金 優妃	放射線課
	元獨協医科大学 放射線科特任教授	石川 勉	
	国立がん研究センター中央病院 検診センター長	小林 望	
	医療局	森久保 寛	
子宮頸がん 検診	放射線課	堀江 聡、大塚 幸雄、安達 美帆	臨床検査 一課
	健康支援課	高橋 夢描	
	JCHO うつのみや病院	池口 典子	
	国際医療福祉大学病院 教授 病理部部長	中里 宜正	
乳がん検診	医療局	森久保 寛、阿久津 敏恵	臨床検査 二課
	臨床検査一課	高瀬 訓子、桑久保 修、益子 和規、 阿部 千鶴子	
	看護課	鈴木 麻里、荒井 崇子	
	健康支援課	中島 麻里紗	
心電図検査	県立がんセンター 乳腺外科	安藤 二郎	臨床検査 二課
	MIトラスト	渡辺 美穂	
	医療局	森久保 寛、阿部 聡子	
	臨床検査二課	大窪 三紀世、渡邊 朋子、大塚 好美	
オブザーバー	放射線課	堀江 聡、神尾 恵子、渡邊 律子	臨床検査 二課
	健康支援課	中島 麻里紗	
	中山内科循環器医院 院長	中山 信彦	
	小林内科医院 院長	小林 公也	
オブザーバー	国際医療福祉大学病院 救急医療部	上小牧 憲寛	臨床検査 二課
	医療局	森久保 寛	
	臨床検査二課	大窪 三紀世、渡邊 朋子、手塚 桂子	
	技術部 部長	増田 英夫、精度管理室 参与	
		大出 定夫	

### 3] 委員会開催状況

#### (1) 精度管理委員会

実施日	区分	内容
R5.4.19	開催	1 精度管理専門委員会報告 2 健診精度管理委員会について 3 内部精度管理・外部精度管理の状況について 4 令和4年度事業報告について 5 令和5年度事業計画について
R5.07.19	開催	1 健診精度管理委員会の状況について 2 検査精度管理委員会の状況について 3 内部精度管理・外部精度管理の状況について
R5.10.18	開催	1 内部監査の実施について 2 健診精度管理委員会の状況について 3 内部精度管理・外部精度管理の状況について
R6.1.17	開催	1 精度管理内部監査の実施状況について 2 健診精度管理委員会の状況について 3 内部精度管理・外部精度管理の状況について
R6.3.21	開催	1 精度管理内部監査の状況について 2 令和6年度学術委員の選任について 3 健診精度管理委員会について 4 内部精度管理・外部精度管理の状況について 5 労働衛生サービス機能評価基準（V.8.0対応）自主監査結果について

#### (2) 健診精度管理委員会

実施日	区分	内容
R5.4.5	書面	1 子宮頸がん検診初回受診者のリーフレットについて 2 HBs抗原検査の流れの変更について
R5.6.1	書面	1 自動血球分析装置シスメックスXR1000の基礎的検討結果について
R5.6.16	書面	1 後期高齢者健診における専用結果書様式及び基準値の変更について
R5.7.4	書面	1 検体検査（血液）の経年分析結果報告について
R5.7.18	開催	1 第4期特定健診・特定保健指導における変更点 2 集団健診におけるeGFRの結果表示について 3 検査項目名（ $\gamma$ -GTP）の変更について 4 LGBTの対応について 5 特定健診結果書仕様の変更について 6 新規オプション（腸内フローラ）検査の実施について
R5.10.31	開催	1 特定健診における紹介状の文面変更について 2 LGBTの対応について（再検討） 3 集団健診における乳び・溶血の対応について 4 喀痰細胞診検査の実施率向上について 5 特殊健康診断（騒音作業健康診断）の聴力検査について 6 子宮頸がん検診初回受診者のリーフレットについて 7 特殊健康診断における握力検査の判定について 8 大腸がん検診の精密検査について
R5.12.14	書面	1 検体検査（血液）、生理機能検査（眼底・聴力）の経年分析結果報告について
R6.1.18	書面	1 人間ドック新規オプション「MCIスクリーニング検査プラス（軽度認知障害リスク検査）」の導入について 2 人間ドック結果書の一部修正について
R6.2.14	開催	1 新規オプション（認知機能検査）の実施について 2 新規オプション「体内糖化度検査（AGE s測定）」の実施について 3 特殊健康診断（騒音作業健康診断）の聴力検査について（再検討） 4 協会けんぽ付加健診における肺機能検査、血液像について 5 診察手技の見直しについて 6 がん検診理解度CHECKの変更について 7 人間ドックにおける随時中性脂肪について
R6.3.5	書面	1 人間ドックパンフレットの変更について
R6.3.12	書面	1 胸部CT所見マスタの追加について
R6.3.19	書面	1 子宮頸がん検診初回受診者のリーフレット再修正について

### (3) 検査精度管理委員会

開催実績なし

### (4) 精度管理専門委員会

委 員 会 名	実 施 日	内 容
肺がん検診	R6.03.14	1 令和4年度出張型住民健診における発見肺がん追跡調査結果について 2 発見がん症例の検討について 3 外部精度管理の結果について 4 胸部AIシステム導入後の評価
胃がん検診	R6.02.22	1 外部精度管理の結果について 2 令和4年度出張型住民健診における発見胃がん追跡調査結果について 3 2017～2022年度発見胃がんリスクA萎縮なし集計について
子宮頸がん検診	R6.03.11	1 令和4年度出張型住民健診における発見子宮頸がん追跡調査結果について 2 外部精度管理の結果について 3 発見がん症例の検討について
乳がん検診	R6.03.12	1 令和4年度出張型住民健診における発見乳がん追跡調査結果について 2 発見がん症例の検討について 3 研究発表「総合判定において精検不要とした所見からの検討」
心電図検査	R6.03.15	1 令和5年度（4月～12月）心電図検査集計について 2 症例検討 3 外部精度管理の結果について

## 2 精度管理調査

事業団施設で行われている各部門の検査について、日常的な検査精度が一定基準の範囲内にあるかを得られたデータをもとに統計学的手法を用いて解析評価を行った。また、検体検査については、既知試料（標準物質）などを使用して日々の検査精度（精密度や正確度）を確認し、精度管理の徹底に努めた。

さらに、次に示す第三者機関が実施する精度管理調査に参加し、客観的評価を受けて検査精度を確認し、精度管理の徹底を図った。

	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名	評 価
胸部X線検査	胸部画像精度管理研究会	公益財団法人結核予防会	評価A(4)、B(1)
	胸部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合評価A
肺がん検診			
子宮がん検診	日臨技臨床検査精度管理調査	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	全て評価A
(細胞診)			
胃がん検診	胃部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 一般社団法人日本消化器がん検診学会	総合評価A
健康診断 特殊健康診断 生化学検査 特定健康診査	日本医師会臨床検査精度管理調査	公益社団法人日本医師会	3項目4サンプル：評価B その他は全て評価A
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
	全衛連臨床検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
	予防医学事業中央会精度管理調査 健診・検査データ共有化事業	公益財団法人予防医学事業中央会	総合評価A
	労働衛生検査に関する精度管理調査 (鉛・有機溶剤健康診断に係る代謝 物等の測定に関する精度管理調査)	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
超音波検査	腹部超音波検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 公益社団法人日本人間ドック学会	評価A
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
心電図検査	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
先天性代謝 異常検査	先天性代謝異常症等 マス・スクリーニング精度管理	一般社団法人日本マススクリーニング学会	検査精度は適正
食品検査	食品衛生外部精度管理調査	一般財団法人食品薬品安全センター	全て満足
放射能検査	放射性物質測定技能試験	公益財団法人日本分析センター 一般財団法人日本食品検査	満足
簡易専用水道 検査	簡易専用水道検査外部精度管理調査	厚生労働省 一般社団法人全国給水衛生検査協会	評価S

### 3 優良施設認定等

当事業団は、次に示す全国的評価機関が行う各種認定を受け、人材の育成、機器の管理、システムの充実に努めた。

認 定 等 の 名 称		認 定 団 体
乳 が ん 検 診	マンモグラフィ検診施設画像認定	特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構
特 定 健 康 診 査 健 康 診 断	労働衛生サービス機能評価認定機関	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会
	健診・検査データ共有化事業認証施設	公益財団法人予防医学事業中央会
	臨床研修協力施設	厚生労働省
細 胞 診	日本臨床細胞学会認定施設	公益社団法人日本臨床細胞学会
人 間 ド ッ ク	人間ドック健診施設機能評価 認定施設	一般社団法人日本病院会 公益社団法人日本人間ドック学会
	水道法第34条登録検査機関 (登録番号第41号)	厚生労働省
個 人 情 報 保 護	プライバシーマーク	一般財団法人日本情報経済社会推進協会

### 4 安全管理体制の充実

#### 1] 個人情報保護マネジメントシステム（プライバシーマーク）の推進

当事業団が取り扱う多くの要配慮個人情報の管理の重要性を踏まえ、平成17年度に県内医療機関として最初に認定を受けた個人情報保護マネジメントシステム（プライバシーマーク）について、令和5年度は2年に1度の更新審査の年であり、10回目の付与適格が決定した。

#### 2] リスク管理システムの推進

安全かつ適切な業務の管理・推進のために設置しているリスク管理委員会において、インシデント事例の収集やアクシデント防止の対策等について審議し、職員教育に取り組むなど組織全体で情報の共有を行い、リスク管理体制を強化し安全性の向上に努めた。



# 個人情報保護方針

公益財団法人栃木県保健衛生事業団は、健診・検査情報を取り扱う重要性を認識し、個人情報を正確かつ安全に取り扱い保護することを社会的責務と捉え、個人情報保護方針を次のとおり定め、宣言いたします。

## 1 個人情報の取得・利用・提供

私たちは、健診・検査事業及び当事業団の運営管理に必要な範囲においてのみ個人情報を取得・利用・提供を行い、目的外の利用はいたしません。また、個人情報に関する個人の権利を尊重し、個人情報を保護・管理する体制の確立と適切な取得、利用及び提供に関する内部規則を定め、これを遵守いたします。

## 2 個人情報の安全対策

私たちは、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などが発生しないよう万全の予防措置を講ずることで、個人情報の安全性、正確性の確保を図り、万一の問題発生時には、速やかな是正対策を実施いたします。

## 3 個人情報に関する法令の遵守

私たちは、個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守いたします。

## 4 マネジメントシステムの継続的な改善

私たちは、個人情報の保護体制を適切に維持するため、当事業団が策定したマネジメントシステムを随時見直し、継続的に改善を図ります。

## 5 個人情報保護の教育・監査

私たちは、個人情報保護の重要性及びその適正な取り扱いについて積極的に教育活動を実施するとともに、個人情報保護に関する監査を継続的に実施することにより、マネジメントシステムの遵守を推進いたします。

制 定 年 月 日：平成 16 年 12 月 1 日

最終改訂年月日：令和 4 年 4 月 1 日



公益財団法人 栃木県保健衛生事業団

理事長 渡 邊 慶

◆個人情報の取扱いに関する苦情及び相談は下記にご連絡ください。

電話 028-623-8383（健診推進課）

e-mail [privacy@tochigi-health.or.jp](mailto:privacy@tochigi-health.or.jp)

## 5 研修会等参加状況

### 1) 外部研修会等参加状況

名 称	場所	時期	医師	技術職員	事務職員
第120回日本内科学会総会・講演会	Web	4月	1		
第63回日本呼吸器学会学術講演会	Web	4月	1		
2023国際医用画像総合展（ITEM）	神奈川	4月		3	
第123回日本外科学会定期学術集会	東京	4月	1		
新システム説明会（満喜株式会社主催）	Web	4月			1
第110回日本泌尿器科学会総会	兵庫	4月	1		
第50回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	東京	5月	2		
	Web	5月		2	
令和5年度とちぎ産業看護研究会総会及び第1回研究会	栃木	5月		2	
日本超音波医学会第96回学術集会	埼玉	5月			1
	Web	5月	1	2	
オンデマンド広報基礎講座2023	Web	5月			1
第75回日本産科婦人科学会学術講演会	東京	5月	1		
第105回日本消化器内視鏡学会総会	Web	6月	1		
放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究令和5年度RC会議	Web	6月		1	
第64回日本臨床細胞学会総会春期大会	愛知	6月		1	
令和5年度支部総会及び情報交換会（一般社団法人全国給水衛生検査協会関東甲信越支部主催）	新潟	6月		1	1
第20回乳房超音波技術講習会	愛知	6月		1	
日本人間ドック学会第4期特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けての説明会	東京	6月		2	2
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和5年度総会並びに特別講演、懇親会」	東京	6月		1	1
令和5年度算定基礎届事務講習会	栃木	6月			2
栃木県内年金委員オンライン研修会	Web	6月			3
係長実践コース	Web	6月他		2	1
第62回日本消化器がん検診学会総会	Web	6・7月		1	
第31回日本乳癌学会学術総会	神奈川	6・7月	1		
産能マネジメントスクール（通信）マネジメント上級	通信	6～9月			1
第14回FDSC食品衛生精度管理セミナー	東京	7月		1	
令和5年度日本CT検診学会夏期セミナー 2023	Web	7月		1	
公益法人協会主催会計セミナー「入門編」	埼玉	7月			1
若手社員基本スキルトレーニング	Web	7月他		5	
令和5年度栃木県衛生管理者協議会総会及び研修会	栃木	7月		1	
安全運転管理者のための地区講習会	栃木	7月			1
栃木県誕生150周年記念とちぎ職業人材カレッジキックオフイベント（開設記念講演会）	栃木	7月			1
令和5年度生化学学研修会（予防医学事業中央会主催）	東京	7月		1	
検体検査精度管理オンライン研修会	Web	7月		1	
第50回国際モダンホスピタルショウ2023	東京	7月			3
令和5年度胸部X線検査オンライン研修会	Web	8月		1	
第50回日本マスキニング学会学術集会	新潟	8月		1	
腹部超音波検査ハイブリッド研修会（精度管理・中級コース）	Web	8月		1	
2023年機器取扱い講習会（基礎編）	栃木	8月		3	
令和5（2023）年度特定健診・特定保健指導従事者育成研修会（初任者編）	栃木	8月他		1	
オンラインセミナー公益法人・一般法人会計「基礎編」	Web	8月			2
第40回全国情報統計研修会	群馬	8月			4
令和5（2023）年度結核予防技術者地区別講習会（関東・甲信越ブロック）	Web	8月	1		
令和5（2023）年度健康福祉政策研修	Web	8月		3	2
第82回全国産業安全衛生大会	愛知	9月			1
令和5年度がん征圧全国大会	山口	9月		1	2
第61回栃木県公衆衛生学会	栃木	9月		2	
一般社団法人全国給水衛生検査協会関東甲信越支部主催「令和5年度飲料水検査及び簡易専用水道検査技術研修会」	東京	9月		1	
第204回マンモグラフィ更新講習会	東京	9月		1	
第70回日本栄養改善学会学術総会	愛知	9月		1	
第64回日本人間ドック学会学術大会	群馬	9月	3	5	
2023年第2回人間ドック健診専門医研修会	群馬	9月	1		
第44回日本食品微生物学会学術総会	大阪	9月			1

名 称	場所	時期	医師	技術職員	事務職員
JIPDECセミナー個人情報のクラウド保管実務における対応ポイント	Web	9月			2
令和5年第1回複十字シール運動担当者オンライン会議	Web	9月			2
第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	長野	9月	1	2	
労働衛生サービス機能評価Ver.8.0基準改定説明会	Web	9月		1	
予防医学事業中央会先天性代謝異常検査システム管理会議	Web	9月		1	
【WEB開催】第83回細胞検査士教育セミナー	Web	9・10月		1	
日本食品衛生学会第119回学術講演会	東京	10月		1	
年末調整実務セミナー 2023	Web	10月			1
第207回マンモグラフィ更新講習会	東京	10月		1	
システム・セキュリティ管理者向け研修	Web	10月他			1
日本医療検査科学会第55回大会	神奈川	10月		2	
第68回予防医学事業推進全国大会	島根	10月		1	2
栃木県内年金委員オンライン研修会	Web	10月			1
「マンモグラフィ読影学習支援システムの開発」研究	栃木	10月	2	5	2
日本超音波医学会第35回関東甲信越地方会	Web	10・11月		2	
課長実践コース	Web	11月他		1	2
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催、厚生労働省医薬・生活衛生局水道課後援「令和5年度簡易専用水道検査外部精度管理」	東京	11月		1	1
第208回マンモグラフィ更新講習会	東京	11月		1	
オンラインセミナー【テーマ】事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインについて～それぞれの職場でのとりくみのために～	Web	11月			1
オンラインセミナー【テーマ】相談窓口担当としての対応～メンタルヘルス相談、ハラスメント相談への対応～	Web	11月			2
第62回日本臨床細胞学会秋期大会	Web	11月		2	
第31回日本消化器関連学会週間JDDW 2023	Web	11月	1	1	
令和5（2023）年度第2回栃木県医療費適正化計画協議会	栃木	11月	1		
ウェルボ健康学習会レビュー（トヨタ自動車健康保険組合主催）	愛知	11月		2	
	web	11月		1	
令和5年度とちぎ産業保健看護研究会第3回研究会	栃木	11月		2	
人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会（オンデマンド配信）	Web	11月		1	
令和5（2023）年度特定健診・特定保健指導従事者育成研修会（経験者編）	栃木	11月		3	
第33回日本乳癌検診学会学術総会	福岡	11月	1	2	
	web	11月		2	
第64回日本肺癌学会学術集会	Web	11月	1		
産能マネジメントスクール（通信）管理者基本	通信	11～2月		1	
令和5年度保健師・看護師等基礎実践コース	Web	12月		1	
一般検査セミナー EIKEN2023	東京	12月		1	
オンデマンド広報セミナー 2023	Web	12月			2
第21回日本側彎症学会研修セミナーベーシックコース	栃木	12月		3	
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和5年度簡易専用水道検査全国技術研究発表会」	東京	12月			1
令和5年度第2回複十字シール運動担当者会議	東京	12月			1
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和5年度貯水槽水道の適切な管理に関するシンポジウム」	群馬	12月			1
第51回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	東京	12月	2		
	web	12月		2	
超音波スクリーニング研修講演会2023東京	Web	12月		1	
第51回建築物環境衛生管理全国大会技術研究集会	東京	1月		1	
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和5年度簡易専用水道認定検査員更新講習会」	東京	1月		1	
心電図講習会基礎A（6時間コース）（東京）フクダ電子	東京	1月		2	
令和5年度病原体等の包装・運搬のための包装責任者研修会	栃木	1月		1	
予防医学事業中央会令和5年度保健指導研修会	東京	1月		2	
医療機関における労働災害の防止及び放射線管理の徹底に向けた講習会	栃木	1月			1
2023年度レジオネラ属菌検査精度管理サーベイセミナー	神奈川	1月		1	
仕事と子育ての両立支援セミナー（初級編）	Web	1月			2
障害者雇用サポートセミナー	Web	1月			1
内田クレペリン検査2023年基礎技術認定講座	東京	2月			1
第11回乳房超音波技術講習会	東京	2月		1	
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和5年度20条検査・34条検査登録機関検査部門及び信頼性確保部門管理者研修会」	東京	2月		1	

名 称	場 所	時 期	医師	技術職員	事務職員
令和5（2023）年度HACCP技術研修会	栃木	2月		5	
令和5（2023）年度HACCPアドバイザーフォローアップ研修会	栃木	2月		3	
一般社団法人埼玉県環境検査研究協会主催「第17回近県簡易専用水道検査の精度向上のための研修会」	埼玉	2月		1	1
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和4年度簡易専用水道検査外部精度管理調査に関する研修会」	東京	2月			1
令和5年度特定保健指導事業担当者研修会（宇都宮市主催）	栃木	2月		1	
令和5年度とちぎ産業保健看護研究会第4回研究会	栃木	2月		1	
特定保健指導担当者説明会（協会けんぽ栃木支部主催）	栃木	2月		1	
令和5（2023）年度栃木県健康づくり研修（身体活動・運動編）	栃木	2月		2	
令和5（2023）年度栃木県特定健診・特定保健指導従事者育成研修会（ICT編）	Web	2月		3	
【TMCセミナー】労働条件通知内容の変更点と就業規則改訂の必要性	Web	2月			2
日本対がん協会・結核予防会共催令和5年度診療放射線技師研修会	Web	2・3月		1	
第31回日本CT検診学会学術集会	Web	3月	1	2	
第78回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	愛知	3月		1	
第32回乳房超音波技術更新講習会	東京	3月		2	
オンデマンド医療機関広報フォーラム2024	Web	3月			2
日本医師会主催による令和5年度臨床検査精度管理調査報告会	東京	3月		1	
マンモグラフィトレーニングスクールポジショニング講習会	群馬	3月		2	
第57回全国予防医学技術研究会	神奈川	3月	1	6	
先天性代謝異常検査システム管理会議	東京	3月		1	
第30回日本産婦人科乳腺医学会	東京	3月	1		
第74回栃木県消化器内視鏡研究会	栃木	3月		2	
日本マスキング学会主催専門技術者コース研修会	Web	3月		1	
計			27	142	64

## 2] 内部研修会開催状況

名 称	実 施 日	講 師 等	参加人数
脂肪肝と肝疾患の現状～肝線維化マーカーM2BPGiのご紹介～	R5.11.7	シスメックス株式会社 学術部担当者	20名
NAFLD／NASH診断の現状と進歩～肝線維化マーカーIV型コラーゲン・7Sについて～	R5.11.20	富士レビオ株式会社 学術部担当者	20名
新たな肝線維化マーカー オートタキシン	R5.11.29	東ソー株式会社 学術部担当者	20名
コロナ禍前後の肺がん検診受診者の比較	R6.3.26	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 技師 中村 唯	29名
今後の胃がん検診の方向性	R6.3.26	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 技師 宮代 紗希	29名
2017年度から2020年度乳がん検診における総合判定方式のその後	R6.3.26	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 技師 今橋 屈沙	29名
胸部X線画像AI読影システム導入後の評価	R6.3.26	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 副主幹 小澤 悠	29名
システムセキュリティ管理者研修報告	R6.3.26	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 係長 薄井 隆英	29名

## 6 学術委員

健診・検査の精度の向上や効果の高い事業を実施するため、自治医科大学・獨協医科大学・国際医療福祉大学病院などの公衆衛生をはじめとした各部門の専門医である学術委員から指導を受け、検査システムの構築や改善並びに精度向上に努めた。

令和6年3月31日現在

氏名	所 属
阿江 竜介	自治医科大学 地域医療学センター 公衆衛生学部門教授
藤原 寛行	自治医科大学 産科婦人科学講座主任教授
妹尾 正	獨協医科大学 医学部大学院 眼科学教授
小橋 元	獨協医科大学 副学長 獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座教授
入澤 篤志	獨協医科大学 医学部 内科学（消化器）主任教授 獨協医科大学病院 副院長
小嶋 一幸	獨協医科大学 医学部 上部消化管外科学（一般外科）主任教授
福島 啓太郎	獨協医科大学 医学部 小児科学講師
難波 美津雄	佐野医師会病院 名誉院長
山形 崇倫	栃木県リハビリテーションセンター 医療局長
柴 信行	国際医療福祉大学 医学部教授 那須シミュレーション医学センター長 国際医療福祉大学病院 副院長 国際医療福祉大学塩谷病院 副院長
鈴木 光明	新百合ヶ丘総合病院 がんセンター センター長 自治医科大学 名誉教授
安藤 二郎	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
小林 望	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 検診センター長



## 7 判定医

令和6年4月1日現在

### 1] 胸部X線（結核・肺がん）読影医

氏 名	所 属
結核予防会総合健診推進センター	
石 川 成 美	あい太田クリニック
齊 藤 樹	宇都宮東病院
齊 藤 芳 晃	元珪肺労災病院内科
蘇 原 泰 則	介護老人保健施設マカベシルバートピア
千代谷 厚	尾形病院

氏 名	所 属
手 塚 康 裕	宇都宮記念病院総合健診センター
中 野 智 之	国際医療福祉大学病院呼吸器外科
町 田 優	ring株式会社
明 島 良 太	合同会社 wellpy
山 本 鼎	豊島健康診査センター
阿久津 敏 恵	栃木県保健衛生事業団

### 2] 胃X線読影医

氏 名	所 属
石 川 勉	
伊 藤 允	いとう胃腸科クリニック
倉 山 英 生	若宮クリニック
齋 藤 徳 彦	齋藤内科医院

氏 名	所 属
高 橋 邦 生	高橋内科胃腸科外科
田 村 明 彦	栃木医療センター
椿 昌 裕	友愛記念病院
宮 地 和 人	獨協医科大学病院健診センター
森久保 寛	栃木県保健衛生事業団

### 3] 心電図判定医

氏 名	所 属
上小牧 憲 寛	国際医療福祉大学病院
小 林 公 也	小林内科医院
齋 藤 義 弘	ひだまりの森クリニック

氏 名	所 属
高 橋 正 樹	高橋内科循環器科クリニック
森 陽 祐	森クリニック
株式会社T P C	

### 4-1] 宇都宮市医師会 成人病対策委員会（胃）

氏 名	所 属
青 木 浩 義	青木医院
恩 田 光 憲	双葉クリニック
金 子 広 美	たからぎ胃腸外科クリニック
亀 田 幸 男	亀田内科
齋 藤 徳 彦	齋藤内科医院

氏 名	所 属
坂 田 秀 人	ミヤ健康クリニック
高 橋 邦 生	高橋内科胃腸科外科
松 本 国 彦	松本医院
渡 辺 洋 伸	しん陽東クリニック

### 4-2] 宇都宮市医師会 成人病対策委員会（心電図）

氏 名	所 属
高 橋 正 樹	高橋内科循環器科クリニック

### 5] 眼底写真読影医

氏 名	所 属
妹 尾 正	獨協医科大学医学部大学院眼科学
千 葉 桂 三	栃木県眼科医会

氏 名	所 属
株式会社T P C	

### 6] 細胞診指導医

氏 名	所 属
石 田 和 之	獨協医科大学病理診断学
中 里 宜 正	国際医療福祉大学病院

氏 名	所 属
西 川 眞 史	栃木医療センター

## 7] 超音波（腹部・乳房・甲状腺）判定医

氏 名	所 属
川 上 睦 美	東京都多摩北部医療センター・品川区医師会健診センター
小 森 俊 昭	宇都宮記念病院総合健診センター健診科
坂 佳奈子	四谷メディカルキューブ

氏 名	所 属
渡 邊 菜穂美	獨協医科大学病院健診センター
渡 辺 美 穂	
阿 部 聡 子	栃木県保健衛生事業団
森久保 寛	栃木県保健衛生事業団

## 8] マンモグラフィ読影医

氏 名	所 属
愛知乳がん検診研究会	
安 藤 二 郎	栃木県立がんセンター
大 澤 英 之	自治医科大学附属病院
角 田 美也子	獨協医科大学病院乳腺センター
三 枝 充 代	自治医科大学附属病院
塩 澤 幹 雄	とちぎメディカルセンターしもつが
竹 原 めぐみ	めぐみ乳腺クリニック
田 村 明 彦	栃木医療センター
月 岡 健 雄	羽生総合病院

氏 名	所 属
中 田 和 佳	自治医科大学附属病院
原 尾 美智子	自治医科大学附属病院
林 光 弘	関湊記念会クリニック
水 沼 洋 文	水沼医院
室 井 大 人	獨協医科大学上部消化管外科
吉 澤 浩 次	よしざわクリニック
渡 辺 美 穂	
阿久津 敏 恵	栃木県保健衛生事業団
阿 部 聡 子	栃木県保健衛生事業団

## 9] 宇都宮市医師会心臓検診判定委員会・栃木県立学校心臓検診判定委員会

氏 名	所 属
井 上 博 一	こどもヶ丘診療所
遠 藤 秀 樹	遠藤小児科医院
小 澤 武 史	おざわ小児科医院
小 林 公 也	小林内科医院
佐間田 一 則	にじいろうこども診療所
高 橋 努	済生会宇都宮病院小児科
高 橋 正 樹	高橋内科循環器科クリニック
高 野 幸 一	高野クリニック
福 田 仁	福田循環器科内科医院

氏 名	所 属
福 田 宏	福田循環器科内科医院
益 田 俊 英	益田内科医院
益 田 澄 夫	益田内科医院
水 野 風 音	済生会宇都宮病院小児科
森 陽 祐	森クリニック
八 木 崇	今泉メディカルクリニック
吉 野 良 寿	吉野医院
加 藤 一 昭	栃木県保健衛生事業団

## 10-1] 栃木県立学校腎臓検診判定委員会

氏 名	所 属
安 藤 康 宏	国際医療福祉大学病院予防医学センター
大久保 泰 宏	済生会宇都宮病院腎臓内科
齋 藤 修	自治医科大学病院透析センター

氏 名	所 属
頼 建 光	獨協医科大学病院腎臓・高血圧内科
中 野 信 行	宇都宮腎・内科・皮膚科クリニック
村 山 直 樹	村山医院

## 10-2] 栃木県保健衛生事業団腎臓検診判定委員会

氏 名	所 属
大和田 葉 子	獨協医科大学病院小児科
金 井 孝 裕	自治医科大学病院小児科
加 納 優 治	獨協医科大学病院小児科

氏 名	所 属
小 林 靖 明	足利赤十字病院小児科
高 橋 努	済生会宇都宮病院小児科



連 携 ・ 協 力

## 1 連携・協力

行政や他の検診機関、関係機関等と連携した協議会等の主催や研修会の開催及び全国の関係機関との情報交換の実施等の各種取組を展開し、県民の健康の保持増進や県内の健診・検診等の質の向上を図った。

### 1] 栃木県がん集検協議会・がん集団検診従事者研修会の運営

県民に、より精度の高いがん検診を提供するため、がん検診の有効な実施手法の検討及びがん検診従事者の資質向上等を目的として、県内の保健所、市町、医師会及び大学病院や検診機関などの医療関係機関などを構成員とした栃木県がん集検協議会を栃木県立がんセンターと協力して運営し、次に示す研修会等を開催した。

研修会等名称	開催日	開催場所
第1回精度管理部会	令和5年8月 22日	とちぎ健康の森
第1回前立腺がん検診部会	令和5年9月 22日	とちぎ健康の森
子宮がん検診従事者研修会	令和5年12月 9日	栃木県立がんセンター
胃がん検診従事者研修会	令和6年2月 22日	Web形式
乳がん検診従事者研修会	令和6年3月 5日	Web形式
大腸がん検診従事者研修会	令和6年3月 7日	Web形式
第2回前立腺がん検診部会	令和6年3月 8日	とちぎ健康の森
精度管理研修会	令和6年3月 12日	とちぎ健康の森
肺がん検診従事者研修会	令和6年3月 14日	Web形式
第2回精度管理部会	令和6年3月 18日	書面開催

### 2] 栃木県集団検診実施機関連絡協議会の運営

県内における集団検診の向上発展を図ることを目的として、栃木県集団検診実施機関連絡協議会の事務局を運営し、連絡会議等を開催した。

### 3] 専門医師、技術者の講師派遣等

当事業団が有する検診技術等を広く普及させ、県民の健康保持・増進に繋げていくため、公益財団法人日本対がん協会や特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構等が行う各種講習会や研修会に主催団体からの依頼に応じて医師等を講師として派遣した。主な派遣先は次のとおりである。

研修会等名称	講師派遣
産業保健セミナー 計8回（栃木産業保健総合支援センター、真岡労働基準協会、日光労働基準協会）	医師
認定産業医研修 計5回（地区医師会・栃木産業保健総合支援センター共催）	医師
特定化学物質、四アルキル鉛等作業主任者技能講習 計5回（人財学園）	医師
有機溶剤作業主任者技能講習 計2回（人財学園）	医師
第82回、88回マンモグラフィ更新講習会	医師
第21回マンモグラフィ読影指導者研修会	医師
第54回マンモグラフィ読影講習会	医師
乳房超音波更新講習会（第26回医師・第27回技術・第29回技術）	医師
乳房超音波新規講習会（第21回技術）	医師
第18回乳房超音波医師講習会（日本産婦人科乳腺医学会）	医師
第11回日本対がん協会乳房超音波技術講習会	医師
第18回Tokyoマンモグラフィ技術講習会	医師

#### 4] 公衆衛生学実習生の受け入れ

公衆衛生学の実習生受け入れを次のとおり実施した。

内容	実施日	対象	人数
公衆衛生看護学実習Ⅱ	令和5年6月5日	足利大学看護学部4年生	40人
公衆衛生学実習 (がん検診の実際)	令和5年6月6日 ～ 6月7日 (2日間)	獨協医科大学医学部4年生	8人
公衆衛生学実習 (環境衛生について)	令和5年7月19日 ～ 7月28日 (6日間)	栃木県立衛生福祉大学校 臨床検査学科3年生	16人
公衆衛生看護学実習Ⅱ (健診機関における保健活動)	令和5年9月26日	栃木県立衛生福祉大学校 保健学科	31人
健診業務における臨床検査技師の役 割及び他職種との連携について	令和6年2月26日	栃木県立衛生福祉大学校 臨床検査学科2年生	16人

#### 5] 研究会・研修会及び会議等への参加及び情報交換

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会が開催する全国大会や公益財団法人予防医学事業中央会が開催する各全国大会やブロック会議などに参加し、全国の各種予防医学活動の動向を把握するほか、全国の関係団体間での精度管理、血液検査データの共有化などを図り、県民に対して、より精度の高い健診・検査を提供できるよう努めた。

#### 6] 県などが実施する各種検討会への参画

栃木県などが県民の健康保持・増進やがんなどの生活習慣病対策のために設立している各協議会等に委員として参画した。

なお、主な協議会等への参加状況は次のとおりである。

委員会名	委員会に おける役職	開催日	出席者
栃木県がん集検協議会	副会長	令和5年6月29日	理事長
	理事		医療局長
	副会長	令和5年8月1日	理事長
	理事		医療局長
栃木県公衆衛生協会	副会長	令和5年7月7日 令和6年2月8日	理事長
栃木産業保健総合支援センター運営協議会	委 員	令和5年11月14日	理事長
栃木県がん対策推進協議会がん検診部会	委 員	令和5年7月18日 (Web開催)	医療局長
栃木県がん対策推進協議会がん登録部会	委 員	令和5年8月10日 (Web開催)	乳がん検診部長
とちぎ健康21プラン推進協議会	委 員	令和5年10月6日	理事長
とちぎ健康21プラン推進協議会及び健康 長寿とちぎづくり推進協議会幹事会	委 員	令和6年3月4日	理事長
栃木県医療費適正化計画協議会	委 員	令和5年9月4日 令和5年11月8日 令和5年12月22日 令和6年2月8日	医療局長

# 広 報 活 動

- 1 予防医学推進のための普及活動
- 2 健診・検査受診率向上のための普及活動

## 広報活動

県民が、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施した。

### 1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルスに関する知識の啓発のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら各種メディアの活用やイベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開した。なお、令和5年度は新たにSNSを活用した啓発活動を行った。

#### 1) 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行った。

##### (1) 結核予防週間運動の実施（9月24日から30日）

- 1) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核予防に関する普及啓発を行った。

・ポスター 980部

・パンフレット 14,300部

- 2) 結核予防に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用した普及啓発を行った。

・テレビ 45秒告知 1種 10回（とちぎテレビ）

・ラジオ 20秒告知（※） 1種 21回（エフエム栃木）

90秒告知 1種 5回（エフエム栃木）

・新聞 半3段モノクロ告知 1種 1回（下野新聞）

栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）

・SNS X（旧Twitter）投稿 1種 2回

（※）当事業団の職員による収録・放送

##### (2) 複十字シール運動の実施

- 1) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、8月から12月まで募金活動を実施した。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられる。

・令和5年度募金額 1,535,500円

- 2) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を8月3日に実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼した。

- 3) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との共催で、9月23日に宇都宮オリオン通り商店街東武駅前アーケードにて募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行った。

## 2] がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

### (1) 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

1) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施した。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行った。

- ・ポスター 2種（がん征圧、禁煙 各1,220部） 計2,440部
- ・リーフレット 2種（がん検診：4,000部、女性のがんと健康：4,000部） 計8,000部
- ・冊子（がんを知ろう） 2,300部

2) がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん征圧運動を周知した。

- ・テレビ 45秒告知 1種 20回（とちぎテレビ）
- ・ラジオ 90秒告知 2種 20回（エフエム栃木）
- ・新聞 半3段モノクロ告知 1種 1回（下野新聞）  
折込紙見開き1/2フルカラー告知 1種 1回（下野新聞折込紙「アスポ」）  
栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）
- ・SNS X投稿 1種 4回  
Xプロモツイート 1種 1月
- ・立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置）1ヵ所

3) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9月1日から10日に宇都宮タワー（八幡山公園）で実施したほか、9月16日から10月15日に栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施した。

4) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を9月10日に実施した。宇都宮オリオン通り商店街東武駅前アーケードにて募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行った。

### (2) がん征圧募金運動の実施

1) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行った。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てられる。

- ・令和5年度募金額 3,324,683円

2) がん征圧募金に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し告知掲載を行った。

- ・新聞 半3段モノクロ告知 1種 1回（下野新聞）  
栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）  
栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（朝日新聞）  
栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（毎日新聞）
- ・SNS X投稿 1種 1回

### (3) 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の宇都宮ブレックス主催試合の冠スポンサーとなり、11月4日、5日の2日間ブレックスア



リーナ宇都宮で行った。乳がんに関する資料配布やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行った。

#### (4) がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023とちぎ」(9月2日～3日：壬生町総合公園陸上競技場)が開催され、事務局として参画した。

また、当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加した。

#### (5) その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん検診受診率向上のための啓発活動を行った。

・テレビ	45秒告知	5種 60回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知 (※)	3種 63回 (エフエム栃木)
	90秒告知	2種 20回 (エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	3種 3回 (下野新聞)
	半3段モノクロ告知	1種 1回 (下野新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回 (読売新聞)
・SNS	X投稿	5種 11回
	Xプロモツイート	1種 1月

(※) 当事業団の職員による収録・放送

### 3] 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

#### (1) 禁煙週間 (5月31日から6月6日) の普及活動

1) 禁煙に関するポスターの配付と展示を行った。

・禁煙ポスター (配付) 282部

(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・事業団打合せコーナー

2) 禁煙週間に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行った。

・テレビ	45秒告知	1種 10回 (とちぎテレビ)
・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回

#### (2) 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間 (11月1日から30日)

1) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行った。

・世界糖尿病デーポスター (展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

・リーフレット (配布) 4種 計320部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア



2) 糖尿病予防に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行った。

・テレビ	45秒告知	1種 20回	(とちぎテレビ)
・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回	

### (3) 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルス対策に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、健診・検査の受診率向上を図った。

・テレビ	45秒告知	5種 60回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	4種 84回	(エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	5種 5回	(下野新聞)
	半3段モノクロ告知	1種 1回	(下野新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回	(読売新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回	(毎日新聞)
・SNS	X投稿	12種 14回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

### (4) 生活環境に関する普及活動

1) 食品衛生月間(8月1日から31日)に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関する内容について、県内のマスメディアやSNSを活用し意識の向上と知識の普及を図った。

・テレビ	45秒告知	1種 20回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 42回	(エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	2種 2回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

2) 県内のマスメディアを活用して、簡易専用水道検査の受検勧奨を行った。

・ラジオ	20秒告知(※)	1種 21回	(エフエム栃木)
------	----------	--------	----------

(※) 当事業団の職員による収録・放送

### (5) 関係機関等との連携・協力による普及活動

1) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントなどに協力し、パネル展示やリーフレット・啓発グッズの配布・提供を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行った。

- ・とちぎ健康の森フェス(社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森 6月4日)  
禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配布
- ・市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供(3市町)  
ノベルティ 3種 計1,060個、リーフレット 2種 計40部
- ・栃木県誕生150年記念協賛事業(栃木県県民の日実行委員会：栃木県庁 6月10日)  
パネル展示 2種、ノベルティ 3種 計300個、リーフレット 2種 計200部

2) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付した。

・ 複十字誌（公益財団法人結核予防会）	2,742部
・ 健康の輪（公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会）	240部
・ 対がん協会報（公益財団法人日本対がん協会）	7,462部
・ 予防医学ジャーナル（公益財団法人予防医学事業中央会）	216部

## 2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページや定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図った。

### 1] ホームページの公開

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康・保持増進に役立つ情報を配信した。

なお、ホームページについては、利用者により分かりやすく、また、スマートフォン等でも見やすいレイアウトに変更するなど大幅にリニューアルした。

### 2] 定期情報誌の発行

1) 健康や環境に関する最新情報や健診・検査の重要性の解説、当事業団が行う各種事業の取組状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行した。県や受診団体、医療機関、全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開した。

2) 食品検査及び腸内細菌検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルス等の予防について周知する広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行した。食品検査の受検事業者や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開した。

### 3] 看板等を利用した普及啓発

生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出した。

- 1) JR宇都宮駅改札前通路の電飾看板
- 2) 栃木県本庁舎エレベーター内の壁面

総

括

1 沿 革  
2 組 織 ・ 機 構  
3 機 器 整 備 状 況  
4 会 議 の 開 催

## 1 沿 革

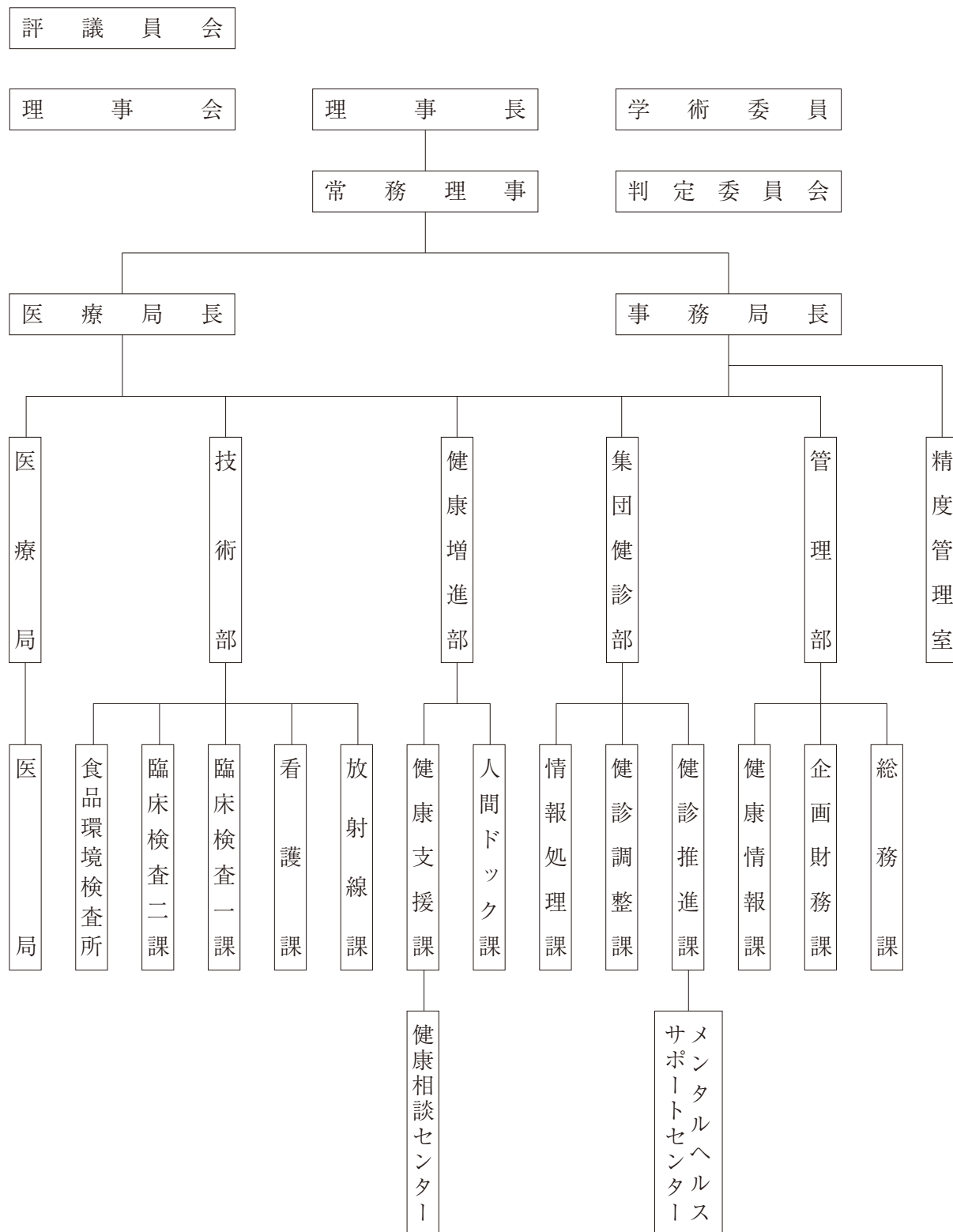
昭和15.4.1	結核予防会栃木県支部設立（昭和46年財団法人結核予防会栃木県支部となる）	平成2.3.1	健康診断データ処理システム完成
昭和34.8.14	栃木県寄生虫予防協会設立（昭和40年財団法人栃木県寄生虫予防協会となる） （昭和46年財団法人栃木県予防医学協会と改称）	平成3.1.1	水道水農業検査開始
昭和36.5.19	財団法人栃木県対ガン協会設立	平成4.3.1	住民健康管理情報処理システム完成
昭和51.3.29	前記3団体の解散、統合を前提に財団法人栃木県保健衛生事業団設立	4.1	大腸がん検診開始 政府管掌健康保険成人病予防検診開始（指定検診機関認定）
3.1	（財）結核予防会栃木県支部、（財）栃木県予防医学協会、（財）栃木県対ガン協会解散 全ての事業を（財）栃木県保健衛生事業団が継承する	平成5.3.1	事業所健康管理情報処理システム完成
4.1	医療法第1条第5項の規定に基づく（財）栃木県保健衛生事業団診療所を開設	12.1	水質基準改正に伴う検査体制整備
8.28	計量法第123条の規定に基づく計量証明事業所（濃度）として登録浄化槽放流水検査開始	平成7.3.1	計量証明事業（浄化槽放流水検査廃止）
昭和52.4.1	循環器検診、食品検査開始	平成8.4.1	組織機構改革
昭和53.4.1	血液・生化学検査、肺がん検診開始	4.1	水質・食品検査部門「栃木県保健環境センター」移転
10.20	食品衛生に係る水質検査機関指定要領に基づく栃木県知事指定飲料水検査機関として指定を受ける	4.1	骨密度検査開始
昭和54.3.26	食品衛生法第14条第1項の規定に基づく厚生大臣指定検査機関として指定を受ける	5.20	食品衛生法第15条、第1項、第2項の規定に基づく厚生大臣指定検査機関となる
昭和54.4.1	労働安全衛生法の規定に基づく一般健康診断、特殊健康診断開始	平成9.1.1	健康管理情報システム（人間ドック）更新整備
昭和55.4.1	地域食品認証制度開始	1.6	健診・検査及び人間ドック部門「とちぎ健康の森」移転
4.18	水道法第20条第3項及び同法第34条の2第2項の規定に基づく厚生大臣指定検査機関として指定を受ける（水質検査、簡易専用水道の管理に関する検査開始）	4.1	健康度測定事業開始
昭和56.4.1	学校心臓検診開始	4.1	健康管理情報処理システム（住民・事業所）更新整備
昭和57.4.1	先天性代謝異常検査開始	4.1	移転披露式典並びに創立20周年記念式典開催
昭和58.3.1	老人保健法に基づく健康診査開始	平成10.4.1	前立腺がん検診開始
4.1	幼児心臓検診開始	8.1	クリプトスポリジウム検査開始
6.1	学術委員制度の発足	10.15	第43回予防医学事業推進全国大会開催
8.3	中央労働災害防止協会「健康診断機関等名簿登載機関」登録	～.16	
昭和59.2.29	健康管理データ処理システム完成	平成11.3.1	食品検査管理システム完成
昭和60.4.1	神経芽細胞腫検査、クレチン症検査開始	3.1	集団健診情報処理システム完成
昭和61.3.1	人間ドックデータ処理システム完成	4.1	「日本総合健診医学会優良施設」認定
4.1	組織機構改革	10.1	乳房X線（マンモグラフィ）検診車による乳がん検診開始
7.1	子宮がん検診開始	10.1	「日本病院会優良自動化健診施設」指定
昭和63.3.1	がん検診データ処理システム完成	11.1	「労働衛生機関評価機構評価達成機関」認定
4.1	乳がん検診開始	平成12.3.22	第51回結核予防全国大会開催
昭和64.1.1	先天性副腎過形成症検査開始	～.23	
		4.14	中央労働災害防止協会「安全衛生サービス機関（特殊健康診断等認定）
		10.2	人間ドック「ヘリカルCT」開始
		10.2	人間ドック「内視鏡検査」開始
		10.27	岡本水質食品検査所環境ISO14001審査登録
		平成13.3.1	財務会計・給与システム完成
		4.1	県より健康づくり事業受託 健康支援班設置
		4.1	がん等生活習慣病研究助成制度制定
		4.2	中央労働災害防止協会「労働者健康保持増進サービス機関」認定
		平成14.1.1	「マンモグラフィ検診精度管理

	中央委員会マンモグラフィ検診施設画像」認定	4.1	人間ドック「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」「ペプシノゲン検査」「子宮体がん検査」開始
3.29	ホームページ開設	平成23.3.1	健康度測定事業終了
4.1	肝炎ウイルス検診開始	4.16	胃がんリスク検診開始
8.1	先天性代謝異常検査に高速液体クロマトグラフィー法導入	平成24.3.26	放射性物質検査開始（簡易検査）
9.9	定期情報誌「げんきとちぎ」創刊	4.1	健康相談センター設立
10.1	食品残留農薬検査開始	6.19	放射性物質検査開始（精密検査）
平成15.4.1	栃木県学校腎臓検診開始	10.1	先天性代謝異常検査にタンデムマス法導入
5.30	「日本臨床細胞学会施設」認定	平成25.3.1	栃木県知事から公益財団法人の認定を受ける
10.1	「予防医学事業中央会：健診・検査データ共有化事業」施設認証	3.1	水質検査事業終了
平成16.3.15	経営理念策定	4.1	公益財団法人栃木県保健衛生事業団に移行登記
3.1	医師法に基づく「臨床研修協力施設証」交付	4.1	岡本水質食品環境検査所を食品環境検査所と改称
3.1	神経芽細胞腫検査休止	4.1	子宮頸がん検診の液状化検体細胞診を開始
3.1	水道法第20条に基づく登録検査機関として登録	4.1	特殊健康診断システム稼働運用開始
3.1	水道法第34条に基づく登録検査機関として登録	4.1	人間ドック「甲状腺ホルモン検査」「頸動脈超音波検査」「視野スクリーニング検査」開始
4.1	住民・事業所健診及び人間ドック並びに水質食品検査情報処理システム更新	4.1	経営理念 改訂
4.1	水質基準に関する省令の改正	平成26.4.13	ICカード健診開始
7.1	食品衛生法第26条第1項及び第2項の規程に基づく登録検査機関として登録	10.1	健康づくり情報コーナー、多目的運動コーナー設置
9.17	平成16年度がん征圧全国大会開催	平成27.4.1	臨床検査課を検体検査を主とする臨床検査一課と生理機能検査を主とする臨床検査二課に再編
12.1	個人情報保護方針制定	4.4	保険医療機関の登録終了
12.17	岡本水質食品検査所 I S O 9001審査登録	12.28	栃木県立がんセンターとの医療連携機関認定
平成17.6.15	残留農薬検査に高速液体クロマトグラフィー質量分析計（LC/MS/MS）導入	平成29.3.1	自社所有の全てのX線装置のデジタル化が完了
7.12	プライバシーマーク取得	7.1	食の安全に関する広報誌「Assist」創刊
10.1	人間ドック・健診施設機能評価認定取得	平成30.2.22	住民健診におけるコールセンターによる予約事業開始
10.3	人間ドック「血液サラサラ度測定」「血管年齢測定」「内臓脂肪測定」開始	平成31.4.1	精度管理室設置
10.15	保険医療機関として指定取得	4.1	人間ドック情報管理システム更新
平成18.2.15	栃木県食品自主衛生管理認証制度に係る認証機関指定取得	4.28	デジタル読影室整備、胃内視鏡室改修
3.17	宇都宮市食品衛生自主管理認証に係る認証機関指定取得	令和2.4.1	腸内細菌検査方法をPCR法に変更
4.1	生活機能評価開始	9.1	人間ドック「経膈超音波検査」開始
平成19.4.1	人間ドック施設改修	10.1	胸部X線画像AI読影支援システムの導入
4.1	デジタル読影室整備及び医用画像管理システム（PACS）運用開始	令和5.4.1	人間ドック「3Dマンモグラフィ」開始
4.1	胃内視鏡室整備	4.1	先天性代謝異常等検査「脊髄性筋萎縮症」「重症複合免疫不全症」開始
8.1	人間ドック「HPV検査」開始		
平成20.3.1	腸内細菌システム更新		
4.1	特定健診、特定保健指導開始		
4.1	心の健康づくり事業開始		
4.15	新器材準備室完成		
12.8	ノロウイルス検査開始		
平成21.2.28	食品衛生法に基づく登録廃止		



## 1] 組織・機構

令和5年4月1日現在



## 2] 評議員名簿

令和6年3月31日現在

役 職 名	氏 名	所 属 団 体 等
評 議 員	稲 野 秀 孝	栃木県医師会会長
	平 田 幸 一	獨協医科大学副学長
	山 田 俊 幸	自治医科大学教授
	大 原 智 子	栃木県保健所長会会長
	螺 良 昭 人	栃木県議会議員
	青 木 勲	栃木県経営者協会会長
	横 倉 正 一	栃木県中小企業団体中央会会長
	菊 地 正 幸	栃木県食品衛生協会会長
	武 藤 孝 司	栃木産業保健総合支援センター所長
	大 橋 哲 也	栃木県保険者協議会 幹事
	寺 山 厚 子	栃木県地域婦人連絡協議会会長

## 3] 役員名簿

令和6年3月31日現在

役 職 名	氏 名	所 属 団 体 等
理 事 長	渡 邊 慶	栃木県保健衛生事業団理事長
常務理事	金 澤 秀 行	栃木県保健衛生事業団常務理事
理 事	田 村 明 彦	栃木県病院協会会長
	尾 澤 巖	栃木県立がんセンター理事長兼センター長
	木 内 敦 夫	栃木県産婦人科医会会長
	森久保 寛	栃木県保健衛生事業団医療局長兼消化器検診部長
	渡 邊 芳 江	栃木県看護協会常任理事
監 事	福 田 篤	栃木県保健衛生事業団事務局長
	鈴 木 正 人	とちぎ健康福祉協会理事長
	小 林 麻 貴	小林麻貴公認会計士事務所公認会計士



#### 4] 職種別役職員数

令和5年4月1日現在

	男	女	合 計
常 勤 役 員	2	0	2
職 員	76	158	234
計	78	158	236
事務職 一 般 事 務	49	60	109
医 師	2	2	4
薬 剤 師	(1)	0	(1)
保 健 師	0	12	12
看 護 師	1	29	30
准 看 護 師	0	3	3
診療放射線技師	14	15	29
術 臨 床 検 査 技 師	7	32	39
(細胞検査士)	(2)	(2)	(4)
(超音波検査士)	(1)	(9)	(10)
職 管 理 栄 養 士	0	1	1
健康運動指導士	0	1	1
分析化学技師等	3	3	6
計	76	158	234

\* ( ) 内の数字は職種重複のため再計上

### 3 機器整備状況

健診・検査精度の向上や効率化を図るため、次のとおり機器、電算システム及び車両等を整備した。

#### 1] 検査等機器（取得価格 1,000,000円以上）

No.	機器名等	型式・規格	数量	用途	区分
1	解析付心電計	フクダ電子 (株)FCP-9800	3	特定健康調査 健康診断	更新
2	心電心音解析装置	フクダ電子 (株)ECP-8641	4	心臓検診	更新
3	液状検体処理装置	ベクトンディッキンソン(株) BDTM トータリスマルチプロセッサー	1	子宮がん検診	更新
4	超音波診断装置	コニカミノルタ(株)SONIMAGE HS2	3	乳がん検診	更新
5	上部消化管用スコープ	富士フイルム(株) EG-840N	1	人間ドック	新規
6	無散瞳眼底カメラ	(株)トプコン TRC-NW500	1	人間ドック	更新
7	自動視野計	カイゲンファーマ(株) 視機能評価機アイモ scan	1	人間ドック	更新

#### 2] 電算システム（ハードウェア・ソフトウェア）

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
1	健診管理システム	住民健診用機能追加（ソフトウェア）	1	(株)TKC	新規
2	健診管理システム	事業所健診用機能追加（ソフトウェア）	1	(株)TKC	新規
3	健診管理システム	特殊健康診断用機能追加（ソフトウェア）	1	(株)TKC	新規
4	健診管理システム	第4期特定健診対応（ソフトウェア）	1	(株)TKC	新規
5	腸内細菌システム	腸内細菌検査システムサーバ（ハードウェア）	1	(株)ケーシーエス	新規
6	ストレスチェックシステム	ストレスチェック2次用サーバ（ハードウェア）	1	(株)ケーシーエス	更新
7	人間ドックシステム	人間ドック情報管理システム機能追加（ソフトウェア）	1	(株)メルクスシステム	新規
8	人間ドックシステム	第4期特定健診対応（ソフトウェア）	1	(株)メルクスシステム	新規
9	画像管理システム	人間ドック超音波画像システムゲートウェイPC（ハードウェア）	1	(株)スリーゼット	更新
10	画像管理システム	臨床検査画像管理サーバ（ハードウェア）	1	(株)スリーゼット	更新
11	画像管理システム	ランサムウェア対策バックアップ用HDD（ハードウェア）	1	(株)スリーゼット	新規
12	就業管理システム	就業管理システム（ソフトウェア）	1	アマノ(株)	更新
13	就業管理システム	就業管理システムサーバ（ハードウェア）	1	コムコ(株)	更新
14	財務会計システム	請求システム機能追加（ソフトウェア）	1	満喜(株)	新規
15	財務会計システム	財務会計サーバ（ハードウェア）	1	コムコ(株)	更新

#### 3] 車両

No.	車両名	型式・規格	数量	用途	区分
1	胃部検診車	いすゞ 2PG-CXY77DJ 富士 ESPACIO AVANT	1	胃検診	更新
2	胸部検診 (X線撮影装置載せ替え)	キヤノンメディカルシステムズ SREX-A32B	1	胸部検診	新規
3	腸内細菌検体回収車	日産ADバン HR15DE	2	腸内細菌検査	新規

#### 4] 建物付属設備

No.	資産名	型式・規格	数量	用途	区分
1	腸内細菌検査室間仕切り工事 (食品環境検査所へ移転)	腸内細菌検査室間仕切り壁	1	腸内細菌検査	新規

## 4 会議の開催

### 1] 評議員会・理事会

令和5年度の評議員会・理事会を次のとおり開催した。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第29回評議員会	令和5年4月26日 (全員同意によるみなし決議)	1 監事の選任について
第30回評議員会	令和5年6月20日	1 令和4年度事業報告の承認について 2 令和4年度決算の承認について 3 任期満了に伴う役員の選任について
第64回理事会	令和5年4月14日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第65回理事会	令和5年5月8日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員選定委員会委員の選任について
第66回理事会	令和5年5月15日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について
第67回理事会	令和5年5月26日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員選定委員会委員の選任について
第68回理事会	令和5年6月5日	1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度決算報告について 3 評議員会の開催について 4 評議員候補者の推薦について 5 業務執行状況の報告 6 理事田村明彦氏との業務委託契約について
第69回理事会	令和5年6月20日 (全員同意によるみなし決議)	1 常務理事の選定について
第70回理事会	令和5年7月13日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について
第71回理事会	令和6年3月13日	1 令和5年度補正予算について 2 令和6年度事業計画について 3 令和6年度予算について 4 役員賠償責任保険の加入について 5 常勤役員の期末手当の額について 6 常勤役員の業績手当の支給及び額について 7 常勤役員の報酬月額について 8 業務執行状況の報告

### 2] 評議員選定委員会

令和5年度の評議員選定委員会を次のとおり開催した。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第17回評議員選定委員会	令和5年5月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について
第18回評議員選定委員会	令和5年6月9日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について 2 評議員の選定について 3 評議員の選定について
第19回評議員選定委員会	令和5年8月8日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選定について

### 3] その他の会議

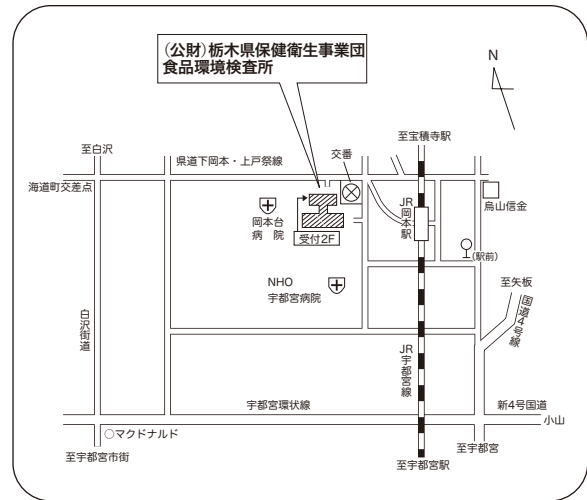
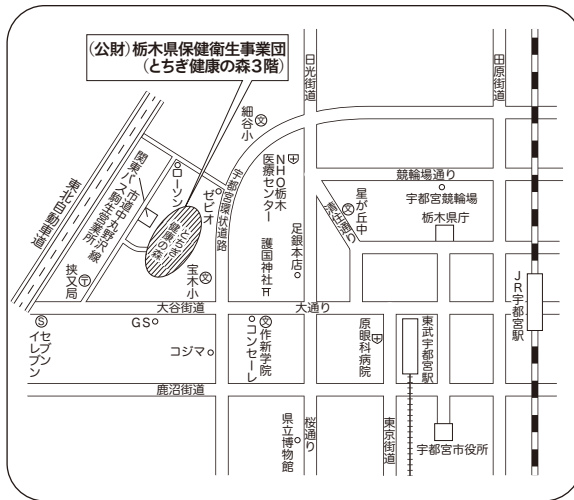
その他の会議を次のとおり開催した。

会議名	開催月日	主たる審議事項
令和5年度 住民健診担当者 意見交換会	令和6年3月12日 (とちぎ健康の森)	<ol style="list-style-type: none"> <li>がん検診精度管理に関する研修会               <ol style="list-style-type: none"> <li>発見がん追跡調査報告</li> <li>がん検診における精密検査「受診・未受診・未把握」</li> </ol> </li> <li>意見交換               <ol style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨事業（統一勧奨）についての結果報告</li> <li>令和6年度の変更点について</li> <li>自治体意見交換                   <ol style="list-style-type: none"> <li>Web予約システムの更新（及びシステムを活用した受診勧奨等）について</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>
第7回 とちぎ産業保健 セミナー	令和6年3月19日	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和6年度検診・検査の変更点など（精度管理部門）</li> <li>令和6年度検診に関する変更点など（集団検診部門）</li> <li>講演               <ol style="list-style-type: none"> <li>「働く世代からの、ロコモティブシンドローム入門」</li> </ol>               講師：NTT東日本関東病院院長                ロコモチャレンジ！ 推進協議会 委員長                日本整形外科学会理事 大江 隆史 先生             </li> </ol>

## 事業年報編集委員名簿

	所	属	氏	名
委員長	管	理 部	福	田 篤
副委員長	精	度 管 理 室	木	村 高 幸
	健	康 支 援 課	忽	那 洋 子
委 員	医	療 局	阿	部 聡 子
	総	務 課	大	橋 保 乃 花
	企	画 財 務 課	久	保 田 泰 仁
	健	診 推 進 課	及	川 晟 也
	健	診 調 整 課	下	川 雄 輝
	情	報 処 理 課	大	橋 英 一 郎
	人	間 ド ッ ク 課	徳	原 純 子
	健	康 支 援 課	伊	藤 望
	放	射 線 課	大	塚 幸 雄
	看	護 課	小	泉 享 子
	臨	床 検 査 一 課	関	口 梨 沙
	臨	床 検 査 二 課	湯	沢 直 子
	食	品 環 境 検 査 所	小	田 部 友 哉
事 務 局	精	度 管 理 室	大	金 優 妃
	精	度 管 理 室	関	口 絵 里 加

## 案 内 図



〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1  
(とちぎ健康の森 3階)

代 表 電 話 (028) 623-8181

F A X (028) 623-8586

E-mail jigyodan@tochigi-health.or.jp

## 食 品 環 境 検 査 所

〒329-1194 宇都宮市下岡本町2145-13

(栃木県保健環境センター内)

電 話 (028) 673-9900

F A X (028) 673-9955

E-mail okamoto@tochigi-health.or.jp

## 令和5年度事業年報

令和7年2月28日 発行

発 行 人 渡 邊 慶

編 集 人 金 澤 秀 行

データ整理 事業年報 編集委員会

印 刷 (株)松井ピ・テ・オ・印刷

発 行 所 公益財団法人栃木県保健衛生事業団

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1(とちぎ健康の森3階)

電 話(代) (028) 623-8181

F A X (028) 623-8586

U R L <https://tochigi-health.or.jp>